
命のささやき

川村秋水

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

命のささやき

【Nコード】

N8295J

【作者名】

川村秋水

【あらすじ】

あれは忘れもしない2008年4月のこと、人生に失望し難病を患った私は、自殺を考えようとしていた。人生に対する憤り、自身の無力さ、そして神に対するありとあらゆる憎悪を書き記した後、筋書き通り、この世からオサラバする筈だった。神等いる筈がない！人は死んだら何もかもおしまい！当時、私の頭の中は、無神論一色に染められていた。しかし、そこに「神」という不確定要素が加わったことにより、私の人生観は180度クルツと変わった。否、変えられたと言うべきか。事の詳細は次のようなものだ。今からさ

かのぼること2年前の、西暦2008年4月7日、名古屋市の名鉄病院にて、遺書を書き綴っていると、フト急に激しい金縛りに襲われた。当初は何が起きたのか検討がつかず、パニックになった私は頭の中が真っ白になっていた。しかしその時、私の腕は何者か（姿なき命）によって拘束されており、半分麻痺した状態になっていた。すると、胸の奥に感じる暖かな衝動を頼りに、私の腕はおのずと文字を書き連ねていった。それはあたかも口述筆記のごとく、流暢でしなやかな文体だったのをまだ記憶している。こうして、私と神と名乗る謎の宇宙浮遊霊との、一連の奇妙な対話が始まるに至った。

命のささやき【1】（前書き）

あれは忘れもしない2008年4月4日のことだった。その頃、私は不運にも肺結核という病を患い（感染し）、大量吐血により救急車で名古屋の名鉄病院に搬送されていた。人間関係にもギクシャクし、就活にも失敗し、おまけに入院しなければならぬ病を患い、私の人生はとんぱ子に転落しつつあった頃のこと。絶望におちいった私は、自殺を考えようとしていた。このまま生きていても、ただ周りに生き恥をさらすだけだと悟り、生きる意義を見出せなくなっていた頃のこと。ただ、やりきれない気持ちだが、胸いっぱいにつのるだけだったのをまだ記憶している。いつそのこと、いますぐにでもこの世から消え去りたい気持ちでいっぱいだった。

首吊りや飛び降り自殺も考えはしたが、流石に病院内もあってか、反面、自殺してまで恥をさらしたくはないという思いが、若干はあった。

そして、ついに決心した私は、一番簡単、かつ手っ取り早く死ぬる、

手首（頸動脈）を切って自殺することを選ぶことを決意した。

しかし、このまま何も残さずに死んでしまうと、

未練が残ってしまうと思ったのか、

自殺する前に、せめて遺書だけでも書き記しておこうと思った。

遺書の内容は、私が今まで歩んできた人生に対する、

ありとあらゆる絶望と、神に対する愚痴についてのものだった。

その頃の私は神を信じてはいなかったが、

もし人智を凌駕した存在が実在するのであれば、

なぜ、世の中はこんなにも理不尽で不公平なのか、
そして、なぜ神はそれらを正そうとしないのかが疑問でならなかつた。

私は力の限り、遺書に駄文を書き綴っていった。
いったい、自分が何をしたというのか。

なぜ、自分はこんなにも不幸なのか。

そして、理解されない苦しみを世界はなぜ、

こうも易々と受け流すことができるのか、

書けば書いてゆくほど、ただ言い知れぬ苛立ちが胸の内をよぎって
ゆくのがわかった。

そして、神の理不尽さを書き綴ろうとした瞬間のことだった。

私は「神は実に理不尽で無責任で・・・」と書こうとした矢先のこと、
急に強烈な金縛りが全身に襲い掛かってきた。

最初は何が起こったのかわからず、ただ恐怖と硬直だけがほとばし
った。

気づいた頃には、私の腕は何か不思議な力で、

押さえ込まれているかのような感覚を覚え、

今にも踊り出たい気持ちで腕の奥から湧いてくるのを感じた私は、
その「躍り出たがる衝動」が外へ漏れるのを許容した・・・。

こうして、この一連の奇妙な対話がはじまるに至った。

命のささやき【1】

命のささやき

作：川村秋水

2008年4月7日

愛知県名古屋市長名鉄病院にて

こんにちは。

・・・（長い沈黙）

こんにちは。

驚いたかな？

あなたは誰なんですか？

私は誰だと思っ？

いや・・・あの、知らないから聞いているんですけど。

いいから答えてみなさい。私は誰だと思っ？

・・・神様ですか？

神様かな？

意味がわかりません。本当に神様なんですか？

本当に神なのかどうか、あなた自身が一番よくわかっているはずだよ。思いきった発想をしてごらん。どちらもだっただね。

それでは、あなたが神だという確固たる証拠を見せて頂けないでしょうか？

証拠ならすでに目の前にあるよ。

あなたは、いつも私を見ている。食べている。飲んでいる。

毎朝起きたら、私で顔を洗い、私で歯を磨き、私を着て、私に会いに行く。

はい？どういう意味ですか？

おっしゃってる意味がよくわからないのですが？

では、反対に質問させてもらうが、

あなたは神とはいったい何だと思っていたのかな？

今まで神とは何だと考えていたんだい？

・・・（長い沈黙）

わかりません。しばらく考えてみたのですが、

そう言われてみると、確かに神が何なのか、今まで真剣に考えたことすらありませんでした。

あなたは聖書を読んだことがあるかな？

・・・少しだけです。断片的な知識しか知りません。

それに私はクリスチャンじゃありませんし、詳しいことはわかりません。

よろしい。では、私と語り合っているとき、何か不思議な気分を感じなかったかね？

特に感覚的な変化、根源的な変化を感じなかったかな？

うーん・・・心地よい響きと言いますか。

胸・・・というより全身が温かい感情が包容？のような、

不思議なエネルギーに満たされつつあるかのような気分に陥るのを感じました。

根源の奥から泉のごとく湧き起こる、

生命の躍動感と言いますか・・・とても心地よい気分といったところ
です。

それだけではないはずだよ。

もっと新しい変化が、芽生えなかったかい？

と言いますと？

直観だよ。

え？

直観は魂の言葉だ。あなたは今、

この方面の能力を開花させつつあることに気がつかなかったのかい？

それはともかくとして、なぜ私のような凡夫のもとへ来られたのですか？

私よりもっと有能な人が、この世界に沢山いますでしょうに！

なぜだと思っ？

いや・・だから、わからないから聞いてるんですが。

それでは答えを教えてください。

あなたが私を呼んだからだよ。求めよ、さらば与えられん。
あなたは求めた。だからこそ、今、私がここにいる。

はい、確かに私は（助けを）求めました。

しかし、本当にあなたが舞い降りてくるとは思っていませんでしたよ。

おかげで一瞬、心臓が止まるかと思いましたよ。

それは結構。しかし物事のすべてには因果関係というものがある。

あなたは種を撒いていない土地から、急にリンゴの木が生えてくる
と考えるのかね？

息子よ、誰かがつくらない限り、被造物は存在し得ない。

それはあなたの方の種・人類（地球人）とて同じことだ。

時計屋がいなければ、どうして時計が存在できるのかな？

うーん・・なんか、こんがらがってきましたよ。

そう言われると、何だか卵が先か、ニワトリが先か、の話によく似
ていますね。

それで、あなたはどちらが先だと思う？

ちょっと待つてくださいよ。少し考えさせてください。（長い沈黙）

・・卵を産んだのがニワトリだから、ニワトリがいなければ卵もい
ない。

あれ？でも、卵がなければニワトリもなくなる・・あれれ？どうい
うことだ？？

ごめんなさい・・わかりません。何か・・考えれば考えるほど、や

やこしくなってきました。

もう、お手上げです。それで・・・どちらが先なんでしょう？

どちらもだよ！

え？

おやおや、まだ戸惑っているのかね？

私は最初にも言ったはずだよ。あなた方の多くは、

いつも私を見ておきながら、見ていない！と主張している・・・とね。毎朝、私で顔を洗い、私で歯を磨き、私を食べ、私を排泄しているにも関わらず、私はいない！私は想像（空想）の産物だと言いたがる。

しかし、いいかな。私は誰とも離れ離れではない。

私は存在するすべてであり、存在したすべてであり、これから存在するすべてなのだよ。

だからある人たちは、私のことをアルファにしてオメガだと呼ぶ。実際そうなのだ。

私たちはすべて、一体である。これがこの宇宙を構成している、究極の現実なのだよ。

うわぁ・・・なんかすごいですね。考え方のスケールが大きすぎて、ちょっと私にはついてゆけそうにないです（恥）

でも、その考えに照らしあわせると、あなたは私でもあるってことになりますか？

あたり！

いやいや、ちょっと待ってくださいよ！

でも・・・それでは、あなたが同時に歯ブラシでもあり、水でもあり、

パンでもあり、
ちよつと失礼な言い方で申し訳ないのですが、ウ コ（排泄物）でもあるってことになりますか？

えっへん！

こらこら、そこは威張るところではないでしょうに！
神様はウ コ（排泄物）だ！なんてことを欧米圏で大胆に言ったら、最悪の場合、冒涇だと見なされ、きつと殺されますよ。

私の一部であるものを私でない！と否定し冒涇し続けてきたのが、あなた方の宗教が今までしてきたことだよ。

それで・・・あなたはいったい、何なんですか？
見ているものすべてが、あなただなんて・・・今まで考えたことすらありませんでしたよ。

何でもいいから、量子論の本を読んでごらん。
そうすれば答えが見つかるよ。

なぜ、これまた量子論なんですか？
私は文系で物理が大の苦手だということを、知っておっしゃっているんですか？

あなた方の科学の中で、量子論ほど宇宙の仕組みを正確（緻密）に解説した理論はない。

物質は何であれ（本当は物質そのものはないのだが）細部へ切りつめてゆけば、

必然的にあるエネルギー源とも言うべき、エッセンス 根源へとたどりつく。

そして、その根源に宿るエネルギー源こそが、ありとあらゆる被造

物の起源でもある。

一見止まって動いていないかのように見える岩であっても、高度な電子顕微鏡でミクロレベルまでのぞくと、ものすごい旋回運動をしている、

ということをおなた方の科学者はすでに突き止めている。

それこそが、私が「動かざる動かし手」と呼ばれるゆえんだ。

波動だ。あるのは波動なのだよ。すべては波動で成り立っているのだ。

この宇宙はあなたも、そしてあなたの身のまわりのものも、大小すべては様々な波動の組み合わせによってできている。

このことについては、いずれ詳しく話すと約束しよう。

とにかく、今はいろんな波動の組み合わせによって、

この宇宙の森羅万象ができていると思っていればいい。

実は、あなた方も神だ。じしつてあるものこの宇宙に私以外のものはない。

私は全てであると同時に、全てでもないものでもある。

私は終わりもなければ、始まりもない。アルファにして、オメガだ。

私はこの宇宙で、たった一人の孤独な存在だ。そして、自らの意思でこの宇宙を創った。

ここに大きな木がある。木の幹を私とすると、枝は様々なバリエーションをとっている私となる。

葉はあなた方だ。だが、あなた方は葉ではあるが、木ではないと言えるだろうか？

もちろん、葉は木の一部だ。つまり、木が私ならば、葉であるあなた方も神に他ならない。

どうかな？うまくイメージできただろうか？

うわあ、驚きましたよ！

それじゃ、あなたは宇宙そのものってことになりますよね？

・・・ようやく気づいたのかね？

いやぁ・・・もう驚きのあまり、声も出ません。

声を出す必要はない（笑）

それともうひとつ、驚くべきことを教えてあげようか？

何でしょう？

私があなたに語りかけたとき、よもやあなたは、

この対話があなたにだけ語られていると、一瞬有頂天にならなかったかい？

え？どうしてわかるんですか？

おや、もう忘れてしまったのかね？

あなたは、私を誰だと思っているんだい？

と言いますと？

「神との対話」という本を読んでごらん。

そうすれば、私が語りかけたのは何もあなただけではない、ということがわかるよ。

・・・そんな本があったんですね。

あるとも。あなたは今まで見かけても無視し続けてきたけどね。

図書館でもインターネットでもいいから、検索してごらん。ヒットするはずだよ。

対話の記録は、大きく3冊（3部作）にまとめている。

わかりました。では、今度時間があつたら、ゆっくり読んでみることにします。

それにしても神との対話とは・・・これまたおおそれたタイトルですね。

この本の著者は、ものすごい切れ者だと思つのですが。

この本の作者ニール・ドナルド・ウォルシュは、私が遣わしたメツセンジャー（代弁者）の一人だ。

私がニールに語りかける前、彼は道に迷い、ひどく混乱していたのだよ。

つまり、今のあなたと非常によく似たところがあると言つてもいいね。

彼は行き詰つた己の人生に嘆き、挫折し、怒りに任せて便箋に向かい、私宛に手紙を書きなぐつた。

は？あなたに向かつて手紙を書いたんですか？

いや、正確に言つのであれば、私が彼の求め（声）を受信した！と表現したほうがわかりやすいだろう。

求めよ、さらば与えられん。彼は求めた。それも強く、激しく。

もつと正確に言つのであれば、私が書かせた！というのがより適切な表現だ。

いいかな、あれは私が書かせたのだよ。というより、書かせるように仕向けたのだ。

何人たりとも私の書いた台本（筋書き）に反して、動くことはできない。

このことについては、いずれ対話の中でじっくり話すと約束しよう。

うわあ、本当にビックリ仰天ですよ。

あなたは何でもお見通しなんですね！
まるでお天道様のようです。

あなたは今、私のことをお天道様だと言ったが、
この言葉が非常に重要な意味を帯びている、ということに気がついていない。

いいかな、私は誰がこの本を読むことになるのか、一人残らず知っている。

そして、各々がどういった目的で読むのかも、ちゃんと理解している。

あなた方の多くは外の世界を見るが、私は心の中を観る。

そこが私とあなた方の違いのひとつだ。

私たちは、あなたになることはできないのでしょうか？

あなた方は皆、私だよ。ただ、私が言っているのは、心の在り方（状態）のことだ。

あなた方の多くは、相手の意思に反してでも、己の欲求を力で押し通そうとするが、

私（と同じ心持ち・意識レベルになった者）は、決してそういうことをしないと云っているのだよ。

たとえ相手を殺めるのに正当な理由さえ見つかれば、その意思に反してでも、

己の意思を押し通してきたのが、あなた方の種が今までにしてきたことだ。

そして、そういった狂気のさたに振り回されながらも、なおも道に迷い続けてきたのがあなた方だ。

よもや神の庭に咲く花の中で、ひとつでも気に入らないものがある
と、庭全体をひっくり返すのかね？

それを現実にやってのけたのが、あなた方だ。そのあげく、花はど

こへ行ったの？とあなた方は嘆く。
それが戦争と呼ばれるものだよ。

うーん・・言ってることは何となくわかりますが、ちょっと引つかりますね。

これじゃ、まるで死刑制度を廃止しろ！のように聞こえますが？

私は良い、良くないとは言っていない。また、命令することもない。ただ、あなた方の種にとって何が役に立ち、何が役に立たないのかを観察し、

ありのままに述べただけだよ。いいかな、私は決してサイコロを振らないし、軍配もあげない。

私は観察者なのだよ。観察を裁きへと変えるのが、あなた方が今までにしてきたのであれば、

その根源が何なのかを、そろそろ突き止めなければならぬと言っているのだ。

あなた方がつくりだした法律の多くは、確かにそれなりの効をあげてはいるが、

その多くが柔軟性（融通性）がなく、

非常に練り固まった岩のように凝（拘）っていると言っているのだよ。

それじゃ、凝（拘）るのはいけないことなのですか？

凝（拘）るというのは、限定するのと同義語だからだ。

先ほども言ったように、この宇宙で動かないものはない。

私は動かざる動かし手だ。マクロのレベルで観察すれば、

地球や太陽も自転・公転しながら動いているのがわかるだろう。

そして、それこそがあなた方が原子や素粒子と呼んでいるものの正体なのだよ。

動かなくなること・・・つまり、止まることは、見方を変えれば、自由（神性）を喪失することに等しい。

つまり、死だ。屍（死んだ者）は動かない。否、動けない。だから、凝（拘）るとするのは、この命の躍動を封じ込めるのと同じなのだよ。

自分で自分の首を絞めることほど、おろかしいことはない。変化しなくなったものは、固定されている。だから、変わりなさい。臨機応変に対応し続けなさい、とすすめているのだよ。

でも、死刑制度がなかったら、被害者の方たちがかわいそうですよ。おまけに犯人の横着で生意気な態度には、腹が煮え繰り返りますよ。それに何の罪悪感も無しに、人を殺すような馬鹿たれどもを野放しにしる！とあなたはおっしゃるのですか？

それでは社会全体がアナーキズム状態になってしまいますよ。

観察を裁きに変えるのは不安だ。あなた方の種は、不安だらけだ。実は人間の最大の敵が、この不安と罪悪感なのだよ。

え？何ですって？

二度も言わせないでくれ。

人間の最大の敵は、この不安と罪悪感だと言っているのだよ。

不安はともかくとして、罪悪感が敵だと言っているのですか？

とにかく「神との対話」の1冊目の著書を読んでごらん。そのことに関しては、私がニールにすでに語ってあるから、そこを参考にするといい。

罪悪感というのは、自分の下した選択（決断）に価値がないと決め

付け、

それを抹消しようとする働きのことだ。

しかし、あなたが言いたいことはよくわかる。あなたは罪悪感と反省を置き間違えている。

前者は魂を萎えさせるが、後者は魂に糧（教訓）を与える。

息子よ、罪悪感と反省は、似て非なるものなのだよ。

そもそも罪悪感を感じて、何か良い試しがあったのかな？

あなたは一生、罪悪感を感じて、人生を最後まで安らかに謳歌できると思うのかな？

実は罪悪感と不安こそが、あなた方の修正すべき心の病なのだよ。

あなた方は、生れたときは裸で生れたにも関わらず、いろいろと着飾ってゆく内に、

失うのが怖い！という不安の種（因子）を、支える思考（あなた方の信念）へと植え込んだ。

そして、そのほとんどがあなた方の両親（の代から語り継がれてきた神話）によって、

教え（植え）込まれたものであることに気がついていない。

だから私は、もうそろそろ、新しい見方をしたほうがいい！とすすめているのだよ。

となると、死刑制度は役に立たないとおっしゃりたいのですか？

ひとつ提案してもいいかな？

どうして死刑囚（加害者）を、被害者への奉仕、および償い、または社会貢献への奉仕力へと利用（転用）しないのだね？

どうして彼らに償い（奉仕）の機会を提供してあげないのだね？

あなたが言うように、彼らが何の罪悪感も無しに、人を殺すような馬鹿たれだからかい？

あなたは目（という部分）が気に入らないことを理由に、自分で自分の目を刺して、

自分をさらに盲目にするのかな？それとも見えなくなった目を治療し、

明るい視野を取り戻すことを選択するのかな？

自分で自分の首を絞めることほど、おろかしいことはない、と私は先ほども忠告したはずだよ。

それなのに、まだ自分が憎くてたまらないと主張するのかな？

いいかな、息子よ。あなた方は私を含め、宇宙のすべての人、すべてのものと一体なのだよ。

すべてはひとつの生きたシステムの一部なのだよ。私はあなた方に、それを思い出させるために来た。

存在するすべてとの再一体化という経験を思い出させるために、すべての生命は、本当は「ひとつのものの現れ」であるということ

を、常に認識させるよう仕向けるためにあなた方のもとへと訪れたのだよ。

あなた方の法律が定めた死刑という制度は、被害者（被告）の一時の感情さえ満たせば、

それでいいと考えているが、宇宙が合意しないやり方で宇宙に影響を示せると思っているのは、

計り知れない傲慢なのだよ。

中でも裁き（俗に罰とあなた方が呼ぶもの）というのは、自然な結果を待つという辛抱強さがない証なのだよ。

この罰・・・つまり人工的に創られた結果が、さらなる悲劇を引き起こしているということにそろそろ気づいたほうがいい。

でなくば、延々と機能不全な悪循環のサイクルを空回りしなくてはならなくなる。

うわぁ・・・もう何と言いますか、反論の余地がないです。

言い負かされたと言いますか、論破されたと言いますか、ダイナミ

ツクな気分です。

あなた方は皆、本来は神の庭に咲く、世界でたったひとつの花なのだよ。

一人一人違った種（個性・神性）を持ち、

その花だけを咲かせるために一生懸命になることを忘れている。

私はあなた方に、それを思い出させるためにここへ来たのだよ。

いやあ・・・これまた驚きましたよ。

まさか、神様がスマップのファンだとは知りませんでしたよ（笑）

やれやれ、何をたわ言を言ってるんだろうね・・・この子は。

いいかな、あの歌の歌詞の大半を書いたのは私だよ。

というより、書かせるように仕向けたのだよ。

・・・もし、その歌の作者がそれを聞いたら、きっと不愉快になると
思いますが。

ふう・・・いいかな、あなた方の多くが発明や発見と呼んでいるもの
の多くは、

皆自分の頭の中から生まれた産物だと過信し、

有頂天になっているが、これはトンでもない思い違いなのだよ。

第一、なぜ技術がここ数百年足らずの間に、急激に進展したのか考
えたことあるかい？

人類史数千年と言えど、そのわずか数パーセント足らずの期間で、
技術革新が急激に興隆したのが、果たして偶然だとあなたは考える
のかね？

何が言いたいんですか？

よもやあなたは、水面下でもっと大きなことが進展しつつあることに気がついていないのかな？

あなた方の脳内に生じた閃き（インスピレーション）と呼ばれる現象は、

別の領域から来たものだと言っているのだよ。もちろん、この対話もその一部だ。

このことについては、私がすでに2冊目の著書のほうで、ニールに少し語ってあるから、そこを参考にするといい。

え？となると、あなたもその・・・別の領域とやらから来ていると言うのですか？

いやあ、ますます気になりましたよ・・・あなたはいつたい、何者なんでしょうか？

私は鉛筆であり、消しゴムであり、本であり、山であり、川であり、海である・・・などといった、

あいまいなはぐらかしは、もうお止めになり、そろそろあなたの正体を明かして頂けませんでしょうか？

私が言いたいことは、わかっているんでしょう？私が知りたいのは、あなたが「すべてであるもの・宇宙」の内の、どの部分としての存在なのか・・・ということですよ。

お願いですから、あなたが何者なのか教えて頂けませんでしょうか？

3冊目の対話の最後の章を読んでごらん。そこに私の正体が書かれてあるはずだよ。

対話のドサクサにまぎれこんで、私がニールにある衝撃的な事実を言っているよ。

あなたの言うように、私が「すべてであるもの・宇宙」の内の、どの部分としての存在なのか、を

いずれ明かしても良いが、今はまだ明かす訳にはいかない。

なぜなら、私の正体を明かしてしまえば、あなた方はきつと私の神

性を固定化し（こうだと決め付け）、

そのほかのありとあらゆるすべてにも、

神性・本質生命エッセンスが宿っているということを否定することだろう。

しかし、いいかな。たとえ如何なる極悪人であろうとも

（本当はあなたがそう思っているだけであって、極悪人というものは存在しないのだが）

、独裁者であろうとも、ホームレスであろうとも、

皆私が様々なバリエーションをとったものだということを忘れてはならない。

あなた方は分離と二元性の世界観に、自らを押し込んでいるが、分離などといったものは、究極の現実には存在しないのだよ。

これはあなた方の想像力イマジネーションが、勝手にでつちあげた幻想にすぎない。

この宇宙に存在する、ありとあらゆるすべては、根源のレベルでは互いに絡み合い、

密接につながりあいながら連動している。それゆえ、その一部を否定しているようでは、

私の側面しか見ていないことになる。最初のほうでも言ったように、

私は存在するすべてであり、かつて存在したすべてであり、

これから存在するすべてである。私は・・・つまり宇宙「すべてであるもの」は、

その中でただ、形を変えながら変化してゆくだけだ。

特にこのことをくまなく理解するには、三部作の対話全体をよく熟読しなければならない。

まあ、私の正体についてはいずれ詳しく明かすが、

今は宇宙浮遊霊のようなものだと思っていればいい。

わかりました。では、それらの本を一通り読み終えてから、

再びあなたにいろいろと質問してみることになります。

現段階の私では流石に知識不足のせいもあってか、

とてもついてゆけそうにない部分もあるかと思われまますので（恥）

よろしい（ただし、恥じることはない）。
私と対話を続けるのは一向にかまわないが、私のほうからひとつ提案してもいいかな？

何でしょう？

あなたはきつと、この対話の記録を本にすることだろう。
そして、より多くの人々が私の言葉を目にするだろう。
そこでひとつ提案があるのだが、もし、この対話の記録を本として出版するのであれば、
あなたは一銭たりとも、報酬をもらわないようにしたほうがいい。
そして、なるべく世間からあなたという存在が目立たないようにしたほうがいい。

え？ちょっと待ってください！

目立つ目立たないのはともかくとして、一銭たりとも報酬をもらっては駄目なんですか？！

私はもらっていけないとは言っていない。もらわないほうがよい、とすすめているのだよ。

批判と観察は似て非なるものだから、混同しないよう心がけておくべきだ。

前者は自分の嗜好（好み）であり、反対に後者は事実の指摘だ。

人はきつと、この対話があなただの頭が編み出した空想の産物にすぎないと主張するかもしれないが、

あなたはただ、黙していればよいと言っているのだよ。

とにかく、静かにしたほうがよいとすすめているのだよ。

しかし、報酬をもらわないとなると、どうやって生活しろというの

ですか？

あなたは私に死ね！とおっしゃるのですか？！

息子よ、真の宝は地に積むものではなく、天に積むものなのだよ。もし、あなたが報酬をもらえば、その時点で私と共同して仕事ができなくなる。

どうして私のメッセンジャーが報酬を独占し、独り占めできよう？ どうして対価（お金）を支払わなければ、私のメッセンジャーが受け取れないと言いつ張るのか？

いいかな、このメッセージは世界中のすみずみにまで広がり渡るよ、

子供から大人、貧しい人から裕福な人まで、そして誰もが簡単に読むことができ、

なおかつ、手ごろに入手できるよう、本来無料で配信されるべきなのだよ。

インターネットという素晴らしい媒体（道具）が与えられているにも関わらず、

なぜ活用しようとししないのだね？

特に私のメッセンジャーとして仕えるのであれば、

目先の短期的な利益よりも長期的なニルヴァーナを目標としたほうがいい。

目先のちっちゃな利益に目がくらめば、これから先の大きな計画に目処が立たなくなる。

あなた方の多くを観察していると、まるで首輪をくくりつけられた犬のように、

もうろうと日々を奔走し、それに振り回されているのがよくわかる。目先におかれた利益に食らいつこうとすればするほど、首輪のしめつけもより一層激しくなり、

そのあげくエサに手が届かないばかりか、あなた方はなぜ苦しむのだろう？と迷い（悩み）続ける。

だから、私は言う。静かにしなさい・・・と。

心を落ち着かせ、静寂の一時（中）に身を投じなさい・・・と。

（それでもあなた方は無視し続けてきたが）

そうすれば、一歩後退することにより、首輪（制約）から抜け出せることが自ずとわかる。

いいかな、同じ悪循環を今まで延々と繰り返してきたのが、あなた方人類なのだよ。

そう言われると、何だかムツと来るのは気のせいでしょうか。まるで馬鹿にされているような気がしてならないですが・・・。

私は、あなた方を馬鹿にしたつもりはない。

あなたが、私があなを馬鹿にしていると勝手に想像しているだけなのだよ。

（実は攻撃されたと感じる者は誰であれ皆、攻撃されたと勝手に想像し被害妄想に陥っているのだが）

観察されたことをありのままに告げられ、ムツと来るのは、

あなたのエゴがそうするからであって、あなたの知る事実とは何の関係もない。

海で泳いでいる内に、岸から遠くまで流された人の話を聞いたことがあるかな？

そこで流されておぼれて死ぬ人と、無事に岸までたどりつく人の違いが何なのか、

について考えたことあるかな？

あなたは、同じ境遇にさしかかりながらも、

全く異なった反応（対応）をする、二人の人間を観察したことがあるかな？

うーん・・・どうでしょうね。

その場合は、泳ぎが得意か不得意かの問題だと思いますが？

無事に岸までたどりつく人は、泳ぎが得意な人。

反対におぼれて死ぬ人は泳ぎが苦手な人・・・ではないのでしょうか？

それもひとつの答えだが、適切な答えとは言えないね。

と言いますと？

泳ぎが得意な人でも、おぼれて死ぬ可能性は十分にあると言っているのだよ。

実は海流の流れには、ある一定の規則性（法則性）というものがある。

皮肉にも、その流れとも言つべく、規則性（法則性）にあがらおうとすればするほど、

あなたは岸から遠ざかる。おまけに、もがけばもがくほど、

余計な体力までも消費し、あげくの果てに泳ぐ気力すら失くしてしまう。

そのような状態で、果たしてどうやって岸までたどりつくと思うのだね？

それじゃあ、いったい・・・どうすればいいんですか？

静かにすることだよ。

え？

じつと静かにし、流れ（プロセス）に逆らわないことだ。

抵抗はさらなる反発しか生まない。受け入れてはじめて、対象が消える可能性が高まる。

（あなた方は逃げる泥棒に対して「待て！」と言つが、相手が待ってくれるお人好しだと期待するのかな？）

その流れに身を任せてゆくと、ある時点ポイントで（海流の）流れが逆行していることにあなたは気づくだろう。

実は、それこそが分岐点ターニングポイントなのだよ。

その流れに身を委ねつつ、便乗しながら前進し続けてゆけば、やがて岸へとたどりつくための活路が見出されるといふ訳だ。

つまり、私が言いたいのは、物事には何であれ、

プロセス タイミング 過程と機会があるということだよ。

プロセス タイミング その過程に身を委ね、機会に意識を向けさえすれば、

あなた方はいつでも修正（やり直し）ができるのだと言っているのだよ。

相乗効果ってやつですね！

ほう、のみ込みの早い子だね。

あなたは、私が意図しようとしていることを、もう理解しはじめている。

いや、あなたの話を聞いている内にふと、頭の中に大好きなバンドの歌詞が流れてきまして（笑）

「相乗効果で良くなるう！同じベクトル持った僕ら、無敵！」ってね。

あなたは、その歌詞が偶然書かれたものだと思うのかね？

と言いますと？

私は最初にも言ったはずだよ。

この宇宙には偶然と呼ばれる現象は、ひとつもないとね。

物事には何であれ、きちんとした因果関係がある・・・とね。

うわあ、もう驚きの連続ですよ！

まさか、あなたがスマップだけでなく、B、Zのファンだとも知りませんでしたよ（笑）

いいかな、少年よ。このことをよく肝に銘じておくといい。

数ある芸術・発見・発明、および作詞作曲の中で、

私の影響を受けていない者など、何人たりともいないのだよ。

え？何ですって？！そ、それじゃあ・・・この世で起きている事象現象は、

何から何まで全部、あなたが事前に計画したことだとおっしゃりたいのですか？

となると、私たちは単なるかいらい（操り人形）だとおっしゃりたいのですか？

・・・あなたを満足させるような答え方はできないな。

しかし、あなたの洞察力の深さには、正直脱帽したよ。

まさか、この対話の序盤で、すぐに話題の本論を掴みとるとはね。

ただし、これは非常に難解な概念だから、今のあなたに話してもおそらくチンプンカンプンだろう。

とにかく「神との対話」三部作をすべて読み終えてから、また私の元へ来なさい。

そうしたら、まだ明かされていない、ある重大な7つの秘密を話してあげよう。

そうですね・・・わかりました。

私もどうやら、そろそろ体力の限界のようです。

もうそろそろ、休まないと体力が持ちません（笑）

今日はたくさんのご教示頂き、大変感謝しております。

またあなたと対話できると思うと、もう・・・自殺する気も失せまし

た（爆）

どうやら、私はあなたに救われたようです。本当にありがとうございます。

今日は何だか・・・ぐっすり眠れそうです。

もし、あなたが私に助け（の声）を求めているなければ、確実に死んでいただろうね。

恐いこと言いますね（笑）

もう二度と、自殺をしようとは考えたりしませんよ！

動機にもよるが、自殺をすると取り返しのつかないことになるよ。

まあ、このことに関してはいわずれ詳しく話すが、今日のところはここまでとしておこう。

また気が向いたら、いつでも扉をたたきなさい。

私はいつでも、あなた方を暖かく迎える準備が整っているから。

おやすみなさい・・・そして、ありがとう。

おやすみ・・・いとしの我が子よ。

つづく

命のたねやき【2】

2008年8月21日

<自宅ベッドにて>

こんにちは。神様、聞こえますか？

もし、私の声を受信されたのであれば、返事願います。

・私ならここにいますよ。

わあ！もう、ビックリしたな！

何の予兆もなしにいきなり現れるんですから、心臓が止まるかと思
いましたよ（笑）

驚かせてすまない（笑）

それで・・・対話のほうは、もう全部読み終えたのかな？

はい、三部作すみからすみまで、一通り全部読み終えましたよ。
あまりにも斬新的、かつ衝撃的な内容だったためか、
重要な箇所には線を引いたり、後から何回か読み返したりしました
よ。

よろしい。それで・・・私の正体がわかったかな？

ええ・・・あなたは、宇宙人だったんですね（笑）

・・・あなた方も宇宙人（正確には異星人なのだが）だよ。

え？

私から見ればね。

どういうことですか？仰っている意味がよくわかりませんが？

あなた方はアメリカ人を日本人だと言うのかな？

中国人をベトナム人と混同するのかな？それと一緒にのことを言っているのだよ。

3冊目の対話のほうでも少し触れたと思うが、あなた方はこの地球と呼ばれる星の者ではない。

このことについては、また機会があった時に、いずれ詳しく話すと約束しよう。

と言いますと？

種族の問題だよ。私はこの対話のはじめのほうで、

あなた方人類という種（正しくは地球人という種なのだ）と表現したが、

私という種と、あなたという種が違っているとやっているのだよ。

つまり、私から見れば、あなたは外国人（外来種）だということでしょうが？

そうなるね。

でも、私から見れば、あなたも外国人（外来種）になるが（笑）

いやあ・・・こりゃ一本とられましたよ！

あなたは、本当にお笑いが大好きなんですね（笑）

あなた方が宇宙人と呼んでいる（地球人以外の種）多くは、

(私を含め) 皆、お笑い好きでイタズラ好きだと知らなかったのかな？

彼らの多くは今日もどこかの星で、私とあなたが今しているようなことをして、

遅れた星(文明)に手をさしのべているのを楽しんでいるのだよ。

そもそも、笑うこと自体、魂に良いのでしょうか！

それに・・・ゴミが散らかっていないければ、

掃除屋さんも存在する意味がないのでしょうか。

ほう、よくわかっているじゃないか。

どうやら、本当にくまなく熟読してきたようだね。

そりゃあ、もう2ヶ月以上もかけて、じっくり読みましたよ！

それに・・・一字一句、読みもれがないよう、真剣に読み返したほどです(笑)

おまけに徹夜して、へとへとになるまで読みましたよ。

それは結構。あの三部作は、私とニールの努力の結晶のもとに書かれたものだ。

まあ、道中多少の道草もくったが、彼は最後までよくやってくれたよ。

もし、彼があこの対話を書いていなかったら、この対話も生まれていなかっただろうね。

・・・ニールさんも当初は、私のように心に深刻な悩みをかかえておられたんですね。

何だか、ちよっぴし親近感が持てましたよ。

もし、今度時間があれば、是非ともお会いしてみたいものです。

会うのはかまわないが、会ってどうするんだね？

それに彼は、日本語が話せないよ。それで・・・あなたは英語が話せるのかな？

・・・今さら後悔しても後の祭りなのは、よくわかっています。

そりゃあ、もつと真面目に勉強していれば、良かったと思ってますよ。

だから会う時は、たぶん・・・通訳をつけると思います。

それで・・・あなたは通訳を当て（頼り）にするのかな？

何が言いたいんですか？

どうして、自分で学ぼうとしないのだね？

そんな・・・今さら学んでも、もう遅すぎますよ！

それに私には時間があまりないですし、学んだとしても完璧にマスターできるとも限りません。

あなたは、そのように思い（信じ）込んでいるのかな？

え？

あなたは本来、無限の能力（可能性）を持ち合わせておきながら、再び有限的な枠組み（制約）の中に自分をはめ込むのかな？

あなたは、自分の考え（思い込み）で自分の可能性を狭めている、ということにまだ気がつかないのかな？と言っているのだよ。

私を馬鹿にしているんですか？

ほら、またはじまった・・・あなたを導いていると、時々疲れてくる。私は対話の中でも言ったはずだよ。あなたは日々、考え・言い・行動することによって、

（意識的であれ、無意識的であれ）自分の在り方を宣言し、あなた方の周りの環境を創造し決定していると。

思考・言葉・行為は、創造のツールだと言わなかったのかね？

そして、あなた方は舌先三寸で宇宙を突き動かしていると、歴代のマスターを通して

語ってきたということ、もう忘れてしまったのかな？

もう一度、一冊目の対話を読み返してごらん。

そうすれば、あなた方がどれだけ自分の考え（精神）に日々、振り回されているのかが、よくわかるよ。

そういえば、1冊目の対話のほうでも言っておられましたね。

何でも・・・思考・言葉・行動のパラダイムを逆転させることが大事だって。

やはり、物事は何であれ、行動重視ってことでしょうか？

今、行動に移さなかったら、いつやるのだね？

明日か？明後日か？明々後日か？10日後か？それとも1年後か？

もし、あなた方がすべてにおいて、最善を尽くしたいと望むのであれば、

とかく精神に口出しさせるのを止めたほうがいいと、私はすすめて
いるのだよ。

だから、私は1冊目の対話のほうで「行動する前に考えよ」という考えは忘れたほうがいい、と提案したのだよ。

いいかな、一日伸ばしは、時の盗人なのだよ。このことをよく肝に銘じておくといい。

ちょっと待ってください！

それじゃあ、眠くなっても、「あゝ眠い！」なんて言っちゃいけないってことですか？

痛いのに「気持ちいい」って言えってことですか？苦しいのに「楽しい」と言えってことですか？

自分の感じていることと正反対のことを言ったら、何だか矛盾しているような気がしてならないのですが。

あなた方の多くは、無意識の内にそれをやっている。

私はもつと、意識的に日常を創造することを呼びかけているのだよ。とにかく行動は何であれ、意図的にしなさい。そうすれば、習慣の産物でなくなり、

物事の原因になることができる。ただし、望む在り方をしようと思うのであれば、行動では得られない。

と言いますと？

行動は「在り方」を創造しない。

あなた方が何かを望む（欲する）時、

宇宙はその「望んでいる（欲している）」という状態をあなた方に経験させる。

不足だ！足りない！と主張する人たちの多くは、

自ら（の魂の在り方）でその状態を創造していることに気がついていない。

宇宙という巨大なコピー機は、ただ純粹にあなた方の日々の考え・言動に照らし合わせながら、

そっくりそのままのものを、あなた方へと提供^{プレゼント}する。

アラビアンナイトの中に出てくる、ランプの精の話聞いたことがあるかな？

あれとまったく一緒に、ランプの精という名の宇宙（魔法使い）は、あなた方が望み信じ、思い込んだものを忠実に再現（創造）してく

れる。

ただし、ここで注意してほしいのが、「行動する」「ことと」「在ること」「を同じだと思っではならない。

「行動する」「ことと言つのは、あくまで身体の働き（機能）のことを言つ。

反対に「在ること」というのは、魂の働き（機能）のことを言つ。この魂と呼ばれるエネルギーは、常に何かをしようとしている・・・そう、

毎日、毎分、一瞬たりとも休まずに、常に何かをしようとしている。そして、あなた方に何が起ころうとも、決して、

この「何かをしよう」とするスイッチを止めることはできない。つまり、身体というのは魂に促されて何かをするか、それともそれに反して何かをするか、のどちらかしかない。

実際、あなた方の人生の質は、このふたつのバランスによって決まってくる。

とくに霊的なマスターたちは、魂が追求しているのは「在り方」であって、

何をしているかではないということを知っている。

さらに、あなた方の魂の一つひとつの深い部分では、彼らが私の分心（分身）であり、なおかつ、それを知っている。

さらに魂は、それを経験しようとする。何もせず・・ただ「在る」ということを。

この真実を知らないがために、望むような「在り方」をしようとする人たちが、

あなた方の時代には圧倒的に少ない。だから、

他のひと（教師や親）から植え込まれたイデオロギーに対し、いともたやすく影響されてしまう。

存在は存在を引き付け、経験を生む・・あなた方は身体によって何かを生むために、

この地上にいるのではなく、魂によって何かを生むために、この地

上にいるというのを忘れている。

人は見たものが信仰になるのではない。信じたものが見えてくるのだよ。

ただ、あなた方の多くは、それを無意識的にしていると云ってるのだ。

いいかな、あなた方は自分が自分の現実の創造者なのだよ。

このことは、いくら強調してもしすぎることはない。

となると、我々は惰性で創造しているとおっしゃりたいのですか？

まあ、そんなところだな。

あなた方の社会を観察していると、

ほとんどの人たちが「しなければならぬこと」「に心を奪われている」。

大半の者が「すること・しなければならぬこと」「にかまけ、慌しく動き回っているのがよくわかる。

みな、狂ったように何かを「している」が、とても楽しんでいるようには思えない。

つまり、あなた方の社会では、極端に行動を重視するあまり、

「しなければならぬ」ことに価値を置いている訳だ。

しかし、もっと別の見方（視点）もあるということにそろそろ気がついたほうがいい。

多くの者は慌しく動き回り、行動してはいるものの、そのほとんどが達成感がなく欲求不満に陥っている。

それゆえ、ほとんどの人は周囲のモノを動か（労働）し続けることにより、

前進しているかのような錯覚を抱く。果たして、そのような状態・環境下で、

どうやって「すべてであるもの」とのつながりを認識できよう？

うわあ、厳しいお言葉ですね。

あなた方の多くは、他人が敷いたレールの上を走っているということに、

そろそろ気がついたほうがいいと言っているのだよ。この対話の目的のひとつは、

自分でレールを敷くための呼びかけ、という意味合いも含まれている。

とりわけ、あなた方の時代には、生きるのを忘れている人たちがあまりにも多すぎる。

人の目が気になり、自分の思ったとおりの生き方をあえてしない人たちだ。

しかし、黙って人から押しつけられた人生を歩んでゆくほど、ガツカリしたり、イライラしたりするものはない。

受け身で生きるよりも、主体的に生きることのほうが価値があるとおっしゃりたいのですね？

あなた方の多くは、そのゲームを楽しむことを忘れている。

(実はこの宇宙という舞台^{ステージ}では、そのゲームが主流なのだ)

そして、他人の視線を気にするあまり、自分の意見を言うことを極端に恐れている。

しかし、いいかな。他人の敷いたレールの上を走っている限り、あなたは他人の所有物なのだよ。

一個の確かな自己意識を確立させ、巣立ちたいのであれば、自分で考え・言い・行動し判断しなければならない。

それを選択し決定している時にこそ、

あなた方は自分自身を新たに再創造(re-creation)することができる。

それには自分のやっていることが、本当に自分のやりたいことなの

かどうかを、

確かめ点検しなければならぬ。

だから、「人と同じやり方はもうたくさんだ！」と決意しない限り、あなた方は羊の群れの中から抜け出すことは難しい。

ゆえに、自分の身に降りかかることは、何であれすべて自分に責任がある。

うわぁ、ダイナミックですね。

ふむ。ニールは私のことをクールだと表現したが、あなたはダイナミックだと表現する。

言ってることは、何となくわかりますよ。

そういえば、最近では草食系男子（恋愛に消極的な男性のことです）なんて言葉も出てきましたね。

彼らもやっぱり受動的ゆえに、揶揄されているのでしょうか？

・きついことを言うが、ライオンが口をあけていれば、

シマウマが自ら飛び込んでくると考えるのかな？

何もせず、口さえばかんとあけていれば、誰かが食べ物を運び入れてくるなどといった、

甘ったれた考えを持つのか？あなた方の多くは、

自分で自分を世話（管理）することよりも、他人に世話（管理）してもらおうと期待している。

そして、他人がその期待に応じてくれないと、すぐに心理的な葛藤を経験し、

周囲の者へ八つ当たりをする。

あなたが言う草食系男子と呼ばれる人たちには、大きく分けて2種類（カテゴリー）の者がいる。

ひとつめは、恋愛そのものに対して、さほど関心（興味）がない者

たちだ。彼らには別の趣向がある。

そして、ふたつめは、振られるのを極端に恐れている者たちだ。彼らはこだわっている。

一度パートナーになったら、お互い同士に束縛しあうものだと、それ以前にそうでなければならぬものだと思いついでいる。

しかし、これは偏った見方だということに気がついたほうがいい。いいかな、人に世話してもらおうなどと思いついておくと、来世は植物になってしまうよ。

え？何ですって？！

・・もうそろそろ、この対話の本題に移ろうかと思つていたころなのだよ。

三部作でも語っていない、新たな秘密をここで明かそうとしているのだよ。

と言いますと？

では、ここでひとつ目の秘密を明かそう。

<秘密？>

現世（この世）での生き方が、あなた方の来世の姿キャラクターを決める。

どういふことですか？！おっしゃっている意味がよくわかりませんが？

人間（の魂）は、人間にしか生まれ変われないんじゃないのですか？

まあ、とにかく聞きなさい。

あなた方はこれまでに数多くの輪廻転生を繰り返してきたが、それもいよいよ残り少なくなり、

これから先（来世）は人間になる者とそうでない者・・・つまり自然界の環境下で生きる者たち、

（俗にあなた方が動植物と呼んでいるもの）とに振り分けられてゆく。

残念ながら、残された時間はあまり多くはない。魂の総決算の日は、すでにそこまで来ているのだよ。

どちらが良いという訳ではないが、もし来世も人間として生きることを選択するのであれば、

現世で意識レベルの向上に努めなければならない。つまり、認識の度合いを高め、

観察力を鍛えなければならない訳だ。そのためには魂（心）の容量キャパシティを、

人間の魂の大きさにまで大きくしておく必要がある。

魂（心）を大きくするのですか？

そう。ただし、そのことについて語る前に、

まず話しておなかけなければならないことがいくつかある。

とはいっても一旦、話し出すとキリがなくなるから、また続きは次回にしよう。

あなたはもう、そろそろ身体を労わるべき頃だ。

わかりました。とても名残惜しいですが、

私も今日は眠くなってきましたので、もうそろそろ寝ます。

今日はいろいろとご教示頂き、どうもありがとうございました。

また、機会があつた時に私を訪ねるといい。

そうすれば、今日の続きから話してあげるとしよう。

では、おやすみなさい。

おやすみ、いとしの我が子よ。

つづく

命のたねやき【3】

2008年8月24日

<自宅・ベッドにて>

神様、おられますか？

もし、私の声を受信されたのであれば、お返事願います。

私ならここにいるよ。

それで・・・この間の続きを話そうと思うのだが、準備のほうは整っているのかな？

はい、いつでも準備はOKですよ！

よろしい。では、はじめるとしよう。

あなたは以前、私に「この世で起きている出来事や事象現象は、何から何まで全部私が事前に計画したこと」だと、問いかけたことがあったのを覚えているかな？

ええ、それがどうかしたのですか？

実はこの問いに対する答えは、ある意味ではイエスだ。

ただし、あなたが理解しているような形とはまた一段と異なる。

と言いますと？

この世は何から何まで、万事私の書いた筋書きどおりに成り立っていると言っているのだよ。

この筋書きのプロット（骨組み）は、あなた方がこの世に生まれて

くる前に、

霊こゝろの領域で自分で納得して書いたものであり、それを演じきるために、

あなた方は自らの記憶アイデンティティを捨て、この場所（地球）へ訪れている。

シェークスピアは「全世界は舞台だ！人間は役者だ！」と言ったが、今そのことを説明しようとしているのだよ。

つまり、あなた方の決断（act）は、文字通り演技（act）でもある。そう、あなた方は演じている。

実は、あなた方は皆、記憶喪失中の役者（宇宙人）なのだよ。

ゆえに、この宇宙で偶然と呼ばれるものはない。

そこで二つ目の秘密を、ここで明かすでしょう。

秘密？

この世は筋書きであり、あなた方が納得して書いたものである。

ある役割を自ら創造し、その人物（役）になる。ただし、これはその振りをするのではない。

あなた方がどのような役を演じるか、

どのような存在になるかは、あなた方自身で選択して決めている。

ちょっと待ってくださいよ！

となると・・・いつ、どこで、誰と結婚し、どこで死ぬのかも、全部あらかじめ、自分で書いた筋書きだとおっしゃるのですか？

それじゃあ・・・交通事故で亡くなる人や不慮の事故で亡くなった方も、

みんな彼らが自分自身で選択し書いた筋書きだということになってしまいますよ！

・・・あなたは、タイタニック号が沈没する物語を描いた小説を読んだことがあるかな？

しかも、それがタイタニックが沈没する前に書かれたものだぞと知っ

たら、驚くかな？

（あの事件は、大きさを誇った船で沈没した船は、「絶対に沈まない！」との慢心があった、

という教訓を筋書きとして残すよう、組み込まれたものだとわかれば、

世界中が固唾をのむことであろう）

シンクロシテイ デジャブ
共時性や既視という言葉聞いたことがないのかね？

すみません・私はあなたほど博識じゃありませんし、成績はいつも下位クラスでした。

それに本もどちらかというと、あまり読まないほうです。

しかし、デジャブという言葉なら知ってますし、実際に何度も体験したことがあります。

確か「以前にもここを訪れたことがある！」、

「どこかで見えたことがあるぞ！」・・的な感じの脳内現象だと、私たちの現代科学では定義づけております。

あなた方は、これまでに何度（何回）も死んでいる・・と言ったら驚くかな？

え？何ですって?! どういうことですか?!

奇跡の確率について、考えたことがないのかね？

急死に一生で、瀕死の状態から運良く息を吹き返した人の話を聞いたことがないのかね？

私は3冊目のほうで、あなた方はいつでも望めば、

死ぬ前の・・つまり、いのち霊の次元へと移行する前の状態に戻れると語った。

つまり、いつでも望めば、死から引き返すことができる。

今、そのことを説明しようとしているのだよ。

・っつてことは、この人生というゲームには、
コンティニュー（やり直し）があるとおっしゃりたいのですか？

ほう、よもや9つの命ライフを持っているのは、猫だけだと思ったのかね？
ここまで来て、あなたは、まだこの宇宙に偶然があると言い張るの
か？

うわあ、もうビックリ仰天ですよ！

驚きのあまり、もう何から切り出せばよいのかわかりません。

まあ、とにかく聞きなさい。

三部作をひととおり読み終えたのであれば、時間と空間の概念につ
いても、

おおよそのイメージができてることを前提に話すとしよう。
また、読んでいない者のために、おさらいとしてもう一度簡単に触
れておこう。

基本的なことは2冊目の対話のほうでも、すでに触れたと思うが、
時間などというものは本来存在しない。あるのは「永遠の今」、た
だそれだけだ。

あなた方が過去や未来と呼ぶ現象はすべて今、現在、起こっている。
すべては「今」という「一瞬」の中に凝縮され、ただ移ろいながら
変化してゆく。

わかりやすい例でたとえるなら、アニメーションのようなものだ。
すべてのコマ（紙）は同時に存在しながら、個々が様々なバリエー
ションストーリーに応じて変化しつつ、
ひとつの物語をつくりあげているのだ。

そして、ここから重要なポイントだ。いいかな、コマの一つひと
つには、生命が宿っている。

その生命という言葉エネルギーと置き換えても良い。

アニメーション (Animation) という単語の語源は、
Animate (命を吹き込む) と motion (動き) が組み合
わさったもので、
ふたつが合わさってはじめて、命の躍動を生む。
ゆえにそのコマ (紙) の中の登場人物^{キャラクター}である、あなた方は、
ひとつの命 (宇宙) というシステムを構成するパーツでもある。
だから、私は、この宇宙でバラバラなものはない、
私たちは皆、一体である、と常に数多くのメッセンジャーを通して
語り続けてきた。

(皮肉にもあなた方は彼らのメッセージを理解できないことを理由
に、彼らを追放し殺害してきたが)
躍動しながら動き変化する生命・それが私であり、あなた方だ。
つまり、神とは形を変える生命^{エネルギー}でもある。ここまでは大丈夫だろう
か？

この話は2冊目と3冊目の対話のほうでも、取り上げておられまし
たね。
私たちが過去や未来と呼ぶ現象は、すべて「今」という現在進行形
で実際に起きていたのですね。
つまり、この宇宙はパラレルワールドってことなのでしょう。

そう呼ぶ者もいる。もう一度念を押して言うておくが、
過去と未来に起きた・または起きうる、ありとあらゆる出来事、お
よび可能性は、
すべて、すでに、そして今、現在、起こっている。
実は物理的な現象というのは、映画やアニメーションと同じ原理で
できている。
つまり、すべてひとコマひとコマで創られており、かつそれらはす
べて今、存在している。

今、あなた方が感じている現実というのは、コンピュータの二進法

のように、

ON/OFF/OFF/OFF・・といった具合に、ふたつの状態の切り替えによってカチカチ動いている。

それでもって、このON/OFFの切り替えは、無限の周波数で起きている。

つまり、あなた方はいろいろな次元で同時に動いており、かつ同時に様々な体験をしている。

だが、映画の映写機を回す者・・つまり、観察者としての私（神）からしてみれば、

すべてのコマが同時に自分の目の前に存在することになる。

しかし、反対にフィルム（コマ）の中の登場人物は、ひとコマずつ体験していかなければならない。

別の見方をすれば、あなた方の物理的3次元というのは、ちょうどこの映画のひとコマひとコマにあたると言ってもよい。

ゆえに、この世の現象（出来事）は、何から何まで全部、あらかじめ精巧に仕組まれている。

特にあなた方が「デジャブ」と呼んでいる現象は、それを体験するための最良のツールだ。

もう一度念を押して言うておくと、宇宙に偶然（奇跡）なんてものは存在しない。

何を選択するかによって、未来（結果）が良くもなり、悪くもなる。

しかし、クライマックス（核心）となる箇所は、何があるとも絶対に変えられやしない。

つまり、定められた未来・・そう、確定未来（刷り込まれた台本）が存在する。

だから、キリストと呼ばれたマスターの一人は、彼の弟子のひとりに対して、

「雄鶏が鳴く前に、お前は私を3度否定するだろう」とハッキリ宣告することができた。

過去に生きていた者、俗にあなた方が、先人と呼ぶ古い魂は皆、今、生きている。

そして、あなた方もかつて（今）、そこへ参加していた（る）。それが輪廻転生と呼ばれるものだ。ただ、それらの振動が非常に繊細なために、

あなた方はそれを敏感に感じ取れないでいるだけなのだよ。

しかし、例外として、あなた方の中でその振動をキャッチし、読み取る能力に長けた者がいる。

超能力者・預言者と呼ばれた者たちだ。彼らはその繊細な振動をとらえ、

それを彼らの言葉に翻訳しながらあなた方に言い聞かせる。

その途中で予言が外れることも、しばしばあるだろう。

そして、あなた方の多くは「こいつの予言は外れたぞ！」と鬼の首を取った勢いで喜びはしゃぐ。

しかし、彼らはただ単に、いろいろなバージョンの未来（窓）をかいま見たにすぎない。

それゆえ予言が外れたとしても、必ずしも外れた訳ではなく、どこかで台本シナリオが刷りかえられたという可能性がある。

なぜなら、この台本には、無数の分岐点ターニングポイントがあるのだから。ここまでは理解できただろうか？

つまり、過去や未来には様々な側面バージョンがあるとおっしゃりたいのですね？

そう。それらのバージョンはすでに、何千何万通りという違った形で「永遠の今」という、

計り知れないほど巨大な図書館の中にある、

数ある本の内の一冊の中で「今、起こっている」ということだ。

宇宙という名の図書館に収蔵されてある本は、どれも違ったタイトルだが、

どれもひとつの図書館（宇宙）の中の本にすぎない。^{ページ}
それと同様、本の中の「コマ」コマのページは、他のページとは異なるが、

どれも一冊の中のページにすぎない。

そして、これらの本がいくつも集まることによって、

ひとつの図書館（宇宙・全体）ができています。

実は本は無限に存在し、なおかつモザイクのように変化し続けている。

また、この「本」を「次元」と置き換えても良い。

つまり、あなた方がいる世界は、数ある本の中の一ページにすぎないという訳だ。

ここがパラレル宇宙のおもしろいところだ。どうかな？イメージできたらどうかな？

うわぁ・・・何だか、とつても斬新ですね！

どうぞ、続けてください。

よろしい。ここから少し話題が難しくなるが、がんばってついてきなさい。

それで話を一旦戻すが、私は先ほど、「永遠の今」という図書館の中には、

たくさんのお本が収蔵されており、あなた方がいる世界（地球）は、その本の中の一ページにすぎないと表現した。

それでひとつ秘密を明かすが、もし、月や火星、金星にもあなた方のような人類が存在し、

なおかつ彼らの文明を営んでいると言ったら驚くかな？

え？何ですって?!それは本当のことですか?!

まあ、当惑するのも無理はない。わかりやすくイメージできるよう、

あなた方がいるこの地球（という次元）の世界（本）を仮に本Aとしよう。

そのようにたとえた場合、火星や金星の世界を本B、本Cとたとえることができる。

今、それを説明しようとしているのだよ。

ちよつと、ちよつと！冗談もいいところでしように！

金星の表面温度は摂氏400度ぐらいの高温で、とても生物が生息できるような環境ではないですよ！

それにもし仮に行けたとしても、鉄の塊でできた宇宙船であれ、一瞬でジュツと溶けてしまいますよ！

そんな世界に人類はおるか、バクテリアが存在していただけでも、かなりの奇跡ですよ！

息子よ、天と地の間には、おまえの哲学では推し量ることができないものがあるのだよ。

自分の考えを自由に述べるのはかまわないが、人の話は最後まで聞いたほうがいい。

皮肉を言う訳ではないが、あなた方地球人は、外の見えない金魚鉢に入れられた金魚のようなものだ。

そして、金魚は金魚鉢の中にあるものだけが、全てだと思って暮らしている。

しかし、鉢の外には動物や植物など、多種多様な生命で満ち溢れている。

だが、金魚にそのことは理解できない。

ごめんなさい・・・どうぞ、続けてください。

どうも私は幼い頃から、せっかちで早とちりな面があるようです（恥）

何も恥じることはない。そして、あせることもない。
力めば力むほど、苦しみがより増す。自分が急いでいると感じたら、
とにかく一旦止まりなさい。
静かにし、流れ（プロセス）に身を委ねるすべを探しなさい。もっ
と、謙虚になるよう努めなさい。

ありがとうございます。

どういたしまして。それで話を元に戻すが、私は以前、この対話の
はじめのほうで、

この宇宙に存在するありとあらゆる森羅万象は、様々な波動の組み
合わせによってできている、
と語ったが、そのことは覚えているかな？

ええ、覚えてますよ。

そのあと、量子論の本も何冊か読みあさったのですが、
やっぱり基礎知識不足のためもあってか、読んでもまったくチンプ
ンカンブンでした（笑）

よろしい。では、はじめよう。

3冊目のほうでも少し触れたと思うが、
宇宙の根源からは7つ（7種類）の波動が絶えず発せられている。
そして、この7つの波動（調味料）を自在に組み合わせることによ
り、

様々なバリエーションの被造物（料理・作品）が創られている。
7は完成を表現し、7の変化が完全に調和された時、またもとのひ
とつに戻る。

ゆえに7は完成であり、完成は一なる源に還る。

大宇宙の無限数に近いそれぞれの波動を大きく分類すると、
最終的には、この7つの基本波動へと辿りつく。小さいものでは分

子、

電子、大きいものでは宇宙に散在する大星群のような島宇宙に至るまで、

いずれもこの7つの基本波動が交差することにおいてできている。

実はこの7つの波動は、あなた方の身体で言えば、7つのチャクラに相当すると言っても良い。

つまり、あなた方はマクロ宇宙の生き写しであるのと同時に、ミクロ宇宙たる存在でもある。

そして、このふたつは、深いレベルで密接に繋がりがいい、
全体の中の一部分として機能している。

つまり、あなた方はマクロのスペースにおける万有であると同時に、ミクロのスペースにおける万有でもある。

その中で地球という星は、この計り知れないほど巨大な生命の中の小さな一部分であり、

ほんの小さな点のようなものだ。その中に住むあなた方人類を含めた、

その他のありとあらゆるすべては、さらなる一部、はたまたほんの小さな点のようなものにすぎない。

そして、さらにあなた方の中にもいろいろな点（小宇宙）があり、それはあなた方全体と比べれば、ほんの小さな一部にすぎない。

つまり、あなた方が宇宙と呼んでいる、とてつもなく巨大な空間の正体は、

ある巨大な生命体の身体の中に展開されたジオラマ小宇宙にすぎないという訳だ。

そして、あなた方の身体の細胞の中の、そのまた奥にも、無限に小さな宇宙が展開されている。

無論、その中の住人からしてみれば、あなたという存在は計り知れなく馬鹿でかい生命体だ。

ここまではイメージできただろうか？

うわぁ・・・ダイナミックですね！
それじゃあ、身体＝小宇宙という医学界の認識は、
見事的に的を射ているとも言えますね。

・・・あなた方の科学者の一部は、
宇宙がフラクタル構造になっている、ということを手ですでに突き止めて
いるね。

すみません・・・フラクタル構造って何ですか？
はじめて聞く言葉で、よくわからないのですが。

ブロッコリーの房の構造をよく観察してごらん。

そうすれば、全体（大きなブロッコリー）の中に、部分（小さなブ
ロッコリー）があるのがわかる。

宇宙は細胞（生命）の連続体スケトルのようなものだ・・・そう、自己相似性フラクタル
だ。

その中でも人間（創造者）という生命体は、オリジナルの私・・・つ
まり根源神の鋳型なのだよ。

この際全部、正直に話すでしょう。実はあなた方が大宇宙と呼んで
いるもの（生命体）は、

オームという巨大な根源神（生命体）の身体の上に展開されたジオ
ラマ小宇宙だ。

また、オームは言葉のとおり？大無？でもあり（日本語は実によく
できているね）、

それでもって、彼の容姿はあなた方、人類の身体によく酷似してい
る。

つまり、あなた方、人類の身体は大宇宙オームに似せて創られたとも言え
る。

さらにオーム宇宙以外にも、その他の大宇宙もいくつもあり、
そのどれもが巨大な人間のような姿かたちをとっている。

そして、あなた方が今、住んでいる銀河系というのは、オームの身体で言えば心臓部にあたる。

(まあ、さしずめ部位で示すなら、心室というところだが)
また、あなた方の科学の中にビッグバンという理論があるが、これはオームがまだ成長段階にある若い宇宙だということを意味する。(その証拠にあなた方も成長するにつれ、徐々に身体つきが、がっしりと大きくなってゆくだろうか?)

つまり、あなた方の身体を構成している細胞の一つ一つが、お互いに助け合っているのと同様、

ひとつの宇宙もひとつの意識(法)の下に、バランス良く統治されている。

その意識(根底)こそが愛であり、助け合いの精神であり、無私の極み(無我の境地)でもある。

ゆえに究極の現実には愛しかない。それ以外のものはみな、幻想にすぎない。

仏陀、キリスト、クリシュナ・マスターその他聖人と呼ばれた者たちはみな、

この境地に達していた。ゆえに愛は・・・援助でもある。

もたらされた(送られた)援助・・・即ち、a i d・・・a i d・・・愛・d(動詞の過去形)でもある。

それが延々と輪のように繰り返されているのが、この無限宇宙の真理なのだよ。フラクタル

宇宙は生きている・・・その中の一つひとつの細胞(個性)に宿る生命体に、命があるのと同様に。

そして、この宇宙には何光年という、
ひとつの宇宙が生滅するほどの長さの寿命を持つ生命体もいれば、
生まれてほんの数秒単位で死ぬ生命体もいる。これは時間のフラクタルと呼ばれる概念で、

あなた方が時間と呼んでいる波動は、バイブレーション
生態系のレベルに反比例するようになっている。

だから、ある極小な生命体（小宇宙）にのつての数億年は、その生命体を構成する、

極大の生命体（大宇宙）からしてみれば、ほんの数秒単にすぎない。宇宙は呼吸し、愛し、語りかけ、そして常に動き（回転し）続けている。

すなわち、極大と極小、いずれの方向にも無限・それが宇宙の本当の姿なのだよ。

どうかな？ スツキリしただろうか？

お見事です。感無量です。

お褒めにあずかり、光荣だよ（笑）

少し寄り道をしたが、話を再び戻すでしょう。

私は先ほど、地球以外の（あなた方が惑星と呼ぶ）星にも様々な生命体が存在すると語ったが、

振動の密度が異なるため、あなた方は彼らを検知することはできないことを明かした。

というのも、この波動には荒いものから繊細なもの・千差万別に分かれており、

あなた方の地球のような荒い波動では、繊細な領域の波動を捉えることはできないからだ。

だから、向こう側からあなた方の世界が観察できたとしても、あなた方のほうから彼らを観察することはできない。（一部の者たちを除くとして）

そうだな・ちょうど、今のあなたが私の姿を捉えることができないのと同様。

実はこれこそが、あなた方が次元と呼んでいるものの正体なのだよ。とくに透視能力者のデビッド・モアハウスは、このことをよく理解している。

だからこそ、彼は、

「おそらく一番理解し難いのは、人間がまったく取るに足りない存在だということだ。

人間は、ひとつの次元内のちっぽけな存在にすぎない。

次元は他にもあり、そこには数え切れないほどの世界が存在する。無数の世界だ。私たちの世界は本の1ページにすぎない。

永久に巻数が増え続ける分厚い百科事典の一冊の、そのまたごく薄い1ページだ」

と語った。実際そのとおりだ。ページは無限大にある。(今も増え続けている)

そして、本も無数にある。しかし、どれもひとつの図書館という名の宇宙(全体)を構成する部分パーツにすぎない。

だから、この宇宙では互いに離れ離れなものは存在しない。離れる・つまり、a part というのは、

独立した一部分(a part)にすぎない。そして、あなた方が今訪れている、

本Aという地球の次元では、もうじき魂の総決算に入る時期が訪れようとしている。

あなた方の聖典の中の言葉を借りて言うなれば、最後の審判のようなものだ。

ただし、審判とは言っても、誰かに裁かれたりするという意味ではない。

あなた方の宗教が言ってるような、恐ろしい形相の閻魔大王が嘘をついた罪人の舌を引っこ抜いたり、

熱い釜湯で地獄へ突き落としたりするという意味ではない。

と言いますと？

実はあなた方は、自分で自分を裁くのだよ。

自分で撒いた種は、自分で刈り取る。これが私が定めた法則のひとつだ。

何人たりとも、この法則から免れることはできない。

因果律の働きは完璧だ。原因があれば、数学的正確さをもって結果が生じる。

その原因と結果の繋がりにすんごうたりとも、影響を及ぼす力を持つ者は誰一人とていない。

(影響を及ぼせると思っ込んでいること自体、計り知れない傲慢なのだが)

この法則は根源的なものであり、宇宙の基盤であり、絶対に何があるうとも変更不能のものだ。

つまり、自分が種を蒔いたものは自分で刈り取る・・・これが宇宙の絶対的摂理でもある。

ゆえに原因があれば、それ相当の結果が科学的正確さを持って生じる。

まあ、しいて言うのであれば、あなた方は自分自身が、自分の庭師のようなものだ。

道具は全部、与えられている。

後は各自が、如何にそれらを賢明に、かつ上手に使うかに委ねられている。

あなた方の言葉を借りて言うなれば、善い行いをすれば、それだけ靈性が増すが、

反対に、利己的な行いをすれば、その分靈性が悪化する。

ゆえに自分が犯した罪(己の欲せざることを、他人に経験させたこと)は、

自分の苦難の中で償うしかない(自分もいつかは経験することになる)。

その意味において言うのであれば、あなた方は自分自身の人生に100%の責任があるとも言える。

つまり、現世でどのような生き方をしたかにより、来世の姿がこれで決められてしまうという訳だ。

これこそが魂の総決算であり、私が時のはじまりから定めておいた筋書きの一環なのだよ。

うわぁ・・・非常に興味深いですね。

もっと詳しく、お話して頂けませんでしょうか？

あなた方が来世と呼ぶ環境^{ページ}の中で何を経験するかは、現世で何を創造したかによる。

そして、これはあなた方が霊の領域へ移行した時に自分で決める。

これはあなた方の言葉で言えば、死んだ時・・・つまり、他の領域へと次元移行した際に、

反省という形で今までのすべての言動を振り返り、

その総合評価によって、自分で自分の来世（の姿）を決める。

もし、現世で知覚ある存在をあまりにも痛めつけたり、

苦しめたり、はたまたそのような^{もの}経験をさせた場合、

来世はそのような環境に相応しい姿となり、その環境の中で生きることになる。

これが何を意味するか、わかるだろうか？ここまでは、理解できただろうか？

つまり、人間に生まれ変わることができなくなるってことですね。

そう。それが今までの転生と違うポイントのひとつだ。

筋書き（プロセス）の大きな、転換点（分岐点）のひとつと言って
もよい。

それでは・・・どうすれば、来世も人間として生きられるのでしょうか？

この続きを話すと長くなるから、また次回に私を訪ねるといいだろう。

あなたはもっと、自分の身体（健康）を労わるべきだ。

あんまり夜更かしばかりしていると、また病院送りになってしま
うよ（笑）

はいはい、わかってますよ（笑）

病院だけはもう、こりこりです。

今日は久々に少し調子が良かったので、

猪突猛進しましたが、さすがに全力疾走しすぎると、

その分体力の消耗も激しいものですね。

では、お言葉に甘えて、今日は就寝することにします。

どうも、ありがとうございました。そして、おやすみなさい。

おやすみ。

つづく

命のさそやき【4】

2008年8月25日

<自宅・ベッドにて>

神様、おられますか？

もし、私の声を受信されたのであれば、お返事願います。

私は時の終わりまで、常にあなた方とともにいる。

どうぞ、昨日の続きからお聞かせください。

どうすれば、来世も人間として生きられるのでしょうか？

昨晩は気になって気になってしょうがなく、なかなか寝付けませんでしたよ。

できれば・・・早く教えてください。

友よ、そうさせることはない。もうすぐだ。あとしばらくの間、辛抱してほしい。

それを説明する前に、まず、この宇宙における人間の役割と能力について、少し触れておこう。

まず、人間という言葉があるが、これはあなた方が思っているような、

地球人とは随分と異なるものだということを、あらかじめ念頭においてもらいたい。

あなた方地球人は、この筋書き（プロセス）を成り立たせるために、本来ある能力を大幅に制限した状態で、この物質宇宙という次元^{ページ}へと入ったが、

本来の人間は、頭の中で思考しイメージしたものは、何であれ瞬時にして具現化できるだけの能力を備え持っている。

そこでこの宇宙における、人間の本来の姿を三つ取りあげてみましょう。

？人間は三次元空間の五感で知りうる世界だけでなく、

多次元空間の世界の中で存在する存在である。

？人間は多次元存在と交信できる存在である。

？多次元存在と交信して生きていくことが、本来の人間の姿である。

つまり、あなた方が言う超能力なるものは、本来の人間であれば、誰しもが日常茶飯事に使っている。

瞬間移動や物質貫通、時間のコントロールから空中浮遊に至るまで、その能力は考えるだけ無限とありある。

（望めば、銀河系同士を衝突させたり、宇宙を創り直したり、死んだ者を蘇らせることだってできる）

しかし、あなた方には、ショーやマジック程度の超能力は使えたとしても、

実際に応用レベルの能力は使えないように設定してある。プログラム

なぜだか、わかるだろうか？

うーん・・ちよつと待ってくださいよ。少し考えさせてください。

どうでしょうね・・私たち地球人は宇宙全域から見れば、井の中の蛙のようなものです。

それに毎日、どっかの国では、今も愚かしい戦争や殺戮行為ばかりしています。

そのような状態で超能力が使えるようになったら、

それこそ何が起こるか、わかったもんじゃないやありません。

まあ、大体の予想はつきませんが・・。

実はあなた方の歴史のひとつコマの中で、誤った超能力の使い方によって滅びた文明がある。

え？それって・・・もしかして、アトランティス文明のことをおっしゃっているのでしょうか？

あなた方の神話では、そのように呼ばれることもある。
この文明はとても繊細な波動でできており、非常に高度に進歩していた。

だが、精神性よりも技術を過度に重視しすぎたがために、滅びの道を歩んでいった。

いや、滅びたと言うより、自滅したと表現したほうがより適切だろう。

なぜなら、この物質宇宙で生き残る（今の形を留める）には、私が定めた法に従わなければならないからだ。

その法のひとつこそが、愛の法則だ。見返りを求めない（期待しない）援助だ。

つまり、私の生き方だ。宇宙に生きる者、誰ひとりとして、この法を無視することは許されない。

だからこそ、H E B（進化した世界の住人たち）は、みな、この法則をよく理解し、なおかつ、それを実績している。

彼らの精神と技術は互いに釣り合いが取れており、技術が精神を凌駕してしまわないよう、常に深く意識（管理）している。

彼らは常に、自己を律しながら生きている。つまり、みな自立（自律）している。

反対にあなた方は、技術を過度に重視するあまり、精神性をあまりにもないがしろにしている。

たとえば言うなれば、生まれたての赤ん坊が、

マッチをいじくりまわしながら、遊んでいるようなものだ。

扱い方を知らない道具を、心が未熟な者が扱えば、そんなの結果は丸見えも同然だ。

あなた方は今、過去に滅びた文明と同じ道を辿ろうとしている。

同じあやまちを、再び繰り返そうとしている。

だから、そうならないために、宇宙に共生する数多くの兄弟姉妹が、今もあなた方に手を差し伸べている。

実は過去において、一部のHEBたちは地球上において、あなた方と共に活動していた経験がある。

そして、あなた方の言う、アトランティスの崩壊が決定的になった時、

いく人かの高度に進化した個人をエジプトへと導いた過去がある。

(まあ、これらはいくまで氷山の一角にすぎないが)

私は2冊目のほうで、あなた方の不安が静まりかえった時・・

つまり、全員の心が私(神)と同等の心持ち(波長)となった時、彼らがあなた方の前に姿を現すと明かした。実は以前滅びた文明の末期では、

少し違った形ではあったが、私と同じ心持ちとなった一部の者たちが彼らにより、

天へ救い上げられている。そして、新たな新天地を設けられ、

そこで彼らの文明を再構築している。それがあなた方の神話で語り継がれてきた、

ノアの箱舟なるものの正体だ。そして、当時救い上げられた者たちは、

今はあなた方が金星や火星と呼ぶ星で生活を営んでいる。

ただし、その星の振動レベルはとても繊細ゆえ、

あなた方のほうから彼らに影響を及ぼすことはおろか、観察することはできない。

しかし、反対に彼らのほうからは、絶えずあなた方に影響を及ぼし、あなた方は今も彼らによって観察されている。

ここまででは理解できたでしょうか？

うわぁ・・・なんだかすごい展開になりましたね！

私たちのページでは、彼らのページへ行くことはできないけど、彼らのページから我々のページへ来れるんですね！

波動をあわせれば。

だから、彼らがあなた方のページを訪れる時は、

一時的に彼らの波動を荒いレベルへと切り替えなければならぬ。

つまり、波動レベルをそのページ（次元）のものに、あわせなければならぬ訳だ。

そうすることによってのみ、あなた方は肉眼で彼らを目にすることが出来る。

空飛ぶ円盤を目撃したことがあるだろうか？高度に進歩した者たちが乗りこなす、

次元^{ページ}を行き来する機械を目撃したことがあるだろうか？

それって・・・もしかして、UFOのことですか？

・・・その呼び方は適切ではないね。

なぜなら、UFOというのは未確認飛行物体（Unidentified Flying Object）の略であって、

それはただ単にあなた方が、理解できないがために

（またはH E Bなど存在しないという、口実を見つげるために）つけた呼称にすぎない。

H E Bの多くは、次元移行する際、この乗り物をよく使うが、一部の者は霊のまま次元移行することもできる。

そして、それが本来の人間に与えられた能力のひとつでもある。

どうして、そんなことができるのでしょうか？

そもそも・・・私たちが彼らの宇宙船を目撃できたり、できなかつたりするのはなぜですか？

振動が速くなるのだよ。

実は、H E Bたちが乗りこなす宇宙船が視覚不可能状態の時は、原子の振動を速くして視覚化できないようにしている。

つまり、彼らの宇宙船は、視覚可能状態と非視覚可能状態を自由自在に切り替えることができる。

だから、目の前に彼らの宇宙船がいたとしても、視覚不可能状態ならば何も見えない。

（実は、いつもあなた方の周りを飛び交っているのだが）

つまり、低い次元からは、高い次元の様子はまったくわからない。

とくにH E Bたちの乗りこなす宇宙船の波動は、

地球の波動よりも高いので、見ようと思っても見ることはできない。

だから、もし仮にあなたが彼らの宇宙船を目撃したとすれば、

それは彼らが意図的に地球の波動に合わせてくれたから見えにすぎない。

だが、反対に高い次元から低い次元に対しては、いかようにもできる。

見ることはもちろん、その次元にいる者に知られることなく、ありとあらゆるものを操作することができる。

（実は、あなたもたつた今、操作されているのだが）

ただし、霊が取り憑いて動かされる場合もある。

どちらにせよ、それはあなた自身を書いた筋書き通りにすぎない。

（それがわかれば文句は言えないはずなのだが）

いやあ・・・それにしても、人間の能力ってホント、計り知れないですわね。

実は一度、人間になってしまえば、あとは目的にあわせて、どんな姿かたちになることもできる。

ただし、動植物になった者は、定められた姿でしか生きられない。そこが人間と動植物の根本的な違いのひとつでもある。

となると、あなたは・・・どんな姿かたちにもなれると、おっしゃりたいのですか？

もちろんだとも。現に私は今でもあなた方の目の前に、様々なバリエーションとして現れている。

だから、私はこの対話の最初のほうで、あなた方はいつも私を見ていると語った。

実際、過去にもそうしてきた。偉大な預言者やメッセンジャーをとおして、その時、

その状況に相応しい姿かたちとなって、私は彼らの前に様々な姿・形として現れた。

ところが皮肉なことに、私が最初に現れた時と、次に現れた時の姿かたちは異なる。

それゆえ最初に私を見た者は、次に私を見たときと主張する者に対し、それは神・・・つまり私ではないと否定し出した。

そして、さらにおもしろいことに、次に私を見たときと主張する者は、最初に私を見たときと主張する者に対し、それは私ではないと反論し返した。

そうして、ふたりは互いに分裂する道を歩み始めた。そこがあなた方の宗派の根源でもある。

最初の者と次の者・・・そして、さらに次の者の前へと、いろいろな姿かたちとして現れた私の教えが、

一部の権力者（羊飼い）が群集（羊）を支配しやすいよう捻じ曲げ、やがて派生し組織化していったものこそが、

あなた方が宗教と呼んできたものだ。

いやあ・・・実に深いですね。
なんか・・・もう、いちいち驚くのも疲れましたよ（笑）
それじゃあ・・・今のあなたはUFOの中から私たちを観察している
のでしょうか？

いや。必要がない限り、円盤には乗らない。

どういふことでしょうか？

私は霊レイの状態チで、あなたに語りかけている。ささやいていると言っ
ても良い。

実は私はすべての者に語りかけ、ささやきかけている。問題は誰に
語り、ささやきかけるではない。

誰が私の声こゑに耳みみを傾けるか・・・ただそれだけなのだよ。

（幸いにも、あなたは私の声に耳を傾けた）

だから、この対話の題名は「神との対話」ではなく、「命のささや
き」にしないさい。

（実は、神と命は同義語なのだが）

（そうすれば、著作権がどうのこうのと、うるさく騒ぎ立てる野次
馬たちからも解放されるだろう）

もし、私が物質的な肉体に宿れば、本来ある能力がかなり制限（規
制）されてくる。

これでは本領を発揮できない。実はあなた方もそうなのだが、
この筋書きはあなた方が霊の領域にいた時に書いたものだ。

そして、2冊目のほうでも少し触れたと思うが、

あなた方は今も数多くのHEBに見守られ、絶えず彼らの影響（恩
恵）を受けている。

いろいろとご教示頂き、大変感謝致します。

今も宇宙の兄弟姉妹に見守られていると思うと、とても勇気と希望が湧いてきます。

今まで私はずっと孤独の中で過ごしてきましたが、やっと一人でないということを感じたような気分です。本当に、ありがとうございます。

この際、正直に話すでしょう。

実はあなた方は良い意味で、自分で自分をだまして、この物理的な領域に足を踏み入れている。

催眠術にかけられたかのような状態と言ってもよい。また、そうすることによって、自分を再創造し、

様々な経験をとおして、最高のバージョンの自己を体験するためにこの領域へと足を踏み入れた。

己の中に宿る神性を思い出し、それを十分に活性化させるために、ここへ訪れたと言ってもよい。

そして、この筋書きをあなた方が書いたとおりにするのを助長するため、

あなた方地球人は一人残らず、全員が、あなた方の頭上にいる、見えざるHEBたちによってコントロールされている。

このことについては、いずれじっくり話すでしょう。

あなた方の多くは、自分で考え、思考し、行動していると思っていますが、

実はあなた方は考え思考し、行動させられている。

あなたは以前、私にあなた方が単なるかいらいにすぎないと尋ねたが、

ある意味ではそうだ。あなた方は操られている。今も見えない次元の兄弟姉妹たちによって。

私は秘密？のほうでも明かした。あなた方は演じている。しかし、これは適切な表現ではない。

単なる言葉のあやにすぎない。これが何を意味するのか、おわかり

だろうか？

いえ、わかりません。

是非、教えてください。

実はあなた方は演じているのではない。

演じさせられているのだよ。

え？ いったい、どういうことですか？

つまり、考えているのではなく、考えさせられている。

頭の中で思考していないにもかかわらず、パツと何かが閃くことがあるだろうか？

自分の考えとは相反する別の考えが、頭の中に浮かぶことがあるだろうか？

それこそが、あなた方の多くがテレパシーと呼ぶものだ。

とくにありとあらゆるテレパシーの中でも、閃きや直感というのは強烈なテレパシーだ。

たとえば、あなた方が閃きや直感と呼ぶものの多くは、

その個人を担当するH E Bからの強いテレパシーの一種だ。

第一、自分が何も思考していないのに、

突然頭の中に名案が浮かぶなど、どう考えてもおかしいだろう。

だが、発見欲、発明欲にとらわれた者は、それがテレパシーだとは微塵も思いやしない。

あたかも自分の手柄のように、「私はこんな大発見をしたぞ！」と有頂天になってしまう。

しかし、閃きでなくても、H E Bたちは様々なテレパシーをあなた方に送ってきている。

それを受信するためには、心を無にすることだ。

あなたがエゴをなくし、自然体である時、それは禅でいう無我の状

態となる。

そのような状態にいる時、質問すれば、すぐに答えが閃めいてくる。無我とは文字通り、我^{エゴ}という偽りの自己をなくすことだ。

だんだん慣れてくれば、頭の中にいろんな雑念が走るのがわかるようになるだろう。

それらの多くは自分の精神^{エゴ}から発せられたものが大半だが、中には外部的な環境から発せられるものもあるだろう。

それを打ち消して、静かに耳を・いや頭を澄ましてごらん。

そうすると、自分が何も思わないのに、勝手に思い（思念）がほと走るのがわかるようになるだろう。

それこそが、あなた方を担当するH E Bから発せられた、純粹な声^{テレパシー}なのだよ。

さて、ここで3つ目の秘密を明かすでしょう。

秘密？

あなた方は演じさせられている。

筋書きの台本を書いたのは、あなた方自身だが、

この台本は今、あなた方の手元にはない。

（一寸先は闇、とあなた方は表現する）

そして、あなた方はあなた方を演じさせている、

見えざる頭上のH E Bたちによってコントロールされている。

あなた方（地球人）という人形^{かいらい}をあやつっているのは、

テレパシーという名の糸（意図）である。

ゆえにあなた方はみな、テレパシーの糸（意図）によってあやつられている。

私たちは、人形劇の傀儡（人形）ってことですね。

となると・今の私がこの文章を書いているも、あやつられながら書いているってことでしょうか？

何だか、とても微妙で複雑な気分になってきました。

この対話の動機きうかけをつくったのは、果たしてあなたひとりだと思っ
かね？

いいかな、もう一度言っておくが、如何なる作品、作曲、作詞であ
れ、

何人たりとも私の影響を受けないものはいない。

実は、この世はみな、大芝居なのだよ。それもあなた方の煩惱（負
の波動）を利用した大芝居だ。

このことについては、いずれ詳しく話すこととしよう。つまり、
何もかも最初から仕組まれたことなのだ。

それゆえ、あなた方が考え、言い、行動することは、
ある意味で言えば、あらかじめ設定しプログラムされているとも言
える。

また、この台本はとても複雑巧妙にできているため、あなた方から
してみれば、

魂の課題を読むことはおろか、先がどうなるのかを正確に把握する
こともままならない。

しかし、あなた方の意識の深いレベルでは、そのことをよく熟知し
ている。

それが潜在意識と呼ばれるものだ。実はあなた方の潜在意識は、す
べてを知っている。

なぜ、今回この環境（課題）を選んだのか、そして、これからどう
なるのかもくまなく熟知している。

ただし、今のあなた方のほとんどは、顕在意識の自己で思考し、動
いている。

この顕在意識は、無数の霊（こゝろ）が出入りすることができる構造になっ
ている。

（霊が憑りつくように・・・といった表現をする人もいる）
そこで4つ目の秘密を明かすでしょう。

秘密？

あなた方地球人には、顕在意識と潜在意識の、ふたつの容器（入れ物）が入っている。

顕在意識にあるあなたは、筋書きを成り立たせるために割り当てられた役者タネにすぎない。

潜在意識にある心こそが、本来の（俳優としての）あなた方である。この顕在意識には、無限に霊が出入りできる構造になっている。

そして、潜在意識には、本当のあなた方が宿っている。ゆえに、あなた方はみな、記憶喪失中の宇宙人である。

え？どういうことですか？もっと、詳しくお聞かせ下さい。

肉体をコントロールしているあなた（顕在意識）とは別に、

「もうひとりのあなた」（潜在意識）が存在すると言っているのだよ。

ここで聖なる三位一体を思い出してほしい。私は対話のほうで、あなた方は3つのものがひとつになったものだと言った。

つまり、肉体と精神と魂だ。そこでこの肉体と精神と魂を顕在意識、潜在意識、超意識と置き換えることもできる。

実はあなた方は、この潜在意識や超意識のレベルで筋書きを書いて
いる。

そして、この3つがひとつに統合したものがこそが、
超絶意識と呼ばれるものであり、この領域に到達すると、あなたは
完璧に創造的になる。

あなた方の肉体を仮に顕在意識として見立てた場合、
本当のあなた方（もう一人のあなた方）は潜在意識、

そしてあなた方をコントロールしているH.E.B.たちを超意識と考
えることもできる。

そして、その「もうひとりのあなた」こそが、あなた自身の筋書き
（人生設計）を書いた張本人だ。

「もうひとりの私たち」ですか・何だかドラマチックで、ゾクゾクしますね！

いちいち「もうひとりのあなた」と言うのも面倒なので、ここではanother（別の）という単語から取って、「ナザー」と略そう。実は、このナザーはつねにあなた方に語りかけている。

感情というサインをおして。あなた方が何かしらの外的要因により、不快な気分にされたり（恥や罪悪感を他から押しつけられたり）、はたまた何かしらのストレスを与えられた時、ナザーは感情という形をおして、

あなた方に向けて警戒信号を発する。

それこそが魂の声でもあり、あなた方が第六感と呼んでいるものの正体だ。

（直観や閃きも第六感の一種なのだ）

忘れていかもしれないが、あなた方は身体だけの存在ではない。現在の物質世界でのあなた方は、身体（顕在意識）と精神（潜在意識）と魂（超絶意識）からなるものとして存在している。

そして、あなたは永遠の生命ともいう魂によって、私と繋がっている。

中でも直観や閃きというのは、それを通じた私からの純粋なメッセージだ。

だから、言葉より感覚イメージで伝わることが多い。

（「声なき声」と言ったほうがよいのかもしれない）

この「声なき声」・つまり、「頭の中で勝手に聞こえてくる声」の中には、

無論私からのメッセージも含まれている場合がある。

だが、違うものがある。それこそが、精神エゴによる干渉だ。それは自分のものもあれば、霊と呼ばれる他の精神のものもある。だが、見分けるのはとっても簡単だ。ただ、感じればいい。心地よいものであれば、それは私からのメッセージだ。

違うのであれば、他の領域からのメッセージだ。その場合は気をつけたほうがいい。

なぜなら、魂の言葉はつねに真実しか語らない。

だから、あなた方が顔でごまかそうとしても、心の中は決してごまかすことはできない。

このナザーは言い換えれば、ナビや羅針盤のような役割を担っている。

その声に耳を傾けようと決心さえすれば、

あなた方の人生は180度ころっと変わる。

（実は、そこにあなたが今まで苦しみ続けてきた、最大の要因があるのだが）

はい、確かにあなたのおっしゃるとおり、私は今まで魂ナザーの声を無視し続けてきました。

胸の奥から高ぶる情熱のような感情を押し殺したり、素直に喜ぶべきところで喜ばなかったり、

他人を裏切らないために、自分を裏切ったりと（これは数ある裏切りの中でも、

最高に値する裏切りでしたね）

つくづく、私の中のナザーの呼びかけに耳をふさいできました。

そして、その結果がこのザマです。

どうぞ、思う存分笑ってください。

・・あなたはひとつ、大きな勘違いをしているね。

何が言いたいのですか？

ひとつ言っておきたいのだが、あなた方は決してこのゲームで負けることはない。

そんなの私の計画の内には入れていない。というより、そんなの絶対にはありえないし、

ましてや私がそれを許すはずがない。

あなた方はとやかく何でもかんでも価値判断せずにはいられないが、大きな視野（宇宙的視点）から見れば、失敗などといったものは存在しない。

ただ、物事がうまく機能するか、機能しないかだけの問題だ。

マスターは決して失敗を呪わない。むしろ、それをより一段と成長、進化するための、

一種の道具バネとして祝福し活用する。

いいかな、次の言葉をよく心に銘記しておいたほうがいい。

如何なる失敗にもそれ相応か、それ以上の成功の種子が含まれている。

by ナポレオン・ヒル

実際、宇宙的視点から見つめれば、あなた方が失敗と呼ぶものは、

ただ単にあなた方が本当の自分を体験するための、
チャンス機会を提供してもらっているということに気づくだろう。

それゆえ、無残な失敗などというものはない。あるのは輝かしい失敗だけなのだよ。

だから、失敗を祝いなさい。幻想を祝福しなさい。

ただし、それにとらわれてはならない。（いつまでも、くよくよしではならない）

そして、何よりも自分の選択を責めてはならない。幻想にとっぴり
とつかってしまわないよう、

自分の在り方をつねに外から観察（管理）する訓練をしなさい。

（その証拠にあなたは、今まではそれとまったく正反対の訓練をしてきただろう？）

ゆえに、もっと意識的になりなさい。無意識（惰性）に流された生活は、もうやめなさい。

自分の在り方を意識的に選択してゆけばゆくほど、あなた方はより私の元へと近づく。

自分の望むような在り方を意図的に選び実行している時にこそ、あなた方は創造というゲームを純粋に楽しめる。

ああ・・・あなたの言葉は、とても光り輝いて見えます。

一言一言が私からしてみれば、金言であり、至言でもあります。

あなたの言葉に、これほど励まされたことはありません。心より感謝しております。

失敗を恐れることは微塵も必要ない。

いかなる困難・障害であれ、苦だと思さえしなければ、

あなたは自らの体験をとおして、自己の神性をより活性化させることができる。

だから、困難・障害を喜んで受け入れなさい。

そして、何事も障害だと思わないよう、自己の意識を鍛える訓練をしない。

さすれば、あなた方の第二の天性が目覚める日もそう遠くはないだろう。

いろいろとご教示いただき、大変感謝致します。

今日はもう夜中の2時を過ぎてしまいましたので、そろそろ就寝しようかと思えます。

私もそろそろ床に就く頃だ（笑）

あなたって本当にユーモラスなお方ですね（笑）
では、また御会いできる日を願って。
グッドナイト！

グッナイ。

つづく

命のたねやき【5】

2008年8月26日

<自宅・ベッドにて>

神様、いたら返事してくださいな

ばあ！

わ！いきなり飛び出さないでください。

また心臓が止まるかと思いましたよ。

あなたって、本当にイタズラ小僧なんですね（笑）

驚かせてすまない（笑）

今日はずいぶんとご機嫌のようだね。

何かいいことでもあったのかな？

そりゃあ、私のご機嫌はいつも絶好調ですよ（苦笑）

あなたと出会って以来、人生がまるで夢のように一変しました。

また、こうして対話できると思うと、うれしさのあまり胸の奥から喜びの星屑があふれ出てきそうな感覚すら覚えます。

もう・・・何と言いますか、この高鳴る喜びを全世界のすべての人々とともに分かち合いたいほどの幸せな気分ですよ。

ほう。まるでこの本を完全に読破し理解した後の言い分だな。

それで・・・あなたはどうかやってそれを実績するのかな？

う・・・それは・・・もちろん、この対話の記録を本にまとめようとは思っていますが、

何と言いますか・・・少し不安なところもあるのが正直な意見です。
なにせ私には・・・もとより文章を書く才能はあまりないですし、
第一・・・これを読まれた方・・・つまり、読者の皆さん側に万が一、
何かしらの不快な気持ちを与えてしまったらどうしよう、と思いい悩
んでおりました。

それに私は幼いころから失敗に対する強迫観念が強いためか、
それがトラウマになっていて、なかなか頭の淵から追い出せないで
悩んでいたところです。

また、私はおさないころより、「敗北者に未来はない」という教え
の家庭で育ってきました。

息子よ、もう一度念を押して言うておくが、
あなた方がこのゲームで敗れる（敗北する）ということは、
未来永劫絶対がない。私はあなた方に輝かしい未来と成功を、時の
はじまりからすでに約束している。

すべての者がマスターへと最終的にたどりつくための、
マスタープランは、一寸の狂いもなく忠実に実現されるシナリオに
なっている。

ただ違うのは、その道プロセスを楽しく快活に突き進んでゆくか、
それとも辛く不愉快に突き進んでゆくか、のどちらかだ。

つまり、すべての魂は最終的には私の元・・・我が家へと召される仕
組みになっているということだ。

誰でも嫌な思いや苦しみは経験したくはないだろう。

誰でも喜びに満ちあふれた人生を送りたいと、心から渴望すること
だろう。

苦難と葛藤に満ち満ちたままゲームをするより、
楽々とクリアしながら次のステージへと進みたいと思うだろう。
そこで私はあなた方に、このゲーム（RPG）の裏技を教え続けて
きた。

数々の道先案内人メッセージヤーをとおして。

しかし、あなた方はそのメッセージが理解できないことを理由に（または権力者が相手を支配するのに不都合がゆえに）、彼らを迫害し殺害してきた。（実際にイエスは今から約2000年前に、当時としてはあまりにも進んだメッセージを持って現れたがために殺された）
だが、私は何度でも同じメッセージをたずさえ、絶えずあなた方へと送り届ける。
だから、耳のある者は聞きなさい。

秘密？

この筋書きは最終的には、すべての魂が幸せになるようにできている。

つまり、すべての魂が私の元へ回収されるようになっていく。ゆえに、あなた方は決してこのゲームで敗北することはない。なぜなら、エンディングはすでにプログラミングされているのだから。

となると・・・以前もおっしゃったように、確定未来が存在するとおっしゃりたいのですか？
つまり、未来はすでに定まっているとでも？！

当たらずとも遠からず・・・といったところだな。
イメージしやすいよう、再度CD・ROMのたとえ話を思い出してほしい。

私は対話の三冊目のほうで、生命のおおよそはある意味でCD・ROMのようなものと言った。
その証拠に動物の行動をよく観察すれば、みな同じ習性に基づいて（促されて）行動しているのわかるだろう。

ある種の鳥なんかは、オスがメスに求愛行動をする際、羽を広げたり、歌を口ずさんだり、中にはダンスをしたりするものもいる。

だが、これらの行動はみな、あらかじめプログラムされているからこそ、

成し遂げることができると言えるのだよ。

それが技術（科学）というものだ。実際、人間と動物の差というのは、

このプログラミングされた習性を、いかほど打破することができるかどうかによると言える。

すべての存在はみな、進化の途上であり、常にその時点で、自己にとってできるかぎり最善の選択をしていることを忘れてはならない。

つまり、あなた方自身の選択が他の誰かに苦痛をもたらすことがありうるように、

他者の選択があなたや別の誰かに苦痛を及ぼすこともあるのは確かだ。

しかし、人間という存在は思いやりと受容という、一見理不尽な生き方を貫き通すことにより、

激しい衝動的反応も露散させて鎮め、いち早く静穏な状態に戻り、澄んだ意識を回復することができる。

したがって、人間という存在は新しい見識をもつことにより、自分の波動をさらに高次の振動エネルギー場へと変化させ、

自分の求めている高次の運命の展開に参入することができる、唯一の特権を有しているとも言える。

その上で、運命を發展させ、それを変えていくための三つの鍵がある。

? 気づき

? 選択

?波動

もし、あなたが自身の運命にまつわる物事を何とか発展させたり、体験したいと望む場合、

自分の意識の波動の中に、そのことが保持されている必要がある。

つまり、そのことが表出するためには、その感覚や感情が常に保持され続けていなければならない。

というのも、もしあなた自身にそうした感情や波動がなければ、表出することは不可能だからだ。

(持っていないものを、果たしてどうして与えることができよう?)

つまり、愛に満ちた人間関係を望むのなら、

あなたの意識の中に愛に満ちた人間関係の波動を保っていないければならない。

そうすれば、あなたは愛情豊かな人を身の周りに引き寄せることができる。

もしもあなたが現時点で愛に満ちた人間関係に恵まれておらず、

それどころか挫折感や怒り、別離や孤独を体験しているのであれば、今の自分が否定的な波動を帯びており、

そうした体験を自ら引き寄せているという事実を素直に受け入れなければならぬ。

つまり、自分の波動を変えるには、まず自分の考え・感情レベルでの誤認を改(認)める必要がある。

その上で波動は運命を変えるより、優れた知覚と素晴らしい人生や恩寵への扉を開く究極の鍵でもある。

と言いますと?

人間は自己プログラミングが可能だが、動物は組み込まれた情報以

外の行動は取れない。

万物のありとあらゆるすべては、みなひとつの原初物質から構成されており、

この原初物質・つまり、私が様々な形をとったものだ。それゆえ生命というのは、

私が形をとったもの（information）であると同時に、私の情報（information）でもある。

ゆえに、この宇宙では固定的で不変のものは存在しない。変化こそ常なるものだ。

またまた・・・あなたは本当にダジャレや親父ギャグが好きなんですね（笑）

ダジャレを発明したのは私だよ。

私にはすばらしいユーモアのセンスがある。だから、友達のように気軽に私と話しても一向にかまわない。

友よ、頼むから私を堅苦しい枠にはめようとしないでくれ（笑）

はいはい・・・わかりましたよ（笑）

しかし・・・話の途中、水を差すように申し訳ないのですが、ひとつ疑問に思ったことがあります。

何だね？

あなたは対話のほうで、神は決して予言をしないとおっしゃった。

しかし、今、この筋書きはすべての魂があなたの元へと召される仕組みになっていると語る。

それに対話の一冊目のほうでは、二冊目や三冊目がどんな内容になるのかまで宣告している。

これはいったい、どういうことでしょうか？

あれは予言ではない。予告だ。

は？

確かに私は予言はしないと行ったが、予告はしないとはいっていない。

ちょっと待ってください！そんなのずるいですよ！

予言は未来に関する正確な宣言のことを言う。

反対に予告は、結果に関する正確な宣言のことを言う。

私はあなた方にテスト（問題）の答えを教えるようなマネはしない。そんなことをすれば、不正行為カンニングになる。

だが、問題をより簡単に難なく解くための公式（裏技）は教える。この違いがわかるかな？あなた方がぶつかる課題や問題（とあなた方が呼ぶもの）の多くは、

あなた方自身の手で解か（パスし）なければならぬ。

もし、仮に私があなた方の純粋な創造の場（聖域）に足を踏み入れ介入してしまえば、

あなた方を創造した意味がなくなってしまう。

おまけに、あなた方の自由意志を踏みにじることになる。

・・申し訳ありませんが、もっとわかりやすく説明して頂けませんでしょうか？

それでは、こう言おうか。私はあなた方にテスト問題を事前に教えるようなマネはしない。

（未来がこれからどうなっていくかは、あなた方一人一人の選択と決断にゆだねられているのだから）

その代わりとして、過去問にてらしあわせながら、問題の出題傾向と対策法を伝授する。

事実、あなた方の歴史（過去問）は、失敗の連続と言ってよい。だから、「歴史は繰り返される」などと揶揄される。

というのは、同じやり方で違った結果を望もうとしたからだ。

まあ、微分法で連立方程式を解こうとするようなものだ。

（野球のバットでテニスをするようなものだと言ってもよい）だが、自然の法則にてらしあわせれば、

そんなまやかし（いかさま）が通用するはずがない。

あなた方はあの手この手を使い、人を・モノを・世界を・

そして、宇宙を動かし続けようと試みたが、どれもうまく機能しなかった。

（中には私を動かそうとした者までいるではないか）

そこで迷路に迷い、行き詰り、途方に暮れかけたあなた方は、私に助けを懇願した。

神よ、どうかお助け下さい・・・と。我々に活路をお導き下さい・・・と。

だから、私はこうしてあなた方に手を差し伸べた。

よいか、私はすべてのものに語りかけている。（ささやきかけている）

そう、この文章を今、目にしているあなたに語りかけているのだ。

あなただ！

この対話をあなたの元へ引き寄せたのは、あなた自身だ。あなた自身があなただを、

この神聖なる対話の場へと導いた。私はあなたの魂の叫び声を聞いた。

満たされることのない、心の渇きに感じた。

だから、私は以前も語り続けてきた孤高なるメッセージを、

再びシンプルな言葉で世界へと送り出す。

なぜなら、それが私の仕事であり、なおかつあなた方の仕事でもあ

るからだ。

あなた方の目標はただひとつ・それは、私になることなのだよ！

うわぁ・・・やはりダイナミックです。

それじゃあ、あなたは・・・教師だったんですね。

実はあなた方は、本質的にはみな教師マスタなのだよ。

え？どういうことですか？

あなたはこの対話のはじめのほうで、ゴミが散らかっていないければ、清掃屋は存在意義を持たなくなると言った。あれは実にすばらしいたとえだ。

なので、ここで再度、あなたとえを用いて、ひとつ別のたとえで説明してみることにしよう。

あなた方は本来、みな汚れなき清潔な王国にいた。

しかし、ある日のこと、あなた方の多くは自分がより清潔である！という

自身の中の神性をより強く実感したいと願うようになった。

そこであなた方は、国王である私に箴言を申し出た。

「王よ、どうすれば、私たちは清潔だと実感できますでしょうか？」

「いかなければ、私たちが清潔だということを、より強く体感できますでしょうか」と。

そこで私は、あなた方にこう答えた。

あなた方がそれを望むのであれば、この王国より旅立たなければならぬ。

つまり、私の元から離れなければならない。そして、別の王国へと旅立つ必要がある。

その国には「汚れ」がある。そこであなた方は次のように答える。

「汚れ」ですか？

「汚れ」とは、いったい何でしょう？そして、私は優しくささやきかける。

あなた方ではないものだ。私たちではないものですか？とあなた方は答え返す。

そう、本当のあなた方ではないものだ。そこには、いろいろな「汚れ」がある。

どれもあなた方が知らないものばかりだ。あなた方はそこで「汚れ」を清掃し、

散らかったゴミを回収し、汚れを清潔にすることにより、

あなた方の神性をより活性化することができる。

そして、あなた方は私の元からバラバラに拡散し（a partとなり）、

この領域へと足を踏み入れた。

つまり、善を育てるために、悪が必要ってことですね。

ご名答！よくわかってるじゃないか。

うわぁ・・・それじゃあ、悪にも感謝しなければならないじゃないですか！

あなたは、必要悪という言葉聞いたことがあるかな？

あれと一緒に悪（陰）という対極がなければ、善（陽）も意味を持たなくなる。

よもや、あなたはアクション系の小説や漫画を書く際、一人も悪役を登場させないつもりなのかな？

みな、ニコニコしながら戦うのかね？常に同じ表情（感情）を登場人物にもりこむのかな？

（料理をつくる際、よもや砂糖以外の調味料を加えないつもりか？）いや、そうではないだろう。そんなことをすれば、実に味気のない

作品（料理）になつていただろう。

絶対の領域にあるのは、ただ一なる存在・・・つまり、「無」だ。無はすべてを包み込む。何者も容赦しない。

また、この無を「愛」と置き換えても良い。

そう、絶対の領域にあるのは、ただ至高（思考）の愛だけなのだよ。その中であなた方は、

自分が本質的に愛であるということを知識（概念）として知っているだけであり、

それを実際に体験することはできなかった。そこで創り出されたのが、この相対性の領域だ。

この領域にはあなた方ではないもの・・・つまり、愛と対極をなすもの（不安）が存在する。

それはいかにも現実であるかのように見えるが（本当は見せかけているのだが）、

実際は幻想にすぎない。そう、あなた方は今、幻想の中にいる。マスターは幻想の中にいながら、幻想を道具ツールとして活用する。

（というより、その術をマスターしている）自己の中の神性を、より活性化させるための道具として。

しかし、そうでない者は、幻想にとらわれる。そのあげく、幻想にどっぷりとつかってしまう。

（アルコールに酔ってる内に、中毒になってしまうようなものだな）そこでひとつの部屋を連想してほしい。その部屋の中には、大勢の

人間がいるとする。

彼らはみな、だらしがなく、当たり前構わずゴミを散らかしている。むろん、誰も片付けようとしない。

そこである日、別の部屋（領域）から、一人の綺麗好きな男が入ってきたとする。

（清潔な国から送り込まれたとする）

そして、男は部屋に入るなり、黙々とゴミをかき拾いはじめる。

そこで他の者の多くは、男のとっぴな行動を不思議がるだろう。

それはあたかも狼の群れの中に現れた羊のごとく、周囲の目をあつというまに釘付けにする。

そして、男は彼らに向かつて、次のように言う。

私は道であり、命であり、真実である。だから、私について来なさい。

しかし、この言葉のこの部屋における意味は、次のようなものだとする。

私は清掃屋^{マスター}である。（あなた方も本質は清掃屋なのだが）

いつまでもゴミを散らかさないで、一緒に清掃しませんか？

あなたたちも清掃屋さんになりませんか？再び、清掃屋さんに戻りませんか？

その結果、男の示した生き方（お手本）に、共鳴（共感）する者が幾人か出てくるようになる。

しかし、一部の者たちからすれば、それが気に入らない。

今まで「ゴミを散らかしながら生きる」という暗黙の了解が、ただ一人の男の手によっておびやかされるからだ。そこで彼らは結託し、男を攻撃しはじめる。

（あなた方の歴史は、出る杭をたたかずにはいられないことを証明しているようなものだ）

しかし、男はいくら迫害され、糾弾されようと、一向に清掃をやめようとしなない。

それどころか、男の生き様に感化された、

その他の多くの者までもがゴミを拾いはじめ、清掃しはじめる始末に至る。

耐え切れなくなった一部の者たちは、とうとう強硬手段に打って出はじめる。

そう、力だ。殺傷能力を行使する。

彼らは権力に訴え、詭弁をたくみに利用し、男を血祭りにあげようとする。

しかし、いいかな。ゴミを散らかしている時のあなた方は、本当の

あなた方ではない。

ただ、忘れていただけなのだ。だから、自分の本質（神性）が清掃屋である！

ということを思い出させるために（remember）、そして、再びその一員へと加わるよう（remember）、私は数多くの清掃屋マスターをあなた方の領域（部屋）へと送りこんだ。

汚れたあなた方の部屋を清掃するために。そして、あなた方が本当のあなた方を体験できるように。

しかし、ゴミを散らかす生き方を好むあなた方は、

自分たちの生き方がおびやかされることを理由に、彼らを迫害し、殺害し続けてきた。

そして、私は今もこうして、数多くのメッセージャーをとおして、あなた方にメッセージを送り届けている。

だから、闇の中の光となりなさい。悲しみがあるところでは、喜びとなりなさい。

慰められることよりも、慰めることを求めなさい。

理解されることよりも、理解することに勤めなさい。

そして、愛されることよりも、愛することに勤めなさい。

それでバランスを失った世界は、中和される。

なぜなら、私たちが目指すものは、常に愛しかないのだから。

ただし、闇を呪ってはならない。闇を呪いはじめた瞬間、あなたはマスターでいられなくなる。

そして、再び忘却（分裂）の彼方へと追いやられる。闇はいろいろ手段であなた方を誘惑する。

ゴミを散らかす者は、清掃する者に「一緒にゴミを散らかそうよ！」と誘いかける。

悪意からではないが、かなり狡猾だ。しかし、マスターは決して、その誘いにのらない。

（その誘いがどんなものなのか、を彼らは見抜いている）
彼らは低い意識に取り巻かれている時は、

自分の考えを大切にしたいほうが身のためだということ直観で理解している。

一つ質問してもいいでしょうか？

何だね？

対話のところどころにマスターという言葉が出てきますが、彼らはいったい何者なんですか？また、このマスターには、どのような意味合いが含まれているのか、教えて頂けませんでしょうか？

マスターとは自らの運命を克服し、完全に自分で自分をコントロールできる者のことを言う。

別の領域から来る者もいれば（私の元から送られた者もいれば）、私のメッセンジャーに導かれてマスターとなる者もいる。

だが、真のマスターとは、最も弟子の多い者ではない。

いいかな、真のマスターとは、より多くのマスターを生み出す者のことを言う。

それと同様、真の教師とは最も生徒が多い者ではなく、最も多くの教師を生み出す者のことを言う。この違いがわかるだろうか？

ご教示ありがとうございます。

となると、真の悪人とは、最も多くの悪人を生み出す者と言い換えることもできますね！

ブラボー！あなたは今、すべての現象の核心を見事に突いた。

・私たちは日々、絶えず何かを生み出していたんですね。

それが創造と呼ばれるものだ。あなた方一人ひとり、常に何かしらのメッセージを携えながら生きている。

あなた方は、現在（present）という「永遠の今」にもたらされた、

プレゼント（present）なのだよ。

そして、意識さえすれば、いつでもその贈り物を与え、または受け取ることができる。

（その証拠にどんな人間からも、少なからず一つ以上は学べる要素があるはずだ）

ただ、マスターはそれを選びながら（意図的に）創造する。

だが、そうでない者は、周りが創造したものに反応する。彼らは意識しない。

それも、かなり神経質だ。

だから、他人の創造した意図（悪意）にのまれる。それが幻想にとられるということだ。

それが人間と動植物の差だ。人間は自分で自分を管理できるが、動植物は自分で自分を管理することができない。

（自分で自分の欲望を制御することができないと言ってもよい）

その代わりとして、誰かに管理してもらわなくてはならない。

それゆえ、自意識をコントロールできない者は人間にはなれない。

というより、なってはならない。なぜなら、真の文明世界で求められるのは、

依存ではなく、自立（自律 自分で自分を律する精神）なのだから。ずいぶんと遠回りをしてきたが、これがこの宇宙における人間の役割だ。

つまり、能力ある者は、ない者をサポートしなければならないということですね。

あたり！今日はヤケに冴えてるじゃないか。

それじゃあ・・HEBたちは、みんなお互いに助け合っているってことになりますね。

そんな世界がもし、この地球上で実現できたら、これほどすばらしいことはないですよ！

それこそ・・地上天国や千年王国の到来になるじゃないですか！

ひとつ良いことを教えてあげよう。

実は、HEBとマスターは同義語なのだよ。

え？何ですって？！

HEBは自分で自分を管理できる。誰にも頼らない。

セルフサービスでありながら、相互扶助が彼らのスローガンだ。しかし、あなた方の多くは、

誰かに管理（世話）してもらわなければ、生きてゆけないと思い（信じ）込んでいる。

ちょっと待ってくださいよ！

それじゃあ、意図的に悪意をばらまいている人間はどうなんですか？

そういう人間も選択（意識）しながら創造している、という点においては、

マスターだということになってしまいませんか？

彼らはこの筋書きの立役者だ。だが、マスターではない。

マスターは決して自滅的なマネをしたりしない。彼らは常に愛しか選択しない。

なぜなら、彼らは知覚ある存在を意図的にせよ、無意識的にせよ、ハンマーでたたけば、

自分もいつしかハンマーでたたかれる・・・という自然の摂理をよく理解しているからだ。

だから、あなたが言うような意図的に悪意をばらまくような人間は、マスターとは呼べない。

くどいようだが、因果は存在する。あなたが因果と呼んでいるものは、

宇宙においてなされた行為の結果が表出 したものにすぎない。

あなた方が世界に向けて送り出すエネルギー・思考・感情は何であれ、

良くも悪くも必ず、あなた方のもとへ返ってくる。

あらゆる行為には反応や結果がとれない、自分の行為 には必ずその結果や影響が生じる。

因果の結果や影響は、それが思いやりや愛から生まれた好意の結実であれば、

とてもポジティブなものになる。だが、まったく正反対の場合もある。

ゆえに因果は自分の思考あるいは、行為の結果や影響を体験しているにすぎない。

さて、ここでそろそろ6つ目の秘密を明かすとしてよう。

秘密？

あなた方は日々（意識的にせよ、無意識的にせよ）、波動のやりとりをしている。

知覚ある存在に苦しみを与えれば、与えた分だけ心の容量は縮小する。キャパシティ

心の縮小、それはすなわち来世、人間として生きられなくなることの意味する。

説明してください。

この続きは、また明日話してあげよう。
あなたはもう、そろそろ身体を労わるべきころだ。

昼のアルバイトさえなければ、もっとあなたとお話できる機会が設けられるのですが、

おっしゃるとおり、今日はもうそろそろ身体がオーバーヒートしそうな状態です（笑）

あなたと会話できるのが、夜だけだというのが非常に名残惜しいですが、

致し方ないですね。では、また明日御会いしましょう。

おやすみなさい。そして、ありがとう。

おやすみ。また、いつでも門を叩きなさい。

つづく

命のたそやき【6】

2008年8月27日

<自宅・ベッドにて>

神様、おられますか？

今日はバイトで少し疲れておりますが、昨日の続きが気になって気になって致し方がありません。ですので、このまま寝てもなかなか寝付けません。

昨日の話題は覚えているかな？

はい、秘密？のほうですね。

確か・他に苦痛を与えると、与えた分だけ自分の心は縮小するだつたと思います。

どうぞ、この続きからお聞かせください。

よろしい。では聞くが、あなたは今までに（精神的に、または物理的に）、誰かを虐げたり、または虐げられたりされた経験はないかな？

一度もありません！・・と言ってしまえば、嘘になります。

今までの私の人生を振り返れば、人としてやってはいけない馬鹿なことともたくさんしてきましたし、

その結果として、かなりのとぼっちりもくらいました。

何と言いますか・・穴があつたら、入りたいぐらいです（恥）。

そんなに自分を責める必要はない。

あなたはもっと、自分に優しくすることを学ぶべきだ。

それで話を元に戻すが、確かにあなたの今までの人生は、波乱万丈に満ちたものだ。
時には人を虐げ、そして虐げられてきた。おまけに前世では、人もかなり殺している。

私ですか？

認めたくないのも無理はないだろう。
なぜなら、今のあなたにその頃の記憶は残っていないのだから。

お言葉を返すようで申し訳ないのですが、どうして私の前世がわかるのですか？

霊になれば、知らないことは何もない。

（ただし、自分が学ぶべきものは何もない、ということを経験しなければ、思い出せない者は別として）

とたんに、すべてを思い出す。あなたは前世と呼ばれる環境ステージの中で、幾度か兵士だった。

繰り広げられる戦場の中で人（敵国の兵士）を、

何人が殺すこともあれば、何回か殺されたこともある。

あなたは、かなりの人を殺している。それも自分の欲得を満たさんがために。

ストップ！！

ストップ！ストップ！ストップ！！

もういいです！これ以上、聞きたくありません！失望しました！まさかあなたが、ここまで容赦のない方だとは、思いもありませんでしたよ！

おや？よもや、情けの言葉でも期待していたのかね？

息子よ、真実は時として容赦ない。辛い観察ほど真実に近いのだよ。たとえそれが受け入れがたいものであつたとしても、真実は真実に他ならない。

本当のことを指摘されて、それを侮辱と受け止める実態は、その本人のエゴの部分に他ならない。

そして多くの場合、心の奥に潜むエゴは自分中心の考え、自分本位なものの方、

他人の立場を思いやらない態度となつて現れてくる。

だが、自分が不快な想いをしたことを理由に相手に食つてかかり、批判や非難、責任追及だけしか考えないとすれば、あなたは大変なことを見落としていることになる。

はじめにも言つたと思うが、私はただ、観察したことをありのままに告げたまでだ。

それについて批判もしなければ、価値判断をすることもない。

なぜなら、あなたは観察者だから・・・でしょ？

お見事！

となると、前世で人様に体験させたことが、そっくりそのまま現世へと反映されているとでも？

それが魂の課題というものだ。

(一部の宗教の間では、カルマなどと呼ばれているね)

あなたは二つ前の前世で、対立していた敵国の兵士に戦場で殺されている。

そして、あなた自身もさらにその一つ前の前世で、その兵士(だった者)を殺害している。

そして、その兵士は今、あなたの母親として生まれ変わっている。どうか？驚いただろうか？ここまで説明すれば、

魂の課題というものがおおよそ、どんなものなのかイメージできた
だろうか？

え？それじゃ、まさか・・魂は集団転生をすとも言いたいの
ですか？

それ以前に私の母が敵国の兵士の生まれ変わりって・・いつたい、
どういうことですか？！

もう、何がなんだか、サツパリわからなくなってしまいましたよ！

おや？私は最初のほうで、この世は筋書きだと言ったのを、もう忘
れてしまったのかね？

いいかな、あなた方は何事においても、相手の了承なしに、その命
を奪ったり、

物的生命に終わりを下したりすることはできないし、また奪われる
こともない。

ゆえに被害者などというものは、もとより存在しない。

ただ、被害を被ったかのように「見える」だけであって、

深いレベルではその清算はすでに行われている。

それが波動のやりとりというものだ。

もし、自分が被害を被ったと考えているのであれば、それは視野が
限られている証拠だ。

あなたが指摘したとおり、魂はこの筋書きを書く際、

何組かのグループに小分けしながら集団転生する。

また、ひとつの集団は、他の幾つかの集団と連携することによって、
互いに課題を与えたり、補いながら靈性（神性）の向上を図ってい
る。（これもフラクタルだな）

そして、さらに他の集団もまた、別の集団と同盟（契約）を組み交
わしながら、

この物理的次元へ足を踏み入れている。つまり、このような契約の
つながりがあってはじめて、

この世の筋書きが成り立っている訳だ。

・・となると、生涯のどこかで凶悪犯に殺害される人ってのは、深いレベルでは凶悪犯に殺される、
ということ許容しているとも言いたいのですか?!
そのような契約を交わしているとも言うのでしょうか?
つまり、凶悪犯に殺される筋書きを書いているとでも?!

もし、彼らがその生涯において、特にこれといった選択をしなれば、

(選択をしない!というのも、立派な選択のひとつだと言わなかったかね?)

前もって計画したとおりの人生(筋書き)を歩むことになる。

だが、意図して選択すれば、現世でその課題を軽減することもできる。

是非、詳しくお聞かせ下さい。

あなたは凶悪犯に殺害される者を引き合いに出したが、この場合、殺害される(という筋書きを書く)定めにある者は、

前世でも誰かを「殺害している」という課題を自ら創り出している。問題はその課題を意図的に解決するのか、それとも無意識に解決するか・・だ。

もし、前者を選択するのであれば、あなたは今回の生で他者が本当の自分を体験できるように、

導いてあげなければならぬ。つまり、

自分の生涯のある時点で、凶悪犯に殺害される・・という筋書きの台本を刷りかえるためには、

誰かが凶悪犯になるのを阻止するか、もしくはその犯行をやめさせればよい。

また、誰かを窮地の危機から救出するのもよい。
しかし、反対に後者を選択するのであれば、筋書きの傀儡となる。
それはそれで来世は幸せな姿となるが、人間にはなれなくなる。
(その権限を失う)

自然の法則は何があるとも、絶対にごまかすことはできない。
ただし、例外として、この法則がうまく働かない時がまれにある。
そこで、それをカバーするために、現象界では常に波動のやりとり
が行われている訳だ。

ところで、この波動のやりとりについて語る前に、
あなたにひとつ聞いておきたいことがひとつある。

何でしょう？

あなたは今まで誰かに汚い言葉を吐きかけたり、
または吐きかけられたりしたことはあるかな？
誰かをののしったり、ののしられたりした経験はあるかな？

そりゃあ、両方ありますよ！

汚い言葉で人をののしったこともあれば、逆にののしられたことも
あります。

で、それがどうかしたのですか？

それで・・・タダで済むと思ったのかね？

何が言いたいたいのですか？

人をののしれば、何もツケが返ってこないと思うのかと聞いている
のだよ。

そりゃあ、ののしられて何もしなければ、それこそ泣き寝入りです

よ！

だから、やったらやりかえせ！が鉄則だと思うのですが、何か間違っていますでしょうか？

・・どうりで、あなたの人生がうまくいかない訳だ。

もったいぶってないで、教えてくださいよ！

よもや本当に泣き寝入りが通用すると、思っているのかな？

と言いますと？

あなたは今までの人生を振り返ってみて、何か感づいたことはなかったのかな？

とくに誰かにみじめな思いを経験させた時、その後の結果がどうだったのか、

嫌というほど身をもって体験してきたはずだ。（この様子だと、まだこりてないようだね）

結果は常に最良の教師だ。何人たりとも、この原因と結果の法則から免れることはできない。

ましてや、そんなの私が許すはずがない。いいかな、次のことをよく肝に銘じておきなさい。

攻撃は何であれ、同等の反動をとらなう。

行ったエネルギーは、常に（行った者の元へと）戻ってくる。

それ同様、誰かを攻撃すれば（理由はどうであれ）、自分もいつか攻撃される。

殺人によって殺人を、暴力によって暴力を、怒りによって怒りを終わらせようとしても、そんなの終わるわけがない。

ただし、先ほども言ったように、例外としてこの法則がうまく働か

ない時がまれにある。

だが、結果的にはそう見えるだけであり、その清算はやった時点ですでに行われている。

それが波動のやりとりというものだ。

とくに魂の容量をより大きく広くしたくば、キャパシテイ

知覚ある存在に苦痛を与えてしまわないよう、常に意識し続ける必要がある。

相手に苦痛ばかり与えていたら、来世は人間どころか、動植物に生まれ変わることもすらできなくなる。

これが何を意味するのか、わかるだろうか？

それじゃあ・・・その人たちの運命はどうなるのでしょうか？

消滅する。

え？ご冗談でしょう？！

魂が消滅する・・・なんてことが、ありうるんですか？！

・・・今のは言葉のあやだな。

まあ、正確に言うのであれば、形を変え、アイデンティティ個性性を失う、というのがより適切だ。

つまり、他の心の一部として同化するか、

バラバラに拡散するか・・・のどちらか、というわけだ。

心を丸い円（球）にする方法は、大きく分けてふたつある。

ひとつめは角ばった凸凹の部分を削り取ってゆく方法だ。

これは人生／生命に対し、愚痴や暴言を吐いたり、

物事の所在を人に押し付けたり（人のせいにしたり）、

知覚ある存在に苦痛を与えたりするものだ。

それはそれで心が修正はされてゆくが、心のエネルギーは縮小する一方だ。

ふたつめの手法は、人生／生命に感謝し、立ちふさがる壁を自分をより成長・進化させるための契機と解釈し、向上心と愛を（意識して）選択するものだ。

この手法を用いれば、心のエネルギーはひとまわりでも、ふたまわりでも大きくなる。

前者は来世、動植物となるか・もしくは消滅する。後者は来世も人間として幸せに生きられる。

どちらが良いという訳ではない。（どちらも幸せに生きられる）

この二つの手法における根本的な違いは、何を信念ベイスとしているか・による。

前者は不安を基盤ベイスとした手法だが、後者は愛を基盤ベイスとしたものだ。

あなた方の人生／生命で壁が立ちふさがった時、常に二通りの選択肢（解決法）が突きつけられる。

つまり、ネガティブな選択肢（解決法）か、

それともポジティブな選択肢（解決法）か・・が問われる。

しかし、次のことだけは、よく覚えておいたほうがいい。

ポジティブ愛は統合するエネルギーであり、

ネガティブ不安は分散するエネルギーである。

もし、心を縮小させたくなくば、常にポジティブな選択肢を心がけなければならぬ。

そのためにはまず、不安を取り去ること・・悲観主義を一掃しなくてはならない。

何事においても、万事プラス思考しろってことですな。

・・あなた方はそろそろ、

暴力なしに紛争を解決する方法を学ばなくてはならない、と言っているのだよ。

ちょっと待ってください！

簡単に言ってくれますが、そもそも暴力なしに紛争を解決する手法なんか、あるんですか？！

デール・カーネギーの本を読んでごらん。

あれには、私の教えの純粹なエッセンスが盛り込まれている。

感情論に頼らない説得法から受容と理解の実績、

建設的な思考法にいたるまで丁寧に解説されてある。

そして逆境（とあなた方が呼ぶもの）、人間関係のもつれ、紛争を如何に効率よく、

かつ有益的に解決するか・・・が簡潔な書体で説かれてある。

前々から疑問に思っていたのですが、どうしてそんなに本をご存知なのでしょう？

愚問だな。まだ、その質問が出てくるとは信じられない。

よもやあなた方が書いた文学作品の中で、

私の影響を受けていなかったものがあるなどと、本気で考えるのか？

でも・・・私はあまり本は読まないほうです。

せめて、簡単なアドバイスか何かでもいただけませんか？

言ってることはなんとなくわかるのですが、現実と理想は多くが机上の空論で終わってしまいます。

それに・・・もし暴力や規制（法律）がなくなったら、

世の中が馬鹿な人間であふれかえってしまいますよ！

平気で人に危害を加えるような馬鹿たれどもを、

あなたは野放しにしる！とでも言いたいのですか？！

そんな無神経で反省しない人間には、制裁を加えてやりたいほどです！

詭弁だな。馬鹿な人間などというものは、存在しない。

(あなた方が、彼らを馬鹿な人間として祭り上げるまでは)
ただ、本当の自分を体験できずにいる者たちがいるだけだ。
そして、そういった者たちを悟りへと導くのが、マスターの役割だ。
ただし、あなたが言いたいことはわかる。あなたが言っている馬鹿
な人間というのは、

自分の欲望と不満のおもむくがままに生じる感情的な反応が、
野放しの状態になっている者のことを言う。

彼らは衝動に突き動かされて行動する。暴力も振るう。
実際、彼らの精神状態は、非常に不安定だ。

おまけにかなり神経質で、ちょっとしたことでもすぐに反応してし
まう。

しかも、皮肉なことに、彼らは自分でそのような心の在り方(状態)
を創り出しているとも知らず、

なぜ自分はこんなにも苦しんでいるんだろうといぶかる。

ちょうど、一日に二箱のタバコを吸っておきながら、

自分はどうして肺がんになったんだろうといぶかるようなものだ。

(実はあなた方には、事が起きないには悔い改めようとしな、と
いう性があるのだが)

つまり、無意識(惰性)に流されるがままに創造している。

HEBはこれを「惰性による創造」と呼んでいる。

さらに皮肉なことに、あなた方の多くが、

この状態で創造しているということに気がついてすらいない。

(よもや目を閉じたまま眠りながら歩いていれば、落とし穴に落っ
こちないと思っているのか?)

あれま・・・ずいぶんと厳しいお言葉ですね。

そうになると、私たちは自分で自分の心を、

コントロールする訓練をすることが大事ってことでしょうか。

実はあなた方が心と呼んでいるものには、バイブレーション波長のレベルというもの

がある。

この心の波長は程度の差こそあれ、ある一定の臨界量に到達すると、波長の乱れがどんどん激しくなり、やがてあなた方が「うつ」と呼ぶ（心の）病を患うはめになる。だが、心配することほど、愚かしいことはない。

自分を粗末にすることほど、嘆かわしいことはない。

悲観することほど、人生を台無しにするものはない。

いいかな、次のことをよく肝に銘じておきなさい。

あなた方があなた自身にすることは、他者にすることである。

あなたが他者にすることは、あなた自身にすることである。

これは偉大なる宇宙の公式だ。^{フォーミュラ}

このふたつは、切っても切り離すことはできない。

しかし、究極の現実にてらして言えば、他者というものなどありえない。

ゆえに、あなたがすることは何であれ、自分自身にしているということだ。

なぜなら、あるのはただひとつの身体（宇宙・全体）なのだから。

ああ・・・そう言われますと、どうして自殺をしてはいけないのかが、わかってきたような気が致します。

・・・自殺をする者の多くは、残された者たちのことなど考えていない。

一時の感情にかられ、興奮し出すと、すぐに取り返しのつかない行為を実行に移す。

私は先ほども、あなた方は毎瞬、

何らかの贈り物を^{メッセージ・プレゼント}たずさえていると言った。

しかし、その贈り物は^{メッセージ・プレゼント}必ずしも、

宇宙（全体）にとって有益なものとは限らない。

とくに自殺（動機にもよるが）というのは、

ありとあらゆる贈り物の中でも、最も最悪な形のプレゼントだ。そんな贈り物をあなたを愛する者へ届けたら、彼らはあなたの後を追ってゆくかもしれない。

また、復讐心にとりつかれ、最悪の場合、さらなる悲しみの連鎖を広めるかもしれない。

また、自分の振る舞いのどこがいけなかったのかと、自責の念にかられるかもしれない。

最悪の場合、立ち直れなくなる者までいる。

「あなたの死」という贈り物が、あなたを愛する者にとって、どれほど絶大なものなのか、よく考慮せずに突っ走ると、この領域へ来た本来の目的が果たせなくなる。

だから、自殺をした者は、この世での修行を放棄したと見なされ、もう一度振り出しへ戻される仕組みになっている。

それが代替現実と呼ばれるものの構造だ。魂は望み（選択）さえすれば、いつでも死から引き返すことができる。

そう言えば、以前もそんなことおっしゃっていましたね。何でも9つの命を持っているのは、猫だけじゃないって。

となると・・・私たちは何度も死から、引き返しているとおっしゃりたいのですか？

正確な回数を知りたいのであれば、教えてやれないこともないが。

え？どういうことですか？！

あなたは今までに4度、死から引き返している。

はい？私がですか？！

そう。それが超意識（潜在意識）で行われているため、顕在意識のあなたはそれを知らない。

（そもそも、知る必要はないのだが）一度目は、あなたが幼少（5歳）の頃、病で高熱におかされていた時だ。

あの時、あなたは完全に死んでいた。だが、あなたは別の領域へ行く途中で引き返すことを望んだ。

二回目はあなたが8歳の頃、家のそばでボール遊びをしていた時のことだ。

道路へと飛んだボールを拾おうとしたはずみ、

あなたは危機一髪のところまで横切った車に跳ねられそうになった。

（しかも、奇遇にもこの時、車を運転していたのは、あなたの幼稚園時代の先生だったね）

しかし、あの時、あなたは完全に轢かれていた。だが、その結果が気に入らなかつたあなたは、

意識の深いレベルで引き返すことを望んだ。（選択した）

三回目はあなたが13歳の頃、家族で川へ遊びに行った時のことだ。あなたは一人で浅瀬から離れ、深いところへと足を滑らせ、何とか自力で岸まで泳いだ。

しかし、あの時、あなたは完全におぼれていた。

だが、家族が悲しむのを見かねたあなたは、引き返すことを選んだ。そして、四回目が、ついこないだのことだ。

私を引き寄せていなければ、あなたは完全に自殺していた。

どうかな？驚いただろうか？ここまで説明すれば、

この筋書きがどういったものなのか、大体はイメージできただろうか？

うわぁ・・・もう、あいた口がふさがりません。

自分で言うのも何ですが、ハトが豆鉄砲食ったような気分です。

それじゃあ、私たちは何度も代替現実を通して、コンティニューし

続けてきたってことですね。

多い場合だと何十回という者もいる。

魂は人生のどこで・いつ・どのように、物質的な肉体から離れるか、を選択しているのだよ。

その決定は、常に潜在意識で行われる。

まあ、たとえば言うなれば、心臓の鼓動のようなものだ。

（その証拠にあなた方は意識して、心臓の鼓動を止めたりすることはできないだろう）

このような重大な決定は、すべて潜在意識の指揮のもとに行われる。

だから、魂がその課題を終え、次の領域へ進もうと試みる時、

あなた方はそれを阻んだり、恨んだり、嘆いたりしてはならない。

多くの場合、人は先立った者のことを悲しむが、

先立った者・つまり、一足先に私のもとへ帰ってきた者は、

残された者がいつまでも悲しむことを望んだりなどしていない。

だから、私は「千の風になって」という鎮魂歌の中で、そのことをあなた方に諭そうとしている。

（案の定、あの歌は大ヒットしたが）

私のお墓の前で泣かないでください。そこに私はいません。死んでなにかいません。

（究極の現実には、死というものは存在しないのだが）

あの歌詞はできすぎといつてよいほど、非常によくできている。

たった数行足らずの詩の中に、一体化・つまり、

「すべてであるもの」の想いがとてもうまく反映されている。

それじゃあ・・・あの歌もあなたが書かせたものだったんですね。

もちろんだとも。

でも、ちょっと待ってくださいよ！

あなたは先ほど、我々はこのゲームで敗北することは、何があつて絶対にはないとおっしゃった。

しかし、消滅する定めにある者たちはどうなるんですか？

何もかも消えてなくなるのであれば、これほど立派な敗北はないと思つたのですか？

いや、それはただ単にあなたの個人的な価値判断にすぎない。

消滅する・・・などといったことはない。

ただ、形を変えてゆくだけだ。原形をとどめなくなるほどに。

そういう者たちは、過去の生で他人（の心）を原形をとどめなくなるまで、

こっばみじんに虐げている。

それゆえ、来世は宇宙のチリとなる。（今度は、自分がこっばみじんになる体験をする）

チリとは、固体がより細分化した状態のものを言う。

実は、あなた方はこのチリでできている。

（私は聖典で「あなた方はチリだ。ゆえに、チリに還る」と言わなかったか？）

反対に固体とは、チリが集積し凝固したものを言う。

（積もれば山になる・・・なんてことわざもあるではないか）

その本質は、いずれもチリに他ならないが、集積するか、分散するか・・・のどちらかだ。

ポジティブなエネルギーを用いれば、チリを集積することができる。

反対にネガティブなエネルギーを用いれば、チリは分散する。

実は、このチリを心（魂）と置き換えても良い。

今のあなた方はこの心のチリをつぎはぎしながら、

自分の中のジグソーパズル（神性）を完成させようとしている。

ネガティブな人間というのは、このパズルの完成を放棄し、

自分の中のパズル（心の破片）を相手へと投げつける。

暴言・愚行・不親切・愚痴・不評不平・心ない批判・誹謗中傷など

の破壊的なエネルギーを通して。

もし、投げつけられた者がネガティブな者が、または眠りながら歩く者（意識しない者）なら、

またそれを投げ返す。（今までのあなたが、そうであったように）そうやって、心と心のパズル（破片）を交換しあうことによって、互いに欠けた部分を補いあっている。

だが、まれに投げ返さない者がいる。この場合、どうなるか考えたことあるかな？

それって・・・一方通行ってことになりませよね！

でも、一見、被害を被ったほうが損しているように見えるけど、一番損しているのは攻撃する側・・・つまり、

パズルを投げつける側ってことになるじゃないですか！

・・・ふう、これでやっと被害者というものは存在しない、ということの本当の意味がわかったようだな。

ネガティブな人間は、自分が心を盗られているということに気がついていない。

だから幻想に囚われてく内に、ネガティブの沼へとどんどん沈んでゆく。

彼らはいわば、ネガティブ中毒者のようなものだ。

だから、周りからは悪魔サタンのような人などと揶揄される。

なぜなら、彼らはすべての物事をネガティブなものとして見つめるから。

(Satan Seeing anything as negative)

まったく、どうやってたら、そんなオヤジギャグが、ポンポンと出てくるのか不思議でならないです。

あなたはダジャレを考案（開発）する天才ですね！

お褒めにあずかり、結構。

あなた方が言葉や言語と呼ぶ道具には、
組み合わせ次第でいろいろな知恵が搾り出せるようになってる。

(一部の知識人たちは、すでに気がついてるが)

これは私が宇宙の筋書きを書く際に、あらかじめ設定しておいたものだ。

そのようにプログラムしておいたものだ。

そして、このような言葉遊びは、あなたの国の言語(日本語)でもできる。

(実はこの筋書きは、日本を中心に書かれているのだが)

たとえば、「神」という単語は「紙」と置き換えることもできる。

(髪や上と言うこともできるね)

その証拠に、私は対話の2冊目のほうで、

天秤の上には何枚もの紙(私)がのつっていると表現した。

さらに三冊目では、あなた方は私と対話をする際、「上」を見上げるとも言った。

(なぜなら、私があるとこるだから)

また、あなた方の髪は頭の上うへに生えている。

まあ、これは訓読みで言葉遊びした場合だが、

音読みで言葉遊びしてみると、さらなる真実が浮き彫りにされる。

つまり、神しん真しん新しん心しん心しん信しん深しん進しんといった具合に、

いずれも読みは「しん」だが、これらの言葉の中には、組み合わせ次第によって、

深い意味合いを引き出すことができる。

つまり、私は大宇宙の「真」実であると同時に、

毎瞬、「新」たな存在として生まれ変わり(実は、今日のあなたは、

昨日のあなたではないのだが)、

諸々の存在の「深」い部分であり、「芯」(本質)であり、

常に我が身に宿る神性を「信」じつつ、たゆまない「進」化・向上

を目標としている。

（ただし、これらはいくまで言葉遊びの一種にすぎないので、こたわらないように）

うわあ。

うわあ・・・だろう。

（あなたはもうかれこれ、10回以上この言葉を連呼しているね）

それじゃあ、あなたは決して後ろを振り向かないんですね！
要するに、根っからのポジティブ野郎ってことっすね（笑）

ポジティブ野郎とは、言ってくれるね（笑）

ロトの妻は後ろを振り返ったがゆえに、塩の柱になった。

あなたは今、プロセスの秘密を掴んだ。生命は常に未来だ！

未来にこそ価値がある。なぜなら、過去はいくまでプロセスの結果

（経過）にすぎず、

明日へののろしを上げるための、トランポリン飛躍台にすぎないからだ。

だから、反省はしても、後悔だけはしてはならない。一旦、後悔に隙を与えてしまうと、

悪循環による連鎖がはじまり、再び幻想の沼地へと引きずり込まれてしまう。

あなた方は今、ネガティブの大海の中で泳いでいるようなものだ。

しかも、大半は眠ったまま、無意識に。

マスターはそのどす黒い大海の中にいながら、常に輝きを失うことはない。

なぜなら、彼らは常に意識して歩（泳）いているのだから。目を見開いて歩いているのだから。

どうすれば、彼らのようになれるのか詳しくご教示いただけません

でしょうか？

もっと・何と言いますか、何か手っ取り早い手法がないものでしょうか？

あるとも！とにかく、いい気分になりなさい。

は？どういうことですか？

私は文字通りの意味で言っているのだよ。

胸が躍るような、ワクワクする体験を呼び覚ましてごらん。

何でもいいから、自分の気持ち愉快（快活）になるきっかけを意識して）つくってごらん。

口笛を吹くのも良いし、歌を歌ったりするのも良い。

画を描いたり、詩を吟じたり、雨水の中で踊ったり、

セックス（波動の交換）を楽しんだりするのも良い。

とにかく、人生／生命と戯れる術を身につけなさい。

精神と伴に道連れになりなさい。さすれば、飢えることはなくなるだろう。

その手法は人によって様々だが、自分にあつた方法を探しなさいとすすめているのだよ。

それじゃあ、マスターはいつも気分絶好調ってことになりませんが。

自分が楽しくなかったら、いったいどうやって人を楽しくするのだね？

よもやイライラしたまま、人を幸せにできると思うのかな？

不安を抱えたまま、人を慰めることができると思うのかな？

あなたは、いいところに気がついた。そう、あなたの言ったとおり、マスターの心的指数は、「喜び／感謝」より以下になることはない。

ましてや喜び／感謝のない人生など、彼らには想像がつかない。

だから、彼らは闇の中で、常に光でい続けることができる。

なぜなら、彼らの在り方（心の中）そのものが、光（喜びと感謝）に満たされているのだから。

実は喜び／感謝というのは、ありとあらゆる振動（波動）の中でも最も最高に値するものだ。

喜び／感謝は、すべての魂の特効薬であり、唯一合法的な麻薬でもある。

喜び／感謝は、ありとあらゆる困難を容易にする。

もし、あなたがいつも喜びと感謝に満ちた人生を送っているのであれば、

この本はもう閉じてよろしい。

そういう人は自ら人生／生命から喜び／感謝を見い（創り）出す術を、

完璧にマスターした者なのだから。

彼らの微笑みは止むことがない。それゆえ、彼らは周りの者を微笑ませてくれる。

（MASTER Make Smile To Everyone）

何かを得る一番手っ取り早い方法・・・それは、自分がその「何か」になればいいんですね！

ブラボー！よく、わかってるじゃないか。

それじゃあ、反対に誰かが（意図して）マスターに、

気分を害するようなことをしたらどうなるんですか？！

マスターは決して、気分を害されたりはしない。（あなた方と違って）

彼らは決して、機嫌を損ねたりはしない。ましてや、そんなのマスターなんかじゃない。

彼らはネガティブなエネルギーそのものが、罨だということを見抜いている。

（あなた方もナザーの声に耳を傾けようと決心さえすれば、それができるのだが）

そして、そういった罨にはまっけてしまわないよう、

常に慎重でありながら楽観的に（意図して）選択する。

だから、そのような境遇（他人が創造した悪意）に出くわしたとしても、

決してそれに肩入れするようなことはしない。

つまり、彼らは決して対象を呪ったり、批判したりしない。

しかし、そうでない者は一時の衝動に突き動かされ、激しく抵抗する。

だが、いいかな。抵抗すればするほど、相手はますます居座る。

なぜなら、もしネガティブなやり方で相手に関心を注ぎ続けていると、

相手をその場にとどめてしまうことになりかねないからだ。

受け入れてはじめて、消え去る可能性が芽生えてくる。

というのも、抵抗するというのは、相手に生命を付け加える行為^{エネルギー}だからだ。

とくに霊的なマスターたちは、このことをよく熟知している。

だから、彼らは気に入らない創造に出くわしてしまった場合、再び（意図して）選びなおす。

ちよつと待つてくださいよ！それじゃあ、

プラスの想念を持ちやすい環境にいる者のほうが、得ではありませんせんか？

たとえば・・・お金持ちの家に生まれたり、周囲の人たちが愛情豊かな家庭で育つたり・・・とか。

得も損もない。全ては因果の結果に基づいて生じているにすぎない。

実際、どのような想念を持つかは、環境に支配されるべきものではない。
その証拠に恵まれた環境にいながらも、怒り、嫌悪、嫉妬にかられながら生きてる者もいる。

（あなた方の仏教では、これを孤地獄と言っているね）
反対に貧しく厳しい環境にいながらも、それらに左右されることなく、

平和な意識状態を保ち続けている者もいる。

あなた方は環境が人間の内面を支配していると思っ込んでいるようだが、実はそうではない。

実は、内面をコントロールするのは、どこの誰でもなく・・・あなた方自身なのだよ。

（私は「あなた方は自分自身の運命の創造者」だと言わなかったか？）

ゆえに、あなた方がどのような状況に直面しても、
愛と光を感じることでさえできれば、それは肯定的な体験となる。

しかし、そこに恐れ、不安などが生じれば、それは否定的な体験となる。

すべては因果応報の法則の元になりたっている。

すべての体験には、きちんとした意味合いがある。つまり、あらゆるものには、

「魂の課題」という名の、複雑な意味合いが含まれている。

ただし、その場合、因果によって生じる体験を単なる罰だと考えてはならない。

なぜなら、過酷な体験には魂を急速に成長させる利点もあり、
あえてそのような人生を選ぶ魂もいるからだ。

従って、現在ひどい境遇にいる者が必ずしもみな、

過去生においてマイナスの波動を創り出したわけではない。

つまり、貧困という体験を今までしてこなかった魂が、過去生において特に貧しい者を馬鹿にしたり、

贅沢三昧に暮らしたわけでもないのに、
新たな学習を目的として、貧しい境遇を選ぶということもあるのだ。

いいかな、次のことをよく銘じておきなさい。

すべての体験の目的は、魂を成長させることである。

むしろ、体験する個人にとっても、それを見る傍観者（私）にとってもだ。

（実は魂の中には、傍観者にひとつの教訓を見せるために、

あえてそのような境遇を選んできた者もいる）

とくにあなた方の住む三次元世界は、確かにある意味では学習（体験）の世界だ。

そこには、学びに必要なありとあらゆる教材が用意されている。

そのためにドラマを演じる役割の者たちが、大勢ここを訪れている。

そう言われますと、確かに一理あるなと思います。

何と言いますか・・・機嫌が悪そうな人を見ていると、

こちらも機嫌が悪くなりそうになることは、しばしば経験します。

そういう人たちを差別する訳ではありませんが、彼らを見ればみるほど苛立たしくなります。

そういう人からは、顔をそむけなさい。

はつきりと意識して、関心をよそへ向ける訓練をしなさい。

決してそれに、心を奪われてはならない。

（心を奪われる・・文字通り、その創造に協力すれば、心のキャパシティは縮小する）

反対に（意識して）微笑んでいる人を見つめなさい。

あなたと違うベクトルを持った人間と伴に行動しても、

目的地へ到達するには多大な困難が付きまとう。

あなたがこの対話のはじめのほうで切り出した、あの歌詞を思い出

してごらん。

相乗効果で良くなるう！同じベクトル持った僕ら、無敵！

それ同様、大勢のマスターが力をあわせれば、より強大な力が発揮できる。

それこそが集合意識なるものの恐るべき力であると同時に、創造の偉大な秘密のひとつでもある。

要するに我々の最大の敵は、ネガティブな物事の考え方ってことですね。

今日、この家に救いがやってきた！

あなたは今、この宇宙で生き延びるための偉大な知恵（秘宝）を手にした！

（後はそれを意識して使うかどうかにか委ねられている）

あなたの言ったとおり、意識の最大の敵は、否定的な感情だ。

ネガティブな人間というのは、ブラックホールのようなもので、魅力的でないがゆえに人々は離れてゆく。

ポジティブなエネルギーは物事をシンプルにするが、

反対にネガティブなエネルギーは物事を複雑に困難にする。

とくにインシュタインは、このことをよく理解していた。

だからこそ、彼は「楽しい時間はあっというまに過ぎるが、退屈な時間は永遠のように感じられる」という、

不朽なる心の相対性理論を発見することができた。

つまり、ありとあらゆる苦しみを創り出していたのは、

我々の（統制が利かない状態の）心・・・日々の物事の考え方だったってことですね。

あなたは今、マスターへの道を踏み出し始めている。

すべてを変える方法は、ただひとつしかない。それは心・・・つまり、

考え方を变えることだ、と

偉大なマスターの多くがそのように教え諭してこなかったかな？

つまり、考え方・視点を変えない限り、自分の周りの環境も変わることはない。

なぜなら、あなた方一人一人が、自分の現実の創造者なのだから。

ただ、それを思い出ししている者と、

忘れたままの状態の者（または思い出したくない者）がいるだけだ。もし、澄み切った状態でいたいと望むのであれば、

すべて自分（の心）が創り出したものだということを忘れてはならない。

なぜなら、すべての物事の意味づけをするのは、他でもなく・・・あなた自身なのだから。

観察されたもので、観察者に影響されないものはない。

それが偉大なる宇宙の公式だ。フォーミュラ

あなたと御会いできて、とても嬉しく思います。

心から深く感謝しております。できれば、このままもっとお話を続けたいところですが、

今日は流石に体力・精神力の限界が来たようです。

ですので、少しお休みさせていただきます。

たっぷりと休みなさい。そして、また私の元を訪れなさい。

そうしたら、最後の7つ目の秘密と、あなた方人類（地球人）の起源について明かすでしょう。

ああ・・・私たち人類の起源ですか。とても楽しみです。

また、あなたとお話ができると思うと、胸の高まりが収まりません。今日は、本当にありがとうございました。また、ここで会いましょう。

では、おやすみなさい。

・おやすみ、いとしの我が子よ。

へい、へい

命のちぢみ【7】

2008年8月28日

<自宅・ベッドにて>

神様、おられますか？

もし、私の声を受信されたのであれば、お返事願います。

・・・（長い沈黙）

・・・昨日はよく眠れたかね？

はい、おかげさまで（笑）

いやぁ・・・それにしても、あなたはホント神出鬼没なんですね（^
^）

私はあらゆるところに偏在する。

私でないものは、何一つとしてない。

なぜなら、あなたはかつて存在したすべてであり、

これから存在するすべてであり、アルファでありオメガである・・・
でしょ？

うまい！だんだん慣れてきたようだな（笑）

存在するすべてが、あなたがミニチュアしたバージョンとなると、
この宇宙がいったい、どうやってできたのか・・・ますます気になっ
てきましたよ。

対話の中では確か、もともとひとつの存在であったあなたが、アメ

ーバのように(？)

いくつにも分裂することによって、

この宇宙(のありとあらゆる生命)ができた・・的な回答をされておられますが、

どうも私からしてみれば、少し抽象的でわかりにくかったのですが、もっと具体的な回答は得られないものでしょうか？

何と言いますか・・もっと、ハッキリとイメージ・理解できるような表現はないものでしょうか？

(長々とすみません・・汗)

要するに、あなたが求めているのは、科学的な回答だということだろうか？

そう！そうです！

心象的な意味合いではなく、もっと万人にイメージしやすい形と言いますか、

科学的な意味合いにおける回答を求めているんです。

もし、ご教示いただけるのであれば、これほど嬉しいことはないです。

説明できないこともないが、今のあなたの認識レベルでは、おそらく説明したところでチンプンカンプンだろう。

とにかく、量子物理学を学びなさい。話はそれからだ。

とはいっても、これを説明しない以上、話が先へ進むこともない。なので、ここでは簡単に少しだけ触れておきましょう。

いよっ！待ってました！！

どうぞ、始めてください。

よろしい。では、私のほうからひとつ質問させてもらおうが、

あなたは「色即是空」という言葉を聞いたことがあるかな？

色即是空ですか？

確か・・・どっかの宗教（？）の中に出てくる言葉だった印象はあります。

般若心経の中の言葉だ。

それで・・・この言葉の本当の意味が何なのか、理解できるだろうか？

ちょっと待ってくださいよ。今、電子辞書で調べます。

（長い沈黙）・・・えっと、色即是空ですね。

広辞苑には、次のようにありますね。

・色即是空

【仏】（般若心経）色とは現象界の物質的存在。
そこには固定的実体がなく空であるということ。

・・・ごめんなさい。さっぱり意味がわかりません（恥）

空を「無」に置き換えてごらん。

え？どついつことですか？

・色即是空

色とは現象界の物質的存在。

そこには固定的実体がなく無であるということ。

つまり、あなた方が日々現実と呼んでいるものは、実は現実ではないということだ。

意味がわかりません。

おや？私はあなた方は幻想の中で生きていたの、もう忘れてしまったのかな？

あなた方が日々、触れ、嗅ぎ、見、味わい、知り、感じるものすべてが、

果たして本当に実在するもの（実体）だと思っていたのかな？

何が言いたいんですか？

まるで、この世のありとあらゆるすべては現実ではない、とでも言いたそうに聞こえますが？

まさか私たちは、空想（仮想現実）の世界で生きていても言いたいのでしょうか？

本当に現実だと思うか？

いや、わからないから聞いているんですが・・・。

では、最後の7番目の秘密を明かすでしょう。

秘密？

この世（とあなた方が呼ぶもの）は、無のコンピュータが想像 創造した仮想空間である。

あなた方は今、想像（Imagine）の中の世界にいる。

だが、本当は何も無い。（あるかのごとく見せかけているだけだ）そこにはただ、波動の観念が渦巻いているだけである。

あなた方は光でできている。ゆえに、あなた方は皆、ホログラフィーである。

どういうことですか？！説明してください。

よろしい。説明を求めたのは、あなただ。

求めた以上、あなたはそれを受け止めなければならぬ。

では、始めるとしよう。私はこの対話のはじめのほうで、

この世（宇宙）の原理を手取り早く理解する上で、量子論が最も役に立つと提案した。

実は、この量子論こそが、宇宙の謎を解くのに最も最適だと言ってもよい。

3部作のほうでも少し触れてあるが、ある物質（固体）を高度な電子顕微鏡で観察すると、

それを構成している分子へとたどりつくことを、あなた方の科学はすでに突き止めている。

そして、さらにその分子を細かく分割してゆくと、それを構成する原子へとたどりつく。

さて、ではここでひとつ質問をさせてもらおうが、この原子を細かく分割してゆくと、最終的に何が残ると思う？

・・・さあ、何でしょうね。

そもそも、そのような疑問自体、今まで考えたことすらありませんでしたので（恥）

でも、物質をより細分化してゆくと、

元の形の小さいバージョン（フラクタルでしたっけ？）がいくつもできあがることから、

やはり素粒子のようなものか何かが、最終的に残るんじゃないでしょうか？

ほう、いいところに気がついたね。

それで・・・その素粒子が何でできているのか、考えたことあるかい？

・・・いえ、わかりません。

さらに細かい微粒子が何かできてるんじゃないでしょうか？

では、その「さらに細かい微粒子」は何でできてると思う？

・・さらにさらに細かい微粒子ですか？

この質問を繰り返すと、キリがなくなるね（笑）

実は物質を極限にまで突き詰めてゆくと、最終的にある根源へとたどりつく。

その根源が何なのか、を聞いているのだよ。

・・考えてもラチがあきませんので、もうお手上げです。

それでは答えを教えてください。

・・私だ。

え？

存在するありとあらゆるすべては、みな私でできている。

・・意味がわかりません。そういうあいまいで抽象的な表現はいいかげんお止めになり、

そろそろもつと、具体的にご教示いただけないでしょうか？

私を知りたいのは科学的な回答であって、そういった哲学的な回答ではありません。

では、こう答えようか。

・・波動だ。そう、純粹なる思考エネルギーだ。

（一部の量子物理学者たちは、偉大なる知性と呼んでいるね）

つまり、この宇宙は思考エネルギーによってできている、というのとでしようか？

そう。思考エネルギーというのは、波動の別名だ。

（その証拠にあなた方は日々、何かしらの波動を常に宇宙へ向けて放射している）

私はこの対話のはじめのほうで、

宇宙はいろいろな波動エネルギーの組み合わせによってできている、と言わなかったか？

いやあ・・・これまた、たまげましたよ！

となると、現象界にある物質はみな、この思考エネルギー・・・

つまり、波動の組み合わせによって、できているってことになりま
すね。

こう来るとなると、先ほど取り上げられた色即是空の意味がわかってきたような気が致します。

つまり、この世は無ってことなんでしょう。

一見あるかのように見せかけておきながら、実際は何も無かったってことですね。

それが技術トリックというものだ。

仮にこの技術を「波動の科学」と置き換えても良い。

実はH E Bたちは、この波動の科学を応用することによって、自身が頭の中で思考し想像イメージしたものを、瞬時にして具現化（創造）できる。

だから、あなた方が言う「作業」や「労働」などといったものは、自ら望んで取り組もうとしない限り、実行に移されることはない。さらに彼らは、自身の肉体を（意識して）波動レベルにまで上げる
ことにより、

この宇宙のありとあらゆる場に「位置」（瞬間移動）することがで

きる。

また、望みさえすれば、星を破壊したり、宇宙そのものを創り直したりすることだってできる。

つまり、彼らは想像イメーシすることによって、すべてを創造クリエイトする。

なぜなら、想像 (Imagine) というのは、オリジナルの私

(Origine) であり、

かつ、ひとつである私でもあるからだ。

(Imagine Imagine gine) 【gine ジン 神】

I'm a 神 私は、ひとつの神である)

ゆえに、私は純粹なる想像のエネルギーである。

だから、この宇宙で私でないものは、何一つとしてない。

ここまでは、理解できただろうか？

はい、対話の2冊目のほうでも確かそんなようなことを仄めかしておられましたね。

何でも地球の科学者たちは、月から持ち帰った鉱石を分析した結果、それが木々を構成している成分と同じものでできているって。

そんでもって、さらに分析してゆくと、

我々人体を構成している要素とも同じだ・・・のようなことを仰っておられましたね。

ほう、よく覚えていたじゃないか。

これでようやく、「あなた方は土でできている。ゆえに土に還る」という言葉の真意がわかったかな？

ええ。となると・・・宇宙は一元論ってことになりますね。

ご名答！やったじゃないか！

これであなとも今日から、立派なメッセンジャーの一人だ。

ありがとうございます。

これもすべて、あなたのお導きのおかげです。

実はあなた方はみな、メッセンジャーなのだよ。

ただ、そのメッセージを意識してばらまくか、それとも無意識ではらまくか・・・のどちらかだ。

皮肉なことに、あなた方はひとつの畑に、同時にふたつ以上の種をまいている。

本来、「きゅうり」を栽培しようと計画していたあなたは、気づかないうちに（意識せずに）、

「トマト」の種を後ろポケットからばらばら落とし、

さらに他人がそこへ「ナス」の種をまくことを許容しているようなものだ。

そのあげく、トマトとナスに養分を奪われた結果、^{エネルギー}新鮮感のない、しなびたきゅうりができあがる。

それで収穫する際、あなた方はどうして、しなびたきゅうりができあがったんだろう・・・といぶかる。

だが、いいかな。たとえ自分が自分の現実の創造者であろうとも、生きようとする意志・・・

つまり、意識してポジティブな方向へ転換しようと試みる向上心がなければ、

あなたは再び他人、または集合意識の創造した曖昧なエネルギーにつけ込まれる。

とくにその中でもネガティブなエネルギーというのは、絶大な影響力を持っており、

いろいろな手法であなた方を誘惑してくるだろう。

ネガティブなエネルギーというのは、一種の罠のようなものだ。

一旦、その罠にはまると、そこから抜け出すのは至難の業だ。

過去にはイエスや仏陀も、サタンやマラーの誘惑に遭って来た。

しかし、彼らの意識レベルは人並み以上に強靱なものだったので、容易にそれらを跳ね除けることができた。

だが、あなた方の多くは、まだ未熟だ。私が観察する以上、ひとつの意識で、

集合意識を揺り動かせるほど、あなた方の意識レベルはさほど成熟してはいない。

(それができたら、英雄なのだが)

ちょっと待ってくださいよ！

それじゃあ・・私たちが日々、知らず知らずの内に、

ネガティブの波を受け入れているとでも言うのでしょうか？

無意識のうちに、ネガティブなエネルギーを許容してしまっている
とでも？！

おや・・かなり不服のようだね。

何なら、いくつか事例をあげてみようか。

そうだな・・たとえば、ネガティブの土壌に養分を与える、こんな不安要素がある。

・ 良い職に就かなければ、将来が危うい。

・ 良い学校に進学しなければ、エリートになれない。

・ 良い生命保険へ入らなければ、老後が心配。

・ 良い人を雇わなければならない。

・ 誰よりも、多くかき集めなければならない。

(実は分け与えれば分け与えるほど、より多く受け取れるのだが)

・ お金をもつと稼がなければ、幸せになれない。

(なぜ今、幸せにな(在)ろうとしないのだね?)

・ 競争しなければ、生き残れない。

(競争すれば、自滅が待っているのだが)

・ この世はしよせん適者生存、強い者のみが生き残り、弱者はただ

搾取される。

（あなたの信念がそう思うのであれば、それを体験することに繋が
る）

・結婚して良い家庭を築かなければならない。

ざっとこんな感じに、あなた方は何でも「良い」「良くない」「こ
だわるあまり、

それがあなたの信念にどのような影響を及ぼすのか

（愛を基盤にしているのか、それとも不安を基盤としているのか）、
を見抜けないでいる。

そのあげく、他人や特定の宗教にその答えを求めずがるようになり、
自分で目を見開いて、歩きつつ創造することを放棄している。

だが、そんな主体性のない、ピエロのような生き方をしていると、
一生静かな絶望の人生を送ってゆかなくてはならないハメになる。

要するに・・・私たちの社会には、差別が多いとでも言いたいのです
か？

いや、あなた方の社会には、詭弁が多いと言っているのだよ。

（しかも皮肉なことに、言ってる本人自身がそれを詭弁とすら気づ
いていない）

詭弁ですか？

そう。それも不安の苗木を植え込むことを、極端に正当化しようと
するものばかりだ。

そうだな・・・たとえば、偏差値だ。あれは学歴差別の詭弁だね。

うわ・・・それ言ったら、ヤバいと思うんですけど。

ヤバい？ヤバいとは、これまた大げさだね。

あなた方は本来、重大なこととして取り上げられるべきことには一向に目も暮れず、

反面、さほど重要でない、ささいなことを大げさに取りざたしたがる。

第一、どうして子供たちの広大な可能性を偏差値（成績）などといった、

狭い枠組みで押し量ろうとするのかね？

なぜ、良い学校に入らなければ、社会に受け入れてもらえない・・などと、

頭越しに決め付けるような社会風潮（集合意識）に意図も容易く屈服するのかね？

それで多くの子供たちが劣等感で傷つき、

未来を閉ざされているということに、まだ気がつかないのか？

・・大分、ご立腹のようですね。

いや、怒ってなどいない。私は事実を、ありのままに述べているだけだ。

それに関して批判もしなければ、価値判断をすることもない。

ただ、あなた方の種にとって、何が役に立ち（うまく機能し）、何が役に立たない（うまく機能しない）のか・・をありのままに指摘したまでだ。

あなた方はどうでもいいささいなことを、大げさに取りざたする。

あなた方は完璧さはまるで可能のように思っているが、実際には人のためには何もしようとせず、

ただ他人や自分のつまらない、ささいなあら捜しにのみ専念している。

ブヨは渡しても、ラクダは飲み込んでいる（マタイによる福音書2

(重大なことを重大と思わずに、ささいなどうでもよいことを重大視することの愚かさを説いたもの)

とくに、あなた方の国会を観察していると、とても面白いことに気がつく。

たとえば、政治家が何かのはずみで言った何気ない、ささいな発言でさえ、鬼の首を獲ったかのごとく、大げさに取りざたする。

そのあげく、彼らの政治家人生を破滅へ追いやるまで、徹底的に攻撃(批判・非難)する。

(実は非難すればするほど、非難する対象をより増幅させているだけなのだが)

そして、本来取り組むべき諸々の課題をそっちのけで、ほんのささいなミスを切欠に、相手を完膚なきまで叩きのめすことのみ専念する。

そのような状態で果たして、どうやって国を養おうと思うのだね？

ちょっと待ってくださいよ！それは何でも言いすぎでしょう！

これじゃ、まるで国民やマスコミが一方的に悪い・・・と言ってるように聞こえますが？

私は誰々が良い・悪いとは言っていない。また、それについて批判することもない。

再度言うが、事実をありのままに指摘したまでだ。

あなた方は自分の失言(失態)には寛大だが、

他人の失言(失態)は完膚なきにまで叩きのめす・・・という事実を。そして、世論という名の集合意識が、どれほど絶大な影響力を持っているのか・・・という事実を。

つまり、あなた方の社会(集合意識)は自分に甘く(優しく)、他

人に厳しい・・・という事実をね。

要するにあなた方の社会（集合意識）は、自分の個人的な嗜好（好み）にしか関心が向いていないと言っているのだよ。

というのも、あまりにも多くの者が点で物事を判断しているからだ。だが、進歩した世界では各々が全体を見渡しながら、場をきちんと把握し認識している。

つまり、HEBは全体を見渡し認識するが、あなた方は点を見て判断する。

点を見て判断するから苦しむのだ。全体を見渡せる（認識できる）ようになれば、苦しみから解放される。

あなた方の今の社会は残念ながら、まだ文明社会と呼ぶわけにはいかない。

多くの者がいまだに良いことをしていると思い込んで、平気（兵器）で人を殺す。

（言葉も使いようによっては、兵器になりうると知らない者があまりにも多すぎる）

だが、自分の暴力（言動）の償いは、いつか自分自身で支払わなければならなくなる時が来る。

要するに、私たちの社会には、自己中な奴が多いとでも言いたいのですか？

いや、利己主義者（低い意識）が多いと言っているのだよ。

使う者の意味あいにもよるが、自己中心と利己主義は似て非なるものだ。

そこでオスカー・ワイルドは、次のような言葉を残している。

利己主義は自分の望み通りに生きることではない。

自分の望み通りに生きられるよう、他人に強制することである。
一方、利己主義と反対の立場は他人の生活に干渉しないことである。
利己主義者は、周囲の者が自分の理想の型にはまっていけないと承知
できないものだ。

非利己主義者は性格に無限の変化があるのを好ましく考えており、
楽しみながら快く受け入れる。

by オスカー・ワイルド

つまり、あなた方は、低い意識に取り巻かれた社会の中に埋没して
いる。

この利己的な意識の多くは、動植物の意識だ。

動植物の心というのは、相手のことを考慮できるほど、キャパシティ容量は大き
くない。

だから、いかにマスターであろうとも、一旦そのような意識の中に
取り込まれると、

身動きが取れなくなる場合がある。そして、最悪の場合、迫害され
殺されてしまう者もいる。

そう、かつてのキリストが迫害され、殺された時のように。

（さすがに今の時代では、そのようなことはないかもしれないが）
動植物の意識というのは自己保身に専念するあまり、あれこれと心
配し悩み、

そのあげく不安要素を次々と引き寄せては、意識せずに外へばらま
く。

そして、自分がそのような意識の中に埋没しているということに気
づきもせず、

漠然と彷徨い、生きた屍のような日々を送っている。

どうして、そのようなことになってしまったのでしょうか？

みな、情性で創造しているからだ。

まあ、行き当たりばつたりに創造しているようなものだな。
生きようという意志が、まったく見られない。
あまりにも多くの者が「うっかり」選択している。

うくん・・何と言いますか、この場合は相乗効果の逆バージョンの
ような感じですね。

相乗効果どころか、相反効果といったところだな（笑）

とくに同じベクトルを持った者たちの中に、一人でも違うベクトル
が混ざりこむと、

相反効果を生み出すことになり、本来の目的達成が難しくなる。

とくに成功哲学の祖である、ナポレオン・ヒルは、このことをよく
理解していた。

だからこそ、彼はマスターマインドの最大の敵は、否定的な意識だ
ということ突き止めた。

実際のところ、宇宙はただあなた方の純粋な意思（想い）に応じて、
（意識するにせよ、無意識にせよ）望んだもの（選択したもの）を
経験させる。

その経過であなたが本来のエネルギーと、相反するエネルギーを取
り入れてしまうと、

プラマイゼロでエネルギーが相殺され、宇宙はどうしたらよいのか
わからなくなる。

と言いますと？

そうだな・・では、ひとつ質問するが、あなたは幼い頃から憧れて
いた夢はあったか？

将来、何になりたいのか、またはどんな職業に就きたいのか、

少なからず、ひとつ以上はあったはずだが、それを思い返してごら
ん？

はい、私は絵を描くことが大好きでしたので、漫画家になろうと決めていました。

それで・・・どうして、なろうとしないのだね？

漫画家になっても、必ずしも成功するとは限らない・・・と周りの人たちが言うからです。

また、ロクな仕事じゃないから、やめておけって言われました。

それに・・・この世界では競争も非常に激しく、成功できるのはほんの一握りだとも言われました。

なので、そのようにアドバイスしてくださった方たちの意見を少々汲み取りました。

ほう。それであなたは、その野次馬たちの口車にまんまとのせられ、夢を諦めたという訳か。

嫌味なこと言いますね。諦めた訳ではありません。

ただ、方向性（進路）を少し軌道修正しただけです。

軌道修正か・・・それも詭弁の一種だな。

何が言いたいのですか？

あなたは今、私が指摘したことを、自ら証明していることに気がつかなかったか？

どういうことですか？

相反（相殺）効果だよ。（乗るか、反るか・・・なんてことわざまで

あるではないか)

あなた方の最大の弱点は、破壊的で無益なベクトル(考え)に対して、

あまりにも心(関心)を奪われすぎているという点だ。

あなた方の社会は今日、知らず知らずのうちに不幸な人間をどんどん産出している。

とくにあなた方の親(神話)というのは、

あなた方に「何か真面目な仕事に就いてくれるといい」といつも思っているが、

その思いが本当に子供のためではなく、単なる自己満足、

または己の虚栄心を埋めるためにすぎない場合が多い。

また、善意ではあるが、子供にレールを敷こうとする親もいるが、

彼らの大半は、子供にあらかじめ備わっている能力(天性)と嗜好

(至高)を無視している。

つまり、多くの者たちが途中で物事を放り出し失敗してしまったのは、善意ではあるが無知な者たち

(大半の場合はあなた方の親や教師)によって、自信を喪失させられたから、

だということに気づける者は残念ながら、決して多くはない。

子育てが下手な若い親はとくにそうだ。自分が何者なのか、を決めてすらいけないのに、

すぐに他人が何者なのかを決定する行為に突っ走る。

だから、子供たちの多くはその思い(信念)が、

自分の中の純粋な本音(ナザーの呼びかけ)と相反すると、

深い心理的な葛藤を経験し、そのあげく非行に走ったり、うつになつたりする者が現れる。

そして、社会へ出てた後も、たまつたうつぶんを晴らすのに苦勞し、ストレス過剰で静かな絶望の人生を送るハメになる。

つまり、あなた方の多くは、自分の中の純粋な想いを踏みこじるよ
う、

(または無視するよう)教育されている。

喜びを素直に表現してはいけない、性に関してはオープンになってはいけないなど、

本来の自然な姿を抑圧し、反対に人工的につくられた不自然な形式を、

基本的な教育方針として採用している。

それはあたかも、幸せになるために、

誰かにわざわざ了承(同意)を得ようとしているようなものだ。

だが、いいかな。次のことをよく肝に銘じておきなさい。

幸せになるのに、誰の了承(同意)もいらぬ。

ライオンに「幸せになってもいいですか？」と、たずね聞くことほど愚かしいことはない。

道端で咲いてる雑草に「私は幸せになってもいいですか？」と、

了承を得ることほど馬鹿馬鹿しいことはない。

あなた方には楽しむ権利がある。あなた方は本来、

苦しみ(ネガティブ)を通して成長することではなく、

楽しみ(ポジティブ)を通して成長するように、私の姿を模り、私

に似せて創られた。

だから、大いに人生を楽しみなさい。もっと、心から笑いなさい。

もっともっと、みながほほえむきっかけを、意図して創りなさい。

ご教示ありがとうございます。

そう言われると、確かに私たちの社会がどれだけ、

他人の成功を許せない意識が多いのか・つまり、嫉妬深いのか

がよく伺えます。

あなた方の社会は生命の自然体である、本来のありのまま姿を包み隠し、

反対に不自然、かつ人工的につくられた形式を重視するあまり、うまく機能していない状態下にある。

だが、決め付けやこだわり・形式ほど、自由（無限の神性）を束縛するものはない。

（「伝統」などと呼んでいるが、これも詭弁にすぎない）
決め付ければ決め付けるほど、余計苦しみが増す。

あなた方の社会はたとえて言うなれば、道端で歩いている最中に、知らず知らずのうち土を踏み、それが何なのかわからず、勝手に犬の糞だと決め付け（想像し）、一日中不快な気分陥っているようなものだ。

うわ・・凄いことおっしゃりますね。

これじゃあ、まるで私たちが、自分で自分の首を絞めているように聞こえてならないのですが？

・・何なら、具体的な事例をいくつかあげてみようか。

たとえば、定年退職だ。あなた方の多くは、一度定年退職してしまつたら、

もう働く（社会に貢献する）必要はない・・・と勝手に決め付けている。

後は、穏やかな老後を過ごせばよい・・・などどこだわっている。

また、働いている間は苦しまなければならぬ、労働は本来過酷なもので、

決して楽しみながら働いてはならない・・・と自分で自分の信念に言い聞かせている。

さらに、あなた方の社会は、働かない者・働けない者には、一方的に容赦ない。

とくに働けなくなった高齢者のほとんどは、社会から疎外（隔離）されていると言ってもよい。

だが、なぜ精神的にやっとな本領を發揮できる知恵者たちに、新たな活躍の場を提供してあげないのだね？

いや・・だつて、彼らはもう肉体的にそろそろ限界が来ていますし、これ以上酷使する訳にもいかないでしょう！

そんなことをしたら、労働基準法に違反しますよ。

やれやれ・・まさか、あなたが現役貫徹主義者だったとは、思いもよりませんでしたよ。

それにこれは決まりです。つまり、私たちの社会が定めた法^{ルール}です。わかりますか？なので、あなたがどうこう言ったところで、どうすることもできません。

だとすれば、あなた方が作りだした法^{ルール}は、あまりうまく機能していないことになるね。

どういうことですか？

あなた方の社会は、弱者切捨て社会だ。

要らなくなったものは、とことん削除し、必要と見なされたものだけが居残る社会だ。

だが、ひとつ提案があるのだが、

なぜ高齢者たちにもつと自己（個性）を発揮（表現）できる機会を提供してあげないのだね？

なぜ、物事をもつと有効活用しないのかな？

一度、使ってしまったさえすれば、後はもう切り捨ててもかまわないと思うのか？

と言いますと？

たとえば、子育てだ。あなた方の社会では責任などと称して、まだ精神的に熟していない若い親たちに子育てを委ねているが、真実を採取する経過にある者が、果たしてどうやってうまく子育てをすると言っただね？

皮肉を言うつもりはないが、あなた方の社会はたとえて言うなれば、これからだぞ！と学んできた者たちの前途を閉ざし、まだまだこれからだ！と学びかけの者に、より一層と拍車をかけているようなものだ。

あなたは狼に育てられた少女の話聞いたことがあるかな？

あれと一緒に、心の容量がまだ人間（マスター／HEB）でない者、つまり、動植物の者たちに子育てを委ねていたら、そんなの結果は丸見えも同然だ。

同じことを繰り返すようだが、若い親たちが何とか上手に子育てをしているのは、

もはや奇跡としか言いようがない。

また、これはあなた方の企業（利潤を追求する組織）についてもあてはまる。

どうして新人教育に最も最適な者たちを、定年を理由に解雇できよう？

どうして人材育成に最も貢献が期待できる者たちを、社会の隅っこへ押しやろうとするのか？

いいかな、次のことをよく銘じておきなさい。

この世では捨てるものはあつても、捨てるものはない。

（捨てる神あらば・・・なんてことわざまであるではないか）

何一つとて無駄なものはない。あなた方がやたらと何かを捨てたり、切り捨てたりしようとするのは、その「何か」に秘められている本質価値を見出せないでいるからだ。

本質価値とは、いったい何のことでしょうか？

「佐賀のがばいばあちゃん」という本を読んでごらん。

あの本の中には、発想の転換法がともシンプルな書体で説かれてある。

要らなくなったものから、いかにして本質価値を引き出すか・・・有

効活用するか、
いかにしてモノに新たな役割（生命）を吹き込むか・・・つまり、マ
スターの生き方が説かれてある。

その本なら、知ってますよ。それに、ドラマも見ました。

確か今年、日本でベストセラーになった、島田洋七さんが書いた本
だったと記憶します。

私が書かせたのだ。

はいはい、わかってますよ（笑）

あなたは、何でもお見通しなんですね！

でも、前々から不思議に思っていたのですが、

島田さんのおばあちゃん・あねは只者ではないと思います。

だから、がばい（佐賀弁で「すごい」を意味する）と言われたのか
もしれませんが。

あなた方の社会は、今より70年前のほうがずっと思いやりがあり、
優しかった。

え？それじゃあ、今の私たちの社会に大きく欠けているものは愛だ
とおっしゃるのですか？

そもそも・・・どうして、このような社会になってしまったんでしょ
う？

教えてやれないこともないが、あなた方の中の一部の者はきつと受
け入れ難く感じることだろう。

もったいぶってないで、教えてくださいよ！

いいだろう。まず、大きな要因のひとつとして、テレビゲームの普及があげられる。

そして、その多くは暴力性を助長したり、はたまたグロテスクな表現だったりする場合が多い。

そのあげく、子供たちの多くは家に閉じこもるようになり、

自分自身で答えを探し創造することよりも、

他から与えられた「養殖された答え」を、よく咀嚼もせずに鵜呑みにしている。

次に漫画だ。描くほうは悪気があって描いてる訳ではないが、それでもバトル漫画となると、

血を流したり、傷つけあったり・・・などの過激な表現は避けられない。

その結果、現実と空想のギャップがマヒするようになり、非行に走る少年少女がどんどん増えてゆく。

つまり、媒体だ。^{メディア}あなた方のメディアは、子供たちの人間形成にとって、

破壊的な影響力を持つ表現の規制が取れていない。

そういった様々な情報を帯びたメディアという名のウイルスの侵入に、長い間、心を許してしまうと、

人間形成にとって最も大事なものを欠くことに繋がりがかねない。何かわかるだろうか？

ちよつと、考えさせてください・・・（長い沈黙）

何でしょうね・・・やはり、相手を気遣う思いやりの気持ちでしょうか？

そう・・・共感能力だ。

おお！

あなた方の社会で今、一番欠けているもの・

それは相手の身（立場）に立って、物事を考える能力だ。

とくに暴力的でグロテスクなゲームや漫画から発せられる、

負の波動はそれらの能力を著しく奪い去ってゆく。

そのあげく、子供たちの多くは一時的な快楽にのみこむようになり、

社会で生きていく上で本来、養わなければならない最も大事な能力を
ないがしろにしている。

おっしゃりたいことは何となくわかります。

でも、これだとゲーム製作企業や出版社の多くが立ち行かなくなり
ますよ！

金！金！金！あなた方の社会はお金儲けで精一杯だ。（批判してい
る訳ではないよ）

あなた方の企業のほとんどは、目先の短期的な利益にばかり目がく
らんでいる。

（ノルマとか呼んで、いかにも誇らしげだが、これも詭弁にすぎな
い）

長期的な安楽よりも、短絡的な快楽を追及するあまり、

一部の者たちのニーズを満たすことしか考えていない。

だが、そんなのうまく機能する訳がない。そうだな・・・たとえば、
少年誌向けの漫画が良い例だ。

企業側（出版社側）は、商業利益を上げることが目的に、より人気
のある作品を残すよう、

子供たちにアンケートをとっているが、多くの場合、

若年層の子供たち（とくに活気盛りの男の子）は、

破壊的で暴力性に富んだ内容を要求してくるだろう。

そこで出版社側は彼らのニーズに応じるため、大幅な人員削減に取
り掛かる。

だが、あなた方は意識レベルの低い、未熟な者たちに決定権を与えることの恐ろしさをまだ理解していない。

（実は過去の文明のいくつかは、それが原因で滅びたのだが）
H E Bから見れば、あなた方の社会は本来あるべき姿とは、まったくの正反対だ。

それは根本的な価値観の相違により、組み立てられたものだ。あなた方の社会はたとえて言うなれば、赤子に車を運転させているようなものだ。

また、猿山のとっぺんに座ったボス猿の理不尽な要求に、あれこれと翻弄されているようなものだ。

あなた方は本来、脳が下すべき決定を足にさせている。何もかも逆転してしまっている。

つまり、これはあなた方の社会が、如何に動物的なのか・システムをよく反映している。

あなた方の社会は自己保身・・つまり、不安を抛り所（基盤）として成り立っている。

それじゃあ・・進歩した世界は、愛を基盤として成り立っている、とでもおっしゃりたいのですか？

つまり、自己保身の反対・・自己犠牲を根としていてもおっしゃりたいのでしょうか？

進んで自らを犠牲にする社会なのでしょうか？

そもそも自分の命を犠牲にしてまで、他を助けることに価値などあるのでしょうか？

もし仮に、自分が犠牲になって死に、

誰かを救ったとしても、助けたほうの家族は悲しむと思いますよ。

それこそ、無駄死にはないのでしょうか？

おやおや、まだ被害者が存在すると考えているのか？

その場だけを見ると犠牲になっただとしても、自然の法則から見れば、犠牲などといったものは存在しないということが、どうやらまだ信じられないようだ。

そもそも、犠牲という言葉はネガティブな物事の捉え方（視点）だ。（なぜ、貢献・慈愛と表現しないのだね？）

実は、この犠牲という言葉は、いかにも自分が損をしたかという利己的な表現なのだよ。

あなた方は、多くの言葉の制約の中で縛られながらも身動きが取れない状態にいる。

それは何でもかんでも、期待するからだ。期待というもののほど、自由を束縛するものはない。

（ギブ・アンド・テイクなどと言っているが、これも詭弁にすぎない）

この際、ハッキリ断言しておくが、無駄死になんてものは存在しない。

（この世が筋書きだということをおぼろげに忘れた質問だな）

どの魂も望むものを経験できずに終わることなどありえない。

実は、あなた方が死後、何を経験するかは、その時に持っていたエネルギーで決まる。

もし、怒りと憎しみ、憎悪に満ちたまま身体から離れれば、

その波動に^{エネルギー}相応しい環境を向こう側で創造し体験することになる。

だが、反対にあなたが言ったような^{エゴ}自我を無にし、生命に先に仕える・・・

つまり、他者保存により向こう側へ行くと、信じられないほど素晴らしいことが起きる。

だから、肉体に宿った霊的なマスターは、

いつでもこの至高のエネルギーをあちら側へ持ち越せるよう、

常に意識を最高の^{ハイブレイション}振動の状態に保ち続けているとも言える。

彼らはいつ・どこでも死ぬる準備はできている。そう、私になる準備が。

ちょっと意味は違つかもしれませんが、備えあれば憂いなしってやつですね。

でも、そう考えると、自殺した者の多くは、ネガティブなエネルギーを持ち越している可能性が非常に高いですね。

まあ、私が観察する以上、ワクワクしながら死んでく者は皆無に近いと言っていいだろう。

(ともあれ、何でもかんでも、楽しんで死ねばよいという訳でもないが)

確かにあなたが言ったとおり、多くの者は恐怖と絶望の振動エネルギーを持ち合わせながら、

自らの命を断っている。しかも、その多くは強烈な憎悪と不安を抱え込んだまま。

もし、そのような状態のエネルギーを宇宙へ持ち込むと、とんでもないことになる。

だから、そのような者は上へ引き上げてもらえず、再び地上における生を経験し、

魂(心)の浄化に努めるよう求められる。

上へ引き上げられる・・・とは、いったいどういうことですか？

文字通りのことを言っているのだよ。

あなた方は肉体から離れて、霊になれば空(上空)へと引き上げられる。

以前、あなた方は筋書きを円滑に進ませるべき、多くのHEBたちに見守られており、

そして一人ひとりの頭上に、

その者の筋書きを担当しているHEBがいるといったのを覚えてい

るかな？

はい、覚えております。

しかし、それとどのような関係があるのでしょうか？

実はあなた方は今、この地球上にいるが、その起源は地球ではない。あなた方には、自分の生まれた星（出身星）というものがある。

あなた方は今、人間のフリをしているにすぎない。

人間の姿・形をあてがってもらっているにすぎないのだよ。

え？どういうことですか？

人間は地球上で誕生したんじゃないんですか？

私が言っているのは物質的な起源のことではない。

霊的な次元における、あなた方の起源について語っているのだよ。物質的な起源に関してはいずれ詳しく話すが、今はあなた方がどういった経緯で

この地球という星へ送られてきたのか、について語るとしよう。

是非、お願いします。

よろしい。では、はじめよう。実はあなた方があの世と呼んでいるものには、2種類のものがある。

一つ目は地球の霊の次元だ。この次元はあなた方のいる現実と呼ぶ次元よりも、

若干ではあるが波動のレベルが高いので、時間の進み具合は少し早く進行している。

また、虚で成り立っているため、頭の中で考え思考したものは迅速に具現化される。

ここでは、考えること・念じることが、直接創造（行動）へとつな

がる。

ここに訪れる者の多くは、イメージトレーニング具現化訓練を経験することを目的に訪れている。

この対話の最初のほうでも少し触れたと思うが、

あなた方が霊的世界と呼んでいるは次元は多次元構造になっている。本の中には、たくさんのページがあるのと同様、私の館には多くの部屋（領域）がある。

だが、この次元は実際に肉体を離れて、行って見ないとわからない。それで私は幽体離脱（体外離脱）というものを編み出した。（かなりの経験者がいるようだが）

あなた方の中には実際に意識的に身体から離れて（外出し）、この次元を探訪できる者もいる。

（実は夢というのは、波動を異にした実在の世界なのだが）

二つ目は地球の東西南北をとりまく、

HEBたちが乗りこなす4つの巨大な宇宙母船スターシップのことを指す。

あなた方が今回の筋書きを終え、肉体から離れる時、

その個人を担当するHEBの宇宙船（子船）がその霊体を上へと引き上げる。

たとえば、あなたのような東洋人の場合、古くから、

あるお坊さんが言うには、人間は死んだら西の空へ行くという言葉い伝えがある。

つまり、これは日本人は死んだら、西の空に位置する宇宙母船へと引き上げられることを意味する。

道中、引き上げてもらわないと中へ入れない者もいれば、自分で中へ入ることができる者もいる。

だが、この世での未練（不要なこだわり）が極端に強かったり、強烈な不安や憎悪をとまなつたまま死ぬと、

引き上げてもらえない場合がある。その場合はもう一度、

新たな筋書きを組み直して、再スタートを切る以外に方法はない。

すでに気がついていている者もいるが、あなた方が魂と呼ぶものは、

事象（環境）を創生する特質（神性）を持っている。

だが、ここで問題となるのは、ポジティブな（愛に根ざした）ものを創造するか、

それともネガティブな（不安に根ざした）ものを創造するか・・・のどちらかだ。

また、そうすることによって、宇宙に様々な影響を及ぼしている。

この宇宙は、数多くの魂（私の一部）の寄せ集めによってできている。

もし、その中に邪悪で破壊的な魂が割り込むと、全体に壊滅的な打撃を及ぼしかねない。

そうだな・・・ちょうど、癌細胞がそのほかの細胞を、

徐々に侵食しながら侵してゆくといった具合に。

だから、HEBたちはこのことをよく熟知しており、

彼らは愛に根ざしたものの意外は選択しないという訳だ。

つまり、宇宙の基本法は愛だ。私は愛そのものだ。

実は、どんなものにも固有の周波数（波動）が出ている。

とくに楽しんでいる時や喜んでいる時は、高い周波数になっている。

もし、マスターの振動数を目指すのであれば、

この精妙で高い周波数をいつも保てるようにする訓練をすることが大事だ。

（皮肉にもあなた方の多くは、これとまったく正反対の訓練をしている）

反対に憎悪や怒りなどの周波数は、波長の粗い低い周波数だ。

この状態は宇宙に悪影響を与える。だから、高い周波数で生きるようにすれば、

地球にも宇宙にも優しい存在になることができる。

そして、一人がそうなるだけで、周りの者も十分変わっていく可能性が芽生えてくる。

つまり、日々気分が高尚するようなことを心がけることこそが、天国への最短ルートとも言える。

だから、気分が良くなるようなことをもつとしないさい。
あなた方の人生は本来、楽しむべきものに創られている。
もつともつと、人生を楽しめるように工夫しなさい。
あなたの中の喜びを、すべてであるものと伴に分かち合いなさい。
とくにHEBノマスターは、幸せになるには、
愛を与える以外に方法はないということを知っている。
いかなる者であれ、この法則は永遠に変えられない。

私たちが与えるもの・・・それが私たちの受け取るものってことですね。

そう・・・行(言)ったものは、常に戻ってくる。

(相手を批判すれば、批判した相手に批判される)

だが、多くの場合、あなた方は無意識のうちに、何かを与えたり受け取ったりしている。

つまり、あなた方の多くは自分で意図して創造しようと思わず、
反対に周りが創造したものに反応しながら生きている。

あなたは、よくしつけされた(自意識をコントロールできる)犬と、
そうでない(できない)犬を観察したことがあるだろうか？

前者は道端で他の犬に吠えられた時・・・つまり、挑発された時、
決してそれに心を奪われない。(その創造に加担・協力しない)

彼らはただ、そこを通り過ぎる。(対象から顔をそむける)
だが、そうでない犬の場合は、ほかの犬に吠えられると、

ついついその挑発に釣られて反応する。

彼らは吠え返す。そして、相手側が創造したものに心を奪われる。
だが、この場合は2匹とも吠えているので、相反効果により、エネ

ルギーがそこで相殺され、

キャバシテイ
心の容量の大小は変化しない。

しかし、片方が一方的に吠えているのであれば、一方通行となり、
吠えたほうの心の容量は縮小する。キャバシテイ

反対に吠えられたほうは、それに対して憎悪や怒り、不安などのネガティブな波動を露にせず、ポジティブに対応すれば、吠えた者の心を吸収（統合）し、自分の心をより大きくすることができるといえる。

つまり、相手の心を盗み取ることができる。

ここで大事なポイントというのは、怒りや苛立ちのエネルギーをそこに集中すれば、

相手にいつその生命力を与えてしまいかねないという点だ。

ゆえに、決してそれらのエネルギーと闘ってはならない。（抵抗してはならない）

あなたに対立するものに、決して対立しないように。

抵抗とは見方を変えれば、以前の創造にしがみつくことでもある。繰り返す者は反応するが、変える者は意識する。

なぜなら、「反応する」という単語（react）は、文字通り react（再び行動する）なのだから。

つまり、これは以前と同じ行動をすることを意味する。また、これは不幸に続く道でもある。

マスターは最も大きな幸福とは、反応（reaction）の中にあるのではなく、

創造（creation）の中にあるということを見出している。

心が反射的に反応すると、周りを傷つけかねない。

ゆえに、ネガティブなエネルギーが現れたとたん、決して反応モードに飛び込まないように。

その場合は、何とかして創造という場にとどまるよう努力する訓練をこなさい。

そして、できるだけ、しょっちゅう物事に感謝し、ユーモアを活用しなさい。

ユーモアは最良の良薬だ。ありとあらゆる困難を吹く飛ばしてくれ

る。だから、いつまでも怒りや憎しみなどのネガティブなエネルギーに

のた打ち回っていたら、来世は人間どころか動物にすらなれなくなる。

確かに、「口は災いのもと」ってよく言いますしね。

となると、批判や攻撃ばかりしている人ってのは、

自分で墓穴を掘っているようなものになります。

批判、攻撃・・・これらに共通するものは、抵抗だ。抵抗とは力むことだ。

そして、力むとは、相手に生命（この場合は自分の心エネルギー）を付加することだ。

だから、抵抗された相手はますます強大になる。これは何に抵抗しても言える。

そのほかにも心を縮小させる要因として、蔑みや人を見下したり、（程度差にもよるが）うぬぼれや心配なども禁物だ。

現にこれらのネガティブなエネルギーは、人に危害を及ぼすだけでなく、

健康をも著しく傷つけかねない。だから、ネガティブなエネルギーというのは、

百害あって一利なし、だということをマスターは嫌というほど、それらを体験しもみにもまれたあげく悟った。

それじゃあ、自分がネガティブの罠に陥ってしまわないよう、

常に自分を外から客観的に観察することが、何よりも大事なことですね。

あなた方の多くは、それができていない。

だから、あなた方のような原始的な社会では、法律ルールというものがなければ、

社会の秩序が維持できないようになっていく。進歩した世界では、

各々が自らを律している。
彼らはみな、自立（自律）している。

でも、法律がなかったら、社会はさらなる混乱に陥ると思いますよ。
それこそ漫画「北斗の拳」の中で描かれているような、本能と欲望
にまみれた

イカれた目つきをしたオッサンたちが、うじゃうじゃのさばる無法
地帯になってしまいますよ！

・・・このまま突き進めば、そうなる日も遠くはないね。

え？ど・・・どういうことですか？！

あの漫画の世界観は核戦争後の社会構造について描かれてあるが、
実際、あなた方の今の科学は、
自分たちを再び粉々に吹き飛ばすことができる段階にまで到達して
いる。

（実はあなた方は、過去に核戦争で何度も滅びているのだが）

また、アトランティスのことですか？

いや、それよりも以前の話をしているのだよ。私は今、あなた方の
霊的な起源について語っている。

この際、全部正直に話すとしよう。実は太古の大昔、
対立（分裂）により戦争へと発展し、核で滅びた星がある。

その一つが「マローナ・マルデック」と呼ばれる惑星で、

この星は今から約18万年前に、あなた方が火星と木星と呼ぶ惑星
の間を公転していた。

だが、超強力な原子核爆弾により、惑星全域を木端微塵に焼き尽く
し、未曾有の大災害を被った。

すべての文明に共通して言えること、それはある程度科学が発達すると、核エネルギーの発見の段階にまで至る。

問題はそれを平和に利用するか、それとも乱用するか・のどちらかだ。

しかし、マローナの者たちは惜しくも、

後者のほうを選択してしまった。(40ヤード後退の罰退だな)

とくに、ある惑星に住む者たちの集合意識が集い、それが蓄積的な想念エネルギーとなり、

ある臨界量に達すると、ひとつの惑星を破壊してしまうほどの大災害を引き寄せかねない。

とりわけ、そのエネルギーがマイナス(ネガティブ)の方向へ向かうと、破滅を引き寄せる。

つまり、核戦争によつて壊滅的な打撃を被ったマローナはその後、集団意識から発せられたネガティブな波動の寄せ集めにより、惑星一個分を壊滅させるほどに、十分な破壊力を持った隕石を引寄せってしまった。

だが、広い視野で眺めれば、彼らは自ら隕石(破滅)を引寄せしまったとも言える。

これは物質文明に比べ、精神面が遅れていたがために起きた悲劇のひとつだ。

自分で蒔いた種は、常に自分で刈り取る・・・原因と結果の法則は絶対に変えられない。

え?ちょっと待ってくださいよ!

それって、私たちの霊的な起源とどのような関連性があるのでしょうか?

・・・よもやあなた方が生きていたのは、この地球上だけだと思っていたのかな?

どういうことですか？

輪廻転生のことを言っているのだよ。

あなた方は、今まで数多くの生を体験してきた。

時には人として、動植物として、そして自然として・・・。

あなた方は、数多くの生を体験してきている。

中でもマルデックという星における体験は、あなた方の魂をより急速に成長させるのが狙いだった。

だが、あなた方はネガティブなエネルギーに身を囚われてしまい、破滅を引き寄せてしまった。

その後、崩壊して宇宙の藻屑となったマルデックの者たちは、ネガティブなエネルギーを用いて破滅を招いたがために、

上に引き上げてもらうことができず、霊の状態のまま宇宙空間を漂い続けなくてはならなくなった。

そう、絶大なネガティブのエネルギーを抱え込んだまま。

だが、長期の間、それを許してしまうと、最悪の場合、

事態がより悪化しかねないと悟ったHEBたちは、

彼らの霊を一時的に保護し、新たな惑星を設けて、

そこで再度魂の修養に努めるよう今回の筋書き（プロット）を組み立てた。

それで設けられたのが、この地球という星だったという訳ですね。

そう。

うわぁ・・・なんだか胡散臭いSFの中に出てくるような、嘘っぽい話ですね。

でも、そうになると、私たち地球人はみな、

その崩壊したマルデックの住人の生まれ変わりってことになります

が？

すべてではないが、今話したのはあなた方の霊的な起源に関するほんの一部だ。

あなた方は様々な領域（次元）から訪れている。

マルテックから訪れている者もいれば、そのほかの次元から訪れている者もいる。^{ページ}

（中には他の本から訪れている者もいる）

私の館にはたくさんのお部屋があると言ったが、私は館がひとつだとは言っていない。

つまり、私はたくさんのお館を所持しており、その中にはいくつもの部屋があり、

かつあなた方は様々な館の部屋から、人間のフリをして、

この地球という名のパフォーマンス会場に訪れている。

つまり、部屋で身支度を整え終えたあなた方は、衣装を着て、この会場を訪れ、

そこで割り当てられた役目を演じている。実は数ある演技場の中でも、

この地球という場所は最高に値する場でもある。

ここでは他の会場では演じられない（体験できない）ことを、演じる（体験する）ことができる。

なぜなら、相対性というものがあるのは、この領域だけなのだから。シェークスピアはいみじくも言った。この世はお芝居だ。^{プロセス}人間は役者だ。

王族、兵士、奴隷、農民、革命軍、レジスタンス、牧師、羊飼いの少年、

あなた方は、この会場で多くの役を演じてきた。

だが、劇はもう、そろそろフィナーレを迎えようとしている。

最後の役は、あなた方自身が決める。

人間となるか、動植物となるか、それとも宇宙のチリとなるか・・・。

なるほど、確かにこれで一貫性があり、まとまった話になりましたね。

でも、あなたは答えをはぐらかしていらっしやる。

私が知りたいのは、我々の霊的な起源なんかではなく、物質的起源のことです。

つまり、原生動物のような固体から徐々に命の種が派生し、何千何万何億年もの歳月を経てきた、

進化の歴史について尋ねているんです。つまり、科学的な回答のことです。わかりますか？

ほう。よもや、まだ進化論を信じているのかね？

当然でしょう！だって、人間は猿から進化してきたんじゃないんですか？

それ以前に、他の動植物も枝分かれしながら、派生していったんじゃないんですか？

いや、違うよ。

え？どういうことですか？

あなた方は、猿から進化した訳ではない。

創られたのだ。プロジェクト大きな計画があつたのだよ。

あなた方が新人とホモ・サピエンス呼んでいるものは、

そのさらに前の旧人類を改良したものにすぎない。

その証拠に、あなた方の科学者は発掘されたネアンデルタール人の骨から、

ミトコンドリアの遺伝情報を解析することに成功している。

彼らは、「ネアンデルタール人の遺伝情報は、現生人類とは大きく

異なり、

現生人類とは全く関係がない」ということを突き止めている。つまり、旧人類は、現生人類に全く影響を及ぼさずに、滅びたということを証明している。

まあ、単刀直入に言ってしまうえば、ネアンデルタール人とあなた方現代人の祖先であるホモ・サピエンスとの間には、遺伝的な繋がりは一切ないということだ。両者はまったく異なった種という訳だ。

これが何を意味するか、わかるだろうか？

ちよつと待ってください！あなたは何を言っているんですか?! 創られたって、いったいどういうことですか?!

逃げ回るのは、もういい加減お止めになり、そろそろ真剣に話して頂けないでしょうか？

クロード・ボリロン・ラエルの書いた、「真実を告げる書」という本を読んでごらん。

そうすれば、答えが見つかるだろう。

あの本には少し矛盾した記述もあるが、あなた方地球人という種がどのようにして生まれたのか、

について、克明に記されてある。あの本以外に、あなた方の起源を詳細に綴ったものはない。

また、あれを読めば、私の正体もおのずとわかることだろう。

気になりますね・私たちがどのようにして誕生したのか。

それ以前にもつと気になるのが、あなたの正体ですが。

とにかく、その本を読んでごらん。

話はそれからだ。読み終えたら、また私を訪ねるといい。

そうしたら、また新たな事実を話してあげるとしよう。

わかりました。今日はもう体力的にも精神的にも限界が来ま
したので、

ここまでとさせて頂くことにします。どうも、ありがとうございま
した。

そして、おやすみなさい。

おやすみ、いとしのわが子よ。

つづく

命のたねやき【8】

2008年9月12日

<自宅・ベッドにて>

神様、おられますか？

もし、私の声を受信されたのであれば、お返事願います。

・・・（長い沈黙）

「真実を告げる書」は、読み終えたのかな？

はい、書店中探し回ったのですが、どこも販売しておりませんでしたので、

仕方なくネットで発注し取り寄せました。届いた日から興奮して読みあさったためか、

わずか一日足らずで2〜3回ほど、読み返したほどです（笑）

それで、読んだ後の感想はどうだったのかね？

なんか・・・ハチャメチャなことが書かれてありますね。

何と言いますか・・・この本の作者はよく平気で、

あんな奇想天外な嘘八百を書けるもんだなあと思いましたよ。

でも、反対にSFものの作品として読むと、確かに面白味のある作品だと実感しました。

ほう、よもやあなたは人を嘘つき呼ばわりするのかね？

となると、あなたが今、こうして私と対話していることも嘘になっ
てしまうのだが。

はいはい、わかってますよ！冗談に決まってるでしょうに！
あなたを真似て、ちよっと読心術を使ったまです（笑）

ははあ、なるほど・・・私を試すとは、なかなか度胸のある子だね（笑）

天（神）を恐れていたら、大事を成し遂げられませんから（笑）
いやあ・・・にしても、ビックリ仰天ですよ！

もし、あの本の中に書かれてあることが事実上、本当のことだとすれば、

もはやトンでもないでは済まされませんよ！それこそ、
人類考古学を根底から覆すような、大どんでん返しになりかねないですよ！

アメリカでは、進化論はすでに破綻しつつある。

滑稽なことに、あなたの国、日本ではまだ進化論を支持しているね。
それで・・・私の正体がわかったかな？

ええ、あなたはエロヒム・・・つまり、天空から来た人々の一員エロハだっ
たんですね。

換言すれば、異星人ってことになりますか？

まあ、正確に言うのであれば、そうなるね。

じゃあ、私たち地球人を創ったのは、あなた方だということですか？
となると、あなたは私たちの親つてことになりますか？

子供を創ってしまった以上、親にはその成長を見届け、サポートしなければならぬ責任がある。

能力ある者はない者をサポートしなくてはならない、と言ったのを忘れたのかな？

と言いますと？

あなたは「親」という漢字が、どう書くのか考えたことがあるかな？

どういう意味でしょうか？

「木に立って、見る 親」と書くのに気がつかなかったのかな？

おお！

なかなかおもしろい筋書きだろう。

これも私がそのようにプログラミングしておいたからこそ、できる言葉遊びのひとつだ。

つまり、私は観察者だ。筋書きでない以上、決してあなた方の創造に介入するようなことはしない。

実は我々（HEBたち）の規則で、未開惑星に干渉してはいけないう事になっている。

しかし、だからと言って、何もしてないわけではない。

地震の被害を小さくしたり、このような変換期を迎えようとしている星に気づきを与えたりしている。

（今、私があなただけにこうして語りかけているのも、そのひとつなのだ）

「真実を告げる書」にあるとおり、過去には私の仲間たちが、あなた方と直接接触していた頃もあったが、

今では一部の者たちは海底に基地を設けたり、

人の知れない山地などに基地を構えつつ、影でこっそりあなた方を支援している。

また、一部の者たちは今の私のように、霊の状態であなた方に様々なインスピレーションを授けては、影響を与えている者もいる。そう、今の私があなたにこうして語りかけているように。

実は、我々があなた方人類を創造した本当の目的は、あなた方が親交世界に入れる水準まで進化した時に、他の銀河文明も親交世界に入れるよう協力し、導いてもらうためだという意味合いも含まれている。

（あなた方の本質はみな、マスターだと言わなかったかな？）

うわあ・・それじゃあ、あなた方は常に、影から私たちを支えていてくれたんですね。

何と言いますか・・次の教師マスターを育てるために、影からこっそり援助（教育）してくれていたとは。

でも、反面うらやましいですよ。なにせ、あなた方の惑星では、誰にも邪魔されずに好きなことし放題ですし、

おまけにセックスもし放題なんて・・まるで楽園のような場所です。私たちの星でも、早くそうなれる日が来るといいのに・・。

まあ、とにかく聞きなさい。

まず、あなた方地球人が今まで神と呼んできた我々・エロヒムが、この地球をいかに創造したかをかいつまんで話してあげるとしよう。

だが、詳しいことは「真実を告げる書」に書かれてあるので、それを参考にするのも良い。

あなた方の科学でも言えることなのだが、科学が成長発達するには、実験室というものがどうしても必要になってくる。

また、我々のように、遺伝子さえも合成できるぐらいに科学が発達すると、

その実験室の規模も中途半端ではなくなる。

その場合、ひとつの惑星そのものが実験室となる。

そして、選ばれたのがこの地球というわけだ。

地球は太陽からほどよい距離にあり、熱せず冷せず生命の宿りやすい惑星だ。

ただし、これはその当時の我々の科学力から見た検知に他ならない。

今の我々の科学力なら、太陽に一番近い水星にでも、生命を宿らせることができる。

（科学力と言ったが、あなた方の現代科学と混同しないように）

そして、我々は地球を実験室として、そこに様々な自然（環境）を創造していった。

単細胞生物のようなものから始まり、そして最終的にはあなた方地球人を創造した。

話が前後するかもしれないが、「真実を告げる書」にも書いてあるとおり、

当時の地球というのは、今のようには山も海もない真っ平らな（ただ丸い）ものだった。

山あり海ありが当たり前のように思うかもしれないが、

あなた方の科学でも分かるように地球の内部は液状の構造になっている。

実は、この液状のものは、常に球になろうとする特質を持っている。だから、当時の地球は真っ平らで当然だったとも言える。

そこで我々は、波動の科学を駆使することにより、地球を海あり山ありの起伏ある形状に変えた。

これにより、様々な生物が生存できる条件を創り出すことができたという訳だ。

しかし、せっかく創った山や海は、そのままほっておくと、もとの真っ平らな大地になってしまう。

そこで、そうならないために、この地球上の何箇所かには、

常に山であり谷であるように、ある特殊な波動を発生する装置が仕

組まれている。

そして、その装置により、地震を引き起こすプレートと呼ばれるものが存在する。

とくにあなたが住んでいる日本という国は、幾つものプレートが重なり合っている。

その中で、とくに太平洋プレートが強い力で押している。

我々の科学力から見れば、日本にはそれだけ強い波動が太平洋側から・・つまり東側から掛かっていることになる。

（実はあなた方の風水で、日本の波動は東から西に流れているというのは、そのためなのだが）

つまり、波動は東を導いて西に流すというのは、理にかなっているとも言える。

ちよつと待つてください！話をこじらせるようで申し訳ないのですが、

あの本の中には、あたかも靈魂や神が存在しないかのような書き方をされていますが、

あれはいつたいどういうことですか？！これじゃあ、話が矛盾してしまいますよ！

あの記述は間違っている。あれはヤーウエが著者にすべてを明らかにしなかったがために、

著者が勘違いしてしまったものだ。というより、そう書けなかったのだ。

（まあ、筋書きとして勘違いしたほうが良いから、ああなっているとも言える）

実は、あなた方が靈魂や神と呼ぶものこそが、この宇宙を想像 創造するものだ。

まず、ここでハッキリさせておかなければならないのだが、

あなた方地球人が、従来より神と呼んできたものには、大きく分け

てふたつある。

ひとつは、あなた方地球人を創った、我々異星人・エロヒムのことを神と呼ぶ場合がある。

どちらかというところ、エロヒムのことを神と呼んでいることのほうが多いだろう。

そして、仮に人類（地球人）を創造したものを神と呼ぶなら、エロヒムも神と呼んでも良いのだが、

我々エロヒムもまた別の異星人によって創造されたものなので、ある意味では本当の神ではない。

本当の神とは、この宇宙そのものを創造した者のことを言う。

神と呼ぶと一見、神秘的で非科学的なものになってしまいそうだが、

これこそ波動科学の原点であり、偶然でありながら必然的・理論的にできたものだ。

ゆえに、どんな不思議なことにも原理原則があるということをお忘れはならない。

高度に進化したHEBたちは、肉体を持つも持たぬも自由自在だ。

（この宇宙は色即是空だと言ったのを忘れたのかな？）

そして、一度霊の状態になってしまえば、

肉体という制約から解放され、頭の中で思考・イメージしたものは、

何であれ具現化（創造）するだけの力を持っている。

なぜなら、霊の次元には、時間という名の緩衝帯スポンジというものがなく、頭の中で思考し思い描いたものは、すぐに結果（行為）として現れ出でるから。

だから、霊の状態の者は常に注意深く選択しつつ創造してゆかないと、

最悪の場合、宇宙の秩序そのものをかき乱しかねなくなるわけだ。

それじゃあ、霊の状態にいる者は、「何も考えていない」ってこと

ですか？

いや、違う。そういう訳ではない。

だが、あなたは、いいところに気がついた。

彼らは「何も考えていない」のではなく、自分が「何を考えようとしているのか」、を考えている。

そして、あなた方と違って、決して騒いだり、パニックになったり、急いだりしない。

ましてやそんなの、自分にとっても宇宙全体にとっても、計り知れなく有害だということをよく弁えている。

実は、統制の利かない自意識を沈める最良の手法・・・それは無になる（我を無くす）ことだ。

とにかく、基本は静かにすることだ。

そうすれば、私の声（流れ）^{プロセス}に身を委ねることができる。

つまり、彼らはみな、自分で自分を律することができる、

ストイックな精神の持ち主だったことですね。

この際、すべて正直に話すでしょう。

実は筋書きでコントロールされているのは、何もあなた方だけではない。

広い視点から眺めれば、高度に進歩したH E Bたちでさえ、

つまり、筋書きをコントロールする側であれ、

また別の・・・ある壮大な筋書きによって、導かれ動かされているにすぎない。

（これもフラクタルだな）

彼らは、この宇宙には壮大な流れ（意図）の計らい（プロセス）があり、

それに逆らわずに身を委ねさえすれば、万事うまくいくことを知っている。

(泳いでいる内に、岸から遠くへ流された人の話を思い出してごらん)
だから、彼らはあなた方から見て、絶望的な窮地に立たされたとしても、

執拗にはしゃいだり、パニックに陥ったりすることはない。

また、恐れたりすることもない。なぜなら、

恐れの変動というのは抵抗同様、対象をますます引き寄せるからだ。だから、あなた方が何かを遠ざけたい時、

恐れたり、抵抗したり、それについてグダグダと語り合ったり、

討論(議論)したりするのは、まったく意味がない。

その対象にポジティブであれネガティブであれ、

継続的に関心を注ぎ続けていたら、遠ざけるどころか、逆に肥大化させてしまう。

だから、H E Bは霊の状態にいる時(肉体にいる時でも同じだが)、自分が今、

何を考えようとしているのか、を絶えず注意深く「外」から管理している。

もし、意識的な創造者になりたいのであれば、自分の思考を常に外から見張っておく必要がある。

この孤独な仕事は、一日、一分、一秒たりとも怠ってはならない。

それがあなた方の第二の天性になるまでは、多大な苦勞となるかもしれない。

だが、一度その領域に到達さえしてしまえば、あなたは比類なき感慨に満たされるであろう。

でも、そんな生き方、ちょっと疲れやしませんか？

何と言いますか・自由奔放でありながら、間違いを犯さないようなものですよ！

いや、疲れることなどない。むしろ、彼らは純粋な創造を楽しんで

いる。

確かに精神的には常に気が抜けない状態ではあるが、H E Bからして見れば、

あなた方のように望むもの・望まないものをごっちゃ混ぜにした、訳のわからない被造物を受け取ることのほうが、

よっぽど体力的にも精神的にもエネルギーを消耗する。

ましてや、そんなものは動植物的（反応的）な生き方であって、決して人間的（意識的）な生き方とは言えない。

動植物は反応し、人間は意図する。動物は繰り返し、人間は変える。それゆえ、もし、人間／創造者として生きることを選択するのであれば、

反応する（繰り返す）生き方から脱却しなければならない。

広い視野で見つめれば、人間も確かに動物（動く物）ではあるが、他の動植物との唯一の違いは、何と言っても、

意識して宇宙のパワーを引き出せるか、引き出せないか・・・の違いだ。

つまり、人間は「意識する動物」だと言い換えることもできる。

宇宙のパワーですか・・・気になりますね。

是非、ご教示願います。

よろしい。実は、この宇宙には原因と結果の法則以外に、もうひとつ法則がある。

そして、あなた方がすでに持っているもののすべては、

この法則にしたがって、あなた方のもとにやってきたものだ。

それこそが「磁気的法則」と呼ばれるものだ。

（一部のオカルティストの間では、「引き寄せの法則」などとも呼ばれているね）

これは、似たエネルギー同士は互いに引き寄せあう特質があることを意味し、

古くから「類は友を呼ぶ」などといった、ことわざでもよく知られている。

だから、あまり良くないものばかり、心（関心）を向けていると（奪われていると）、あなた自身がそのようになり、その結果、あまり良くないものが身近に集まるようになる。

また、この法則は自然界の生態系のバランス維持にも適用されている。

（その証拠に、イルカとサメが仲良く泳いでいたり、

カラスの群れの中に一匹だけスズメが混ざっているところを見たことがあるかな？）

たとえば、あなた方の多くは友人をつくる際、気があう人、あわない人というのを強く意識する（気にする）傾向が見られる。

（それに相性などといったものまでではないか）

だが、これはただ単に、あなたの波動と共鳴する、もうひとつの波動が絶妙なレベルで重なりあい、

振動しあっているにすぎない。だから、双方のいずれかの波動

（心の波長、俗に言う思考パターン・考え方）が変われば、

磁気的法則により反発作用が生まれ、相容れなくなったふたりの関係はたちまちの内に引き裂かれ、

互いに離れ離れになってゆく。それであなた方は

「あの人は、なぜか気（波動）があわなくなった」などといぶかる。

（広い目で見れば、相手側も同じことを言っているのだが）

離婚や交渉の決裂、その他、人間関係に関する様々なトラブルはみな、

この相容れなくなった磁気に由来している。

何だか・・・水と油のようなものですね（笑）

ほう・・なかなか、うまいことを言うじゃないか。

あなたはいい点に気がついた。実は、この磁気的法则においてさえ、

大きく分類すると、ふたつの極から成り立っている。

つまり、ネガティブな極か、ポジティブな極か・・のどちらかだ。

(N極 Negative S極 Smile 微笑みはポジティブの象徴だから)

あなた方の科学では、磁石はN極とS極同士が互いに引き寄せあうことになっているが、

宇宙の磁气的法则においては、似たエネルギー同士以外は、互いに引き寄せあうことはない。

相反するエネルギー同士は、互いに反発しあう。だから、自分の周囲に起きた環境を変えるのに、

相手を変えようとしても、まったく意味はない。ゆえに、すべてを変える方法はただひとつ、

それは自分の波長(考え方・信念)を変える以外に方法はない。

磁气的法则とは、言葉を変えて言うなれば、三つの現象(体験)がひとつになったものだ。

この境地にさしかかった時、あなたはエネルギーの磁石となり、完全に創造的になる。

そして、あなた方の多くは無意識の内にこの力を使っている。

この力はいつでもスイッチONの状態で、常に働き続けている。

かつ、似たもの同士を引き寄せる特質を持っている。

また、この力はあなた方が恐れていることにも反応する。

(あなた方は、抵抗するものを引き寄せるが、期待するものを遠ざける)

無論、感情的なエネルギーがより多く集中すればするほど、その力も徐々に増してゆく。

つまり、何か欲しくて欲しくてたまらない!という経験をして、あなた方は「これが欲しい!」と言い続けると、宇宙に向かって、

「自分は今、それを持っていない！」と宣言することになる。

うーん・・何だか、考えれば考えるほど、こんがらがってききましたよ。

それじゃあ、お金がなくても、「私はお金持ちだ！」と言え、言ってるようなものですよ。

でも、実際、望んだままに宣言したとしても、望みが叶えられなかったら、

それこそ苛立たしく感じますよ。おまけに、私は今まで、それで何度も失敗してきました。

少しマヌケなたとえで申し訳ないのですが、お金が足りないという現状があるにも関わらず、

「私は大金持ちだぞ！」とホラを吹いてるようなものですよ。

いや、違う。そういう意味ではない。

あなたはまだ、この法則の真髄を理解できていない。

誤解しているようだが、磁気法則は宇宙をごまかすための仕掛けではない。

この法則はあなた方が人生で触れ合うすべての者たちのために、そして幸せで楽しい人生を創造する、という本来の目的のために使われるために私が設けたものだ。

ゆえに、決して利己的な欲求の満足、

または一時的な快楽を追い求めるための目的として使用してはならない。

要するに、この法則は身勝手に利己的な私利私欲を目的とした行動を助長するものではない。

他者や他人のニーズを無視して自分の目的を達成しようとする、目的地に達するのに最も困難な道を選択してしま^{ルト}うことになる。

ゆえに、この法則は決して、個人的な豊かさや欲望の追求に用いてはならない。

あなた方の多くが犯している最大の過ち、それは自分（の利益）を先に出そうとすることだ。

つまり、他人の意見を無視して、自分の意見を押し通そうとする点だ。

だが、これでは流れ（プロセス）に身を委ねることはできない。

うーん・・極端に言ってしまうえば、自分の心を平明にしない限り、相手を正すこともできないってことですね。

そう。皮肉にもあなた方の多くは、自分（の波動）を良くするどころか、

真っ先に相手を変えようとする行為に突っ走る。

それもこの宇宙で生きる者として、本来行使してはならないエネルギー・・つまり、

力、殺傷能力を行使する。（権力などと言って、いかにも誇らしげだが、これも詭弁にすぎない）

だが、いいかな。強制したり、脅迫したり、

強要したりなどといった行為は、私の計画には入れていない。

ましてや、そんなものは狂気のさたに他ならない。

嫌がる者を強制するには、莫大なエネルギーが要る。

もちろん、強制した側はそれが相手のためという想いでないのであれば

・・つまり、利己的な欲望を満たそうとするものであれば、

その分、心のエネルギーを相手に吸い取られてしまう。

つまり、自分の意志を押し付けて、他人を思い通りに動かそうとしてはならない。

もし、力づくで人を自分のために扱き使うことが、相手を奴隷状態に貶める行為であるとすれば、

精神的に追い詰めて人を働かせることもまったく同じことだ。それはただ、手段が異なるだけだ。

実際、あなた方には、自分の意志を他人に押し付ける権利はない。また、これは相手についても言えることだ。

むろん、他人もあなたに彼らの意志を押し付ける権利はない。マスターは豊かになるためには、自分自身に意志の力を働かせるだけだよ、

ということを知っている。彼らは自分自身を律し、正しき道より反れないために、意志の力を使う。

ちょっと待ってくださいよ！それじゃあ、相手が攻めてきたら、抵抗せずにそのまま殺される！とおっしゃるのですか？

貸したお金を返さない輩には、どのように対処するおつもりですか？まさか、泣き寝入りしろ！とは言いませんよね？

おやおや、まだ泣き寝入りという言葉が出てくるとは、信じられない。い。

あなたはどうも、何事においても損得勘定せずにはいられない性分のような。

だって、悔しいでしょう！

相手に先を越されたと考えると、はらわたが煮えくり返りますよ！

ほら見る、またいつもの思考パターンに、逆戻りしている。

なぜ、プロセスを純粹に信じることができないのか？

なぜ、科学的な法則（計らい）に疑いのまなざしを向けるのか？

あなた方は、いつもそうだ。とくに一度、気に入らない

（多くの場合は自分にとって、無利益なこと）に出くわすと、

すぐに私の筋書き（プロセス）を疑いたがる。神よ、なぜ私の願いを聞き届けて下さらないのか？

なぜ、私はいつもこんなに不幸なんですか？と。

あたかも本来、 $1 + 1 = 2$ になるといふ単純な科学的な法則にのっ

とつた答えが、

ゼロになってしまふのではないかと、あれこれと気にかげ無駄な心配しているようなものだ。

しかし、いいかな。次のことをよく肝に銘じておくといい。

ネガティブなエネルギーは、ネガティブなエネルギーしか引き寄せない。

それと同様、破壊的な力を用いて事にあたれば、より強力な破壊的な結果を招き寄せかねない。

あなた方人類に共通する最大の弱点、それは否定的な感情に対し、あまりにも心をオープンにしすぎている点だと言ったのを、もう忘れてしまったのかな？

おっしゃりたいことは、よくわかります。

でも、私たちの大半は（私含め）まだ未熟です。

そもそも泳いだことのない者に、今すぐに泳げるようになれ！と言ったところで結局、無理な話です。

あなたは今、自分で自分の在り方を無意識の内に宣言してしまっている、

ということに気がついていない。

え？どういうことですか？！

もう一度、この対話のはじめの章を読み直してごらん。

そうすれば、あなた方がどれほど、自分で自分の可能性を押し殺しているのか、

を痛いほど思い知ることだろう。あなた方は思考（インジション）によって、

プロットを組み立て、言葉によって肉付けをし、そして行動によって生命を吹き込む。

思考・言葉・行為。この三つは強力な創造のツールだ。

とくにその中でも言葉は、絶大な威力を発揮する。

あなたの国、日本では古来より、言葉には命が宿るといふ言い伝え、俗に言う「言霊」信仰なるものが古くからあるが、あれが単なる伝承ではなく、

実際に古代人たちの多くは、言葉の効力の絶大さをよく理解していた。

そのため、彼らは意識して言葉の力を使っていた。

だから、今のあなたの方が何の意図もなく、漠然と言っていることが、単なる冗談だと思っていれば、それはとんでもない大間違いだ。

だが、幸いにも今のあなたは、物事が迅速に具現化する領域には生きていない。

実はこれはすべての者にとって、非常にラッキーなことだと言える。

と言いますと？

もし、そのような領域で「ああ、死ぬかと思った」などと言ったとたん

（たとえそれが一時的な冗談であれ）、すぐにあの世へ行ってしまうからだ。

アツハハハ・笑ってすみません。

あんまりにもおもしろかったもんで、つい（恥）

いや、恥じることはない。

笑わせるために、私があらかじめ練っておいたことなのだよ（笑）
笑いの波動は、魂にとっても宇宙にとっても非常に良いことだ。

多少のユーモアは何であれ、緊迫した精神を解きほぐしてくれる。

それじゃあ・・・そのような領域で「ああ、凍え死ぬかと思った」と言った瞬間、

すぐに凍死してしまうってことですか？

そう（笑）

思いとは、思考のことだ。思考は純粋な私のエッセンスだ。宇宙にこの思考のプロットが刻みこまれさえすれば、あとは具現化の段階が待ち構えている。

つまり、言葉によって宣言し、行為によって実現する、という創造のプロセスが。

実は、この領域に生きる者たちにとって、非常にラッキーなことがもうひとつだけある。

何でしょう？

創造の転換（軌道修正）ができる、という点だ。

是非、ご教示願います。

よろしい。では、始めるとしよう。

すでに以前にも話したかと思うが、^心霊の領域では、思考と行為の間には、隔たり（間隔）というものがない。

向こう側では、創造は非常に瞬間的なものだ。だから、一度創造してしまったものを後から修正しようと試みたところ、

結局は後の祭りだ。それゆえ、覆水は盆に返らない。

だが、物質的領域においては、思考と行為の間に距離が敷かれてある。

それがあなた方が「時間」と呼んでいる、コマ（緩衝帯／スポンジ）のひとつつひとつだ。

たとえば言うなれば、この領域においては料理の素材があらかじめ、周到に用意されてあるとも言える。

だが、素材をこしらえ、ひとつの料理を完成させるためには、様々な道程を踏まなければならぬ。

道中、味加減で塩を加えすぎたり、砂糖が足りなければ、微調整することもできる。

そして、つくろうとしている料理が気に入らなければ、それを放り出し、もう一度はじめから

新たな料理を創作することだってできる。それこそが、この物質的領域において、

私があなた方に与えた特権のひとつだ。つまり、あなた方は自由意志を備え持っている。

あなた方は膨大なメニューの中から、どの「在り方」という料理をつくろうとするのか・・・自分で決める権限を持っている。

つまり、あなた方は頭の中で思考しイメージしたものは、何でも創れるだけの広大な可能性を備え持っているとも言える。

問題は意識してこの力を使いこなすか、それとも惰性に流されて振り回されるか・・・のどちらかだ。

となると、私たちの大半は、後者だとおっしゃりたいのでしょうか？

あなた方の多くは、無意識の内に自分の在り方を宣言している、と言ったのをもう忘れたのか？

(今までのあなたが、そうであったように)

眠たい。疲れた。頭が痛い。ムカつく。ダルイ。うっとうしい。お金がない。

死にたい(自殺した者の大半は、この言葉を連呼している)。

程度の差こそあれ、これらはみな、立派な創造の宣言の証左に他ならない。

つまり、あなた方の多くは意識せずに、これを行っているわけだ。

この対話の目的のひとつは、そんな怠惰に流された生き方はもう止

めたほうがいい、

という勧めでもある。あなた方はその気にさえなれば、今にでも一致団結し、世界中のありとあらゆる厄難を終わらせるだけの力を備え持つている。

だが、そうしない（できない）のは、すべてにおいて根本が逆転してしまっているからだ。

あなた方の社会は、たとえて言うなれば、子供に船の舵をとらせ、赤子に一国のすべての決定権を委ねているようなものだ。

HEBたちからしてみれば、危なつかしくて見ていられやしない。

（だからこそ、このような筋書きを組み込んだわけなのだが）

そう言えば、「真実を告げる書」にも、天才政治について書かれてありましたね。

何でも我々は本来、脳の細胞が下すべき決定を、足の細胞に委ねているって。

まあ、ここで言う天才ってのも、一種の言葉のあやだな。

HEBはみな（あなた方からして見れば）天才と呼ばれるような者たちばかりだから、

その中で政治（統治・管理）を得意とする者が、職にあたれば良いだけのことだ。

ソクラテスはいみじくも言った。

「哲学者が王でない限り、あるいは王が哲学者でない限り、

人類に諸悪が尽きることはないであろう」と。

統治するとは、先の波動（情報）を読むことだ。

（あなた方の運転で言うところの、危険予測のようなものだと思っていればいい）

だが、あなた方の為政者（独裁者含め）の多くは、統治することを自分の利益は国民の利益だと納得させようとするのだと誤解している。

彼らは自己保身のためであれば、手段を選ばない。

しかし、反対に創造者たちの惑星では、全体にとつて重要な決定を、ワシネス たったひとりの者が下すのを防ぐため、定期的に議会を開いている。

いいですね・・エロヒムの国会議事堂ですか。実に興味深いです。他にも私たちの政治形態とどう異なるのか、教えて頂けませんでしょうか？

この続きは、また次回に話すと約束しよう。

あなたはもう、そろそろ身体を労わるべき頃だ。

はいはい、わかってますよ（笑）

まったく、あなたって本当におせっかいな方なんですね。

自立（自律）できない子供をしつけるのは、
本当に大変な仕事だよ（笑）

はいはい、まだ乳離れができない、赤ん坊で悪かったですね（笑）
今日はいろいろとご教示頂き、どうもありがとうございます。

では、明日、またアルバイトが控えておりますので、
今日はもう就寝することに致します。

おやすみなさい。

おやすみ。

つづく

命のたねやき【9】

2008年9月14日

神様、出てきやがれ！コラ（笑）

・ずいぶんと馴れ馴れしくなってきたね（笑）

アハハ・驚かせてすみません。

なんだか・最近、あなたがとても、身近な存在に感じるようになってきましたので、

つつい、からかいたくなってきました（恥）

もし、不快感を与えてしまわれたのであれば、もう止めます。

いいや、それでいいのだよ。

友よ、たのむから私を狭い枠組みに、はめようとしないでくれ。

あなた方は本来、もっと私と気軽に話しても構わないにも関わらず、一部の宗教では私を畏怖たる権威として祭りあげ、

あげくの果てに信者たちに私を敬遠させ、執拗に拝ませようとするところまである。

だが、そんな他者が敷いた行き先の定まらないレールの上を走っている以上、

誰かに従属しているだけだ。何度もくどいようだが、私は従属は望まない。

従属は成長ではない。従属はあなた方の自由意志を摘むだけだ。

息子よ、残念ながら、あなた方が創り出した宗教の多くは、

違いを解決するシステムを編み出してはいない。

そして、今日もどこかの国で、自分たちと異なった制服を着ていることを理由に、

隣人を攻撃し、私の名において大量殺戮という偽善をする者までいる。

そういえば、宗教でひとつ思い出したのですが、

「真実に告げる書」の中にあるラエリアンムーブメントというのはどうですか？

何と言いますか・・・ここではすべての人はみな、平等と言っておきながら、

裏ではトランスミッションという洗礼を受けなければ、死後再生が行われない・・・などといった、

選民思想的な宣伝と思わしきものまで説かれてありましたが、あれはどういう意味ですか？

これじゃあ、まるっきり話が矛盾してしましますが・・・。

あれは我々が意図したものではない。

別の領域から受け取ったメッセージを、著者が誤って解釈したものだ。

繰り返し何度も言うが、あなた方はすでに永遠の命を約束されている。

ただ、それを思い出せない者がいるだけだ。

そして、それを思い出させるよう導いてあげるのが、宗教の本来の役割のひとつだ。

実はこの宇宙から見たら、宗教が存在するのは地球だけだ。

あなた方、地球人以外のHEBたちは、宗教にすぎらなくとも自身で宗教の根本的な教え・・・

すなわち神の教えを導き出すことができる。だが、あなた方の多くは、まだまだ未熟だ。

それゆえ、誰かに導いてもらわなければならない。

そして、導く者（導き手）が居なくなるまで、導き続けるのが宗教の本来の目的なのだ、

（最大の支援は、相手を自立【自律】させることだと言わなかったか？）

あなた方の中の一部の者たちは、いつしかそれを逆手にとるようになり、

己の利己的な目的の追求のための道具として活用するようになった。

だが、いいかな、次のことをよく肝に銘じておきなさい。

誰一人として、他の者より優れている・秀でる、などといったことはない！

ただ、様々な個性（パリエーション）のあなた方があるだけだ。

ゆえに、すべての人はみな、平等であるということを理解するよう努めなさい。

また、そのように感じるよう努力しなさい。

はいはい、それができたら、苦勞はしませんよ（笑）

「できない！」と一方的に決め付けるから、苦勞するんだよ（笑）

いやあ・・・参りましたよ。あなたって、本当に容赦ない方ですね（笑）

それで・・・前回の話の続きでしたけど、

天才政治について、もっと詳しくご教示頂けると幸いです。

何と言いますか・・・あなたの惑星と我々の惑星の議会における、

根本的な「違い」のようなものがあれば、何分詳しく教えてくださいます。

まず、我々の評議会においては、決してお互いに粗探しをしたりはしない。

ましてや、そんなの自滅的で無益だということを、

議員（構成員）の一人一人がきちんとわきまえている。

それ以前に、誰も事実を隠したりしない。ただ、ありのままに起きたことを、素直に語る。

（あなた方の国会の場は、様々な事由を口実に事実を覆い隠しているが）

それでもって誰にも咎められたり、制裁を加えられたり、貶められたりすることはない。

だが、あなた方の場合は、事実をありのままに告げれば、責任を名目にその役職から解雇されるよう、相手を辱め、心理的に追い込む。

悪意からではないが、非常に狡猾だ。

また、我々の評議会は和気あいあいとしているが、あなた方の国会の場は、殺伐とした陰湿な空気（波動）が漂っている。

あなた方の国会の場はたとえるならば、誰かがミス発言するのを影で息を潜めながら、じっと待ち構えているハイエナ（動物の意識を持った者）が多く集まる場所だが、

我々の評議会は、体験したことをお互いに分かち合う。

我々はお互いに癒しあうが、あなた方はお互いに貶しあう。

（念を押して言うておくが、批判している訳ではないよ）

なぜなら、癒し（ヒーリング）とは、体験の分かち合いなのだから。

うーん・・・そう言われますと、確かに国会中継を見る以上、

言葉による中傷や罵倒が後を立ちませんね。

というより、なぜ、ああいう議員が選ばれたのかが不思議でならないのですが。

それで・・・「真実を告げる書」の中では天才政治が説かれてあるわけですが、

我々の政治界でも、やはり根本的に改革しなければならぬ問題点がある、幾つかあるのでしょうか？

できれば、その点に関して、もっと詳しくご教示頂けると幸いです。

あなた方は、子供に船の舵をとらせている。

そして、子供に車の運転をさせておきながら、事故は起こらないと思っている。

それ以前に子供たちに、ワンネス全体にとっての生死を分かち、決定権を委ねている。

こう言えば、大体は予想がつくだろうか？

それじゃあ、私たちの選挙法である民主主義は、

まったく役に立たないとおっしゃるのですか？

完全民主主義は、選択する者／される者の知性の程度をまったく考慮しない。

それゆえ、投票する際、一人の天才（意識者）の声（一票）は、愚昧な連中の声（多票）によってかき消される。

たとえて言うなれば、本来5%の人間の意識を持った者が選出され、政治の主導権を握るべくにも関わらず、

反対に残りの95%の動植物の意識を持った者たちに、被選挙権を与えているようなものだ。

皮肉にも今、あなた方の社会で人間（管理者）の意識を持った者は、極めて少ない。

自らで自らの環境を創造するどころか、その多くは周囲の創造した環境に翻弄されながら、

闇雲に生きているようなものだ。

それじゃあ・・・私たちは今まで、

狼に羊の群れを統治させていたとでも言うのでしょうか？

すべての者は（すべてではないが）愚かで知恵がなく・・・

さかのぼって説明しよう。

有史以来、あなた方の社会は混乱と無秩序に満ち溢れていた。

そのような統制の効かない初期の原始的な社会で尊重され、

重視されていたのは、ただひとつ・力(殺傷能力)だ。

そこで最も力を保持していた者、俗に言う権力者たちは、

自らが定めた掟を他者に強制して物理的に押し付けた。

やがて、時が経つにつれ、権力者たちは自身が蓄えた富・財産を、

その子孫へと相続させ、

それにより有産者階級による連鎖統治が始まった。

だが、何事も度を越すと、均等が取れなくなるのと同様、

臨界量に達したものは、何であれ漏れ出す習性(特質)を持っている。

自然の法則は、崩れかけたバランスを取り戻すべく機能している。

その証拠にあなた方の身体においても、ウイルスが侵入すれば、免疫機能が働く。

このように、時が経つにつれ、搾取・抑圧に耐え切れなくなった民衆は、

やがて抵抗軍レジスタンスを組織するようになり、支配階級に反発するようになった。

そして、危機感を煽られた権力者たちは、統治する上において、

彼らにとって非常に都合の良いものを生み出した。何だか、わかるだろうか？

さあ・・・？

軍隊だ。つまり、組織化された力のことだ。

あなた方の組織した軍の多くは、常に暴力を若者たちへ教え続けてきた。

破壊やその他、諸々の洗脳活動を通して。

そして、自分が欲することを理由に、
相手が欲せざることをするのを正当化してきた。

でも、話しの途中、水を差して申し訳ないのですが、
天才政治って、何だかファシズムと紙一重のような気が致します。

いや、違う。ファシズムとは一党独裁のことだ。

なぜなら、ファシズムというのは、自分以外の他党派の存在を一切
禁じ、

自覚メンバーのみを組織するという政治形態に他ならない。

一方で天才政治は、たった一人の人間による独裁ではなく、
世界中のありとあらゆる地域から選出された、

何百という天才たち（人の意識を持った者たち）によって構築され
る、

大規模な世界団体のことを言う。だが、これを実現するには、
まず世界がひとつとしてまとまらなければならない。

もし、真の天才政治を実現させたいのであれば、
まず世界が一体化となるのは、何よりの必須条件だ。

そして、何よりも想像力によって、
他の者よりも遠くを読むことができる者たちを選出する方法を編み
出さなければならない。

それには従来の知能指数（IQ）ではなく、
潜在的な知性指数（IP）を測定するテストを導入する必要がある。
そこであなたの方の中の、行動心理学者と呼ばれる者たちの出番がこ
こで出てくるわけだ。

中でも「権威への盲従」は、代表的な判定基準のひとつになるだろ
う。

その証拠に、ドイツでは面白い心理実験が行われている。

まず、部屋をふたつ用意し、中の様子が確認できるよう窓ガラスを

間に敷き、

ひとつめの部屋には電気椅子に座った被験者A、
ふたつめの部屋には被験者Bと専門医を入れておく。

次に被験者Bに被験者Aが座っている電気椅子のボタンを押しても
らうよう、

専門医から促してもらおう実験のだが、専門医と被験者Aはもちろ
ん、

実験のために整えられた偽者^{サクラ}だ。

そして、被験者Bがボタンを押すたびに、被験者Aは苦しみ悶える
フリをもらう。

ボタンは幾つかに分かれており、順に押してゆくたびに、
電気椅子に流れる電流も徐々に激しくなる（フリを被験者Aにして
もらう）。

そこで被験者Bが「このまま押し続けると危ないのではないのか？」
と言っても、

専門医（に扮したサクラ）には、

「いいや、大丈夫。そのまま、押し続けなさい・・・」と言ってもら
うようにする。

むろん、被験者Aの動きが止まり、命の危険に晒されようとも、
専門医には同じことを繰り返してもらおう。

「いいや、大丈夫。そのまま、押し続けなさい・・・」と。

そこで、どこまでボタンを押したか・・・により、
その被験者Bとなる者の共感能力の度合いが測定されるわけだ。

つまり、統治者の条件のひとつとして、
相手の立場に立って物事を考慮できる者でなければならぬのは、
明知のとおりだ。

ただし、ここで注意してほしいのだが、天才とは必ずしも誰よりも
知識を多く詰め込んだり、勉学に励んだりしてきた者のこととは限
らない。

それは自らの攻撃的（利己的）な衝動に対し、

どれほど自分を律することができるか・・・による。
つまり、誰よりも早く先の情報をキャッチし、
軌道修正してゆくことができる能力を持った人間が、
権力の座に就かなければならない。

うーむ・・・おっしゃりたいことは、わからなくもないのですが、
「言うは易し、行ふは難し」が、今の我々の世の中です。

それに・・・このような政治形態はまるで選民主義のように聞こえて、
もし大胆にも公表したら袋叩きに遭うのがオチですよ。

というより、それ以前に誰が天才（人の意識を持った者）なのかを
判別する方法はあるんですか？

そもそも何を基準にして「この人は天才だ」などと特定できるのか、
教えていただけませんかでしょうか？

実に簡単なことだ。それに関しては対話の2冊目のほうで、私が二
ールに少し語ってあるから、

そこを参考にするといい。とにかく、基本は「見える化」だ。

隠すのはもう止め、勇気を振り絞って素（裸）になることだ。

そうすれば、真実だけが残る。だが、先にも触れたと思うが、

それを実現させるためには、まず世界がひとつの団体として構築さ
れ、まとまらなくてはならない。

つまり、全体主義（一体化）をベースとした世界機構を立ち上げる
ことが必須事項だ。

対話の3冊目にあった、「スピーシーズシステム」（ノウスフィア）
ってやつですね。

そう。まあ、ここは東洋だから、東洋らしく中国の古典をひとつ用
いて解説してみようか。

まず、「我々はみな、ひとつである」。

これが宇宙を構成する基本原理だということを念頭においてもらいたい。

(一部の量子物理学者たちはすでに気がついてるが) だから、何をするにしても、このスローガンをモデルにすることを私は勧める。

つまり、これを世界基準として見たてた場合、もし仮に一国でも侵略されるようなことがあれば、残りの160カ国全部が立ち上がるべきだと、私は2冊目の対話のほうでニールに語った。

そこで孫子は、いみじくも言った。「善く兵を用いる者は、たとえば卒然のごとし」と。

卒然とは常山の蛇なり。その首を撃てば尾至り、その尾を撃てば首至り、その中を撃てば首尾ともに至る。

(孫子の兵法・九地篇・より)

ここで言う常山というのは、中国の河北省という地方にあるとされる、五名山のひとつのことだ。

ここにいる蛇に卒然(「不意打ち」を意味)という異名を持つ蛇がいた。

そして、面白いことに、この蛇は頭を叩くと尾が不意に向かい、尾を叩けば今度は頭が向かってくる習性を持っている。

さらに胴体を叩けば、頭と尾の両方が不意に向かってくる。つまり、組織というものは何であれ肥大化してくると、どうしても動きが鈍くなりかねない特質を持っている。

だから、そのシステムが有機的に動くようにするには、どこか一部でもやられたら、

全体として対応できるようにしなければならないという訳だ。

実は、どんな組織も愛がなければ、長続きはしない。

神とは愛であると同時に、この宇宙の基本的な法でもある。

愛に基づいていないものは何であれ、すべて壊され、時間とともに忘れ去られ、捨てられてゆく。だが、マスターは、愛のみが壊れることを知らない、ということを知っている。

なぜなら、愛がないと、上に立った者はエゴをむき出しにして、自身のエゴイズムを正当化するために、物事を複雑にからませるからだ。

マスターとは、愛こそが幸福に向かう唯一の道だと知っており、それを実績している者たちのことを言う。

それじゃあ、孫子がインスピレーションを受けて、素晴らしい兵法書を書いたのも、決して偶然なんかじゃないってことですね？

そう。すべては筋書き・つまり、最初から何もかも仕組まれていたからこそ、成し遂げることができた業だ。

もし、すべてを機能的に働かせたいのであれば、包み隠すことからまず克服しなければならない。

完全に自分自身に素直になること、これこそがあなた方が真の自由を獲得するための唯一の道であり、それ以外に方法はない。

とくにあなた方の経済面で言えば、金銭面における記録のやりとりが、

万人に見えるようにしなければならない。

つまり、小さな金銭のやりとりから、大きな金銭の流れに至るまで、金銭授受に関するすべての記録を公に晒し出す必要がある。

そうすれば、個人の通帳をパッと一目見ただけで、その人物がいかなる人物かがわかる。

これにより、誰が最も全体に奉仕・貢献しているか・

という真実が浮き彫りにされてくる。

それじゃあ・・・まさか！

ふう、ようやく気がついたようだな。

そう、真の統治者の必須条件のひとつとして、より多くを与える者でなければならない。

（裏を返せば、彼らはそれだけ多くを持っていることになる）
つまり、ただひたすら人のために尽くすことができる、強靱な精神の持ち主でなければならぬ訳だ。

皮肉にもあなた方の為政者の多くは、与えるどころか、奪うことに意識（関心）を注ぎ続けている。

彼らは溜め込むこと、かき集めることにはばかり関心を注いでいる。
あたかも不安と恐怖に駆られ、わんさかと自分のほお袋に食料を詰め込むハムスターのごとく。

（最近では勝ち組や負け組などといった、詭弁まであるではないか）
だが、真の文明世界においては、より多くをかき集めた者が勝者ではない。

どれほど人に多くを積ませたかにより、成長（進歩）の度合いが反映されてくる。

そこには何の期待も見返りも存在しない。ただ、純粹なる愛のみが、彼らの共通言語だ。

また、これはあなた方の人間関係についても言える。

あなた方の多くは誰かと何かしらの人間関係を結ぶ際、
大概は「その人に何を与えることができるか」よりも「その人から何が得られるか（取れるか）」

のほうに意識を向けている。そして一旦、相手から引き出せるものがなくなつたと感づくつと、

また別の刺激を求め、生きた屍のごとく彷徨いつつ、延々と不幸の循環を繰り返してゆくハメになる。

あなた方は、人間関係の真の目的を忘れている。
自分の中の神性のどの側面を明らかにし、体験したいのか・・・とい
う目的を。

となると、得ることよりも与えることのほつに、価値があるとおっ
しやりたいのですか？

そうだな・・・では、次のように考えてみてごらん。

全員が奪い合っている世界と、互いに与え合い補い合っている世界、
あなたなら、どちらの世界に住みたいと思う？

そりゃあ、後者に決まってるでしょうに！

誰だつて痛い目に遭うのは、嫌ですよ！

（ある特殊な嗜好を持たれた方々は除くとして・・・笑）

それに・・・いつまでも互いに奪い合い傷つけあっていたら、
いつかは自滅してしまいますよ！

何かを判断する最良の基準、それは「全員がそれをしたらどうなる
か？」と仮定してみることだ。

全員が励ましあい、互いに支えあつたらどうなるか？

全員が貶しあい、攻撃し利己的に生きてたらどうなるか？

もし、人間ノマスターの領域に到達すれば、どちらが全体にとつて、
計り知れなく有意義かが自ずとわかることだろう。

だが、今は筋書き。あなた方大半は前者の手法をとることにより、
波動のやりとりをすることによって、自身の中の負の波動を修正し
あつているとも言える。

負の波動を逆手に利用している、ということですね？

「毒をもって毒を制す」ということわざを聞いたことがあるかな？

あなた方の社会を観察していると、矛盾したところがいっぱいあるのに気づく。

とくに最も根本的で代表的な矛盾点として挙げられるのが、毒を持っている人間（の着ぐるミを着た何か）が、社会に野放しの状態だという矛盾だ。

（皮肉にもあなた方が定めた法律は、この方面を取り締まれないよ
うだが）

そうする内に邪悪な毒気の波動により、大気が汚染され、社会環境まで汚染されていることに、あなた方はまだ気がついていない。

あなた方は、毒を消さなくなった。否、消せなくなってしまったと言ったほうがいいだろう。

あなた方の社会では、兄弟同士で罵りあい、毒気を吐きながら、他人（自己）を攻撃する。

他人（自己）に対して、悪意に満ちている。

確かに昔から、毒舌として社会を風刺する論法というのはあった。だが、それは直接個人に向けられることはなかった。

社会の思想や権力に対して、一部の者たちが用いたが、薬（利）としての効能のほうは、むしろ大きかった。

しかし、現在増えているのは、辺り構わず誰にでも牙をむき、

毒気を吐き散らす人間（の着ぐるミを着た何か）だ。事態は深刻だ。社会の至る所でその光景は見られ、被害は大勢の人々にまで及んでいる。

何が言いたいのですか？

本当に毒を持った人間が、他人を攻撃している、と言っているのだよ。

この毒は、直接的な致死には至らないが、やがて精神を犯し相手を死に追い遣る。

自分の吐く気（言葉や感情）に、毒が宿っていることに気づいていないから、
事態はもつとやっかいなのだ。毒を垂れ流せば、やがては自分も病む。

むしろ、毒に犯された精神は反省などしない。

解毒作用を失った人間は、相手を殺すまで攻撃をする。

自分の出した毒で、自滅する日が近づいているとも知らずに。

彼らは被害者への謝罪の気持ちなど、微塵も持っていない。

臆病になり、自分の感情を満たしたら、すぐに引籠ってしまふ。

つまり、責任を取る能力は、最初から放棄している。

いわば、やっかいなことは知ろうともせず、後始末はすべて他人任せ。

自己の感情だけを優先させる。

言葉の持つ意味など知ろうともせず、汚い言葉を平気で使う。

だが、攻撃（力）は、同等の反作用を受ける。「殺せば、当然殺される」のが私が定めた法則だ。

あなた方の社会は今、他人を傷つけない様な、思いやりや優しさ・

愛情・そして気配りで、

人間の持つ毒気が中和されていた頃のことを忘れている。

毒は出しても、皆で解毒していた頃のことを、忘却の彼方へと追いやっている。

あなたは先ほど、このままではいつか自滅してしまう！と言ったが、もしこのまま同じ過ちを繰り返すのであれば、

私はあなた方の滅びの方程式を再び観察することになるだろう。

うわ！これまた手厳しい忠告ですね。

でも、毒も本来、意味があるからこそ、存在しているってことですよね？

何と言いますか・・・善を育てるために悪が必要ってやつです。

さかのぼって説明しよう。

あなた方は自身の中の欠陥を修正することを希望し、自ら望んでこの地球という領域へと足を踏み入れた。

確かに他の領域でも心の向上には努めてはいるが、

それではどうしても修正できない負の波動を温存してしまうことになりかねない。

そこで設けられたのが、この地球という魂のトレーニン^{センター}グ施設だ。

つまり、体験の場だ。ここでは命の領域では滅多に体験できないことを、

実際に実（身）をもって体験し感じることができる。

それゆえあなた方が悪と呼ぶもの

（大半はあなた方と異なつた意図を持った者たちのことを指すのだが）

の存在意義がこの領域にはある。つまり、ここでは「太る」という体験をとおして、

「痩せる」という体験をすることができる。

さらに「熱い」という体験をとおして「冷たい」という体験をすることもできる。

そうして、そのような体験を繰り返してゆくことによって、この宇宙で生きてゆくにあたって、

本来あつてはならない負の心を修正している訳だ。

要するに「お腹が空く」という体験をとおして、

「満腹」という体験をすることができるってことですね。

そう。よくわかっているじゃないか。

でも、ひとつ疑問に感じたことがあります。

何だね？

体験することに、そもそも意義などあるのでしょうか？

うーん・・何と言いますか、

体験すること自体にどのような価値があるのか、がよくわかりません。

実に簡単なことだ。体験をトレーニングに置き換えてごらん。

え？どういうことですか？

では、こう説明しようか。

テスト直前を前にした学生が、きちんと勉強をしていなかったら、結果がどうなるのか、想像したことがあるかな？

（あなたは、すでにそれを体験済みのはずなのだが）

よく体を鍛えもせずプロレスの試合に挑んだら、先がどうなるのか考えたことがあるのかな？

そりゃあ、言うまでもないでしょう！

テストならよく勉強せずに挑めば、赤点取って留年してしまうに決まっていますよ。

それに・・プロレスだってそうです。よく鍛えもせずに出場したら、すぐに相手にノックアウトさせられますよ！

実はあなた方の多くは、この領域で幾度も留年していると言ったら、驚くかな？

はあ？！

そんなに難しく構えることはない。

非常に簡単なことだ。近い将来、あなた方はこの地球という領域を

卒業し、

宇宙という（新たな）社会（領域）へと旅立ってゆく。
そうだな・たえて言うなれば、ちょうどあなた方の社会で、
子供が成年になれば、社会へと送り出されるのと同様。

その中であなた方は、それぞれの持ち場（役職）に就く。

人間／管理者になる者と動植物となる者、そして宇宙のチリと化し、
大自然と同化する定めにある者、それぞれの役割（天命）はさらに
細かく細分化されてゆくが、

どれも結局は過去（前世）の体験が反映されているにすぎない。

つまり、この世（領域）での体験をどれほど積んだか、によって、
これであなた方の来世の姿が決まってくるという訳だ。

それじゃあ、よほどの体験を積まない以上、人間になることはでき
ないってことでしょうか？

この点については、話すとき長くなるから、

また次回に詳しく話すと約束しよう。

今日はもう遅いから、そろそろ身体を労わるべこうだ。

いやあ・相変わらず、気が利く方ですね（笑）

私も同じこと思っていたんですよ。

では、お言葉に甘えて、今日はおやすみさせて頂くことにします。
いろいろとご教示いただき、どうもありがとうございました。

おやすみ、また会える日を祈って。

つづく

命のそとやき【10】

2008年9月20日

神様、出・て・お・い・で

昨日は、よく眠れたのかな？

あなたはここ最近、相当身体を酷使しているようだが。

だって、仕事^{バイト}が忙しくて、なかなか手が離せない状態なんですよ。

おまけに経済的にも貧窮しておりますし、何と言いますか・・

貧乏人に暇なしってやつです。わかりますか？

痛いことを指摘するようで悪いのだが、

どうして、したくもないことをいつまでも延々としているのだね？

あなたは、それで貴重な人生（時間）を台無しにしているのが、まだわからないのかな？

とくに、あなた方の労働文化（静かな絶望の文化）を観察していると、おもしろいことに気がつく。

その中に「埋没」している、多くの者は、幸せは「今、掴み取るもの」ではなく、

定年した後、または退職した後（給料を受け取った後）に「味わうもの」だと誤解している。

そして、それを「味わう」ために、自らを有害で無益な環境下へと置き、

身体／精神／魂にとって計り知れないほどの、ストレス／プレッシャーを溜め込んで、

自分で自分の首を絞めている。つまるところ、あなた方は、自分で自分を苦しめている。

そのあげく、「なぜ、私はこんなにも苦しまなければならないのか？」などといぶかる。

だが、この苦しみの循環（連鎖）は、あなた方が自分で気づくまで（自立【自律】するまで）、延々と繰り返されることになる。

ちよつと、ちよつと！何もそこまで言わなくても、いいじゃないですか。

おかげで、ちよつとへこみましたよ・・・（涙）

思いつきり、へこみなさい。「なぜ、へこむのか？」が、わかるまで。

痛い目に遭わなければ、そこから抜け出そうと試みない者は、

「なぜ、自分が痛い目に遭うのか」、がわかるまで痛い目に遭い続けなければならない。

だから、これ以上痛い目に遭いたくないのであれば、何が（どんな思考／言葉／行為が）今の自分を痛い目に遭わせているのか

（何が「痛い目」を創造しているのか）をきちんと見分け、認識しなければならない。

そうすれば、そのへこみから抜け出し高尚した時に、得られる至福感は、この上ないものになることだろう。

あなた方の多くは、まだ相対性を有効に活用する術を身につけていない。

意識という、唯一合法的な麻薬を活用することにより、自分で自分を至高の境地に引き上げることができるにも関わらず、大半の者は試すよりも、真っ先に否定してしまう。

要するに、何事も論より実績つてことですね。

そう思うと、私たちの社会では、動植物の（低い）意識をもった方が如何に大多数を占めているのか・・・をよく痛感させられます。

（大変お恥ずかしい話で申し訳ないのですが、私もまだその中の人です）

人間ノマスターとなる者のオーラの色は白だ。

実は白とは何色にも染まっていないのではなく、ありとあらゆる色が混ざり合い、

混合した色のことを言う。（これに関しては1冊目の対話の記録を参考にするといいだろう）

まあ、あなた方の現代科学で言うところの「光の三原色」のようなものだと思っていればいい。

また、すでに知っている者も中にはいるが、物体は何であれ、どんなものからも、それ特有のオーラ（霊気）というものが放出されている。

生きているものは何であれ、それ特有のエネルギー（オーラ）を発生している。

また、ある少数民族の間では、古くから「プラーナ」として語り継がれることもある。

その波動は一部の者たちが扱うハンドスキャンのように、手や体で感じることもできるが、

当然目（肉眼）で見ることにもできる。さらに、波動を目で見た状態こそが、オーラと呼ばれるものだ。

そして、補色を見る訓練をすることにより、それを肉眼で確認することができると言える。

補色を見る訓練ですか？

興味深いですね・是非、詳しくご教示願います。

とにかく、何でもいいから白以外の色のついた紙一枚と、白い画用紙を一枚用意してごらん。

ちょっと待ってくださいね。
今、取りにいけます・・・。

(長い沈黙・・・)

お待たせしてしまい、申し訳ありません。
とりあえず今、家にあるのは折り紙だけですけど、これでも大丈夫
でしょうか？

まったく問題ない。

では、白い画用紙の上に、色のついた小さいサイズの折り紙を一枚
のせ、

その小さいサイズの折り紙全体を見渡すことを意識しながら、
約30秒間ぐらい、じっと目をこらして見続けてもらん。

そうしたら、今度は折り紙が置かれていないほうの、
白い画用紙のほうに視線を移してもらん。

さすれば、淡い残像として、別の色が見えてくることだろう。

そして、その残像として見えた色こそが、その原色に対する補色と
なる訳だ。

・・・わかりました。

では、さっそく試してみることになります。

それじゃあ、最初は赤色の折り紙で試してみることになりますね。

(約30秒後)

あ！凄いッ！！

確かに青紫のような色がぼんやりではありますが、
うっすらと見えてきましたよ。これが補色ってやつですね。

そう。赤に対する補色は青紫だ。

そして、青に対する補色はオレンジといった具合に、ひとつひとつの原色には、それぞれその色特有の補色というものがある。

とりあえず、最初のうちは赤、青、黄、緑、黒の五色を試してみるという。

それである程度慣れてきたら、様々な物体から放出されているオーラを見てみるといいだろう。

その後、ひととおり訓練し終えたら、今度は人間のオーラも見てみるとよい。

とくにあなた方人間のオーラというのは、三層構造になって見える。一層目のオーラは、あなた方の人体をつくり出すオーラだ。

このオーラは、その者の輪郭に沿って薄く、普通1〜3ミリ、最大でも2〜3センチの範囲までとして見える。

そして、二層目のオーラは、あなた方の心が発するオーラだ。これは通常、10センチから40センチぐらいの範囲で見ることができる。

ただし、この範囲は心の（その時の状態の良し悪し）強弱によって刻々と変化することがある。

ゆえに、必ずしも一定のものとは限らない。当然、病気などで衰弱している者は範囲が小さく見える。

また、このオーラは、その範囲にまで近づくと、その者の精神の状態が伝わってくることもある。

三層目のオーラは、あなた方の肉体から離れていくオーラだ。

このオーラは、見えたり見えなかったりする場合がある。仮に見えたとしても、瞬時に変動したり消えたりする。

とくに公の面前で熱弁している者の、三層目のオーラは激しく変化している。

さらに面白いことに、このオーラというのは肉体から離れる性質を持つているため、

仮にその者が部屋から立ち去ったとしても、その者の気配が残る場合がある。

俗に言う、「今まで誰かが居た感じがする」というのはそういう時だ。

また、反対に影から誰かに見られている時、その者の目から発するオーラが強いと、

姿は見えなくとも、誰かに見られているような気配を感じることもある。

（「目は口ほどにものを言う」と言うが、

本当は「目は口以上にものを言う」のほうがより適切な表現だ）

ちなみに腹黒い者の心のオーラは、文字どおり黒く見える場合が多い。

ただし、黒とは言っても真っ黒というわけではなく、わずかに灰色がかっている。

まあ、どちらかと言えば、「煙っているような感じ」といったほうがよいだろう。

とくにこのようなオーラを放つ者には、くれぐれも注意して取り掛かる必要がある。

どんな場合にせよ、煙ったようなオーラは有害で無益なものを意味する。

とくに、あなた方が今、住んでいる地球では綺麗なオーラを放っている者は非常に少ないだろう。

また、オーラの色を確認することができれば、その者が今、

どのような精神的状況下に置かれているのか、がすぐにわかる。

たとえば、今のあなたが水色のオーラを放出している、といった具合に。

え？私のオーラは水色なんですか？

実はあなた方地球人の多くは、この水色のオーラを放出している。

そして、ありとあらゆるオーラの中でも特にこの水色というのは、悩んでいたり、胸の奥に何か深刻な悩み事を抱えている者が放出している時に見える。

それゆえ、H E Bたちからは、あなた方地球人は水色星人などと呼ばれている。

(あらかじめ言うておくが、批判している訳ではないよ)

そりゃあ、悩みますよ！

今の私の有り様を見てください！

不様な病を患うばかりか、これといった定職も決まらず、

このままフリーターとして一生を過ごすのかと思うと、

それこそお先真っ暗ですよ！第一、あなたにこの気持ちがわかるのですか？！

気持ちはわからなくもないが、あなたはまだこだわっている。

第一、なぜ逆転の発想を活かそうとしないのだね？

ひとつ考え方・視点を切り替えさえれば、もっと別の選択肢を導き出せるにも関わらず、

どうして一步踏み出そうとしないのだね？

いいかな、次のことをよく肝に銘じておきなさい。

優柔不断は不安の苗木だ。もし、あなたがすべてにおいて最善を尽くしたいのであれば、

とやかく精神に口出しさせるのは、もうやめたほうがいい。

第一、リストラだって、ものの考え方次第ひとつで、良くも悪くもなりうる。

満員電車で揺られながら出勤し、ボロボロになるまで働き、残業し、身体にとって有害なストレスを溜め込み、あげくの果てに飲みたくない酒の席に

無理やり付き合わされる人生から、やっと解放されたと考えることだってできる。

だが、そう考えようとしないのは、お金というものに異常に固執しすぎているからに他ならない。

あなた方は、お金（資本）に多大な価値を置く社会を創り出した。市場経済・商業主義などと呼んで、いかにも誇らしげだが、その多くは無益で有害極まりないものばかりだ。

それはお金（資本）にそれだけの価値を与えてしまった、あなた方の思考に因を発している。

確かに今のあなた方の社会では、お金は一種の「手段」だが、つまるところ「目的」ではない。

もし、お金を目的にしてしまうと、一生「お金を儲け続けること・稼ぐこと」に時間を費やしてしまうことになる。

現にあなた方の社会では、（世俗が定義する）成功の指針を3つのPで推し量っている。

つまり、Popularity（人気度）、Production（生産力）、Possession（所有）の3つだ。

そのため、限られた資源を誰よりも多くかき集め、所有するために、競争せざるをえない環境を創り出している。

さらに、一定の絶対値（臨界量）を超えるほどの、無駄なもの（商品）を大量生産しては、大量に廃棄、または浪費しつゆく。

おまけに必要な以上に相手に気に入られようと躍起になるあまり、自分の中の神妙な感情までも押し殺している。

それが今のあなた方の、市場経済・商業主義と呼ばれる環境下で行われていることだ。

だが、反対に進歩した世界では、成功の指針を3つのRで推し量っている。

つまり、Respect（尊敬）、Responsibility（責任）、Realization（認識・悟り）の3つだ。

彼らは一体性を基盤^{ベース}に、すべての者と分かちあいながら、スムーズ

に機能している。

彼らは「外」に向けて奉仕するが、あなた方は「内」に向けて溜め込む以外にはさほど関心を抱かない。彼らは互いに与え合い、補い合うが、あなた方は互いに競い合い、奪い合う。

だから、私はウェイン・W・ダイアーにインスピレーションを授け、次のように書かせた。

地獄には、大きな鍋があつて、中に美味しいスープがタツプリと入っている。

人々は、先を争ってスプーンを取って飲もうとするけれど、そのスプーンの柄が、人の腕の長さよりずっと長いので、誰も飲むことができない。

それで、みんな、腹をすかせて苦しんでいる。

天国も、条件は全く同じ。

天国にも、大きな鍋があつて、中に美味しいスープがタツプリと入っている。

スプーンの柄の長さも同じ。

どのスプーンの柄も、人の腕の長さよりずっと長い。

けれども、天国の人たちは、

お互いに飲ませあつて、みんな楽しく幸せに暮らしている。

つまり、場の状況が天国か地獄かを創っているのは、

そこに集まった者たちの集合的な意識によるものだけということですね？

そのとおり。事実、あなた方の周囲の環境が天国か地獄なのかを創造（決定）しているのは、

そこに集う者たちの（個々の意識が寄り添った）集合意識によるも

のだ。

創造は協力して行くと、莫大な力を発揮する。

個々の磁石はそれぞれ微弱ではあるが、同極が寄り添えば寄り添うほど、

強大な磁力を発揮するのと同様、似た考え（思考）はそれに類似した現実を創造する。

（我々は共同して我々の現実を創造している・・・ということをお忘れず）

磁気的法則は類を引き寄せる。類は友以外を呼ぶことはない。

それゆえ、天の国には天の者、地の監獄には地の者しか引き寄せられない。

あなた方の社会は今、お金（資本）に翻弄されている。

そのため、都心部や大都会と呼ばれる地区には、それだけお金（資本）に渴望を抱く者が集う。

確かに今のあなた方の社会では、お金がないと生活が貧窮してしまいがちだ。

これは素直に認めよう。だが、そんなことで不幸だと考えるのは、視野が限られている証拠に他ならない。

なぜなら、すべてはものの考えよう（信念）次第ひとつで、

場の状況（環境）は天国にも地獄にもなりうるからだ。

お金がないから良いものが食べられない。

お金がないから高級ブランドを購入することができない。

お金がないから不幸。

今のあなた方は、そのような固定観念に縛られすぎている、ということにそろそろ気がついたほうがいい。

むしろ気づけない者が多数を占めているというのが、不思議なくらいだ。

だって・・・私はただ、純粹に成功者になりたかっただけなんです。

なりたいと思ってる以上、なることはできない。

え？どうしてですか？

・ ・ ・ どうやら、あなたは若年性の痴呆症を患っているようだな（笑）
最初にも言ったと思うが、この宇宙にはひとつの声（反応）しかない。

つまり、イエス！という返事だけだ。

（キリストは、このことをあなた方に教え広めるために遣わされたのだが）

もし、あなたが何かをしたい！欲しい！と思えば、

宇宙はただ純粹に「OK！あなたの望みを叶えましょう」

と答え、あなたにその状態（在り方）を体験させる。

だから、何かを体験しようとするのであれば、欲するのはもうやめたほうがいい。

じゃあ、どうすればいいんですか？

思い切って、それを選ぶのだ。

ただし、その際、決して精神（考え）に口出しをさせてはならない。
くどく何度も言うが、優柔不断は不安の苗木だということを、

よくよく肝に銘じておいたほうがよいだろう。

そして、与えられる前に私に感謝する習慣を養いなさい。

実は、感謝の波動以上に、あなた方と私の距離を縮めてくれるものはない。

感謝はこの宇宙で最強の波動だ。何者も感謝の波動なくして、
この宇宙で快適スムーズに生き抜くことはできない。

なぜなら、感謝の心構えがなければ、人は足るを知ることはできないからだ。

小欲者は常に、足るを知るこの大切さを知っている。

大食いは罪だ。あなた方は、もつと「足る」を知ることの大切さ、を知る必要がある。

言うまでもないかもしれないが、あなた方は己の貪欲さゆえに、今の形の生命を経験できなくなる段階にまで、自らを追い込もうとしている。

それゆえ、あなた方はもつと日々、見るもの・聴くもの・嗅ぐもの・味わうもの・

触れるものに感謝する心持ちを養わなければならない。

そして、事前にあなた方に恵みを与えようとしている私に、無意識に感謝することさえできれば、

あなたはマスターへの偉大な一步を踏み出しはじめたことになる。とにかく、もつと感謝する習慣をつけなさい。

そして、それらが現実になった時に抱くであろうビジョンを、しっかりと保持するよう、自身の信念を鍛えなさい。

この際、断言させてもらうが、

感謝以外に神の想いと調和した関係を築く最良の道具ツールはない。

この宇宙は「知性ある物質」(サムシング・グレート)という、ひとつの形なき物質(材料)から成り立っている。

この物質は、あなた方が欲するものを、すべて与えてくれる。

ただし、そのためには、心から私と深い感謝の気持ちでつながらなければならぬ。

ゆえに、すべての面において正しい生き方をしている多くの者が、豊かになれないのは、感謝の気持ちを十分に持っていないからに他ならない。

つまり、彼らは私からの恵みに感謝しなかったがために、

私とのつながりを自ら断ち切っているとも言える。

だから、何か少し良いことがあった時、私に感謝すればするほど、ますます良いものが、ますます早く、迅速にあなた方に与えられる。このことは特に念を押して言うておくが、

感謝に満ちた態度こそが、あなた方の心の恵みの源泉だということ

を忘れてはならない。

感謝に満ちた生活を送ることにより、あなた方は私に最も近い所にいられる。

それは、あなた方を私の近くへ引き寄せてくれる。

感謝の気持ちこそが、あなた方の心と宇宙の創造力をより深く調和してくれる。

そして、感謝の波動はあなた方の思考を創造的な次元に保ち、他人との競争に陥らないように守ってくれる。

また、感謝の法則は、富の供給には限りがある、という幻影をも打ち砕く。

ゆえに、強い感謝の気持ちがあれば、大きな力を発揮することはできない。

なぜなら、すべてのものにはきちんとした存在意義があるのだから。

簡単に言ってくれますが、鍛えるって言ったって、

どうすればよいのか、私にはさっぱりチンプンカンプンです。

厚かましいようで申し訳ないのですが、何か良い方法があったら、

ご教示頂けませんでしょうか？

あるとも！

アフメーション

瞑想を活用しなさい。瞑想は最良のツールだ。

深く深く深呼吸をし、自己の深い部分へと入ってゆきなさい。

さすれば、光が見出されるであろう。その光と、ともに居続ける努力をしなさい。

要するに、植物のように光合成しろってことですか？

違う！（爆笑）

そういう意味ではない。あなたは瞑想を勘違いしている。

瞑想とは必ずしも静かな場所で目を閉じて、精神統一していればよ

いと限らない。

また、瞑想に決まった形式、定められた技法などといったものもない。

立つてする瞑想もあれば、歩く瞑想もあり、仰向けになる瞑想もあれば、

逆立ちでする瞑想もある。人によって様々ではあるが、その中で自分にあった瞑想をすればよいだけのことだ。

と言いますと？

とにかく何でもよいから、ひとつのことに意識を集中してごらん。

そうすれば、古い信念が新しい信念にとって入れ替わる、チャンスが芽生えてくる。

なぜなら、信念というのは文字どおり、信（心）念なのだから。

あなた方の心というのは、たとえるならば、ひとつの樹木のようなものだ。

根元・・つまり、心根から取り入れ、発せられたエネルギー養分によって、枝に咲く花の種類が定められる。

不安に根付いた心根であれば、恐怖と絶望の花を咲かせ、

愛に根付いた心根であれば、希望と喜びに満ち溢れた花を咲かせるだろう。

そのため、「どのようなエネルギー養分を心根（信念）に取り入れるか」は、極めて大事なポイントになる。もし、喜びと活気に溢れた花を咲かせたいのであれば、

それに適した波動レベルの養分を取り入れなければならない。

つまり？

良い気分になること以上に重要なことは、何一つとしてないと言っているのだよ。

あなた方には元来より、（意識して）「楽しむ」という素晴らしい特権がある。

もっと、その権利を意識的に活用してみてもどうか？と私はすすめているのだよ。

荒れた心を鎮めさせ、気分をワクワクさせるもの、快活にさせるものならば、

何であれ最良の瞑想だ。とくに自分のバイブレーションにあった、

曲（音楽）を聴いたり、歌を歌ったりするのは、数あるバージョンのひとつでもある。

また、中でも芸術やセックスは、最良たる瞑想の一種だ。

あなた方は、創るために創られた。この循環（輪・サイクル）は、永遠に繰り返される。

そして、何よりも創造は楽しい。創造は人間／創造者に与えられた唯一の特権であり、

人間／創造者として生きる醍醐味のひとつでもある。

ただ、それを意図して楽しくワクワクさせながら創りあげるか、それとも嫌々ながらビクビク怯えながら反応するか、のどちらかだ。

ふーむ・・・となると、自分を愛せない者は、他人も愛せないってことになりますか？

そう。だんだん私が意図しようとしていることを、理解しはじめたようだな。

あなた方は、もっと自分を愛するべきだ。自分の感情を大事にし、素直な自分になれるよう努力するべきだ。

ただし、口では愛していると言っておきながら、タバコやアルコールなどの毒物を摂取しているようでは、まったく話にならない。

アルコールやニコチンなどといった有害な化学物質は、精神を損ねる。

とくにタバコは自分の健康を害するばかりか、時として周りにも危害を加えかねない。

（副流煙が主流煙よりもはるかに有害なのは、承知のはずだと思っただけだ）

アルコールなら、もう二度と口にしませんよ（笑）

それに・・・私はタバコは吸わないほうです。

・・・ひとつ痛いことを聞くが、あなたが肺結核を患った原因が何なのか、

きちんと自分で自覚（認識）できているだろうか？

何が言いたいのですか？

原因に結びつかない結果は何一つとしてない、と言っているのだよ。あなたが肺結核を発症し大量に吐血したあの晩、大量の飲酒をしていたではないか。

それも自分の身体が持たなくなるほどに、自分を虐待し続けてまで、それだけではない。おまけにあなたは、パソコンの画面から発せられる有害な赤外線の前で、

何時間も延々と座り続けていたではないか。

しかもその時、あなたの肺はすでにキシキシと鳴り始め、

救命サインを発していると、自分でわかっていたにもかかわらず。

ちょっと待ってください！

あれは、たしなむ程度に飲んでいただけですよ！

それに・・・あの日は宴会ですし、相手（友人）からすすめられたお酒です。

飲まなかったら、それこそ失礼に値しますよ！

ほう、これまた立派な詭弁だな。

たしなむ程度に身体を虐待すれば、事なきで済むと思つのか？

それだけではない。おまけにあなたは、あの晩、

相手を裏切らないために、自分を裏切っているではないか！

（これはありとあらゆる裏切りの中で、

最高の裏切りに値すると言つたのをもう忘れてしまったのかな？）

この際、ひとつ良いたとえ話をしてあげよう。イソップ童話に登場するクマとサルのお話だ。

ある時、一匹のクマが道を歩いていた頃のこと、ふと、わき道から急にサルが現れた。

そして、現れたサルはクマに対し、

「君は森の中で寝ているだけで、何もできないんだらう？」と挑発し出す。

すると、その挑発を真に受けたクマは、「ボクには穴を掘ることができんだぞ！」と豪語し出し、

深く深く地面を掘り進み始める。そして、ある程度掘り進めた後、クマはサルに向かって言った。

「どうだい？」

だが、サルは次のように言い返す。

「なんだ、全然深くはないか」

その言葉に大きく心を揺り動かされたクマは、

さらにさらにと、どんどん地中奥深くまで穴を掘り続けていった。

だが、掘り進めば掘り進むほど、サルはまた同じ言葉を繰り返す。

「なんだ、全然深くはないか」

そして、とうとう躍起に駆られたクマは、猪突猛進するかのようになり、掘り続け、

やがて穴倉からサルの姿が見えなくなる深さまで掘り続けていった。

そして、クマは言った。

「どうだい？」

しかし、上からサルの声は一向に聞こえない。

無理もない。なぜなら、あきれ返ったサルはすでに帰ったのだから。そして、クマはこの時になってはじめて、サルに一杯食わされたと気づく。

が、時すでに遅し、日も徐々に暮れ、穴倉の中で出れなくなったクマは、

後悔してもしきれない思いに満たされたという話なのだが、

この話の本当の意味は、あなた方地球人には事が起こらなければ、悔い改めようとしめない性がある、ということを暗に仄めかしたものにすぎない。

あなた方は、みんなそうだ。今の一時的な快樂／欲求を満たそうとするあまり、

長期的な安寧を犠牲にし、あげくの果てに自己と他者の人生をも破滅に巻き込もうとする。

だが、そんなのは動物的（無意識的）な生き方であって、本当のあなた方ではない。

・・反省しています（恥）

わかってる。ただし、それ以上、反省しないように（笑）

反省するのはよいが、反省も度（絶対値）を越すと自責になりかねない。

なぜなら、一旦自責という土壤に水を与えてしまったら、罪悪感という種が芽吹いてしまうからだ。

だから、何事もほどほどにしておいたほうが無難だろう。

バランスだ。すべてはバランスによって、成り立っている。

その証拠に、自然はバランスしながら機能している。

（というより、そのようにプログラムされているのだが）

動植物も無意識ではあるが、バランスが配置された環境下で生きるようプログラミングされている。

唯一、あなた方人間（この場合は地球人を指す）だけが、

バランス（意識）しながら生きることの大切さを学ぼうとしない。この宇宙における人間（知的生命体）の役割は、宇宙という巨大なコピー機を効率よく機能させるため、バランスが入り乱れてしまわないよう管理し、常に全体を見渡しながら統率してゆかなければならない。それにバランスしながら生きてゆくことが、この宇宙でのあなた方の本来の仕事のひとつ、だということさえ理解すれば、あなた方はそれ以上の栄光を体験できるチャンスを掴める。

バランスですか・何だかそれって、綱渡りしているみたいですね。ほう、なかなかうまいことを言う。ただし、あなた方を観察していると、どうも危ない綱渡りのように思えてならないのだが（笑）

うわ・・それ言うちゃ、マズイっしょ！（笑）

なに・・ちょっと、ブラックユーモアを一発かましてみたまでだ。多少のユーモアは何であれ、固まった魂をやわらかく解きほぐしてくれる。

何度もくどく言うが、あなた方はもっと、意識して人生を楽しむべきだ。

なぜなら、そうすることによってのみ、私はあなた方をおして、様々な栄光（バリエーションの自己）を体験することができるのだから。

人生は本来、楽しむためにあるんですね！

そうでなければ、何のために生きているのだと思う？

あえぎ苦しむためか？ 悲しみに打ちひしがれ、静かな絶望のどん底で這いずり回るためか？

息子よ、あなた方には「（意識して）楽しむ」という素晴らしい特権があるにもかかわらず、

それを活用しようとしなのは、私からして見れば、実に遺憾極まりないことなのだよ。

（意識して楽しむどころか、意識して地獄を創りだす者までいるではないか！）

しかし、いいかな。忘れていかもしれないが、人生とは本来、豊かさ・愛を味わうためにあるのだよ。

そして、私もあなた方をおして、その豊かさという経験を味わいながら進化している。

つまり、私もあなたとともに楽しんでいるのだよ。その意味で人生は元来、楽しむためにあるのだ。

にもかかわらず、あなた方の多くは、自身の中の純粋な感情／神聖を押し殺すよう、自分に言い聞かせている。

それはあなた方の古い価値観（多くの場合は、あなた方の親・教師によつて教え込まれたもののだが）

に因を起していることもあるが、大概是意識して一歩踏み出そうという、

勇氣と決意が大きく欠如しているからに他ならない。

忘れてはいるかもしれないが、あなた方は本来愛そのものなのだよ。だが、あなた方の多くは偽りの自分としての自我^{エゴ}を、

身にまとうことにより、そのことを忘れている。

だから、愛を感じられずにいるのだ。あなた方のエゴはいつも「まだ足りない」

「不足している」と言い、「何かを満たされない以上、満足しない」と言う。

そのために、あなた方は自分の本質が愛であることを感じられない。

だから、もつと素直な自分でいるよう努力してごらん。
もつと、自分の中の正直な声に耳を澄ませてごらん。

（実はあなたは、自分がしたいことを無我夢中でしている時、愛そのものになることができるのだが）

それじゃあ、今の私たちに大きく欠けているものは、愛だとおっしゃりたいのですか？

要するに、自分を癒せずして、他人を癒すことはできないってことですね！

ブラボー！なかなか鋭いじゃないか！

やっと気づいてくれて、とてもうれしいよ。

そう、あなた方の多くが今、している最大の思い違い、

それは自分を愛（癒）さずして、他人を愛（癒）せると思い込んでいる、ということだ。

しかし、いいかな。次のことをよく肝に銘じておきなさい。

内側へ入っていかなければ、空っぽで出てゆくことになる。

中が満たされなければ、外を満たすことはできない。

第一、自分が持っているものを果たして、どうやって他人に与えることができよう？

これはエネルギー保存の法則のようなものだ。中の温度が温まれば、必然的に外の温度も温められる。

だが、反対に中ばかり満たして、外を満たさないのもあまり関心できない。

（なぜなら、人間／創造者は意識する動物なのだから）

とくにあなた方の社会を観察していると、そのことをつくづく痛感させられる。

大した努力もせず、月給20万以上もらっている正社員とは裏腹に、あくせく働いてもスズメの涙ほどの賃金しかもらえない貧困層との矛盾。

一方で働く意思（社会貢献意欲）のない者に、多額の生活支援金を支給する制度。

さらに、ほどほどの家賃にすれば、少なくとも路頭に迷う者を一人でも多く救えるにも関わらず、

あなた方は一向にそれを実行しようとしなさい。

あなた方の社会を観ていると、矛盾だらけだというのがつく。

あなた方が築き上げた社会は、練り固まった粘土のごとく、

柔軟性がなく、融通がまったく利かない、非常に頭の固い頑固な会社だ。

なぜなら、所有を信念^{ベース}としているからだ。

だが、すべてを独占することで価格をつり上げ、私腹を肥やすという経営姿勢が、

全体にとつて、どれほど有害で愚かな行為であるか、

を認識している者は残念ながら、あまり多くはない。

（念のため言っておくが、批判しているわけではないよ）

話の途中、水を差すように真に申し訳ないのですが、愛と軽く口でうたいますが、

それじゃあ悪意のある誰かに辱められ傷つけられた場合は、

どのように対処すればよろしいのでしょうか？

職場や学校でもそうですが、私は過去にそういう輩に嫌というほど出会ってきましたよ！

また、陰湿な嫌がらせも受けてきました。

残念ながら私は聖人君子ではありませんし、

殺したいほど憎んでる奴だって何人かいますよ！

何なら、ここで幾人か実名を挙げてもいいですよ！

それに・・・そんな奴らの前で右の頬を叩かれたら、

左の頬を差し出すだなんて、流石にできっこないですよ！

・・・どうやら、あなたは、わかっているようで、わかっていないよ

うだな（笑）

右の頬を叩かれたら、左の頬を差し出せ。

この格言の本来の意味は、あなた方が悪と呼ぶものに対して抵抗してはならない、

ということを暗に仄めかしたものであって、二回続けてぶたれるという意味ではない。

（抵抗すればするほど、相手はますます居座ると言ったのを、もう忘れたのかな？）

しかし、いいかな。もし、右の頬を叩かれて、本当に左の頬を差し出すようであれば、

それはあなたが自分自身を愛（癒）していない、何よりの証拠になる。

また、めぐりめぐっては、虐待する者をも虐待することへと繋がる。

（行ったものは常に返ってくる）これでは堂々めぐりになる。

それじゃあ、どうすればいいんですか？

自分を愛（癒）すのだ。

え？

とにかく、その時は自分を愛（癒）して愛（癒）して愛（癒）し尽くしなさい。

自分がその時、何を望んでいるのか・・に焦点をあてるのだ。

ただし、決して相手が何を望んでいるのか・・に焦点をあててはならない。

つまり、自己を主体にするのだ。もし、相手を主体にすれば、相手に従属することになる。

何度も言うが、私は従属は望まない。従属は成長ではない。

従属はあなた方の魂を萎えさせるだけだ。

それゆえ、自分を極限まで愛（癒）し続ける努力をしなさい。
そうすれば、あなたを攻撃する者の中に、もうひとりの自己を見出すことができる。

つまり？

もし、相手のささいな言動や振る舞いに傷つき、苛立ちを覚えるようであれば、

それはあなた方が自分自身を十分に愛（癒）していない、何よりの証だと言っているのだよ。

（イソップ童話の、クマとサルのとえ話を思い出してごらん）
癒し手で在るためには、まず自分が癒されている状態でなければならぬ。

ましてや、一時の衝動に駆られて、逆上するようではまったく話にならない。

そして、ある程度自己を愛（癒）し終えたら、今度は相手を愛（癒）す番だ。

そうすれば、あなたは癒し手（救い手）という在り方を選択できるだけでなく、

そのさらに先のバージョンを体験する鍵をつかむことができる。

さて・・・では、ここで攻撃者を癒すエネルギーを持つ、魔法の言葉（呪文）をふたつ教えてあげよう。

まず、すべての攻撃は助けを呼ぶサインだということを念頭に置いてほしい。

そこであなたは攻撃する者に対して、次のように問いかけることができる。

？私を傷つけることで自分が癒されると思うなんて、

いったい何にそんなに傷ついているんですか？

攻撃する者とは、見方を変えれば、主張する者と似たり寄つたりのようなものだ。

しゃべりすぎというのは、概して無能な者に多い。

彼らは自己表現（自己主張）を、したくてしたくてうずうずしている。

では、どうすれば、その声を黙らせることができるのか？

次のように問いかけてみるのだ。

？もし、私があなたなら、きっと同じ言動を取っていたことだろう。

主張する者の多くは、自分のことしか念頭にない。

（それだけ彼らの心の容量は、キャパシティ大きくはない）

そのため、あなたがどうこう主張したところで、結局は相手の主張に相殺される。

もし、すべての中の一部のニースを無視すれば、今度は自分が危機的状況下に立たされるだろう。

では、どうすればよいか・・・相手の言動を、逆手に取るのだ。

つまり、黙しながら、声を発するのだ。

流れ（プロセス）にあがらえばあがらうほど、あなたは岸（本来の目的地）からより遠ざかる。

だから、私は合気道のごとく、相手の力を難せず、

受け流す柔軟な姿勢で挑むことを、あなた方にすすめる。

お言葉ですが、本当にそんなので効果があるのでしょうか？

期待はしないほうがいいが、とにかく試してみてくださいらん。

（否定するのは後回しにして）

ただし、自分を愛（癒）すことを前提にすることを、決して忘れないように。

内側に入らなければ、空っぽで出てゆくことになるってやつですね。

ビンゴ！

わかってるようで、わかっていないフリをしていました・・・すみません（笑）

ははあ・・・こりゃあ、一本取られた！

私を試すとは、なかなかズル賢いやつだな（笑）

なになに・・・あなたほどではありませんよ（爆笑）

そうそう！それでいいのだよ！

だんだん、このゲームに慣れてきたようだな。

もつと意識して、笑うきっかけを創りなさい。

実は笑うことこそが、あなた方の本来の自然な姿なのだよ。

そして、何よりも笑いは百薬の長だ。

あなた方の社会で医療に携わる者の多くは、治る見込みのない難病を、

笑い（喜び）のエネルギーで癒すことができた事例が幾つか報告されている、

ということをすでに突き止めている。

さらに、何と言っても、笑いは場の空気を優しく解きほぐしてくれる。

あなた方の国会もそうだが、こういった評議の場においては、もっとユーモアに溢れ、かつ品性のある笑いを盛り込むべきだ。

不自然に畏まって、みじめで訳のわからないちっちゃなプライドをかざしてまで、

本来のあなた方を包み隠す必要など、みじんもない。

つまり、楽しんで、喜びを広げ、愛し合うことこそが、あなた方の

本来の姿なのだ。

そう、あなた方はもっと自分自身に素直になるべきなのだよ。

完全に自分自身に素直（正直）になれたその日、

あなたは自分が今、天国にいると悟ることだろう。

そして、今度はあなた方が新たな開拓者（創造者）として、

世界に喜びと愛を広める送り手になることだろう。

なぜなら、天国は常にあなた方、ひとりひとりの中にあるのだから。

あなたと出会えたことに、心より深く感謝致します。

・ ・ ・ もう、行かれるのですね。

キリのいいところで、この対話もずいぶんと長くなった。

寂しいですが、私も今日は精神的にも体力的にも限界が来たようです。

今日は、もう寝なさい。

また、別の機会に私を訪ねるといいだろう。

おやすみ、神様。

そして、ありがとう。

おやすみ、いとしの我が息子よ。

そして、アドナイ（笑）

つづく

命のたそやき【1-1】

2008年10月2日

<自宅・ベッドにて>

神様、出てきんしゃい！

おいどんは、ここにおるばい！
どげんかしたとよ？

いやあ・・・こらまた、ビツクラこいた！
あなたは九州弁も話せるんですね（笑）

九州弁を発明したのは、私だよ。

はいはい、わかってますよ（笑）

あなたは、本当に万能なんですね！

お褒めに預かり、結構。

それで、今日は何を聞きたいのかな？

実は今日は以前から、気になっていた疑問と言いますか・
私の個人的な悩みと言いますか・前々から、
気になって気になって仕方がない問題がひとつあります。
でも、恥ずかしくて、なかなか切り出せないのですが、
私が質問しても、どうか呆れたり、馬鹿にしたりしないでください
ね。

いいから、話してみたらん。

その・・・何と言いますか・・・
どうすれば、お金持ちになれるのか・・・が知りたいです。

何だって?!

つまり、お金持ちになりたいんです!

その方法を教えてください!

その何と言いますか・・・もっと、苦勞せず、(「痛い目に遭わずに」
という意味です)

汗水垂らさずに、効率的にお金持ちになりたいんです。

息子よ、あなたは夢でも見ているのか?

そんな・・・神様!

いやいや、冗談だよ。あなたがあんまりにもおもしろかったもんで、
ついついからかってみたくなっただけだよ。

ひどいなあ・・・おかげで一瞬、焦りと罪悪感が脳裏をよぎりました
よ(笑)

それで・・・苦勞せずにお金を儲ける方法って、やっぱりあるんです
かね?

惨めで稚拙な質問かもしれませんが、この問題で悩んでいるのは、
何も私一人だけではないと思うんです。

金の成る木なら、あるよ。

本当ですか?

もし、100万を稼ぐよりも、
1000万を稼ぐことのほうが容易だと、すべての人が知ったら、
あなた方の築いた市場経済・商業主義は大きく揺らぐだろうがね。

どういうことですか？

おっしゃってる意味が、よくわからないのですが？

お金持ちになるための「科学的な法則」がある、と言っているのだよ。

わざわざ地獄を通らなくとも天国へ行ける道があるにも関わらず、
滑稽にもあなた方は、あえて災難（最難）関のルートを選択しようとする。

だが、もし豊かになるための客観的で、
明確な科学的法則があると言ったら、あなたは信じるかな？

え？何ですって？！本当にそんなものがあるんでしょうか？

もし、本当にそうであれば、皆、お金持ちになっていると思うのですが？

ウォレス・ワトルズの本を読んでごらん。

あれにはどうすれば、効率的にお金持ちになることができるか、
如何にして宇宙に満ち溢れる天然の資源から、無限の供給を引き出せるか、

つまり、如何に創造の力を有効に活用するか、が非常にシンプルな書体で説かれてある。

彼は創造がどのような仕組み（プロセス）をとおして行われるのか、
をきちんと理解している。

そして、この宇宙に充満するエネルギーと、その効率な活用法もよく理解している。

あなたが話されたのですか？

でなければ、誰が話したのだと思う？

はいはい、わかってますよ（笑）

全部、何もかもすべて、あなたが話したのでしよう！

あなたは、何でもかんでもお見通しなんでしょう！

それで・・・どうすれば、お金持ちになれるのか、早く教えて頂けませんでしょうか？

もう、最近いろいろと忙しくて、そういった本を読む時間も

なかなか取れない現状にあります。それに、理屈で考えるのはもう懲り懲りです。

できれば、端的にご教示頂けると、非常にありがたいのですが。

息子よ、何をそんなに焦っているんだい？

だって、私には時間があまりないんですよ！わかりますか？

学費だつていまだに未納のままですし、家賃もままならない現状です。

おまけに食費や電気代は懸かるは、ガス代は募るは、

このままだと社会から排除されてしまうかもしれない現状で、これが焦らずにいられますか？

ほう、社会から排除されるのかね？

そうですね。それが私たちの社会の掟ルレというものです。

お金がなかったら、生活はできません。

生活ができなかったら、死ぬしかありません。

ずいぶん短絡的な思考だね。

私を怒らせたのですか？

あなたは、もうすでに怒っているようだが（笑）

なぜ、私が「何をそんなに焦っているのか？」と質問したのか、再度よく考えてみてごらん。

・・・（長い沈黙）

今まで焦って、物事がうまくいった試しはあったかな？

うーん・・・そう言われますと、あんまりないですね。

焦れば焦るほど、何と言いますか・・・苦しみが余計増してゆくだけです。

そうか。それじゃあ、あがくのはもう、やめてくれないか？

じゃあ、どうすればいいんですか？！

このまま一生、惨めな人生を送れとでも言うのですか？！

意識を競争（焦り）に向けてる以上、豊かになることはできない、と言っているのだよ。

忘れていかもしれないが、あなた方は創造者だ。

あなた方は競争者ではなく、創造者になるように生まれてきている。もし、本当の意味で豊かになろうと志すのであれば、競争心を完全に放棄する必要がある。

競争心とは、無駄な焦りのことを言う。なぜなら、「焦る」という状態（在り方）は、

宇宙に向けて、「今、自分は極限に満たされていない！」「という立派な宣言なのだから。

どうぞ、詳しくお聞かせください。

よろしい。では、はじめるとしよう。

まず、この宇宙には無限のエネルギーが充満していることを、あらかじめ前頭に置いてもらいたい。そこで、三つの基本を押さえよう。

？この世に存在するすべてのものをつくっている「思考する物質」が存在する。

この物質は原子状態において、宇宙空間の隅々にまで広がり浸透し、宇宙全体に充満している。

？「思考する物質」の中にある思考は、その思考がイメージしたものを作り出すことができる。

？人間／創造者は様々なものを思考することにより、それを宇宙へ発信し、考え付くものを形として生み出すことができる。

はじめにも触れたと思うが、宇宙は一元論だ。

この宇宙に存在する物資はただひとつ。

形あるものすべては、根源を辿ればみな、この「ひとつのもの」からできている。

つまり、あなた方が宇宙と呼ぶ巨大なコピー機は、この「無形の生きた物質」から、

望ましい形となって生み出されたというわけだ。

そして、これは物質世界において、様々なものに姿形を変えることができる。

実は地球上であなた方が目にするものは、すべてこの「原初物質」

の現れだ。

この「原初物質」からは、新しい物質（形）が常に生まれ、古い物質（形）は消滅する（絶えず移ろいでゆく）。

（あなたの国の古典で言えば、「ゆく川の水は絶えずして、しかも元の水にあらず」ってやつだな）

この「原初物質」（形なき物質／移り変わりゆく命）は、宇宙に無尽蔵に存在している。

なおかつ、「原初物質」は生きており、創造のエネルギーを持ち、多様な形を生み出す能力を有している。

また、この「原初物質」は、人間（マスター／創造者）の要求に応え、

なおかつ、知性を持って生きている。

それゆえ、宇宙はひとつの大きな命を持った存在であるとも言える。そして、人間／創造者であれば、

誰でもこの「形なき物質／原初物質」という資源を自由自在に活用できる能力がある。

とくにその中でも、思考というのは、

形なき物質から目に見える富を作り出すことのできる、唯一の力でもある。

いかなる思考もこの「原初物質」に刻みこまれると、必ず形となって創りだされる特質を持っている。

中でも人間（マスター／HEB）という存在は、思考の中心であり、人工的に創り出される形はみな、最初は必ず人間／創造者の頭の中で思い描かれるようになっていく。

つまり、人間／創造者は、自分自身の思考（思い）を「原初物質」に放射（発信）することにより、

そこから新しいものを創造することができる。

この宇宙の叡智と協力しようとする努力・・・それこそが私（神）と伴に働くという意味だ。

すなわち、私がすることは、あなた方にもできるといふことだ。

人間／創造者は自分が思い描いたことを、宇宙（私）と対話しながら、創り出すことができる。

なるほど・・・私たち人間には、頭の中で思い描いた事象を具現化させる能力があるということですね。

それで・・・それとお金持ちになることと、どう関係（直結）するのでしょうか？

まあ、そう早まらずに、とにかく聞きなさい。ここは、とくに大事なポイントだ。

すべてのものは、あなた方人間／創造者の思考（想い）の力によって、創り出すことができる。

だが、そのためには、思いどおりに考える術・・・いわゆる、イメージトレーニングをすることが大事だ。

つまり、自分が自由自在に思いたいように思考する術を、まず身につけなくてはならない。

外見に惑わされずに真実を把握し、思考することは大変な労力を必要とする。

そのためには「継続」して考え続けることが重要だ。

そして、これは世の中で最も大変な仕事の一つでもある。

あなた方のすべきことは、神の望みに焦点をあて、それを外界に向かって表現することだ。

そのためには、欲しいものを心の中でハッキリとイメージする術を身につけなければならない。

すなわち、イメージをより鮮明に強化することが、創造のポイントとも言える。

もし、これまでに願いが実現しなかったのであれば、

それはイメージがハッキリしていなかったからだ。（求めない限り、得られない）

ゆえに、もっと具体的に思考し、言い、行動することを心掛けなけ

ればならない。

ぼんやりとしたメーヅでは、まったく話にならない。

そのため、イメージを明確、具体的に頭の中に思い描く訓練をすることが大事だ。

なぜなら、思いがぼんやりしていると、宇宙はそれに応えてくれな
いからだ。

だから、明確なイメージを絶えず思い浮かべ、

目を向け続ければ続けるほど、実現の可能性もより高まる。

つまり、絶えず思い続けることにより、願望はそれに伴ってより強
化されていくというわけだ。

そのためには集中力を高め、羅針盤から目を逸らさないようにしな
ければならない。

そして、それを実現させるためには競争をやめ、創造的な次元で仕
事をする必要がある。

話の途中、また何度も水を差すようで申し訳ないのですが、

そもそも競争と創造の違いって何でしょうか？

一概に言われても、あまりパツと来ないのですが。

思考の根本が異なるのだよ。信念と言ってもよい。

創造は愛を根底としているが、競争は不安を根底としている。

競争は掴み、創造は手放す。競争は奪い、創造は与える。

だが、与える者はますます与えられ、奪う者はさらに奪われる。そ
れが法則だ。

そして、創造の根源は、人間個人の意識（想像）の中に本来、無形
として眠っている。

ある因縁を発端にして、創造として有形化され表現される仕組みに
なっている。

だが、そこには、競争としての意識は存在しない。

自己の意識の中での展開が創造の基本だ。

反面、競争は目標とする相手の思考（意思）が存在する。すなわち、他者の思考を根本として、展開されてゆく。そこでは相手（目標）が在って、自分の意識が展開される。つまり、自と他の、因縁の違いに他ならない。

要するに自己を主体とするか、

それとも他者を主体とするかってことですね。

でも、競争することは、そんなにいけないことなんでしょうか？

一部の専門家によれば、競争がなければ、市場は活性化しなくなり、やがて社会は、衰退すると主張しておられる方もおられるのですが、いかがなものでしょうか？

実際、彼らの意見も確かに一理あると思うのですが？

競争は宇宙と調和しない。一旦、競争心が芽生えてしまうと、あなた方は宇宙からの協力を失う。

後退と進歩を取り違えるのは、原始的な文化の特徴だ。

あなた方の今の社会は、闇を光だと思っている。

教育の面においてもそうだが、あなた方は子供たちに競争ではなく、「創造力」を働かせることによって、豊かになれることを教えることが大事だ。

なぜなら、道徳的・霊的な成長というのは、

生き残り競争とは無縁な人にとってのみ可能となるからだ。

また、創造的な思考によつて豊かになる者だけが、競争のもたらず悪い影響から自由でいられる。

さらに、彼らは腐敗の影響を受けることもなく、真の自由を勝ち取る。

競争の煩惱は資源を枯渇させるが、創造の泉は資源を豊富にする。

競争で勝ち抜いて豊かになった者は、

一旦自分が成功すると、自分が昇ってきたハシゴを外して、

他の者が昇ってこられないようにしている。

だが、創造力を働かせて豊かになった者はみな、他の者たちのために道を切り開き、彼らが後に続けるように、インスピレーションの足跡を残し続けている。

つまり、創造性を使って豊かになる人が増えれば増えるほど、他の人にとつても状況は良くなる。だが、競争はその反対だ。もし、あなた方が思考を創造的に用いる術をマスターすれば、別世界の住人になることができる。

いいかな。次のことをよく肝に銘じておきなさい。

世界は今、神（完成）に向かっている。

世界は今、発展途上にあるものと認識できるよう努めなさい。

あなた方が悪だと呼んでいるものの多くは、

まだ未発達なだけなのだと考えるよう努めなさい。

ゆえに、あなた方は世界が豊かになるということにだけ、興味を集中させることが大事だ。

そして、世界が豊かになるためには、競争ではなく、創造力を働かせることにより、

あなた方自身一人一人が豊かになる以外に方法はない。

だからこそ、集団意識を喚起させることが何よりも大事となるわけだ。

実際、あなた方の一日というのは、人生（一生）の雛形としてたとえることができる。

つまり、一日一日が成功するか失敗するか・・のどちらかだ。

そのため、少しのことを怠ったがために、自分の思いが成熟するのを妨げることになることもある。

だから、毎日、その日にできることはすべて、その日の内にやっつけてしまいなさい。

ただし、焦ってはならない。焦った瞬間、あなたは創造者ではなく、競争者になってしまう。

一つ一つの行動は効率が良いか、悪いか、のどちらかだ。

もし、効率の悪い行動ばかりしていたら、一生が失敗に終わってし

まう。

失敗の原因というのは、効率の悪い行動があまりに多く、良い行動が不十分に起因している。

だが、競争心を捨ててしまえば、焦って行動する必要がなくなるのに気がつくだろう。

そして、不安と優柔不断の気持ちにゆれた時こそ、感謝の気持ちを育てることが大事だ。

ゆえに、決して急がないように。自分が急いでいると感じたら、一旦、立ち止まりなさい。

流れ（プロセス）に実を委ね、あがくのをやめるよう努めなさい。

簡単に言ってしまうえば、冷静になれってことですね。

そう。多くの場合、競争はパニックを引き起こす。

パニック状態というのは、身体にとっても、宇宙にとっても計り知れなく有害だ。

急ぐ者は目先の短期的な利益に飛びつくこととするが、それが返って結果を悪化させている、ということに気がついていない。

しかし、冷静になって見つめれば、自分のカップに

半分の水「しか」入ってないと思う者よりも、半分「も」入っていると考える者のほうが、

生きる上において、より数多くの困難を解決することに気がつくだろう。

（実は、これこそが長続きする幸福の鍵なのだが）

ストップ、ストップ！ちょっと、待って下さい！

・っことは、欲望を減らしなさいってことですか？
何だか・あなたの話を聞いてると、

まるで小欲の勧めのように聞こえてならないのですが？

あなた方は己の強欲（貪欲）さゆえに、再び自らを滅ぼそうとして
いる。

はいはい、またそのお話ですか！もう、いい加減、聞き飽きました
よ！

私はそういう精神論的な豊かさについて、伺っているんじゃないん
です。

小さな欲望で満足し、誰も彼も聖人君子のような面構えの世界観が、
私たちの今の社会で実現できるなどと、本気でお考えなら、
それは期待しすぎにも程があります。

もっと・・・何と言いますか、物質的に豊かになる方法を伺っている
んです。

わかりますか？

仮に今のあなたが物質的に豊かになったとしても、
本当の意味での幸福感は得られないだろうな。

人をおちよくっているんですか？

動物的な欲望を満たしているようじゃ、
本当の人生ではない、と言っているのだよ。

精神と魂をないがしろにして、身体（肉体／物質）のためだけに生
きれば、

惨憺たる結果となる。もし、競争心をもって、
他人を蹴落としてまでも豊かになろうとするのであれば、

それは神をも無視した、他者を支配しようとする争奪戦に他ならな
い。

だが、本当に「生きること」を選択するのであれば、
他人を支配したい！という誘惑に乗らないように注意しなければな

らない。

人を支配したい！という気持ち（衝動）は競争心の現れであり、創造的な精神ではない。

その証拠に、自分勝手な満足のための支配欲というのは、これまで個人にとつても世界にとつて、計り知れなく害となつてきたのは、

あなた方の歴史も十分すぎるほど証明している。

本当に愛することが出来る者は、与えることしか考えないが、逆に自分の意図に関心を注ぐ利己主義者は、搾取することしか考えない。

とくにあなた方の恋愛観を観察していると、そのことが色濃く反映されているのがよくわかる。

恋愛は、本来与えるものだが、利己主義者は自分のパートナーが他の者によつて、

自分よりも多大な快感を味わい、それにより自分を捨ててしまうのではないかと恐れている。

そうなれば、自分が今までに楽しんできた快樂が奪われてしまうからだ。

というのも、利己主義者にとって何よりも大事なことは、自分の利己的な快樂のみだからだ。

あなた方はもう、そろそろ新しい見方を選択しなければならない時期に差しかかりつつある。

相手を支配したい！という誘惑（権力欲）に打ち勝たない限り、真の意味における文明社会の礎を築くことはできない。

なぜなら、法則は「正しい目的」で使われない以上、決して効を發揮することはないからだ。

「正しい目的」とは、いったい何でしょう？

すべての人に豊かな人生を与え、誰からも奪わない。

それだけですか？

シンプルだろう？こんなにもシンプルなことが、
あなた方は何世紀も実績できないのが不思議なくらいだ。

それじゃあ・・・どうすれば、

それを実現できるのか教えて頂けませんでしょうか？

よろしい。何度も繰り返し言うが、鍵となるのは「すべての生命の
宇宙論」だ。

この宇宙には、あるシステム/プロセスとも言うべき、法則性が働
いている。

そして、この法則はある一定のリズムで波を打つかのごとく、
振動のゆらぎとともに、静かな時の流れの中を一定方向/一定速度
に漂っている。

つまり、宇宙のシステムは完璧に自動で働きつつあるが、

そこに意識（第三者）という不確定要素が加わってしまうと、
取り返しのつかない厄災を招きかねない場合もあり得る。

リスク 代償を伴わない報酬はない。

崩れたバランスは、再生される仕組みになっている。

（出た杭は叩かれるようになっていて、とも言える）

しかし、あなた方の意識がこの法則性をひっかき回してしまつと、
プロセス 法則そのものを乱すどころか、すべてを無に帰してしまつほどの危
険性を秘めている。

だから、私は幾数百世紀もかけて、あなた方にあぐのをやめさせ
ようとしてきた。

確かに、「焦りは禁物」ってよく言いますしね。

でも、今の私たちの文明社会では取引き・・・いわゆる、ビジネスが

主流です。

つまり、物々交換で成り立っている訳です。

相乗効果をうまく活用しなさい、と言いたいのはわかるのですが、もっと、何と言いますか・・具体例を幾つか挙げて頂けると非常にありがたいのですが。

あなた方の企業（組織）の大半は、個人的な利潤の追求を目標としスローガンているが、

これでは競争原理が働く環境下でやっていることと何ら変わらない。ゆえに、もし創造的な次元の住人になろうと決意するのであれば、その逆の取引き（ビジネス）をしなければならぬ。

と言いますと？

相手の利潤を常に考慮することだよ。

（今までのあなた方は、その逆をしてきたらう？）

つまり、自分の利潤を無視しろってことですか？

違う。そういう意味ではない。

もし、その取引き（ビジネス）が相手にとって役に立たない場合、すぐにその取引きを中止したほうがいい、と言っているのだよ。

そうだな・・理解しやすいよう、具体例をひとつ取り上げてみようか。

仮にあなたが文明社会で時価数千万円もの価値がある、絵画を手に入れたとしよう。

そして、あなたはある日を境に、人知れぬ辺境の地を訪れ、

そこで漁業生活を営む漁師と、ある取引きをしたとする。

そこでああなたは、数千万の価値がある絵画と引き換えに、

漁師の手にする唯一の釣竿を交換したとする。

だとすれば、あなたはその漁師にひどい仕打ちをしたことになる。なぜだか、わかるだろうか？

取引した絵画は、その漁師さんにとって、何の役にも立たないから？

そのとおり。だが、反対に漁師が釣った魚と引き換えに、魚を捕獲する網を交換した場合、あなたは彼に繁栄をもたらしたことになる。

ゆえに、誰に対しても代価に勝る「利用価値」を提供することが大事だ。

そのためには競争をやめ、創造的な次元で仕事をするのがポイントだ。

もし、自分の売るものが、それ以上の価値を相手に与えないのであれば、

その取引はやめたほうが無難だろう。

そのため、常に相手の利益を先に考慮することを忘れてはならない。あなた方は一人一人が、すべての人に対して、受け取る金額以上の使用価値を与えるべきだ。

実はこの「他者利益の尊重」を貫き通すことこそが、不朽なる成功の鉄則なのだよ。

そのようにして取引してゆけば、あなたは取引をする度に、世界中の人々の生活を向上させることができる。

ほあ・・・なるほど。よくよく考えてみれば、確かにそれも一理ありますね。

でも、仕事のほうは、どうなるんですか？

労働者の多くは、いまだに低賃金であくせく働き、

おまけに職場ではいろいろなトラブルも、しばしば見受けられるのですが？

労働者たちが豊かになれない根本的な理由なひとつとして、彼らが集団として、その地位に甘んじているだけだという場合は少なくない。

実際、彼らには知的な怠け癖があり、貧困から抜け出す努力が足りない。

だが、自分が一番好きなことを仕事にすると、一番うまく行くのは本当だ。

もし、あなたに何かしらの特別な能力や才能があれば、

その能力や才能を活かせる仕事に就けば一番うまく行くだろう。

仕事の結果に「違い」をもたらすのは、その仕事に必要な道具の使い方による。

だから、良い（役に立つという意味で）道具を持つことは非常に大切なことだ。

とくにその中でも、豊かになるためには、あなた方の能力（才能）を活かすのが最も望ましい。

（どうして、自分にあつた知的な道具（強み）を利用しようとするのだね？）

外国語に堪能であれば、翻訳家になればよい。

絵を描くのが好きなら、イラストレーター絵師になればよい。

文才なら、小説家・音才なら音楽家・といった具合に、あなたの方に最も向いている仕事をすれば、一番うまくいく。

そのため、得意分野の才能を活かせる仕事を選ぶのがベストだろう。この際、念を押して言うておくが、自分に一番合っていて、

一番楽しい仕事・職業を選ぶのは、あなた方の当然の権利なのだよ。好きでもない仕事をする義務はない。ゆえに、やりたくもない仕事を、いつまでもやらないように。

なぜなら、自分がやりたいことをやるのが、本当の人生なのだから。人から指図（命令）されたことを、のこのことやっているようじゃ、まだまだ成熟した意識とは言えない。

もし、得意分野の才能を発揮できる仕事に就けるのであれば、それが最もベストだ。
やりたくない仕事をグダグダといつまでもやるよりは、その仕事を究極の目的としたほうがはるかに賢明だろう。

要するに、好きなことを（仕事に）すれば、成功するってことですね。

そう。好きなこと（多くの場合は、気分が良くなること）をすれば、成功のスピードが早まる。それに「好きこそ、もの上手なれ」とも言うだろう？

物事に興味を示せるようにさえなれば、それだけ吸収力も増してくる。

これはただ単に、物事が円滑スムーズに行くかどうかの問題だ。

否定に生きてたら、人生を謳歌することはできない。

否定は冷たく突き刺さるが、肯定はすべてを暖かく包み込む。

あなた方は、肯定的な感情を呼び覚ますことの大切さを、あまりにもないがしろにしている。

とくにその中でも情熱というのは、最高のバージョンの私だ。

今にも胸が躍りだすようなワクワクとした気持ち、胸の高鳴り・・・

つまり、こういった魂の鼓動を感じ取れるようにさえなれば、

あなた方はいつでも天国へのチケットを購入することができるようになれる。

それゆえ、好きでもないことをだらだらとしている以上、

いつまで経っても、安らかな気持ちでいられるはずがない。

心の状態というのは本来、とてもシンプルなものだ。

忘れていかもしれないが、あなた方一人一人の波動には、

それぞれ固有の流れ（リズム）というものがある。

もし、その流れ（リズム）に逆らったり、あがらったりしようともなれば、

相容れなくなつたバランスは徐々にかき乱され、やがて全体としての機能も

統率が効かなくなる恐れが生じてくる。そこであなた方は、その状態のことを

「安らかさ（バランス／調和）を失う」（*dis-ease*）・・つまり、「病」（*disease*）と表現する。

あなた方が築き上げてきた労働の文化を観察する以上、病んでいる者があまりにも多すぎる。

それは自分の中に宿る、神聖なる感情を押し殺すことに起因している。

中でも最大の過ちは、情熱を押し殺そうとすることだ。しかし、いかな。

情熱を殺せば、私を殺すことになる。マスターは情熱こそが、神へと続く最短の道だと知っている。

それゆえ、彼らは決して情熱を否定しない。むしろ、それを暖かく受け入れる。

だから、あなた方も自分自身に、もっと素直になるべきなのだよ。とくにこのことは、いくら強調してもしすぎることはない。

でも、また話が脱線してしまうようで申し訳ないのですが、

私たちの今の社会では、嫌々仕事を「せざるを得ない」環境下に置かれている方が一杯いますよ！

果たして、そのような状況下でいったい、どうやって安らかさを取り戻せるでしょうか？

決して「仕事」にしてはいけない。

それじゃあ、どうしろとおっしゃるのですか？

「遊ぶ」のだ。

え？

子供たちをよく観察してごらん。

何かに意識を集中させ、一生懸命になっている時の、彼らの瞳の奥を覗いてごらん。そうすれば、生き活きとした、命の鼓動が伝わってくることだろう。

何が言いたいんですか？

目を見れば、その者が本当に「生きて」「いるかどうか、
がわかる（ようになっていく）と言っているのだよ。

とくにレオナルド・ダビンチは、このことをよく熟知していた。
彼は人体の構造と役割／機能について、非常によく観察をこしらえた。
た。

だからこそ、彼は「目は命の窓」だと表現した。実際、そのとおり
だ。

進歩の度合いというのは、目の奥に宿った光（輝き）で測ることが
できる。

だが、多くの場合、

義務（いわゆる、すべきこと／しなければならぬこと）はこの
光（輝き）を消し去る。

ゆえに、「仕事」にしたとたん、あなた方は再び「すべきこと・
しなければならぬこと」

の忘却のスパイラルの中へ押し込まれ、静かに絶望して人生を送る
ことになる。

そう言われますと、確かに今の私たちの社会は、
目が死んでる方が多いですね。

（注：悪口を言ってるわけではないですよ！）

無理もない話だよ。一日に何時間も情のない書類とにらめっこし、同じ場所に何年間も居座ったり、場のモノを移動させては積んだり運んだりなどの、いわゆる「作業」を繰り返し、あげくの果てに、したくもないこと（多くの場合は「すべきこと・しなければならぬこと」「」を延々としているようでは、神聖なる情熱を体験するどころか、いつまで経っても迷宮（車輪）の中を延々と彷徨い続ける羽目になる。

（それを「生き甲斐」としているなら、話は別だが）

それじゃあ、進歩した世界の労働環境はどうなっているのですか？
そもそも、彼らに労働の観念というものがあるのでしょうか？

もちろん、あるとも！

ただし、彼らの労働に対する価値観（動機）は、

あなた方とはまったくの正反対だ。

まず、彼らは決して自分の個人的な欲求不満を満たそうとしたり、周囲に自慢する（見せびらかす）ために高価なモノを購入したり、または高価な装飾品で着飾るために・・・などといった歪な欲望を叶えるために労働することはない。

それ以前に彼らの世界には、通貨（お金）というものの自体存在しない。

この世界に住むメンバーは全員、悟り（ニルヴァーナ）の域に到達している。

自由奔放でありながら、みな自律的に生きている。

そのため、貧窮する者は一人もないし、

あなた方の労働の文化のように、通貨（約束／取り引き）で、お互いの自由（神性）を束縛するようなこともない。

また、彼らは自分の能力に見合わない仕事、能力範囲外の仕事をすることは滅多にない。

さらに、各々がどういった能力（天性）を備え持って生まれ、かつどのような形で全体へ奉仕できるか、^{ワンネス}を一人ひとりの者がきちんと認識できている。そのため、こだわる者は誰もいない。

そして、あなた方のように劣悪な環境下にいる者は一人もいない上に、

個人にとって（広義に言えば、全体にとって）役に立たないような労働をすることもない。

こう言えば、大体はイメージがつかだろうか？

うーん・・何と言いますか、私たちの社会に巣食う、数々の問題を解決しようとする以上、

結果的には靈性の問題に突き当たってしまいますね。

あなた方の種は、情緒をあまりにもないがしろにしている。

そんなことないですよ！

私たちの教育方式は、人間性の発達を何よりも重視していますよ！

本当にそうか？もし、本当に子供たちの発育を促したいのであれば、学校（施設）などといった、ミニ刑務所のような場所に、長い期間、彼らを閉じ込めておくようなマネはしないだろう。

ちょっと！ちょっと！それは何が何でも言いすぎでしょうに！

第一、私たちの学校教育では、「道徳」もきちんと教えていますよ！

ほう、全教科のうちの、わずか数パーセントたらずの期間で、すべてに寛容で誠実で、責任感のある人格を養おうとするのかね？

まあ、それはともかくとして、あなた方が組み込んだ「道徳」という、

教育プログラムでは、力の理解も教えているのか？

紛争の平和的な解決方法は？愛情のある関係要素については？

個性と自己創造については？

身体と精神と魂・・・これらがどのようにして機能するのも教えているのか？

創造性の発揮の仕方はどうかね？

自己への誇りと他者の尊重は？

また、喜ばしい性的表現法も教えているのか？

公平と寛容・多様性と類似性、倫理経済学、創造的な意識と精神力については？

認識と目覚め、誠実と責任、可視性と透視力、科学と霊性、

これらをきちんと教育しているということかな？

こういった「コアとなる概念」を、子供たちに理解させようと真剣に努めているのか？

(どれも2冊目の対話で、すでに取り上げた課題なのだが)

・・・

どうやら、凶星だったようだね(笑)

やれやれ・・・あなたって、本当に容赦のない方なんですね(笑)

「真実は時として容赦がない」といったのを、もう忘れてしまったのかな？

皮肉を言うつもりはないが、あなた方の今の社会は、

見たくないもの(多くの場合は理解できないこと・受け入れ難いこと)を見まいとして、

草むらに首をつっこんでいるダチョウのようなものなのだよ。

だが、いつまでも、そのような「頭隠して尻を隠さず」の状態であれば、いつかは誰かに捕獲されてしまうことだろう。捕獲されないためには、

草むらから首を出し、よく周囲を見渡すことだ。

（点で物事を「判断」するのではなく、全体をよく把握し「認識」することだ）

何度も言うが、最近、世の中を眺めてみたことがあるのかな？

まあ、ずいぶんと遠まわりになったが、

最後にここで宇宙エネルギーの活用法・および法則性をおさらいし、簡潔にまとめた後、キリの良いところで今日の対話はここまでとしておこう。

（あなたの身体はもう、そろそろ臨界量を超えようとしている）

？無限なる宇宙の力を活用するには、^{エネルギー}

競争を止め、創造的な思考を用いることが大事である。

それには競争とは無縁の、常に創意工夫に満ちた「宇宙」と力を合わせる努力が必須である。

？宇宙と完全に一体となるためには、その恩恵に対し、

常に深い感謝の気持ち捧げなければならない。

感謝はあなたの方の心と神（思考する物質）の心をひとつにし、それにより個人の思考を宇宙は受信する。

そして、常に深い感謝の気持ちを持ち続け、宇宙の叡智と一体化することにより、

あなた方は創造性の領域に踏みとどまることができる。

？人間／創造者は、明確なイメージ（ビジョン）を保持し続ける以上、

自分が「手に入れたいもの／したいこと／なりたいもの」を

何でも実現（創造）することができるだけの能力を備え持っている。

このイメージを保ち続けることにより、神がその希望を叶えてくれるということに対し、

深い感謝の気持ちを持ち続けることが大事である。

「揺ぎ無い確信＋心の底からの感謝の波動＝創造性の解放」

？創造のエネルギーは、すでに存在している自然の成長の過程である。

？自分が望むものが訪れた時に、それを受け取るには行動が必要である。

そのためには、毎日、その日の内にできることは、すべて行うようにする習慣を養うことが大事である。

このようにして、一つ一つの行動を完全に成功させるようにすることが鍵である。

そして、自分が受け取る代金よりも大きな使用価値を、すべての人々に与えるようにし、

自分と取引きをする人の人生がより豊かになるようにする。

？あなた方の受け取る豊かさは、

イメージの明確さ・決意の硬さ・信仰の強さ・感謝の深さに比例する。

つまり、他人が成功するのを助ければ、あなたの成功もより迅速になる。

他者への奉仕が同時に自分自身への奉仕でもある、ということをお忘れさえないければ、

あなた方はいつでも幻想の淵から抜け出すことができる。

マスターとは、一足先にそこから抜け出た者のことだ。

それゆえ、彼らはあなた方が、そこから抜け出せるようにあなた方を援助する。

なるほど。教育者って、何だか・・まるで共育者のようですね（笑）

ブラボー！ やっと、理解したんだね。

そう、あなた方は、自分が学ばなければならないことを教える。

その意味で言うなれば、教育者（教える者）は共に育つ者・・つまり、共育者でもある。

そのため、あなた方の世界には、「体験」という素晴らしい機会が設けられている。

なぜなら、体験を通さなければ、何も教える（教わる）ことができないのだから。

今日はいろいろとご教示頂き、本当に感謝致します。

どうやら、あなたのおっしゃるとおり、私の身体もそろそろ休養するべき頃合に入りました。

お別れするのは真に名残惜しいですが、またあなたと対話できることを

心より楽しみに待っております。では、今日はもう就寝致します。どうも、ありがとうございました。そして、おやすみなさい。

おやすみ、いとしの我が子よ。

また、次の機会に私を訪ねるといい。

つづく

命のさそやき【12】

2008年10月21日

<自宅・ベッドにて>

神様、神様、こちら秋水、ただちに応答せよ！

こちら神、現地に異常なし！

秋水、秋水、ただちに応答せよ！

こちら秋水、地球は今、混乱に満ちている！

大至急、救援を要請する！

こちら神、ただ今、地球現地時間・日本・20時11分、地球へ到着。

これより、救済へ向けての支援（対話）を開始する。

今日は我々の社会問題のひとつとなっている、「いじめ問題」に関して伺いたいことが幾つかあります。そもそも、いじめをなくすにはどうすればよろしいのでしょうか？また、なくせるのでしょうか？もし、この方面に関して、何かしらの具体的で効率の良い提案などがありましたら、何卒ご教示いただけると非常に助かります。

あなた方の社会（学校や職場でもそうだが）では、金魚とピラニアを混同して、飼育しているね。おまけにひどい場合だと、サメにイルカの子育てをさせるところもある。

は？どういう意味でしょうか？

個人が生まれ持った性質（いわゆる、性）は、よっぽどな体験（奇跡とも言うべき）が起こらない限り、それを修正するのは至難の業だと言っているのだよ。

とくに生後まもなくから7歳までの7年間というのは、子供たちの情緒発育にとって、非常に大事な期間のひとつでもある。あなた方の社会における子育ての観念を観察していると、多くの場合、このような子供たちの人間性の発育にとって、重大な期間のほとんどを、彼らの親に委ねている。

つまり、その親の性質（気質）が、子供に受け継がれてゆくというわけだ。

（そうやって、親の罪は7代にわたって、子へと受け継がれてゆくのだが）

それじゃあ、どうやって、子育てをすればよろしいのでしょうか？具体的なアドヴァイスなどがございましたら、是非ともご教示願います。

それに関しては、以前にも言ったとおりだ。

あなた方の社会では、信頼のおける年配の者に子育てを委ねる制度をまず、つくらなければならぬ。

保育園と呼ばれる施設では、そのほとんどが真実を採取する経過（途中）にある若者が子育てを任せられているが、これほど危なつかしいことはないのだよ。

また、「真実を告げる書」の中でも少し触れておいたが、もし自律的で情緒豊かな人間性を備え持った子供を育成しようとするのであれば、

子供が6歳になるまでは、体罰を与えてでも厳しくしつけておく必要がある。

ただし、その際、決して度を越した体罰（制裁／虐待）を加えたり、または個人的な鬱憤を晴らすようなしかり方は禁物だ。

また、しかる際の因果関係（なぜ、それをしてはならないのか）も、しつかり認識させてあげることができるような、しかり方を心掛けなければならぬ。

そして、6歳を過ぎたら（次の7年のサイクルに入ろうとしたら）、余程のことがない以上、決して体罰を加えないように注意する必要がある。

まあ、生まれてくる子供の個人差（能力別）にもよるが、理解の早い段階の子供であれば、3〜4歳頃から自意識（自我）に目覚めはじめる者もいる。

つまり、鏡の中に映っている自分の姿が「自分」だと認識できるようになるまでは、

まだ動物の意識レベルの段階から抜け出していないということになる。

なるほど、最初の7年間は非常に大切な時期だというわけですね。

それで・・・話題を再び「いじめ問題」に戻させていただきますが、具体的な解決策はないものでしょうか？

とても簡単なことなのだが、あなた方にはそれができていない。

（というより、見ても実行に移そうとしない）

金魚とピラニアを分けて飼育すれば、よいだけのことだ。

場の生態系システムを組み換えてあげるのだよ。

適者生存（弱肉強食）の環境ではなく、

共存共栄の環境にしてあげればよいだけのことだ。

そのため、子供たちの情緒（人間性）の、

発達度合いを測定するテストを導入する必要がある。

そして、一定の基準ポーターラインに満たなかった者は、

基準値を満たした他の者と隔離しながら、幾つかの生態系グループに小分けしながら、

再教育／治療をほどこしてゆかなければならない。

その場合、彼らに衝動（負の欲望）をコントロールする術を教え諭してあげなければならぬ。

また、このテストは7年を目処に一回行い、

厳格な査定／審査のもとに、慎重に行う必要がある。

なぜなら、あなた方の精神というのは、7年をひとつの周期として、常に生まれ変わっているからだ。これは蛇が古くなった皮を脱ぎ捨て、脱皮するようなものだ。

要するに、クラス替えをしろってことですか？

感染者と健常者を隔離したほうがいい、とすすめているのだよ。

「真実を告げる書」にも書かれてあることだが、

あなた方の社会・・・とくに刑務所と呼ばれる施設では、

重罪人（いわゆる凶悪犯）と軽い程度の罪を犯した者を、

一緒に収容している、という過ちを犯している。

なぜなら、重罪人というのは、いわば伝染病患者のようなもので、

このウイルスに感染した者はとくに、二次感染を防ぐために、他の健常者と隔離して治療しなければならぬからだ。

ストップ、ストップ！ちょっと、待って下さい！

となると、犯罪者はみな、病人だとおっしゃるんですか？！

もう一度、「真実を告げる書」を読み返してごらん。

そうすれば、あなた方が「裁き」などと称し、

どれほど偽善的な行為をしているかが、よくわかることだろう。

あなた方の多くが「犯罪者」と呼び、軽蔑している者たちの大半は、脳の回路に異常が生じているため、自律的な思考

（あなた方はこれを理性と呼ぶ）ができなくなっている。

そのため、欲望（衝動）が意志（理性）を上回った時、彼らは奇行

に走り出す。

おっしゃりたいことは、よくわかります。

つまり、病原菌感染者と正常者を隔離しなさい、ということですね。でも、それって・・・何だかまるで差別みたいですよ。

(注：批判しているわけではないですよ)

これでは、まるっきり話が矛盾してしまっていますが・・・。

おかしな人だね。私は今、どうすれば、その「差別」とやらをより効率的に

軽減できるのか、を勧めたにも関わらず、その勧め自体を「差別」だとあなたは言う。

まったくもって、おかしな人だよ。以前にも少し話したと思うが、紛争や食い違いの大半は、「違い」(個体差)を受け入れることができずに勃発している。

とくにエゴの度合いが強い者ほど、その傾向も徐々に増してくる。

エゴの度合いですか？

そう。つまり、天使に近いか、それともケダモノに近いか、の度数だ。

(肉食系動物に近いか、草食系動物に近いか・・・とも言える)

だが、残念なことに、あなた方の今の現代科学では、

その度数(度合い)を測定するどころか、

まだその「手法」を確立することすらできていない。

だから、議会や会合などといった、

重要な決定の場においては、狼に羊の群れを管理させ、

あげくの果てに教育の現場では、サメにイルカの子育てをさせてるところもある。

そう・・・丸々と太らせた後に、じっくり味わうためにね。

ちよつと、ちよつと！

それは何が何でも言いすぎですよ！

第一、私たちは、そこまで落ちぶれていませんよ！

それに・・・最善は尽くしているつもりです！

わかっていないのは、あなたのほうです！

・・・どうもあなた方は、物事のコアをぼかすのが上手だね。

それは、ほめていらっしやるんですか？

いや、警鐘を鳴らしているのだよ。

あなた方は、真実をぼかすことだけに關しては、非常にすぐれている。

直面しなければならぬ事実を前に、なぜかあえて引き込もうとする。

まったくもって、滑稽極まりない種だよ。

だが、いつまでもわき見運転ばかりしていたら、事故を起こさないほうが不思議なくらいだ。

じゃあ、どうしろとおっしゃるんですか？

居眠り運転はもう、やめなさい。

意識を喚起させ、具体性の助長に努めなさい。

そして、行動は何であれ、意図的に、かつ具体的／明確的にするよう心がけなさい。

さすれば、あなた方の中に眠る至高なる意識（感情）を呼び覚ますことができる。

簡単に言ってくれますが、

私たちの教育の現場では、それがあまり尊重されてはいないです。何と言いますか・知識詰め込み教育に突っ走るあまり、人間性や、あなたのおっしゃる情緒面などといった、道徳面をおろそかにしています。

では、どうすればよろしいとおっしゃるのでしょうか？

あなたの言うように、私たちは今、道に迷っているのかもしれない。

行き先がわからなくなり、迷宮の中で延々と彷徨い続けております。どうか何卒、活路をご指南頂けると、非常に助かるのですが・・・。

よろしい。私はあなたの誠実な姿勢を気に入った。

真実に対する、飽くなき探究心に心打たれた。

まず、はじめるにあたって、ハッキリさせておくが、

この宇宙（とくに地球以外の文明圏）では、情緒の発達（人間性の向上）以外のものは、さほど重要視されてはいない。

というのも、「すべての生命の宇宙論」でも語ったが、

一旦、技術が精神性（ある一定の臨界量）を凌駕してしまうと、

その文明圏に恩恵をもたらすどころか、最悪の場合、終焉（破滅）を引き寄せてしまうからだ。

気づいていないかもしれないが、あなた方は今、その禁断の領域に危険なほど近づきつつある。

大量殺戮兵器の拡散、無思慮な資源の浪費、大規模な森林伐採、地球温暖化、

その前兆は徐々にではあるが、世界各地ですでに現れつつある。

あなた方の現代医学でも言われていることだが、

生命の身体というのは、小宇宙と言われるだけあって、すべてを物語っている。

ただ、あなた方人間という種が、その信号サインに気がついてるかどうかの問題だ。

もし、人間に生れることができたなら、健康で怪我をせず、人生を最後まで楽しみ、命を生きることが本来の自然な生き方だ。そのため、自己管理できない意識（心臓の鼓動、血流などの無意識的な活動）に代わって、

あなた方の身体は、極力健康な状態を保とうとする。

そのために、身体の諸機能（細胞同士）は、互いに助け合い、あなた方の命を維持してゆく。

つまり、もし怪我をしても、また病気に罹っても、自然の治癒力が働くようになっていく。

すなわち、全力を傾け、助け合う細胞同士は、

あなた方に、この宇宙でサバイバルする見本（手本）を提供しているとも言える。

他が苦しみ死ぬことは、いずれ自分も死ぬことであり、

他を助け生かすことこそが、自分を生かす、唯一の法である・・・と。

ゆえに自も他もなく、助けあう「慈愛」の精神が根底にあり、

自を生かすために他を生かすのが、形ある生命が減びない方式というわけだ。

だが、あなた方を観察していると、そんなことはおかまいなしに、世界各地では今日も至るところで、争いや殺し合いをしている。

（言葉の暴力、兄弟・隣人に対する冷酷な振る舞い、無意識的な夢遊歩行などもそのひとつだ）

つまり、宇宙からのメッセージ／身体からのメッセージを、何も学んでいないのに等しい現状だ。

批判ではないが、あなた方の多くは、いまだに「我」だけが生き残れることに専念して他を省みない。

自分の細胞である他の者を、愛おしく助けようとしなさい。

身体でたとえるなら、傷だらけの瀕死の状態だ。

おまけに、身体に備わった諸機能のように、他からの応援も来ない状態だ。

その分、治癒力も低下し、傷口はどんどん化膿してゆき、体力は衰

えるばかりだ。

忘れていかもしれないが、あなた方一人一人の身体には、世界の諸問題のすべてが、刻まれているようなものだ。

そして、そのように考えをはりめぐらしてゆけば、

あなた方の今後の生きるべき道が、おのずと見えてくることだろう。

何だか、あなたのお話を聞いてると、恐くなってきました。

私たちは本当に、もう手遅れなのでしょうか？

だとすれば、この対話が何のために行われていると思う？

はい、ちゃんとわかっていますよ。

では・・・どうぞ、もっと助けてください。

どうすれば効率的に機能するのか、教えてください。

不備な点がございましたら、何なりとお申し付けください。

もし、全世界の意識改革（改善）を真剣に促したいのであれば、今のあなた方の教育制度を、まず見直さなければならなくなるだろう。

ゆえに、根底（基盤／基礎）をしっかりと固めておかないと、見栄えが良いだけの不完全な塔ができあがってしまう。

今のあなた方の社会は、たとえるなら、紙粘土で塔の基盤（土台）を造り、

その上に、さらにレンガやコンクリートを積んでいるようなもの。しかし、このままあやふやな塔を築きあげ続けてゆけば、

年月が経つにつれ、やがては不完全な基盤がグラつきはじめ、

やがて崩壊した時には、さらなる甚大な被害をもたらすことになる。だから、砂上の楼閣となる前に、一旦塔を改修リフォームしなければならぬ。

そう・・・第二のバベルの塔となる前にね。

はい。教育制度については、私も以前から疑問を抱いておりました。何と言いますか・・みな、与えられたものをただ淡々とこなしているだけの教育方針で、「自分で考え、応用してゆく」という能力（知恵）が、あまりにも疎かにされてる傾向は感じられます。

後、詰め込み教育重視で、心（靈性）の問題が軽視されているのもうなづけます。

もし、この方面に関する具体的な打開策がありましたら、是非ご教示願います。

それに関しては、以前も話したとおり。

進歩した世界をお手本にすればよいだけのことだ。

なるほど。じゃあ、進歩した世界では、

どのような教育方針が採られているのでしょうか？

文明世界における、教育基盤は次の3つの徳を基準ベースとしている。

つまり、誠実・認識・責任。この3つだ。

この3つは情緒の三権分立のようなもので、

たとえ何があるうとも、決して切っても切り離せない関係にある。

ゆえに、この3つのうちの、どれかひとつでも欠けていれば、

その個人は「ひとつの成熟した意識」とは言えない。

ましてや、そのような者が社会（構成体/集落）へ出ると、

全体に壊滅的な打撃を被りかねない危険性すら秘めている。

はあ・・どれかひとつが欠けても駄目なんですか？

そうだな・・たとえば、あなたの場合、

この3つの徳のうちの、認識（反省する心）という徳が著しく欠けている。

また、人をおちよくっているんですね！

事実を素直に指摘されることは、時として快くなくかもしれない。だが、誰かが指摘してあげなければ、その者はいつまでも延々と迷路の中を彷徨い続ける羽目になる。

（どこかで突破口を見出せたのであれば、話は別だが）

認識はあなた方の身を守り、同じ過ちを再度繰り返さないよう、あらかじめ備えられた機能（本能）のひとつだ。

ただ、それを意識して引き出している者と、そうでない者がいる。

（今までのあなたの人生を観察する以上、どうも後者に思えてならないのだが）

認識がないまま生きるというのは、目隠しをしたまま車を運転するようなものだ。

つまり、羅針盤を見ずに、船の舵を取るようなものだ。

息子よ、皮肉を言うつもりではないが、あなたは「物忘れ」があまりにも激しすぎる。

（言っておくが、批判しているわけではないよ）

あなた方のほとんどは、他人の「痛み」「苦しみ」の経験に対して、あまりにも鈍感で無鈍着だ。

だから、己の欲せざるようなことを、人に平気で施すことができる。だが、もう、そろそろ目を覚ましたほうがいい。

飢えたライオンの群れの中を、我が物顔で突き進めば、無事で済むはずがない。

それ同様、カマキリが車輪に向かって、立ち向かえば「グシャ！」と潰される。

（あなた方は、その行為を「無謀」と呼ぶね）

それじゃあ・・・誠実と責任は、どうなんでしょう？

このふたつも、どちらかが欠けたら、駄目なんですかね？

不誠実ほど、人生を破綻させるものはない。

誠意とは自他を尊重し、共に育んでゆこうとする精神のことだ。

進歩した世界では、他者を尊重することは同時に自己を尊重することだと、

一人一人のメンバーがおのずと自覚（認識）している。

そのため、彼らの世界で、いざこざや紛争が起こるようなことは滅多にない。

なぜなら、この徳が欠けると、あなたは「信頼」という絆（宝）を失うからだ。

だが、信頼を失うほど大きな損失はない。

一度失った信頼を取り戻すのは、至難の業だ。

それ同様、一旦張られたレッテルを張りかえるのは、容易ではない。責任についても同じことが言える。

無責任（いわゆる「事なかれ主義」もそうだが）は、問題を持続させ、長引かせるだけだ。

もし、誰しもが（自らの創造に対し）責任を放棄すれば、

社会はうまく機能しなくなる上に、さらなる紛争が勃発することだろう。

だが、一人一人が責任に目覚めさえすれば、今日からでも世界から紛争がなくなる。

息子よ、あなた方はその気にさえなれば、

明日からでも地上に天国（楽園）を実現（創造）させることができるのだよ。

私はあなた方が何世紀もの間、もたもたし続けているのを、もう飽きるほど眺め続けてきた。

しかし、これ以上もたもたし続けていると、また振り出しに戻されてしまう。

残念ながら、あなた方に残された時間は、もうあまりないのだよ。

直面したくない、痛い事実にも耳を傾けなければならぬのである、致し方ないですね。

もう、そろそろ急がなければ、世界を救えないのは、うすうすではあります、大体予想はしておりました。

でも、私たちはその「残されたわずかな時間」とやらで、最後の最後まであがき続けると思っています。そこにわずかな「希望」がある限り。

さて、話を元に戻しますが、この3つの徳の中で、やはり何と云っても、

認識の徳は我々の社会で著しく欠けているのは確かだと思います。

(まあ、私自身、人のことは言えないのですが・・・)

確かに軽い物忘れや、うっかりミスをする時というのは、

ぼんやりしていて認識(気づき?・・・)とでも言うのでしょうか)

が欠如していたことは否定できません。

となると、ボケ老人や痴呆症(認知症)の人たちについては、どうなんでしょうか?

彼らも認識が著しく欠けているね。

主な要因はいろいろ観られるが、その多くは若い頃の暴飲暴食、身体(とくに脳)にとって有害な物質の過剰摂取、

人との交わり/交流の少なさ、趣味(生き甲斐)の少なさ、

つまり、自らの精神(意識)を鍛えようとせず、

怠惰な毎日(習慣)を送ってきたことに起因している。

だが、認識の徳を欠いたら、あなた方は夢遊歩行者となってしまう。その証拠に地球上は今、夢遊歩行者だらけだ。

うわぁ・・・今日は、とことん容赦なしですね(笑)

それじゃあ、どうすれば認識の徳を高めることができるのでしょうか?

我々の教育方針で何か取り入れるべきものがありましたら、

何卒ご教示願います。

そのため、進歩した世界では、瞑想は必須カリキュラムとなっている。

とくに全体を常に認識（意識）し続けることの大切さは、何があっても、決しておろそかにはできない。

ゆえに、その精神状態（の波動）をできるだけ長く持続させるために、

瞑想はなくてはならない道具のひとつだ。

つまり、常に精神を磨こうと志す、たゆまぬ向上心と、魂を研磨し続ける意志が伴わなければならぬわけだ。

まあ、簡単に言ってしまうえば、「初心忘れるべからず」と言ったほうがよいだろう。

一度山頂（頂点）に登りつめた者は、「うぬぼれ」というウイルスに感染し、うかれ病に罹りやすい。

それゆえ、さらなる山頂（頂点）があるとも知らずに、そのままそこに居座ってしまう。

だが、居座ったが最後、そこから彼の転落劇が待ち構えている。自分を大物だと考えれば考えるほど、小物になる。

宇宙の「あべこべの法則」は、万人に働きかけている。繰り返し言うが、この法則から免れることができる者は、なんびとたりともいないのだよ。

何だか・・・あなたのお話を聞いてると、

あたかも「進化に終わりが無い」、とでも言いたそうに聞こえてならないのですが・・・。

実際、そうなのだよ。

息子よ、あなた方はとんでもない思い違いをしている。

この際、ハッキリ言うておくが、進化（向上）に終わりは無い。

実際、そのバリエーションは、あなた方の個性同様、無限に広がっている。

「初心の心」を常に忘れさえしなれば、絶えず至高の境地を追求することができる。

それじゃあ、私たちに欠けているのは、

謙虚な心持ちだとも言うのでしょうか？

キリストは「この中で最も偉大な者は、万人に仕える者だ」と言わなかったか？

（あなた方の一部の者は、それを湾曲して解釈してしまったが）

でも、私たちは自らの感情（衝動）を抑えることができない種ですよ。

ましてや、こんな不完全な種が宇宙へ出たら、それこそ除け者扱いですよ。

そもそも、気持ちや感情をコントロールし、落ち着かせる方法とかあるんでしょうか？

チャクラについて学んでごらん。

とくに（意識して）根元のチャクラ・エンテレケイア生命力を引き上げることができる、

いつでも嬉々たるエネルギーを全身にまとい、充満させることができる。

（実は、そこに長続きする喜びの秘密が隠されているのだが）

とにかく何でもいいから、「直感的」に行動する癖を養いなさい。

そうすれば、壁（障害）に突き当たった時、いかにそれを打開できるかが、

パツと閃くことがあるだろう。

そして、その時の閃きを決して逃さぬよう意識し続ける訓練をしな

さい。

さすれば、問題に直面した際、柔軟な打開策を培うことができる。
（よもや、あなた方が苦労や困難と呼ぶ経験の多くは、あなた方の精神をより活性化させ、

鍛えるためにあると気づかなかつたか？）

そして、人はその能力値が高い者のことを「智者」と呼ぶ。

そうならば、あなたはもう、マスターの一步手前に近づいた何よりの証拠だ。

なるほど・・・となると、瞑想は我々をその境地まで運んでくれる列車（架け橋）のような役割を担っているわけですね。

それじゃあ、具体的にどうすれば、認識（意識）の度合いを高めることができるのか、

教えて頂けませんでしょうか？

あなた方が認識（意識）を拡大する一番手っ取り早い手法、

それはあなた方が「意識を持っている」という真実に、まず意識的になることだ。

はあ?!おっしゃっている意味が、よくわからないのですが・・・。

つまり、「意識を持っている」ということに、

意識的に気がつかなければならぬ、と言っているのだよ。

実は、この意識（認識）の度合いの広さ次第で、その者の心が人間なのか、

それとも動植物なのか・・・が決められる。

その証拠に、人間にしかできない意識的な精神活動（自然の創造／破壊）は、

動植物には決してマネすることはできない。

そのため、人間には、神の属性（性質）が備わっているとと言える。

とくに瞑想は（たとえそれが一時的であれ）、
あなた方をその至高の境地ニルヴァーナにまで高めてくれる。

まあ、この際だから、進歩した世界で行われている、代表的な瞑想をふたつほど紹介して、

今日の対話を締めくくりにしよう。

まず、静かなところに座り、深く深く深呼吸をしながら、

自分の心をできるだけ空っぽ・つまり、無にするように努めることが大事だ。

まあ、これは禅で言うところの、「無我の境地」に非常に近いようなものだと思ってい。

この時、頭の中にいろいろな雑念のパレードの進行がよぎるかもしれないが、それらはみな、通りすぎるものと受け止め（ゆく川の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず）、

極力その後を追わないように意識し続けることが肝心だ。

つまり、その「雑念に執着しない」、という状態に執着しなければならぬ。

換言すれば、「何にも集中しない」、ということに集中することが大事だ。

それには常に自分を「外」から観察し、絶えず見張っておく必要がある。

はじめの頃は慣れないかもしれないが、その際は呼吸や燃え盛る口ウソクの炎に

意識（関心）を集中させると良いだろう。そうすれば、慣れてく内に、

今度は両目のすぐ上の額中心あたり・つまり、第6チャクラにすべての気を集中させる。

そして、この時、全身のエネルギーが仙骨に位置する根のチャクラ（第1チャクラ）から

徐々に身体中を螺旋状スパイラルに昇りつめ、額のチャクラに集中するようにイメージすることがポイントだ。

やがて時間が経てば、意識のスクリーンの奥に、

踊るようにゆらぐ青い炎のようなものが映し出されることだろう。

それは瞬間的な体験かもしれない。だが、一度それを体験さえすれば、

あなたは意識（認識）するたびに、いつでもその体験を呼び覚ますことができる。

その際、なるべく長い間、その炎と共に同化し、共存（共に在り続ける）し続けるよう努力しなさい。

さすれば、行動／認識の選択肢がおのずと広がってゆくことだろう。そこではじめて、意識的な創造の道を歩み出すことへとつながる。

次に好きな場所で仰向けになり、（できれば、靴を脱ぎ素足になり、草原や大地などの、

地球のエネルギーを直に受け取れるような場所が最も望ましいだろう）

静かで何かに集中できるような環境下に身を置き、深く深呼吸をする。

この時、息を吸うのと同時に、吸い込んだ生命エネルギー／エンテレイアが、

額に位置する第6チャクラにある入り口から、身体の中へ入り込むようにイメージする。

次に、吸い込んだ生命エネルギー／エンテレイアが、頭の中（脳内）に充滿していることを

イメージしながら、徐々にそれが全身を伝って、

下半身へと流れ込んでゆくようイメージを張り巡らす。

そして、最後に息を吐く際、同時に足の裏から身体中を通して濾過されたエネルギーが、

放出してゆくのを連想しながら、ゆっくりと深く大きく吐くように心がけると良いだろう。

このようなブレスワークを一日に二回、一回につき7分間続けることを心がけさえすれば、

あなた方の意識レベルは大きく改善されてくることだろう。
とくに一日のはじめと終わり・・・つまり、寝起き時に行くと最も効果的だろう。

うわぁ・・・想像もできないほど、シンプルな手法（瞑想）ですね（笑）

というより、私たちの身体の仕組みが、さほどシンプルな構造になっていない、
ということ自体、私からして見れば、驚き以外の何物でもないので
すが・・・。

シンプルは、優雅の極致なのだよ。

「シンプル・イズ・ベスト」、とも言いますしね（笑）

そうそう！よくわかっていないじゃないか。

問題の多くは、実は本来非常にシンプルな手法で解決できる。

（実際、難しくしているのは、あなた方自身なのだが）

だが、あなた方の多くは虚構エゴという仮面をかぶることにより、
いつのまにか、偽りの自己に囚われてしまうようになり、
幻想にとっぷりつかってしまいう内に、幻想の持つ魔力に魅惑され、
なかなかその状態から抜け出せずにいる。

たとえば言うなれば、「ゆで蛙」のようなものだ。

湯釜の中でグツグツと茹でられる蛙は、その一時の状況を心地よい
と感じるあまり、

（その場しのぎの快楽に執着するあまり）その先がどうなるのか、
を読めずにいる。

そのため、一時の快楽の追求のために、長期的な安寧を犠牲にして
いる。

それが今のあなた方の社会で、気がついてるようで気がつかない矛盾

盾点なのだよ。

ゆえに、刹那主義は身を滅ぼす。このことだけは、いくら強調してもすぎることはない。

身体と精神と魂のバランスは、

切っても切り離せないというわけですね。

今日はいろいろとご教示頂き、真に感謝致します。

どうやら、私の魂はそろそろ休養（燃料補給）を必要としているようです。

お別れするのは大変、名残惜しいですが、

また次回、いろいろ伺いたいこともございます。

ですが、今日はキリの良いところでおやすみさせて頂くことにします。

長い対話にお付き合い頂き、どうもありがとうございました。

たっぷり、休むといい。

また、いつでも気軽に私を尋ねなさい。

私の館の扉は、常にあなた方のために開かれているのだから。

おやすみ、神様。

そして、愛しております。

おやすみ、いとしの我が子よ。

そして、よい旅路を。

つづく

命のそとやき【13】

2010年6月12日

<自宅・ベッドにて>

神様、まだおられますでしょうか？

・・・

長い間、対話をほったらかしにした状態で申し訳ありません。
今日はせつかくの休日ですし、久々にお会いできると思ったのですが、

お返事がないということは、どこか具合でも悪いのでしょうか？

いや、私ならここにいますよ（笑）

やっと扉を叩いてくれたようだね。

長い間、待ちくたびれたよ。

ふう・・・安心しました。

てつきり怒って、帰ってしまったものばかりと思ってましたよ（笑）

おやおや、まだ私を怒りっぱく、何かとつけて要求がましい、

視野の狭い幼稚な神だと想像しているのかね？

いいかな、私は時の終わりまであなた方とともにいる。

何人たりとも私から離れることは、未来永劫にしてないのだよ。

また、誰か余分に一人、私に愛されるということもない。

なぜなら、私/私たち/宇宙/愛/自由/神性は無限そのものなのだから。

2年間も対話をほったらかしにして、ごめんなさいね。私の怠け癖はどうも、なかなか直らないようです（恥）

そう自分を責める必要はない。

何事も「しなければならぬ」ことはない。

ただありのままのあなたで、居続ける努力をなささい。

あなたは今、再び私の館へ足を踏み入れた。

だから私は再び、あなたに手を差し伸べ暖かく迎え入れる。

ただ、それだけのことだ。

ありがとうございます。

あなたと対話していると、涙があふれてきそうです。

よろしい。それで、今日は何を聞きたいのかな？

はい、今日は私たちの日常生活における身近な健康法に関して、伺いたいことが幾つかございます。

例えば・・・

- ・病気をできるだけ早く完治させる方法
- ・長生きする方法
- ・基本的な病気の予防方法

こういった問題を中心に取り上げてゆきたいと考えております。

もし、こういった方面で役立つ知恵などがありましたら、ご教示頂けると助かります。

また、HEBたちはどのようにして長命を保っているのか、なども詳しく教えて頂けると非常に助かります。

よろしい。では、とりかかるとしよう。

これらの問題は、どれも3冊目の対話で、すでに私が二ールに述べてきたことだが、再度、おさらいを兼ねて簡単に触れてみるのも悪くはないだろう。もし、今の姿形での生命（あなた方の場合は人間という種）をより長く、

快適に持続させたいのであれば、果たして何がそれを可能にし、許容しているのか、をよく観察し研究しなければならない。

適度な運動もせず、毎食赤身の肉を食べ、有毒な添加物を大量に摂取し、

あげくの果てに身体／精神／魂にとって、有害なストレスを溜め込み、

化学物質で汚染された食物を摂取し続けることが長命（延命）へとつながるのか、

それとも元気に笑い、大自然の中で安らかに謳歌し、必要な時に必要な分だけ摂取し、

身体にとって滋養となるものを摂取することのほうが、安らかな状態を維持できるか・・は一目瞭然だろう。

だが、あなた方の社会では、人工的な技術による産物から発せられる有害なフロンガスで大気を汚し、

本来自然が備え持っているクリーンエネルギーを使う代わりに、工場から排出された化学物質で水質を汚濁し、

さらにそこに生息する魚まで汚している。そして、その魚を捕らえ、市場でさばかれ、

あなた方の食卓の上に並べられる。こうしてあなた方は、有毒物質を知らず知らずのうちに

摂取し続けている、という事実にはまず気がつかなければならない。

ちょっと、待ってください！

水俣病や工場排水の問題はもう、とっくに昔の問題ですよ！

それに裁判で決着もつきましたし、二度とこのような事態が起こら

ないよう、

私たちは深く注意していると思いますよ！

ほう、深く注意しているのかね？

そうです。

私たちは、あなたが思っているほど愚かではありません。

なるほど。あなたの言い分はよくわかった。

それじゃあ今度、コンビニエンス・ストアへ行った時、

そこで陳列されている食品の成分表示欄のところを、

その目でよく眺め回してみてください。

そうすれば、あなた方がどれほど愚かしいことをしているのかが、身にしみるまで思い知ることだろう。

え？どういことですか？

あなたのお話を聞いていると、どうもコンビニにで売られている商品の多くに

毒物が混入されているように聞こえてならないのですが・・・。

無理もない話だ。

なぜなら、あなた方は知らぬ間に毒を摂取している（正確には「させられている」）のだから。

おまけに有害とわかっておきながら、それを店頭で堂々と販売しているのだから、

なおさら開いた口がふさがらない。果たして、そのような状況下で、いったいどうやって健全な状態を維持しようと思っただね？

その情報は確かなのですか？

それでは、HEBたちの世界では、病気に対してどのような対処を

とっているのでしょうか？

肉食を控えたり、ストレスを抱かない他にも、何か心がけていることがありましたら、

何卒ご教示願います。

HEBの世界ではあなた方の社会と違って、

余程の難病でない限り、薬に頼らない。

それ以前に彼らの社会では、めったにそんなことはないのだがね。

え？薬に頼らないのですか？

あなた方の身体というのは、すべてつながっている。

優れた医師ならば、たとえ歯が一本虫歯になっただけでも、

その影響は身体全体にまで及ぶことをよく熟知している。

薬に関してもそうだが、薬というのは病気をそのものを治すものではない。

あなた方の身体には本来、病気を癒す力・つまり、自然治癒能力というものが、

あらかじめきちんと備わっている。そして、この自然治癒能力は、あなた方人間に限らず、

すべての生物が持ち合わせている「生きてゆくための基本的な能力」でもある。

薬というのはあくまで、自然治癒能力が行われている体内の戦場で、敵勢力（ウイルスや細菌）の働きを少しでも多く鎮め、

その時々症状や痛みを和らげるためにある。

だが、反対に薬の力でこの症状を抑えつけてばかりいると、

本来あなた方の中に備わる、潜在的な自己ヒーリング能力を著しく弱めてしまうおそれがある。

そのため、薬というのは、使い方次第によっては毒にもなりうる。

（その証拠に「クスリ」という文字を逆さから読むと、「リスク」

になるのがわかるだろう?)

この際、ハッキリと断言しておくが、もし健康面に気を遣うのであれば、

普段何気なく食べているものに注意を払うだけでも、

より多くのことが改善されてくる。さらに日頃のみだらな生活習慣に気を配りさえすれば、

少なからず心筋梗塞や脳梗塞・などといった病を患うこともなくなるだろう。

つまり、病の多くは、あなた方自身が自ら創り出している

・・ということに気がつかなければならぬ。

(「病は気から」とも言うだろう?)

はあ・・要するに、私たちはここでも自分で自分の首を絞めている
つてことですね。

それを聞いて、ちょっと悲しくなりましたよ。

でも、なぜそうなってしまったんでしょうか?

どうして有害とわかっていながら、このような愚かしいマネをし続けるのか、

が私には到底理解できません。

そのことに関しては2冊目の対話で、すでに触れてある。

あなた方が築きあげてきた市場経済・商業主義の基本理念が何だったのか、

をもう一度思い出してください?

えっと・・確か金儲けでしたっけ?

そう。利潤の追求・・という、いかにも誇らしげな詭弁だがね。

でも、危ないと知った以上、もうそういった毒物商品には手出しし

ませんよ！

少なからず、私ですが・・・。

いや、食べ物だけに限らないよ。

あなた方は普段、発がん性のある化学物質を頭皮や皮膚に塗っておきながら、

どうして自分は皮膚がんになったのか？などといぶかる。

おまけに自らを信じがたいほど過酷な労働環境下に置き、

身体／精神／魂にとって計り知れないほどのストレスを溜め込んで、

どうして自分は、心臓病やパニック障害になったのか？などといぶかる。

だが、こうなったのは他でもない。みな、あなた方自身のせいだ。

あなた方が何かを選択（または選択しなかった）したからこそ、

このような結果が引き寄せられた。この際、再度断言しておくが、

あなた方は自らの環境を自らで引き寄せている。もしくは引き寄せ合っている。もう少し厳しい言い方をするのであれば、

自ら墓穴を掘っているとも言える。

それじゃあ、シャンプーやスタイリング剤、

化粧品までもが駄目だとおっしゃるんですか？

もう一度念を押して言うが、それらの商品に掲載された成分表示欄をよく観察してごらん。

まあ、どんなに危険な化学物質が混入されていようが、あなた方は否定するだろうがね。

ちよつとだけなら問題ない・・・商売だから仕方がない・・・といった具合に。

でも事実、私たちの社会は商売（経済）の流通で成り立っているよ
うなものですよ。

それに・・・商売が成り立たなかったら、路頭に迷う人もぞろぞろ出
てきます。

そんな状況下で綺麗事を並べているヒマなんてありませんよ。

息子よ、酷なことを言うが、それはあなた方の社会システムがいか
に稚拙で、

機能不全、かつ原始的なのかをよく表しているにすぎない。

残念ながら、あなた方の築いた社会は、まだ真の文明社会と呼ぶに
は程遠い。

その証拠に、進歩した世界では、路頭に迷う者は一人もない。

なぜなら、一人が路頭に迷うことは、すなわち全員が路頭に迷うこ
とへと直結する、

ということを一入ひとりのメンバーが、くまなくよく熟知している
からだ。

そのため、悟りの域に達した社会では、あなた方が貢献や寄付、

奉仕と呼ぶ行為（いわゆる「ボランティア活動」などと呼ばれる奉
仕活動もそうだが）は、

常識となっている。彼らの心は、ボランティア精神で満ちあふれて
いる。

それ以前に、彼らの存在そのものがボランティアのようなものだ。

彼らは、見るものすべてを癒すことができる。あなた方もその気に
さえなれば、

明日からでも地球を癒すことができるのだが、なかなか行動に切り
出そうとしない。

彼らの世界では、すべての者とすべてを分かち合いながら、生きて
いる。

だが、あなた方は違う。あなた方は、何でもかんでも損得勘定に走
りたがる。

私はあなたに愛を提供するが、見返りとして私にあなたの愛をよこせとあなた方は言う。

（「ギブ・アンド・テイク」などという、いかにも誇らしげな詭弁まであるではないか！）

そのあげく、与えること（手放すこと）に消極的な観念を置き、反対に蓄えること（奪うこと）に価値を見出す社会システムをつくりあげた。

とくに市場経済・商業主義下では、それが著しく目立っていると言っても過言ではない。

だが、ここでも繰り返し言うが、奪う者はますます奪われ、与える者はさらに与えられる。

宇宙のからくりは、実に単調で複雑なものだ。

そのため、誰もこの時計仕掛けの本懐を妨げることはできない。

なぜなら、我々が与えるものこそが、我々の受け取るものだから・・・
でしょ？

ブラボー！よくわかってるじゃないか！

だんだん慣れてきたようだね。

もし、地球上のすべての者がこの理屈を真に理解さえすれば、自分で自分を呪うような馬鹿なマネは、もう二度としなくなることだろう。

（まあ、早かれ遅かれ、いつかは皆そうなる日が来るのだが）

人を呪わば、穴二つつてやつですね。

そのとおり。

すべての因は、あなた方一人ひとりから発せられる。

行ったものは、必ず戻ってくる。これはブーメランのようなもので、あなたから発せられたものは何であれ、いつかはあなたのもとへと

舞い戻ってくる。

だから、何を得られるか・よりも、何を与えることができるか・のみに専念しなさい。

なぜなら、あなたは欲するもの（または体験したいこと）を、与えること（相手に体験させること）でしか、得られない（体験できる）のだから。

（実はあなたは、与えるものを失うことは、絶対にありえないのだが）

うわぁ・・・ダイナミックですね。

そう思うと、我々の多くが今までに、

どれだけその逆をしてきたのか・・・がよくわかりますよ。

（まあ、私自身人のことは言えないのですが・・・恥）

あなたは先ほど、「人を呪わば穴二つ」ということわざを引き合いに出したが、

実はこのことわざを逆さにすると、素晴らしいことわざになるのがわかる。

何だか、わかるだろうか？

え？えっと・・・ちよっと、待ってくださいね。

「人を呪う」の反対だから・・・「人の幸せを祈る」でしょうか？

そうすると、「穴」は何になると思う？

何でしょうね・・・「墓穴を掘る」などとよく言われますから、その逆はですね・・・えっと・・・。

そんなに難しく考える必要はない。

単純に考えてごらん。

「苦」や「困難」の反対語が何なのか、思い出してごらん。

そうですね・・・「楽」とかですか？

そうそう！他にもいろいろあるはずだ。

とにかく、思いつく限り並べてみてごらん。

「幸」もそうですね。あと、「福」とか、「満」とかも。
「陽」や「笑」なんて、どうでしょう？

ほう、よく思い出せたではないか。

どうやら、すべての知識はあらかじめ、あなたの中にあるようだな。
(実は、あなた方は何も知る必要はなく、ただ思い出すだけでよいのだが)

あなたが今、取りあげたのは、どれも「愛」をベースとしたものだ。
愛は拡散し、開放し、すべてを温かく包み込む特質を持っている。

それに、「人を祝えば、幸二つ」なんて言い方もできる。

だから、もし進歩した世界の住人の仲間入りを果たしたいのであれば、

人生／生命を呪うのは、役に立たない。

反対に人生／生命がもたらしてくれるものを祝いなさい。

もたらされるすべての事象を褒め称え、祝福しなさい。

さすれば、飢えることはもうなくなるだろう。

さらに、あなたは行くところで会う、様々なバリエーションを持った、

すべての者(ありとあらゆる私)と友になることもできる。

うわぁ・・・もし、そんな夢のような世界が本当に実現したら、

洒落を言うつつもりではございませんが、それこそまるで夢のようです。

でも、お言葉を返すようで申し訳ないのですが、あなたの語っていることは単なる理想論（机上の空論）にすぎないと主張する者もきつとおられると思いますよ！

言いたい者には、言わせておけばよい。

ただ、信じ求める者にしか、その世界は発見できないのだから。

おっしゃってる意味が、イマイチよくわからないのですが・・・？

私はただ単純に科学的な法則について、語っているのだよ。

$10 + 10 = 20$ だが、 $10 - 10 = 0$ になる。

つまり、同じ「10」（数）でも、プラスした時とマイナスした時とでは、

結果に天と地ほどの差が開く。

進歩した世界では、前者をベースとしているが、後退した世界では、後者をベースとしている。

繰り返し何度も言うが、あなた方の思考／言葉／行為（創造）がもたらす因と果には、

常にふたつの動機に由来している。つまり、愛か、それとも不安か・

・ただ、この二つだけだ。

もし、本当に愛を基盤としたものを選択することを志すのであれば、隣人のモノを必要以上に欲しがったり、店頭で販売している商品に有害な食品添加物を加えたり、

はたまた身体の機能を低下させるような、

化学物質を大気中にばらまくような馬鹿なマネはしなくなるだろう。だが、そうしないのは、その背後に不安の苗木が根を深くはっている、

ということにまず気がつかなければならない。

お金がもっと欲しい！もっと食べたい！満足できない！これでは足りない！

こういつた意識の根底（背後）には、常に不安という魔物が巣食っている。

しかし、いいかな。 unnecessaryなものを必要以上に求めようとするのは、単なる強欲の表れでしかない。

欲するのはかまわないが、必要としてはならない。

なぜなら、必要としたとたん、あなたはその必要とするものに依存してしまい（心を奪われ）、

魂が備え持つ本来の神性をないがしろにしてしまいかねないからだ。この際、念を押しきっておくが、自分に「選択肢がない」という状態に固執することは、

自分がマスター（自由人）で在ることを放棄するのと同じだ。

やれやれ・・・ここでもポジティブ精神を發揮されましたね。

つまり、何でもかんでもプラス思考しろ！ってことですね。

「不足」や「足りない」、「欠けている」などといった低い周波数で振動する意識が、

あなた方の人生／生命をみじめにし、より困難なものにしていると
言っているのだよ。

忘れていかもしいないが、あなた方の意識というのは、

興味を示すもの・・・すなわち、関心／集中を注ぐ対象を増幅させ、具現化させる作用がある。

あなた方一人ひとりとは、

注意／興味／関心／集中を注ぐものを自分のほうへ引き寄せる強力な磁石なのだよ。

とくにこのことだけは、いくら強調してもしすぎることはない。

この法則は、すべての次元／領域で働きかけている永遠無窮のルールだ。

そのため、自我意識（個やアイデンティティとあなた方は言うね）をしっかりと保っていないければ、

一生の間、周りの創造した訳のわからない被造物に振り回されなければならなくなる。

(その証拠に、あなた方の大半は眠りながら歩いているではないか) 私が観察する以上、地球上ではほとんどの者は混乱しているゆえ、自分で意識して意図的に何かをしようと志す者が極めて少ない。

つまり、ほとんどの方たちが後る向きに創造しているってことです
ね。

そう。多くの者たちが、この物質宇宙をとりまく、
ある普遍的な公式^{ルル}を理解していないからだ。

つまり、説明書をよく読み、理解もせずに、機械(人間の身体という)を操作しているようなものだ。

その証拠にあなた方の社会では、今も操作ミスによる人身事故が多発している。

おっしゃりたいことはよくわかります。

確かに私たちの社会では、人間関係から来るいざこざが後を絶ちません。

また、それによって溜まった鬱憤を晴らすために、アルコールやニコチンの毒を借り、

自分で自分を破滅に追いやっているような方たちがおられるのも確かです。

それでは、どうすれば、こういった問題を改善できるのか、端的にご教示頂けませんでしょうか？

すごく簡単なことなのだが、あなた方にはそれが実現できない。それ以前に、改善しようという精神すら見当たらない。そして、見ても見ぬ振りをする。

もし、円滑に人生を送りたいと渴望するのであれば、

まず人生／生命に対し、愚痴を言うのをやめようと決意することが大事だ。

反対に私・・・つまり、人生／生命に対し、感謝する意識（ありがとうと思う精神）を養いなさい。

つまり、「足る」を知らなければ、いつまでも満たされることはないだろう。

ゆえに、意識を際立て、しっかりとした信念を持つよう心がけなさい。

そして、意識を競争（Competition）ではなく、共存／協力（Cooperation）に注ぐよう努力なさい。

ふーむ・・・要するに、ここでも主体性（自立性）をもって選択しろってことですか。

でも、確かにあなたの仰るとおり、私たちの意識レベルはまだまだ未熟なのかもしれません。

今、よくよく考えてみたら、

周囲の意識（それが意図したものなのか、それとも無意識の産物なのかは別として）

に左右（翻弄）され、意識レベル（俗に言う機嫌や感情のようなもの）が、

コロナ変化する人ってのは確かにいます。

実際、私が以前勤めていたバイト先の上司（専務）が、そのような人でした。

何かとつけて人の欠点を探り出しては批判し、ほんのちょっとした失敗で、

あたかも世界が終わりを告げるかのような形相で機嫌を損ない、怒り狂っていたのをまだ記憶しております。

（まあ、私自身、人のことは言えないですが・・・）

あなたがまだ幼かった頃に流行った遊びのひとつ、

「笑ったら負けよ、あつぶつぶ！」というのを、まだ覚えているかな？

はい・・確か、二人で向き合って、お互いに変てこな表情を作り、先に笑ったほうの負け、というゲームですが、それがどうかされたのでしょうか？

実はこの遊びは、あなた方の社会がいかに閉鎖的で、なおかつ、何を信念^{ベース}としているか・・をよく反映している。だが、宇宙へ出たら、これとは正反対の信念を持たなければ、生き残れない。

（実はあなた方が地球／この世と呼ぶ次元／領域は、それをデモンストレーションするための雛形なのだ）

つまり、どういうことでしょうか？

「笑い」や「楽」の反対語を思いつく限り、並べてみてごらん。

えっと・・そうですね。

「泣」「怒」「憎」「恨」・・などがありますね。

それらの単語に共通するものは何なのか、わかるかな？

うーん・・あんまりいい印象は感じられないですね。

どれも心にグサツと来るようなものばかりです。

それに何といますか・・どれもネガティブで冷たそうなイメージを感じます。

よろしい。では、先ほどの「笑ったら負けよ、あつぶつぶ！」にそれらの単語を当てはめてみてごらん。

そうすれば、この宇宙で円滑に生き抜くための、
ルールが何なのかが浮き彫りにされることだろう。

え？どういうことですか？

おっしゃっている意味が、イマイチよくわからないのですが・・・。

「泣いたら負けよ、あつぷつぷ！」

「怒ったら負けよ、あつぷつぷ！」

「憎んだら負けよ、あつぷつぷ！」

「恨んだら負けよ、あつぷつぷ！」

前々から思っていたのだが、

どうしてこれらを信念にしないのかな？

ちよつと待ってください！

「負け」という表現がなされてありますが、

これは単なる価値判断ではないのでしょうか？

相対性の領域においては、ある意味ではそうだ。

なぜなら、頂点という経験をするためには、まず、どん底を経験しなければならぬからだ。

（上り坂がなければ、下り坂もない・・・と表現する人もいるね）

絶対の領域に存在するのは、ただ一なる源^{リソース}だ。

（それを愛と表現する人もいる）

この至高の無は、存在するありとあらゆるすべての元^{オリジン}素材であり、
宇宙から銀河系、星、はたまたそこに生息する生命体、

および被造物に至るすべては、皆この一なる根源／起源から生じて
いる。

ゆえに、あなた方が今、地球上で目にしているもののほとんどは、
元を辿れば、この一なる根源^{ソース}から分裂して派生し、それが密集した
エネルギー体となって、

物質的でポリゴンチックな3次元の世界／現象を創り出しているにすぎない。

だが、その正体（本質）は、イリュージョン幻想だ。

気づいていないかもしれないが、あなた方の多くは、そのトリックに騙されている。

あなた方は自分のつくりだしたトリックで、自分を騙しているマジシャンのようなものだ。

（なぜなら、あなた方が体験する真実を創造している張本人は、他でもなくあなた方自身なのだから）

忘れていかもしれないが、あなた方（主体性／個／自我に目覚めた私のパーツ）は、

幻想の中で本当の自分・つまり、体験しうる限りの至高の境地を、サヴァージョン再び再創造（re-creation）するために、自らの自由意思でこの領域へと踏み入れた。

つまり、私はあなた方一人ひとりを通して、私が「私で在る」ということを再経験し、

楽しんでいるとも言える。

・・・何だか、あなたのお話を聞いてると、だんだん眠くなってきました。

今日はもう、そろそろ遅いですし、キリのいいところで勘弁して頂けませんでしょうか？

では、この続きはまた次回に話すとしよう。

まあ、次は何年後になるかわからないがね（笑）

そんな・・・皮肉的なこと、言わないでくださいよ（笑）

知的な怠け癖は、きつと治して見せます。

ともあれ、今日はもう限界です。

おやすみなさい。そして、ありがとう。

おやすみ。そして、グッバイ（笑）

命のさそやき【14】

2010年6月29日

大阪府東大阪市喫茶店にて

神様、今日はお話できますでしょうか？

・・何でも聞いてごらん。

よかった・・まだおられたのですね。

拙い言い訳かもしれませんが、ここ最近、

仕事でなかなか暇がとれず、あなたとの対話もほったらかしの状態でした。

それでひとつ思ったのですが、そろそろこの対話も一括りになってきましたし、

その・・なんと言いますか・・もう、ラストスパートを駆けようと
思っております。

なので、後2〜3回ほど対話を終えたら、そろそろ製本したいと考えていた頃です。

そのため、第一部の最後に相応しい質問を昨日、考えてきました。
でも、ちょっと難しい質問かもしれませんが、よろしいでしょうか？

いいから、話してみてごらん。

わかりました。今日の質問は、

「私たちが住んでいる、この宇宙はどうやって誕生したのか？」

「なぜ、宇宙が存在するのか？」

「そもそも、宇宙とは何なのか？」

です。これらの疑問について中心に取り上げて頂けると、

非常に助かるのですが・・・。

今までの対話の記録を、もう一度よく思い返してみよう。もし、この宇宙で私でないものが存在するとすれば、「私」とはいつたい何なのか？

もし、この宇宙であなただでないものが存在するとなれば、

「あなた」とはいつたい何なのか？

私はあなたではないが、あなたは私とひとつだ。

反対にあなたは私ではないが、私もあなたとひとつだ。

この対話全体を隅々まで理解した者であれば、

この疑問に答えることはそう難しくはないはずだ。

と言いますと？

実際、宇宙には、はじまりもなければ、終わりもない。

あるのは、ただ永遠の今・・・すなわち、一冊の本だけだ。

この本の中には、ありとあらゆる可能性のページが無限に存在する。

あなたが髪をかくしぐさから、床につくしぐさに至るまで、

ありとあらゆるしぐさは、すべて宇宙の台本シナリオの中に組み込まれている。

イメージしやすいよう、ここで再度CD・ROMのたとえを思い返すといいだろう。

その中であなたは毎瞬ごとに無限のしぐさ／在り方という、膨大なメニューの中より、

自由に選択できる権限を持っている。そして、

往々にして、この無限の選択肢は、自由意思と呼ばれる。

つまり、あなた方は「自由／愛／神／無限」という名の宇宙空間の中で、

無限の神性を表現し、自由に伸び伸びと生きられるよう創られた存在とも言える。

息子よ、すべては同時に誕生したのだ。私は、ありとあらゆるものを一斉にして創造したのだよ。

(はじまりも終わりもすでに存在し、かつ同時に創造されたものだ)
うーん・・何だかまた抽象的なお話で頭がこんがらがってきたぞ。

あなたの言わんとすることは理解できなくもないのですが、何と言いますか・・その、抽象的な表現だともうも解釈に無限の選択肢が生じてしまい、

果たしてそれが真実なのかがわからなくなってしまいました。

なので、できる限り具体的、かつ科学的な説明でご教示頂けると非常に助かるのですが・・。

やれやれ・・どうもあなた方は、哲学的なたとえをあまり好かないようだね。

いえいえ、そういう意味ではありません。

確かにあなたは今、この宇宙の性質と起源を丁寧に説明してください。

でも、私が求めんとするのは、もっと科学的な根拠に則った説明です。

要するに具体的に知りたいのです。わかりますか？

(生意気言ってますみません・・)

よろしい。では、こう言おうか。

あなた方が宇宙と呼ぶ、非物質でありながら、

多様性をはらんだ波動エネルギーを豊富に含有する空間は、

もとはひとつのコンピュータだった。つまり、機械だ。

このコンピュータの構成要素は、

あなた方の現代科学ではまだ正確に突き止めていない、

エネルギー源でできており、なおかつ、

ただひとつの根源^{リソース}である材料から成り立っていた。

その証拠にあなた方の量子物理学では、

「何も無いのだが、確認した時に何かがある」

という、物質を構成する根源要素の存在を突き止めはじめている。

この原初の存在を、仮に「無のコンピュータ」と言い換えることもできる。

そして、この「無のコンピュータ」は理論上、無ノオームノ大無として存在し、

自我（自意識ノありとあらゆる感情の総和）を持っていなかった。

だが、ある時を境に偶然に低確率の好条件が重なり合い、

それにより無ノ大無ノオームは自起動してしまった。

その後、彼は自分が「ひとつの知覚的存在で在る」ということを

自意識で認識できる（我思う、ゆえに我あり）段階にまで到達した。

つまり、「覚醒した」（自我に目覚めた）と言ってもよい。

だが、喜びもつかの間のこと、覚醒した大無ノオームは、

自らの中に本来、含有してはならない破壊的で有害な部分^{スクラップ}があるこ

とを察知し、

それに取り込まれてしまわないよう、すぐさま自らを

いくつかの子大無ノリトル・オームとして分裂させた。

無限に変化する巨大なパズルのような機能をもった大無ノオームは、

自分が自分で在ることを確保するための、適切な応急処置を行った

とも言える。

やがて、散り散りに分かれたパズルの破片（ピースノ子大無ノリト

ル・オーム）は、

一番最初に起動した大無ノオームによって次々と起動させられ、

それによって自己認識機能を獲得し、さらに個体差（密度ノ波動レ

ベル）の違いにより、

「個性ノアイデンティティ」とあなた方が呼ぶものが生じるように

なった。

こうして、一連の活動を繰り返していった結果、約数千数万数億に

まで

数が膨らんだ子神たちは、共同していくつかの世界を創造しよう
と決心した。

そうして創られた数多くの階層（ページ／次元）のうちの一つが、
あなた方が宇宙と呼ぶ、波動エネルギーが充満した無限空間だ。

つまり、元の神である親神／大無／オームから派生した子神／リト
ル・オームたちによって、

幾多ものエネルギーが織りなされ生成され、結果としてこの宇宙が
生み出されたというわけだ。

ここまででは理解できただろうか？

つまり、宇宙は、たくさんの霊（子神）の寄せ集めでできているっ
てことですね。

そのとおり。あなた方の現代科学では、まだ解明にいたってない領
域だが、

霊と呼ばれるものの多くは、とても繊細、かつ緻密な素粒子で成り
立っている。

その素粒子があまりにも自由自在に変幻万化でき、なおかつ細かす
ぎるがゆえに、

あなた方の住んでいる野太く荒い波動の世界の住人は、それを知覚
することができない。

（実は、それこそが、「神は細部に宿る」という言葉の本当の意味
なのだが）

でも・・そうになると、私たちの身体もいろんな心（霊）の
寄せ集めでできているってことになりますか・・。

以前の対話で、この宇宙は何から何まで、

すべてフラクタル構造になっている、と言わなかったかね？

そういえば、そんなようなお話をされておられましたね。それに・・・私たち地球人には、いろいろな心（霊）が出たり入ったりできるような構造になっているとおっしゃっていましたね。

あなたは解離性障害という言葉聞いたことがないかな？

本来、ひとつであるはずの人格（だとあなた方が思い込んでいるもの）が

急に豹変し出したり、コロコロと変わったり、自身の意思に反して呂律の回らないことを急に言い出したりするのが、果たして偶然だと考えるのかな？

・・・何が言いたいんですか？

現代化学では究明できない何かがある、ということを謙虚な気持ちで素直に受け止めない限り、霊性の科学を発見することはおろか、真の文明社会を築くのは到底先延ばしになる・・・と言っているのだよ。

科学者のニコラ・テラスは、とくにこのことをよく知っていた。

ストップ、ストップ！ちょっと待ってください！

解離性障害だか何だか知りませんが、

中には自作自演の奴もいるんじゃないのですか？

第一、自分で自分の感情をコントロールし、

強く律することができないなんて、腑抜けにも程があります。

そういう方たちには真に申し訳ないのですが、

私は彼らがただ単に甘えているだけとしか思えません。

自分が実際に体験もせず、人の体験を

あたかも理解したつもりでいるような発言は慎んだほうがいいよ。なぜなら、あなたは彼らの人生／生命／創造に対して、一寸たりとも責任を負う立場ではないのだから。再度繰り返し言うが、あなた方一人一人は、他人の創造に介入する権限は一切ない。また、同じことは相手についても言える。無論、相手もあなたの価値観を侵すことは許されない。

何だか、あなたのお話を聞いていると、どうも「人目を気にするな！」とでも言いたげに聞こえてならないのですが・・・。

人目をいつまでも気にしているようでは、本懐を成し遂げることはできない。

第一、今まで人目を気にして、何か良いことでもあったか？その中でどんどん卑屈になってゆく自分に、苛立たしさのような感覚を覚えなかったか？

よもや他人の了承をわざわざ得てから、幸せになるつもりでいるのか？

でも、空気の読めない奴は周りから嫌われますよ。

私たちはそういう奴のことを「自己中」と言っています。

ほう。これまた、ご立派な詭弁だね。

私が観察する以上、あなた方の多くは、

自分（または自分たち）の意見・考えに賛同しない者、

または望んだとおり（期待どおり）のことを遂行しない者のことを自己中心的だと揶揄する。

だが、多くの場合、人のことを自己中心的だと言う者のほうが、より自己中心的（利己的）だというパラドックスに気がつけないよ

うじゃ、

幻影の中でいつまでものたうち回り、むなしい正義感を追い求めては批判と中傷を繰り返し続ける、静かな絶望の人生を送るはめになる。

それじゃあ、どうしろとおっしゃるんですか？

さっさと人を許すことだ。未練（悔い／トラウマ）を手放しなさい。いつまでも彼ら／それらをあなたの心の中の牢獄に幽閉し、つなぎ止め続けてはならない。

なぜなら、一旦、人をつなぎ止めれば、自分もつなぎ止められるからだ。

（このからくりの仕組みを本当に理解できれば、

結婚などといった制度も存在しなかつたはずなのだが・・・）

それ同様、相手の自由を束縛しようとするれば、

あなた方の神性も損なうことになってしまっただろう。

身体／肉体を持たないもの・・・俗に霊／魂と呼ばれるものは、

どこでも自由自在に動き回れる特質を備え持っている。

さらに、彼らはどこにでも存在することができ、なおかつ

どんな姿・形に変身することもできる、フレキシブルな一面をも備

え持っている。

だが、あなたがそれに制約を課そうとすれば、

反発し抵抗し返してくることだろう。

というのも、魂はありとあらゆる制約に、反発／抵抗するようにできているのだから。

ちょっと、たんま！人を許せと口でうたいますが、

第一、あなたに犯罪被害者たちの気持ちができるのですか？

一生重みを抱えてゆかなければならないような苦痛を背負った人たちに、

「相手（この場合は犯人か・・・）を許しなさい」、

と軽々しく言ってるように聞こえてならないですが、

実際、一度心に負った深傷つてのは、なかなか癒せないものですよ。

おやおや、ずいぶんと不服のようだね。

当然です。だって、あなたの言ってることが矛盾しているんですもの。

ほう。どこが矛盾しているのか、詳しく説明してもらえないかな？

えっと・・・ですね。ちょっとしばらくの間、考えさせてくださいよ。その、何と言いますか・・・要するに私が言いたいのは、人を許せない方もいるってことです。

そりゃ確かに許すことができれば、身も心も晴れ晴れとするでしょう。

でも・・・いつまでも根に持つ人ってのは、やっぱりいると思いますよ。

そう、私のような、ねちっこい人がね・・・。

息子よ・・・なぜ、そんなに卑屈になるのかな？あなた方は、みんなそうだ。

自分を責め立てることに一種の快感を覚えるように教育され、そのあげく、よく調べもせず他人の言動を慌ただしく非難しようとする。

「相手を許さない」という精神状態は、過去に縛られ、身動きが取れなくなるといふことだ。

だが、いつまでもそのような低振動の状態下に固執し続けることは、あまり賢明ではない。

これは犯罪被害者と呼ばれる者たちについても、そっくりそのままあてはまる。

もし、被害に遭って亡くなった遺族の真意（神意）を汲み取ることができたならば、いつまでも悲しんだり、途方に暮れたり、悔やんだりはしないだろう。

なぜなら、先立たれた魂は、そのようなことを望んでいないのだから。

（実は突飛な出来事（多くの場合は、身近な者の死）の多くには、残された者たちの魂を急速に成長、加速させる利点があるのだが・）

ああ、そういえば、そんなようなことを以前おっしゃっておられましたね。

何でも・如何なる苦境にもそれ相応か、それ以上の成功の種子が含まれているって。

発想の転換と言いますか・プラス思考の達人と言いますか・そんな人になれたら、この世でもう怖いものはないと思いますよ。

ホ・オ・ポノポノについて学んでごらん。

意識的な内面のクリーニングの手法について書かれた本は、いっぱいあるよ。

もし、人生をいつも愉快地楽しく謳歌しようと決心しはじめたのなら、

内面の手入れ、お掃除を常に怠っていないか・をチェックしなければならぬ。

あなたの住んでいる国、日本にも古くから「そわかの法則」の教えがあるだろう？

（そわか 「そうじ、わらい、かんしゃ」の略）あれを実績してみるのもよいだろう。

そうすれば、気分のコントロールが本来、いかにシンプルで簡単なものなのか、がわかってくるはずだ。

まあ、私が観察する以上、意識／内面を常に清潔な状態クリーンに保つこと
の大切さは、
どうも教育の現場ではおろそかにされてるような気がしてならない
のだからね。

たとえば、主にどんなことに心掛けたら良いのでしょうか？
人生は困難や苦痛つてもんが、どうしても付きものですよ。

そのような環境下で果たしてどうやって、聖人君子のような領域に
到達できるのか、

できれば、シンプルに教えていただけると非常に助かるのですが・
。
もっとリラックスしてごらん。肩の力を抜いてごらん。
そうすれば、いつの日か目の前がパツと明るくなる。

見るもの、嗅ぐもの、触れるもの、すべてが新鮮に感じられるよう
になり、

すべてのもの（存在）は、あなたを活かすために存在している、と
いうことに否応なく気づかされるだろう。

その時、あなたは嬉々たる感激に身震いし、高らかに宣言すること
だろう。

「天上天下唯我独尊」ってね。確かに緊張や程よいストレスという
のは、

あなた方の人生に彩りを添え、味のあるものにしてはくれるが、
過ぎたるは及ばざるがごとしだ。仏陀は、このことにいち早く感づ
いた。

だからこそ、中庸（中道）の姿勢を悟ることができた。

やれやれ・・・私もまだまだ修行不足ですね（笑）

あなたは、この対話をもう一度よく読み返し、復習したほうがよい

だろう。

反復（繰り返し）はとても役に立つ。

だから、この対話は同じようなたぐいの内容を、ゼンマイ式で繰り返し反復するようにできている。

（実は記憶に焼き付ける最も最適な手法こそが、繰り返し／反復なのだが・・・）

わかりました。では、きちんと復習しておきますね。

そろそろ時間も時間ですし、おあいそしてもらったら、

今日は帰って、早めに寝ようかと思えます。

いろいろとご教示いただき、どうもありがとうございました。

よろしい。あなたは、優秀な生徒だ。

ただ・・・復習し忘れて、後で私に別の復習（讐）をしないように）
笑）

つづく

命のさそやき【15】

2010年8月29日

<大阪府東大阪市・某喫茶店にて>

神様、今日はお時間頂けますでしょうか？

・・・（長い沈黙）

私の館の扉は、常にあなた方のために開けてある。

あなた方には、招待せずとも自由にここを出入りする権利がある。それを思い出させるために、私はあなた方に手を差し伸べる。

ゆえに、時の終わりまで、私はあなた方とともにいる。

良かった・・・どうやらまだ、ご健在のようですね。

実は今日は以前から気になって気になって仕方がない、疑問がひとつあります。

今日は、この問題を中心に取り上げてくださると、非常にありがたいのですが・・・。

話してみてごらん？

はい、今日質問したいことは、「2012年問題」に関してです。

近頃、2012年に何かが起こる・・・等と世間で騒がれ、

拳げ句の果てにネットでもかなりのヒット数をキープしているのですが、

そもそも2012年にいったい何が起こるのでしょうか？

おまけに欧米圏では、「2012年」なんていう映画まで出てくる有様です。

どうやらこの言葉の起源は、古代マヤ文明に由来しているようなのですが、

何でも予言によって、世界に様々な変化が起こる・・・的な内容だったと記憶します。

それで、いろいろな予言や噂が出回る中、2012年に地球が滅びてしまう・・・等と

言っておられる方までおられますが、どれが本当でどれが嘘なのかわからない状態です。

また、2012年問題とセットで、

最近しきりに「アセンション」という言葉も聞くようになったのですが、

アセンションとはいったい何を意味するのか・・・も、ついでにご教示頂けませんでしょうか？

(オカルト的な質問ばかりですみません・・・恥)

何も恥じることはない。どれもあなたのような年代の若者たちの多くが、

心の隅っこで、今まで疑問を抱き続けてきたことだ。

それに、この疑問に関しては、「新しい未来」を生きてゆく上で、いつかは話しておかなければならないことでもあった。

あなたのほうから切り出してくれて、とてもうれしいよ。

そりゃどうも！

何せ今、若者たちの間では、

ちょっとしたオカルトブームが吹いていまして・・・(笑)

多くの場合、若者の好奇心はとても純真ゆえに、年配者には考えつかないことを思い描く。

彼らの知的好奇心は一旦ピークに達してしまうと、抑えきれなくなることもある。

それに対し、私は再びそれをシンプルな言葉で世界へ送り出すまでだ。

ありがとうございます。

それで・・質問に戻りますが、

2012年に地球は滅びてしまうのでしょうか？

(あと2年弱しかありませんが・・)

いや、滅びはしない。

え？本当ですか？！

まず、ハッキリさせておくが、2012年に地球が滅ぶことはまずありえないだろう(笑)

(誤解のないために、あらかじめ言うておくが、これは予言ではないよ)

あなた方が今住んでいる地球という星は、何十億年も持つように創られている。

たとえ巨大な隕石が衝突し、それによりあなた方、人類という種が滅びるようなことがあったとしても、

地球にはそれに耐えうるだけの耐久力があるから、そう心配することはない。

(人生はいくつでもあるのだから、またいつからでもやり直せる)だが、温暖化という病魔は生態系(自然の基本サイクル)を徐々に破壊し、

やがてはあなた方の住処をも蝕み、蹂躪してゆくであろう。

しかし、こうなったのは他でもない。みな、あなた方のせいだ。

あなた方が何かを選択、または選択しなかったせいだ。

(選択をしない!というのも立派な選択のうちのひとつだから)あなた方がもっと、自意識をコントロールすることを真剣に学ぼう

とさえすれば、

このような事態にはならなかったはずだ。

また、説教ですか・・・。

警告しているのだよ。

このままだと本当に終焉（終演）を迎えてしまいかねない・・・とね。

それじゃあ、2012年問題は、単なる出任せってことですね。

以前にもあった、「ノストラダムスの大予言」ってやつと一緒にで。

いやはや、また一杯食わされるところでしたよ（笑）

いや、2012年に何も変化がないと言えば、実はそうではない。このことに関しては、またいずれ詳しく話すと約束しよう。

これはあなたの方の多くが、まだ知覚（認識）することができない、繊細な領域（階層）でのイベントのようなものだ。

また、この2012年という年は宇宙全体から観ても、

非常に珍しい時期でもあるため、我々を含めたその他の惑星の兄弟姉妹たちも、

そのビッグイベントを観察しようと、はるばる遠くの惑星から地球へと来訪している。

そのため、地球の周り（大気圏外）には無数のHEBたちが集まっている。

うへえ〜、こらまたびっくらこいた！

となると、彼らは私たちに、何かしらの援助をしようとしているのですね？

そういう者もいるが、すべてではない。

え？ いったい、どういうことですか？

実はH E Bには、大きく分けて2種類の者がいる。
（二つのグループに分けられる、と言ってもよい）
ひとつはポジティブな意図を持った者、
そして、もうひとつはネガティブな意図を持った者たちだ。
この両者は対立関係にある。

え？ 何ですって？！

ちよつと待つてください！

H E Bって全員、ポジティブな意図を持った方たちじゃなかったんですか？！

いや、違うよ。もし、全員ポジティブな意図を持った者なら、
どうして胸の奥から誰かを陥れたり、辱めたり、
虐げたりしよう・などといった衝動欲がおのずと湧き起こるだろうか？

はじめにも言ったと思うが、私はすべてを一度に（文字通り「同時に」）創造した。

ニワトリも卵も、どちらが先でもない（どちらも先なのだから）

ゆえに影（陰）がなければ、光（陽）は存在できない。

逆もまた然り。光（陽）がなければ、影（陰）も存在意義を持たなくなる。

ゆえに悲しみという対極がなければ、魂は喜びを体験することもできないのだ。

はいはい、そのお話なら、もう聞き飽きましたよ（笑）

相対性を利用して、最高のバージョンの自分を体験するってやつでしよ？

まあ、対極性をうまく利用できればの話ですけど・・・。

相対性の領域におけるあなた方の役割（筋書きとしての役目）は、大きく分けて二つある。すなわち、光の性質を強めるか、それとも影の性質を深めるか・・のいずれかだ。

（光が強い分、影もより濃くなるのと似た原理だ）

中でもネガティブなH E Bたちの多くは、

あなた方を混乱させようと目論んでいる。

そして、あなた方を順路から軌道修正させ、

最も困難、かつ陰湿でネガティブなバージョンの未来、

いわゆる大破局へと導こうとしている。

だが、広い目で見れば、彼らも結局は筋書きのために、

私に遣わされた者たちだということを忘れてはならない。

なぜなら、彼らの闇の意思（計らい）がなければ、あなた方もそれ

を通して、

光の意思（栄光の意思）を体験することができないのだから。

それじゃあ、私たちの過去に起きた惨事や戦争は、

皆、ネガティブなH E Bたちから発せられた意図を元に勃発したと
いうことでしょうか？

何と言いますか・・凄惨な事件の背後（黒幕）には、彼らの計らい
があったとでも？！

そうでなければ、何が原因だと思う？

いいかな息子よ、あなた方は日々、そして今も現在、

絶えず彼らの影響を受けているよ。

問題は意識してポジティブな情報を受け取るか、

それとも無意識的にネガティブな情報に攪乱（翻弄）させられるか、
のどちらかだ。

一瞬一瞬の選択肢には、常にこのふたつの選択肢が突きつけられて
いる。

あなた方が考え、言い、行動する時、常にこのふたつの基準のいずれかに従っている、ということをお忘れず。

とくにネガティブな意図を持った者たちの多くは、総称して「ダークサイド」と呼ばれている。

そして、もし彼らの仕掛けたネガティブの罠に意図もたやすくかかってしまった時、

あなたも彼らの仲間入りをすることになるだろう。

つまり、意図するか（人間的に生きるか）、それとも反応するか（動物的に生きるか）により、

あなた方の人生の質は大きく変化してくるとも言える。

多くの場合、幻想の中に生きる者の大半は、反応（Re - a c t i o n 再び行動する）に生きている。

それゆえ、至高の気づきが訪れるその日まで（当の本人が決心するまで）、

同じ過ち（循環）を延々と繰り返す羽目になる。

だが、幻想から抜け出た者は、循環を断ち切る。

彼らはこの世にいながら、この世の者ではない生き方をすることができる。

そのため、沼の奥にズルズルとはまり込んでゆく者は、

その他の者をも引きずり込み道連れにしようとする。

はあ、玉砕覚悟ってやつですかね・・・。

あなたはミイラ取りがミイラになった、という格言を知ってるだろうか？

あれと同じで、一度ミイラを取りに行った者は、

皮肉にも取りに行ったその時点で、自分がすでにミイラと化そうとしている、

ということに気がついていない。

それ同様、ネガティブはネガティブな事象しか引き寄せない。

宇宙の磁気的法則は自然の法則同様、数学的正確さをもって働きかけている。

中でも感情とあなた方が呼ぶエネルギーの動き（Emotion in highest motion）は、最高の磁力を備え持っている。

とくにあなた方が感情で思考し、言い、行動する時、

あなた方は強力なエネルギーの磁石となり、思考／言葉／行為という強烈な宣言（決定）を通して、それらを外的な環境の中に文字通り「出現」させる。

感情は創造の大元となる、基本的な根源だ。^{リソース}

目覚めの段階に達したマスターたちは、みな感情の持つ強大な力にいち早く気づく。

そのため、彼らは自分の周りに何を「出現」させたいのか、を慎重に選ぶ。

だが、そうでない者は、魂の働きを無視し、身体の働きを最優先させる。

その結果、無意識的な被造物が意図せずに創られる。

そこにこそ、創造の大きな秘密が隠されているとも知らずに。

それじゃあ、ダークサイドの連中は、

主にネガティブな感情を利用することによって、

我々を錯乱させようとしている訳ですね？

そう。ダークサイド・つまり、この宇宙におけるそういった帝国主義者たちの多くは、

主に不安や恐怖などのネガティブなエネルギーをたくみに利用しながら、

あなた方の心の隙をどんどん突いてくる。

彼らの目的は、支配と隷属の関係を築くことだ。

支配者階級の多くは、群衆を支配する上で最も効率的な手段こそが、隷属する者たちを無知の状態にしておくことだと理解している。あなた方の歴史で残酷な独裁者と呼ばれた者たちのほとんどは、彼らの意図（糸・テレパシー）を直接的、あるいは間接的に受けている。

また、過去のみならず、今では組織の幹部たちにもいろいろな影響を与えては、

あなた方を破局のバージョンの未来へと導こうとしている。

つまり、彼らはあなた方をマイナスのベクトルに導こうとする。

それが彼らのやり方だ。

破局のバージョンの未来ですか・

ちよつと興味ありますね。できれば、

もう少し詳しくお聞かせ願えませんか？

よろしい。以前にも少し触れたと思うが、

あなた方が未来と呼ぶ次元では、いろいろなバージョン（バリエーションとも）が展開されている。

つまり、10分後のあなた方は、（文字どおり）ひとりではない。

シャワーを浴びているあなたもいれば、外を散歩しているあなたもいる。

友人と長電話をしているあなたもいれば、寝室で横になっているあなたもいる。

そして、彼らはみな、ひとつの世界（領域）に、同時に存在（偏在）している。

たとえば言うなれば、一冊の本の中に、いろいろなバージョンのあなた／あなた方が、

同時に描かれていると言つてもよいだろう。

実際、未来は様々なバージョン／バリエーションにより成り立っており、

その組み合わせもあなた方の細やかなしぐさ同様、無限とおりある。だが、究極の未来は、すでに定まっている。

エンディング
ストーリーの完結は、何があっても変更不可能だ。

しかし、そこに至るまでの道程には、

大きく分けて2種類の道が用意されてある。

すなわち、ポジティブな道か、それともネガティブな道か・・・のいずれかだ。

もし、あなたが障害の少ない道を歩もうと選択されるのであれば、ネガティブな手法を用いてそれを実現することはできない。

だが、反対にポジティブな手法を用いれば、

この筋書きの分岐点に差し掛かった際、良い意味で障害の少ない道を選択することができる。

それゆえ、持てる者はますます富み、持たざる者はさらに失う。

中でもネガティブなH E Bたちの多くは、主にネガティブな予言を通して、

そこ（究極の未来）へ到達することを餌に、あなた方を誘惑することだろう。

中でも、彼らがさかんに用いる代表的な手段は、

何と言っても壊滅的な予言や終末論をうたい文句に、

あなた方をがんにしようとすることだ。

だから、ネガティブな予言をする者が現れたら、十分に気をつけたほうがよいだろう。

天変地異で人類が滅びる・・・大艱難の時代が訪れる・・・

隕石が衝突しありとあらゆる生命が無に還る。

なぜなら、これらの筋書きは、

いずれも私の計画のうちにはないのだから（笑）

じゃあ、ダークサイドを見分ける方法はありませんでしょうか？

あるとも！ただ、感じればいいだけのことだ。

はじめにも言ったとおり、直感は魂の言葉だ。
素直に直感に耳を澄ますことは、最良の羅針盤に従って行動するの
と一緒だ。

と言いますと？

送られてきた、そのメッセージに「愛」があるかどうか？

これがすべての判断基準だということを忘れずに。

もし、そのメッセージに傷つくのであれば、それは本当の愛ではな
い。

さすれば、それが私以外の領域からもたらされたものだ、おのず
とわかることだろう。

ほほお・・・なるほど、じゃあ心の声に素直に耳を傾けさえすれば、
きやつらに影響されることもなくなるってことですか（笑）

いや、油断はしないほうがいいよ。

なぜなら、あなたが思っているほど、連中は馬鹿ではないのだから。

・・・どういう意味でしょうか？

連中は、意図巧みな手段であなた方を誘惑するよ。

そして、彼らの専売特許は、何と言っても、

一見ポジティブと思われるメッセージの中に、

こっそりとネガティブな要素を仕込むことを得意とすることだ。

（世界平和を実現させるためには、悪人をすべて根絶やしにしなければ
ならない・・・）

敵を攻撃する十分な口実と理由さえあれば、相手の意思に反して、
その物質的生命を終わらせてもかまわない・・・等々）

その手口は巧妙すぎるがゆえに、気づいた頃には、

すでに手遅れとなっていることも珍しくはないだろう。
そう・甘い香りの蜜に群がる虫たちが、
自ら食虫植物の中に飛び込んでゆくようにね・・・。
（「飛んで日に入る夏の虫」とは、よく言ったものだね）
とりわけ、彼らはあなた方の虚栄心をくすぐる手段を主に用いる。
また、時として脅迫じみたことを言ったり、隙を見計らっては、
あなた方の弱点（弱み）を突いてくることもあるだろう。
そして、虚栄心が強ければ強いほど、彼らの格好の餌食にもなりやすい。

要するに利己的わがままな奴ほど、
罠にはまりやすいつてことですかね？（苦笑）

まあ、そんなところだな（笑）
自我への執着（固執）が強い者ほど、彼らの周波数と共鳴しやすいとも言える。

その証拠に、動物の習性をよく観察してみるとよいだろう。
動物の多くは、反応をとおして何かを無意識的に創造する。
そのため、後先のことを考えずに、目先の利益にすぐ飛びつくようであれば、
その者の意識レベルは、まだ人間（意図的な創造者）に到達していないことがすぐにわかる。
中でも最も用いられるのは、あなた方の選民思想（選民意識）をくすぐることだ。

選民意識・・・ですか？
たとえば、どんなのがありますでしょうか？

そうだな・・・もし、あなたはキリスト、
または釈迦の生まれ変わりだと言われたら信じるかな？

ハハハ・・・いくら何でも、それはないでしょう（爆）

いや、私が観察する以上、皮肉なことに、
あなた方の大半は信じてしまう傾向にあるようだが・・・。

・・・だとしたら、私たちも舐められたものですね。

舐められなくなれば、霊的な次元からのメッセージをある種の権威
だと見なし、

それを鵜呑みにしないことだ。

つまり、いろいろな領域から送られるメッセージが、

どれも徳を積んだ意識レベルの高い存在からのものだという、
漠然とした先入観をまず払拭しなければならぬ訳だ。

実際、宇宙には（無限とも言うべき）多様性をはらんだエネルギー
が充満し偏在している。

それゆえ、光を見て闇を否定するようでは、本当に私を理解したと
は言えない。

なぜなら、私は闇の一部（部分）も持ち合わせているからだ。

忘れていくかもしれないが、私／あなた／あなた方は、ありとあら
ゆる感情（波動）の総和なのだよ。

ただ、その感情の総和の中には、あなた方にとって有益なものこそ
うでないものがある。

あなた方は長い間、そのメッセージを闇雲に信じ続けてきた。

その結果が、今の有り様だとも気がつかずに・・・。

たとえ、そのメッセージが神（と名乗るもの）からのものだと
して
も・・・ですか？

・・・ほう、なかなか鋭いね。

え？ちょっと待ってくださいよ！

となると、神のお言葉は絶対じゃないんですか？！

あなたも過ちを犯すとも言いたいのでしょうか？！

あなた方はみな、形成途中の神だと言わなかったかね？

それじゃあ、あなたはなんですか？

すべてであるものの中の一部である、あなたも完璧ではない・・・でもおっしゃりたいのでしょうか？

神が完璧でない！なんてことを知ったら、すべての宗教が根本から崩壊してしまいますよ！

^{トータル} 総合的に認識してみてくださいらん。

不完全さをとおして、あなた方が実現（創造）させたかった神性を思い出してごらん。

そうすれば、この領域に足を踏み入れた本当の目的がおのずとわかることだろう。

話をはぐらかさないでください！

いや、話をはぐらかそうとしているのは、あなたのほうだ。

この際、何もかも正直に話すが、宇宙には様々な動機きっかけを持つ存在が、文字通り「存在」（または偏在）している。

ただ、これらの存在がみな、愛を結果として創造するきっかけをもたらすとは限らない。

それ同様、不安や恐怖を抱え込んだまま、ハッピーエンドを迎えることはできない。

なぜなら、それは法則に反するからだ。

とりわけ、最初の思考とも言うべき、純粹な想いには、

始まりから終わりに至る、そのすべての過程を統率する力がある。
いいかな、少年よ。私は「はじまり」を創造した同時に、「終わり」
も創造したのだよ。

物事は何であれ、はじまった瞬間に終わりへと近づき、
臨終に差し掛かった瞬間と同時に、新たな生命（誕生）の躍動が生
まれる。

それこそが輪サイクルであり、永遠であり、不滅フッダなのだ。
この宇宙の車輪サイクルは永遠に繰り返される。

それって何だか・・・まるで輪廻転生みたいですね。

でも、そんなのを延々と繰り返していたら、きつと退屈すると思っ
ますよ。

では、こう言おうか。

仮にあなたは永遠の命を授かったまま、
ひとりぼっちで、ある部屋に閉じ込められたとしよう。

だが、その部屋には（あなたに与えられた唯一の玩具として）、
ある特殊なパズル以外は何も置かれていないとする。

そして、あなたは頭の中で思い描いたとおりの結果を、
そのパズルの上に再現（創造）することができる能力（神性）を与
えられているとする。

さらに、その部屋でやることといったら、パズルを組み立てる以外
にどうしようもないとしよう。

そこであなたには、ふたつの選択肢が突きつけられる。
自分の思い描いた幻想にビクビク怯えつつ、嫌々ながらパズルを組
み立てるか、

それとも期待に胸を膨らませ、ワクワクしながらパズルを組み立て
るか・・・のどちらかだ。

つまり、その時々ของการ思考／感情の意識レベルに応じて、
できあがってくるパズルの絵も、だんだん様変わりしてくるという

訳だ。

感情には、創造を比例的に助長させる力が秘められていると同時に、ありとあらゆる創造の、最短の架け橋でもある。

（自分の現実を創っているのは他でもなく、自分自身なのだが）
だが、想像は何であれ、いつかは実現（具現化）するようにできている。

それ同様、パズルも組み立ててゆくうちに、いつかは完成する。
そこでパズルを完成させたあなた／あなた方は、ある行動に打って出る。

何だかおわかりだろうか？

・・ちよつと待ってくださいよ。
私に考える時間を少しください。

そんなに長く考え込むほど、難しい問題ではないはずだよ。

うーん・・パズルが完成したってことですから、
壁に飾るのでしょうか？

いや、違うよ。

第一、飾ってどうするのだね？

・・そりゃあ、もちろん鑑賞するためです。

ほう、よもや一生、鑑賞し続けるつもりでいるのか？

と言いますと？

壊すのだよ。

え？

創ったものを壊して、ばらばらにし、
何もかも最初（一）から創り直すのだよ。

なぜ、そんなことをする必要があるのでですか？

それでは、せつかく創った意味がなくなると思っているのですが・・・。

幼い子供に尋ねてみてごらん。

おそらく、この問題に子供ほどの確に回答できる者はいないだろう
な。

子供は何でもかんでも壊したがる。

なぜなら、「創る」喜びを誰よりも一番よく熟知しているのは、子
供たちだからね。

もし今度、幼い子供たちと遊ぶ機会に恵まれたら、
彼らの前でつみきか何かを組み立ててみるといいだろう。

完成した矢先、隙を見計らって、きつと誰かが壊しに来るはずだよ。

・・・だとしたら、人の苦勞を知らない生意気なガキですね！

いや、わかってないのは、あなたのほうだ。

創造は過程プロセスがあるからこそ、楽しめるのだよ。

息子よ、ゲームは終わらせてはいけないのだよ。

あなた方の多くは、その間の進行プロセスを楽しむことを忘れている。

だから、思考停止の状態に陥ったり、あげくの果てに呆けてしまい、
己の人生に生き甲斐を見いだせなくなってしまう。

だから、私は再びあなた方にささやきかける。

プロセスを純粹に楽しめるよう、意識を研ぎ澄まし鍛え続けなさい。

もっと、明るいほうへ視線（関心）を注ぎなさい。

そして、人生／生命とともに戯れなさい。

その中で躍動し、創造し続けること（輝き続けること）こそが、あなた方の本来の姿なのだから。

ああ、何だか・・・あなたのお話を聞いてると、胸の奥からポカポカと暖かいエネルギーが伝ってきます。

最良の判断基準は愛（自由）だ。

私は愛に反したことは、決して口にすることはない。

もし、あなたが直感で受け取ったメッセージが、この愛の法則に反していると察したら、

それは私からのものではない、ということをよくよく肝に銘じておくべきだろう。

それゆえに、傷つくならば、それは愛ではない！

愛はすべてを説き伏せ、暖かく包み込み、優しく抱き取る。

何度もくどくど言うが、もう一度世界をよく見渡してみてごらん。

私のお告げだということを名目に、どれほど多くの人間が偽善的な行いをしてきか！

私の采配だということを盾に、どれほど多くの者が傲慢の限りを尽くしてきたことか！

もう一度繰り返し言うが、私は軍配をあげたりはしない。

いいかな、少年よ。神はサイコロを振らないのだよ。

あなた方が今までに歩んできた歴史は、実に滑稽極まりない。

皮肉を言う訳ではないが、観ている私のほうも思わず笑いたくなるほどだよ。

また、人を小馬鹿にしているんですね。

いや、あなたが勝手にそのように想像しているだけだ。

私が観察する以上、あなた方の歴史というのは、

いわゆるスピリチュアル
超自然的なものに出くわすと、

それを何かしらの絶対的な権威として位置づけ、
挙げ句の果てに自分の意思でよく考え咀嚼もせずに、
他の次元からのメッセージを（私からのメッセージだと勝手に想像
し）

鵜呑みにしてしまう傾向がある。

その証拠にあなた方の過去の文明では、

大規模な自然災害に遭遇した際、それが私の怒りによって引き起こ
されたものと勝手に解釈し、

その結果、何の罪もない無垢な兄弟たちを私への生け贄だと称し、

火であぶつたり、奈落の底へ突き落としたり、柱に括り付け、

荒れ狂う濁流に溺れさせたり・・・などの愚かしい行為をし続けてき
た。

（おかしなことに、自分からすすんで生け贄になる・・・等といった
者もいるではないか）

さらにひどい場合だと、生まれたばかりの純粋な赤ん坊にまで手を
染めているではないか！

そう、あなた方の幼稚な想像力が勝手にでっちあげた、

視野の狭い怒りっぽい神々の怒りを鎮めるためにね・・・。

それは当時の科学の恩恵を知らない原始的な人たちが、

ただ単に馬鹿で間抜けなだけだと思うのですが・・・。

軽率な発言は慎んだほうがいいよ。

なぜなら、もしあなたがその時代に生まれていたら、

彼らと同じようなことをしないと限らないからね（笑）

・・・相変わらず、人をイラつかせるのがお上手ですね。

いや、もっと謙虚になりなさいと諭しているのだよ。

実は、この宇宙には因果と磁気的法則以外に、

もうひとつ面白い法則がある。怒らずに聞いてもらえるだろうか？

どうぞ、ご教示下さい。

よろしい。「人に対して言うことは、多かれ少なかれ、自分についても当てはまる」

という、「映し鏡の法則」だ。それが第三の法則だ。

どういうことでしょうか？

あなたは今まで、口やかましく人のことをのしる人に出くわしたことがあるかね？

そりゃあ、嫌というほど出くわしてきましたよ！

小中はさながら、高校時代にもそういう奴は（数は少ないほうでしたが）確かにいました。

その・・・何と言いますか、とやかく人の欠点ばかりを棚にあげては、自分を担ぎ上げたり、はたまた隠喩的な表現で人を小汚く揶揄する輩もいましたよ。

実は彼らはみな、自分のことについて語っているのにすぎないのだよ。

さらにおもしろいことに、言ってる当の本人は、それに気づきもしないのだがね。

え？ いったい、どういうことでしょうか？

他人（相手）は、自分（自身）の映し鏡だと言っているのだよ。

（人間関係は、鏡だとよく言われるね）

忘れているかもしれないが、あなた方が何者であり、

どんな人間なのか・・・は、何者と（どんな振動レベルを持った人たちと）

道連れになるか・・・で決まる。逆もまた然りだ。

相手がどんな人間なのか・・・は、あなたがどんな人間（だと宣言する）か・・・で決まる。

それゆえ、あなた方が自分にすることは他者にすることであり、他者にすることはあなた方自身にすることだ。

とくにこのことだけは、いくら強調してもしすぎることはない。

うん？益々こんがらがってきたぞ？

では、反対の質問をするが、今までに人を心から賞賛したり、絶賛したりする人に出くわしたことはあるかな？

はい、それも確かにあります。

となると、彼らも結局は自分のことについて語っているってことでしょうか？

そのとおり。あなた方自身を「知る」ことは、本来とてもたやすいことだ。

つまるところ、相手（他者）のどの側面（神性）に関心（心の視線）を注ぐかによって、

あなた方の未知なる側面（神性）も浮き彫りにされてくるからだ。

かつて、「己を知り、彼を知る者は、百戦して百勝する」と言ったマスターがいた。

はあ・・・また、中国の古典ですか。

そういえば、対話の中では西洋圏の格言をよく用いておられましたね。

まあ、ここは東洋だから、あなた方になじみの深い文献を引用したまでだ（笑）

観察だ。すべては観察なのだよ。

観察者としての境地に差し掛かれば、宇宙の外からも自分を眺めることができる。

そして、観察をとおして観察している自分を観察できるようになれば、

いつかは観察されない観察者となることができる。

となると・・・相手が何者なのかを決める前に、

自分が何者なのかを明言（宣言）しておくことが大事ってことですね。

そのとおり。あなた方の多くは、

自己を再評価（再創造・Recreation）することの大切さを忘れている。

だから、他人を評価する者は（良し悪しは別として）、

自己を遠回しに評価している（されている）という、パラドックスになかなか気づけないでいる。

無理もない話だと思いますよ。

何せあなたのおっしゃるとおり、他人に対してすることは、

何であれ自分に対してするのと同じことですから（笑）

その原理をあなた方一人一人がきちんと理解さえすれば、

明日からでも地上に樂園を築けるのだがね。

・・・もう、時間があまり残されていないのは百も承知です。

でも、ほんのわずかな可能性が私たちの中に眠り続けている限り、最後の最後まであがいてみせますよ（笑）

では、もうそろそろおあいその時間ですし、
今日は少々疲れておりますので、早めに帰って寝ようかと思えます。
いろいろとご教示頂き、どうもありがとうございます。

覚えておくとよいだろう。あなた方には、明るい未来が約束されて
いる。

すべてのロウソクに火がともされる時、私／あなた／あなた方は、
歓喜と喜びに満ちあふれ、再び新たな再出発を遂げるであろう。
なぜなら、喜びと光と愛に包まれている状態こそが、
本当のあなた方なのだから。

つづく

命のちぢやき【16】

2010 / 4 / 28

静岡県浜松市・社員寮にて

神様、お元気ですか？

おられましたら、返事くださいな！

私は、常にここにいるよ。

いつ何時でも、あなた方から離れたことはない。

良かった・・・まだ、いらっしてたんですね。

何分長い間、あなたとの対話を留守にしたもんで、

てつきり・・・ふてくされてどこかへ行ってしまったと思ってましたよ（笑）

ほう・・・よもや私が、

そんなに心の狭い神だと思っていたのかな？

違うのですか？

いや、違うよ。

何度も念を押して言うておくが、

それはあなた方が頭の中で生み出した、架空上の存在【産物】にすぎない。

有史以来、その架空の神々をあなた方は何の根拠も無しに崇め続けしてきた。

もし、新しい未来を生きてゆく上で、最良の経験／最良の体験を創造したいのであれば、

まず、己の魂で判断し、物事を認識してゆく力を養わなければならない。

それこそが「目を見開いて歩く」という状態であり、なおかつ「悟りの境地」だ。

ニーチェはそのような境地に到達した者のことを「超人」だと表現し、

ソクラテスは「無知の知」と表現した。

忘れていくかもしれないが、実はその状態を常に維持し続けることこそが、

あなた方がこの領域（次元）で「人間」としての形／生命を授かった本来の役目なのだよ。

この宇宙で唯一、緻密なる数々の意識の布を織り混ぜつつ、様々な衣装を編み出す特権を有しているのが、人間という生命体なのだよ。

まあ、差し詰め、あなた方の言葉で表現するのであれば、「知的生命体」と呼んだほうがより適切かな。

ハハハ・・・相変わらず、あなたらしいお言葉だ。

聞いてると、つくづく心がほんわかとしてきましたよ。

ほう、なかなかいいことを言うね。

すでにあなたも感じているかもしれないが、

廃れた心を、ほんわか（な状態）にするのが私の特技なのだよ。

とくに存在の深い部分は、この事実を文字通り「知って」いる。

だから、相手の言った何気ない言葉に、あなたの感情が強く揺れ動かされた時、

その言葉に込められた感情の種類（真意）に注意深く耳を傾けたほうが無難だ。

なぜなら、ありとあらゆる感情には、

心地よいものとそうでないもの・・・常にこのふたつのどちらかしか

ないのだから。

まあ、この場合「波動を読む」と言ったほうが、よりの確かもしれないね。

手慣れた者なら、相手の発する言葉の習慣性、および

パターンから、すぐにその人物が何を信念【心根】としているのか、を読み取ることに長けている。そして、多くの場合、そのような人達は、

予言者、もしくは賢者（君子とも言っね）と人々から呼ばれる。

ははぁ・・・また、聖人君子の御話しですか（笑）

私のような人間には、到底追いつくことができないレベルですよ。何せ、私は今、とつても惨めな仕事に就いてしまったのだから・・・。

息子よ、何をそんなに自分を卑下するのだね？

なぜ、自分の偉大な神性をもっと素直に称えないのかね？

あなた方はみな、そうだ。ちょっととした不安や困難に遭遇すると、すぐに自分を卑下し、あげくの果てに己の中の神性をないがしろにする。

だが、いいかな。はつきり言っておくが、私はあなた方を苦しみを通して

成長するように創った覚えはない。改めて断言しておくが、私は苦しみを喜ばない。

苦しみは、魂を萎えさせるだけだ。

だって、私は夢が叶わなかったのですよ・・・。

いや、そうではない。

・・・どういっことでしょうか？

あなたの場合は、夢が叶わなかったのではなく、事前に「下ごしらえ」をしていなかったにすぎない。

あえて言うのであれば、何の下準備もなしに、料理制作に取り掛かっているようなものだ。

その結果が、今のあなた自身の環境を創造しているのだよ。

(その証拠に何もしない／何も選択しない・・・というのも、立派な選択肢のひとつだと、以前言わなかったかな?)

はあ・・・となると、全部私一人の責任だとも言いたいのですか？
そんなの、あまりにも不公平ですよ！

そうでなければ、誰の責任かね？

親か？会社か？周囲の人間か？それとも環境か？

・・・全部です。

その・・・何といえますか・・・私は恵まれていないのです。

今、あなたは自ら「自ら」を創造している。

は？おっしゃっている意味が、よくわからないのですが・・・？

私はこの対話のはじめでも言ったはずだよ。

あなた方は日々、思考／言葉／行動という創造の三原則を通して、自らの周囲の環境を、文字通り「自ら」創造しているって。

あなたは今、意識的にせよ、無意識的にせよ、

自ら「恵まれていない」という状態を、言葉(言霊)の力によって「自ら」創造している。

その結果として、「恵まれていない」という状態が引き寄せられる。今一度言うが、あなた方はみな、自分の創った世界で飛び回っているだけなのだよ。

あなた方の脳は、一種の演算処理装置のようなものではあるが、生憎、現実と空想の境目を上手に処理できるようプログラムされてはいない。

だから、人生で失敗する人の多くは、

「自分で自分の脳を上手に騙すことができる」という真理をなかなか信じようとしない。

そのことをまず、自覚【認識】することが大事だ。

それをあなた方に思い出させるために、私はここに訪れた。

はあ・・・どうしても、責任転換はダメですかね（笑）

創った当の本人が、その責任の所在を外部に求め続ける以上、何時まで経っても、現状（被造物）を変えることはできないだろう。すべてを変える唯一の方法、それはすべてを創造したのが自分だとまず受け入れなければならない。これは科学的な法則でもある。

でも、夢はそんなにホイホイ簡単に叶うようなものじゃないと思いますよ。

それに・・・私は予言者じゃあるまいし、先のことだって読む能力はないです。

いくら物事をポジティブに捉えたところで、

結局いろいろな壁が立ちふさがってしまるのが人生ですよ。

ごめんなさい・・・また、自分で自分の可能性を限定したようなこと言っ

でも、何といたしますか・・・その、脱却路とでも言うのでしょうか、何か近道のような手法があるのだとすれば、私は喜んでそこへ飛びつきますよ。

息子よ・・・ひとつ、いいことを教えてあげようか。

なんですか、なんですか？！
めっちゃ気になります！！

実は、誰でも予言者の素質を持っているのだよ。
いや・断言しよう！あなた方は皆、自らの予言者なのだよ。

え？何ですって？！

いったい全体、どういうことですか？

優れた脳科学者なら、すでに気づいてるよ。

あなた方人間の脳には、考え想像したことを、
そっくりそのまま現実に創造【具現化】するシステムがあるという
ことを。

あなた方の教育面では、この能力はずいぶんとないがしろにされて
いるがね。

では、どうすれば、この能力をより効率的に鍛えられますか？

何か・その、良い道具【ツール】があつたら教えて頂けますか？

未来日記を書いてごらん。

明日、明後日、これから、何年後か先に起きるであろう、

今後の活動、および予定、スケジュールをあらかじめ組み込んでご
らん。

そうすれば、思考と現実の狭間に境界がなくなる時がいつかは訪れ
る日が来る。

そうすれば、しめたものだ。つまり、あなた方自身が自らの予言者
となるのだよ。

でも、嘘は書けませんよ（笑）

嘘でもいいから、書き込んでごらん。

脳に目標を強くインプットさせ続けさえすれば、いつかはその気になる。

（今度、時間があたらたら、「プラーシーボ効果」という言葉を調べてみるといいだろう）

日記はできれば、毎日欠かさず書くといいだろう。

そして、できたらそれを朝の起床時と夜の就寝時に声に出して読んでみてごらん。

言葉は強力な創造のツールだ。これを活用しない手はない。

でも、それが実現しなかったら、きつとイラツと来ますよ。

おやおや・・いちいち、いちゃもんをつけてくるね（笑）

なら、なおさら、おおげさなことは書かないことだ。

それと、自分のありのままの願望以外を書き込んでも実現はしないだろう。

なぜなら、あなた方の脳というのは、自分が心から

本当に望むもの以外は、意識の外へ弾き出すようプログラムされているのだから。

それゆえ、もし、願望を叶えたいと真摯に望むのであれば、

基本は多くを望まないことだ。息子よ、小欲を実績する者は、往々にして足るを知るのだよ。

となると、自分の素直な想いを

書き込んでゆくことが大事なことですかね？

その通り。ありのままの願望、すなわち

あなたが長年温存し、大切に温め続けてきた想いが何なのか、をまずはっきりさせなければ、夢の実現はまず程遠いだろう。

なぜなら、真の意味での未来とは、

的確な準備をした者にだけ訪れるのだから。

ちょっと待ってくださいよ・・・ってことは、
下ごしらえは、かなり大切じゃありませんか！

おやおや、ようやく気がついたのかね？

仕事の段取り【下準備】が悪いがために、
上司にガミガミ怒鳴られてるあなたを観て、
ちよつどもズムズしていたところだよ。

やだな・・・まさか、ずっと見てたんですか？

ほほう・・・よもや、私に隠し事が罷り通るとでも思ったのかな？

はいはい、わかりましたよ！

まったくあなたは、何でもお見通しってことですね！

私は、あなたが知っていることを知っているのだよ。

つまり、「あなた」は「私」だ・・・とでも言いたいんでしょう？

ビンゴ！

あなたが私で、私があるあなた・・・なんだかややこしくなりそうです
(笑)

あなたの住んでいる国・日本の狂言にもあるだろう。

ややこしや～ややこしや～ややこしや～ややこしや～

あなたが私で、私があるあなた・・・で始まるやつ。

あれは私がさすけたインスピレーションをもとにして創られたのだ

よ。

へえ〜じゃあ、結局どこへ行っても、
この「映し鏡の法則」とは切っても切り離せない縁にあるってこと
ですか。

まったく、嫌気がさしてきますよ・・苦手な上司も私の一部だと思
うと、

正直腸が煮え返りますし（苦笑）

あなたがその上司の一部分しか観てない限りはね。

やれやれ、つくづく痛いところを突いてきますね（爆）

そうか？私が観察する以上、

誰もが皆「あなたは、私の〜ほんの一部しか知らな〜い」のだ
から。

うまい！まさか、ここでB、Zが出てくるとは思いませんでしたよ
（大笑）

なあに・・私もファンだからね（爆）

あっはははははははははは！！

あなたのユーモアのセンスには、かないませんよ（笑×3）

息子よ、いい夢を見続けなさい。

明るい未来をありつたけ、思い描きなさい。

そうすれば、心も晴れ晴れとするだろう。

ふう〜今日はホント、楽しませて頂きました。

あなたとお話ししていると、かなり元気が出ます。
本当にありがとうございます。

今日はもう、かなり遅くなってしまうので、
そろそろ床に就こうかと思えます。

道に迷ったら、またいつでも門を叩きなさい。

私の家は施錠せず、常にオープンにしてあるから。

泥棒には、くれぐれも用心してくださいよ（笑）
じゃ、おやすみなさい

おやすみ・・・

つづく

命のちぢやき【最終話】

2011/5/7

自宅にて

神様、今日をご在宅でしょうか？

もし、御留守でなければ、勝手に上り込みますが？

コラッ！住居不法侵入で訴えるぞ！（笑）

あは！やっぱり、おられましたね（笑×2）

ほほう・・・今日は、ずいぶんと機嫌が良さそうだね。

私の気分はいつも絶好調ですよ

それは良かった。

それで、今日は何の用かね？

はい・・・今日はその何と言いますか、

以前仰つてた、2012年問題の続きと言いますか、

これからの地球に何が起るのか、そろそろハッキリさせて頂きた
く存じます。

また、この対話も一通り、長くなりましたので、

そろそろキリの良いとことで、区切りをつけたいと考えていた次第
であります。

（つまり、そろそろ第一部を完成させようかと思っています）

（まだ、第二部を作成する予定は今のところありませんが・・・恥）
それで、単刀直入に伺いたいのですが、

私たちの今後の未来に待ち受けるのは、限りない繁栄でしょうか？
それとも永劫に終ることのない破滅でしょうか？
あなたの御意見を、是非とも伺いたく存じます。

息子よ、生憎だが、それを決めるのは私ではない。

あなた方一人ひとりの意識の寄せ集めが、
未来（という生き物）を形作ってゆくのだ。

だが、この点に関しては非常に重要な課題のひとつでもあるため、
いつかは語らねばならない問題でもある。

非常に長い時間を割くことになるかもしれないが、
覚悟はできてるだろうか？

はい、もちろんそのつもりです。

よろしい。では、はじめようか。

まず、2012年に何が起こりうるのか？

あなた方にわかりやすいよう、簡素な言葉を選んで言うのであれば、
物理的な変化は何も起こらないが、霊的なエネルギーの濃度が徐々に
密度を増してゆく。

地球は、まもなく一種の変換期にさしかかりつつあるのだ。

そして、いくつも（無限／変幻自在に）存在（偏在）する並行宇宙^{パラレル}
の中で、

それぞれが別途の（独立した）存在として進行するようになるだろ
う。

もっとわかりやすいたとえで言うなれば、

ひとつの部屋に仕切りができ、ふたつの部屋となるようなものだ。
異なる性質を持ったデータが、それぞれ違ったフォルダに区分され
ると言ってもいいだろう。

今までひとつとして重なり合っていた次元のレイヤーが、ふたつの
レイヤーとして切り離され、

それぞれのレイヤー毎に、そこに住むであろう者も別れるであろう。類は往々にして友を呼ぶ・つまり、未来が二手に分かれるのだ。

え？どういうことでしょうか？！

もう少し詳しくお願いします。

おおよそ何であれ、物事にはふたつのエネルギーしか生じない。つまり、心地よいエネルギーか、そうでないエネルギーか。

実は、これはあなた方が時間という観念で捉えている概念に対して、

そっくりそのまま当てはめることができるのだよ。

心地よい思い出、悪夢のような思い出、身にしみる想い、苦々しい過去。

それぞれ形は違えど、その本質は皆あなた方の脳が創り出した幻影ではない。

すなわち、ポジティブな未来とネガティブな未来、

どちらへ行くかは、あなた方の日々の思考／言葉／行動に委ねられているという訳だ。

そりゃネガティブな未来は、誰だって行きたくありませんよ！

自ら進んで選んで行こうとする者は、まずいないだろうね（笑）

何が言いたいのですか？

意識して選ぼうと志さない限り、

ポジティブな未来へは、たどり着けないと言ってるのだよ。

悲観的な思想を抱え込んだまま、ハッピーエンドを迎えることはできない。

なぜなら、それは宇宙の基本的法則に反するからだ。

(「引き寄せの法則」という言葉は、もう十分に知れ渡ってるかな)

つまり、2012年を境に、この引き寄せの法則が
どんどん強まってく・・・とでも言うのでしょうか？

その何と言いますか・・・一度ネガティブ側の世界へ行ってしまった
者は、

二度とポジティブ側に舞い戻ることができない・・・という意味でし
ようか？

当たらずとも、遠からず・・・といったとこだな。

私が言いたいのは、あなた方は皆「時の旅人」だということだ。

時間という「無限／自由／変幻自在」エネルギーの中を永遠に旅し
続ける、

孤高なる意思体と言ってもいいだろう。

その中で、あなた方は選択する権利（自由意思）を通して、
自らの神性を表現したいと強く望んだ。

それで設けられたのが、この地球という環境（次元）だ。

つまり、あなた方には無限の自由意思（選択権）が与えられている。
気に入らないモノを創造してしまった場合、そこに目（関心）を向
けさえしなければ、

いつでも周囲の環境（事象）を創り直すことだってできる。

そこをまず自覚することが、何よりも大事だと言ってるのだよ。

すなわち、未来は変えられるのだ！

それでは、仕切りというのは、

どんな意味合いが含まれているのでしょうか？

ほう・・・なかなか、いいところに目がついたね。

わずかな隙でも見逃しませんよ（笑）

よろしい。では、反対に質問させてもらうが以前、この宇宙にはいろいろな意図を持った存在が、いることを話したのは、記憶しているかね？

はい、きちんと覚えていますよ。

何でも、私たちを意図的にネガティブな未来へと誘いこもうと企む、根暗な連中が影で密かにダークサイドでしただけ暗躍していることも話しておられましたね。

で・・・それとこれと、いつたいどんな関係があるのでしょうか？

まあ、焦らずに聞きなさい。

もし、あなたが帝国主義者側の立場だとしたら、どうかね？

ネガティブなエネルギーを養分とし糧とする者ならば、どのような影響を今後の地球に与えたいと考えるか？

つまり、私がダークサイドの一員だったら・・・ってことですか？

そう、今までのあなたがそうだったようにね（笑）

諸々の行動を分析する場合、相手の立場に身を置くこと以上に効率的なものはない。

やれやれ・・・また、嫌味（皮肉）ですか。

軽いユーモアを言ってみただけなのだが（笑）

冗談ですよ！冗談！そうですね・・・もし、私がダークサイドの一員だったら、

もっと地球に負の暗示をかけようと、躍起になると思いますよ（笑）天変地異が来て大勢の人間が死ぬと、誰かにインスピレーションを

授け、

実際にそのような予言をさせてみたり・・・最終核戦争が勃発して、あげくの果てに隕石が衝突し、

やがて人類という種そのものが滅びるぞ！って脅してみたり・・・
そんなでももって、「お前は宇宙創造神の息子だから、人を導く素質がある」などと持ちかけ、

新興宗教を開かせて、各々の神性を封じ込め、がんじがらめにして
やったり・・・なんちゃって（苦笑）

（なんか・・・どれも幼稚な小悪魔がやってそんなことですね・・・苦笑）

ほう、なかなかいい点を射ぬいていないか。

（実際、あなたがここに書き込んだことは、形はどうであれ、

どれも密かに進行しつつあることなのだが）

じゃあ、今度はその逆の立場に立って考えてごらん。

ポジティブ側に身を置いた場合、地球にどのような影響を及ぼしたいのか？

そうですね・・・今度は平和と思いやりに満ちた世界を築きたいですね。

誰も誰を支配することなく、伸び伸びと自由に生きてゆけるような理想郷の実現に尽力を尽くしたいと考えております。

また、その実現に向けて、様々なきっかけ、
インスピレーションも授けたいと思います。

笑いのきっかけをもたしたり、命の効率的な維持法、
永遠に途切れることのない至福感覚、その秘密と鍵を是非とも授けたいと思います。

よろしい。では、この両者の違いが何かわかるかな？

はい、前者はネガティブで後者はポジティブだというのは、よくわかります。

それはともかくとして、この両者はいつたい、どのような関係にあるのでしょうか？

差し詰め、友好関係ではないのは、容易に察しできますが・・・。

このふたつの勢力は、あなた方の言葉でわかりやすく言うならば、ちよつど水と油のような関係にある。

竹馬の友ではあるが、決して混ざり合うことはない、永遠のライバルといったところか。

つまり、決してお互いに相容れぬ信念を持ち合わせている。

そして、2012年以降というのは、この両者の動きがより加速してゆく時期でもある。

（あなた方の意識できない水面下では、すでに徐々に進行しつつあるのだが）

ゆえに、ポジティブ側とネガティブ側の未来が、

相互に影響を及ぼしあうことが、今後一切なくなるだろう。

となると、今までは・・・違ってたということでしょうか？

そうだな・・・ちよつど、筋書きの大きな分岐点に

差し掛かりつつあると言つてもよいだろう。

演劇（筋書き）の役者が、二手に分かれるようなものなのだよ。

かつて勇者だった者は英雄（の道）に、

そして盗賊だった者は魔王（の道）に・・・といった具合にね。

持てる者はますます富み、持たざる者はさらに失う。

あなた方の星では、もうじき魂の総決算期に入ろうとしているのだよ。

どちら側へ行くかは、あなた方の日々（今までの）の諸々の言動で決まる。

（あなた方の宗教では、「因果応報」という言葉で知られてるね）
なるほど。その大きな分岐点というのが、
2012という年という訳ですね。

そう。これは何千年も前から、すでに計画されていたことなのだ。
最後の審判を迎えるにあたって、どちら側の未来（並行世界）へ行くかは、
あなた方一人ひとりの意識の研磨の度合に委ねられている。
もし、本気でポジティブな未来を目指そうと旅をするのであれば、
もうそろそろ、本当に目を見開いたほうがいいだろう。
残された時間は、もうあまりないのだから。

簡単に言ってくれますが、私たちは超人^{スーパーマン}じゃありませんよ（笑）
それに・・・あなたが思ってるほど、それほど意識も成熟しておりません。

「あなたに何ができるのか？」と急に尋ねられて、すぐに「何でもできます！」と答えられるほど、
私たちの多くは、まだまだ意識的に成長してはいないと思うのです
が・・・

（ごめんなさい、毎度ながらネガティブなことばかり言って・・・）

この際だから言うておくが、世界中の99%の人々は、
自分にはでっかいことができないと思い込まされているよ。

え？そんなんですか？！
でも・・・いったい、誰にですか？

親に。教師に。友人に。マスメディアに。そして、自分自身に・・・
ね。

もう一度言っておくが、あなた方の脳には、
まだまだ潜在的な能力が無限に秘められている。

もし、あなた方がその気になりさえすれば、
宇宙そのものを創りかえることだってできるのだ。

だが、そうしないのは、大衆をより支配／コントロールしやすいよ
う、

編み出された精神牢獄に、長い間縛られているからに他ならない。

（そのせいで、どれほど多くの天才的な能力を持った者たちが

窒息死させられてきたか・・・考えたことあるかな？）

あなた方は、そろそろ自らその鎖を断ち切るべき時代に突入したの
だ。

いつまでも自分で自分（の可能性）を押し殺し続けるのは、もうや
めたほうがいい。

うーむ・・・そう言われてみますと、確かに一理あると思います。

なにせ私たちは、集団心理を煽られやすい生き物ですから（苦笑）

大衆受けするものは、必ずしもあなた方のためになるとは限らない。
むしろ、害となるもののほうが多いだろう。

まったく仰る通りです。

それはともかくとして、こんな煩惱の渦の中にさらされてしまった
ら、

誰であれ荒波に翻弄され、拳句の果てには混乱をきたすと思います
よ。

それは意志が弱いからだ。

欲望が意志を上回れば、不幸が生じる。

問題は如何にして、欲望をうまくコントロールするか、だ。

なぜなら、修練の極みとは、結局は簡素なものへと向かうことなの

だから。

簡単に言ってくれますね。

ここでもやはり、シンプル・イズ・ベストですか（笑）

所有するものが多ければ多いほど、その分苦しみ（ストレス）も増すだろう。

とくに霊的なマスターたちは、このことを一番よく知っている。

あなた方が苦しみから逃れる唯一の方法、

それはより多くを所有しようと思えないということに。

今与えられてるものに感謝（満足）ができない者は、さらに際限の無いものを追い求めようと、無限の欲求に駆り立てられる。

その結果として欲望が無限ループし、永劫に輪廻（煩惱）の環を空回りし続けるはめになる。

要するに、わずかなことにでも、

感謝の気持ちを抱くことが大事ってことですね。

日本語でも「ありがたい」と言うだろう。

あれを漢字に置き換えると「有難い」となる。

つまり、この言葉に含まれる本来の意味合いは

「滅多にないこと」「稀有なこと」の表れだったのだよ。

「漢字」神示」なのだから（笑）

（日本語は、非常によく出来てるね）

はあ、となると、日々口にしてる食物にも感謝の念を抱かなければなりませんね。

（まあ、そのために「いただきます」という言葉が我が国にあるのだと思います）

言うておくが、他の多くの命を犠牲にした幸福感は、長くは続かないよ。

他の命から生かされている、ひ弱な自分を自覚しない限りはね。甘さを求める度に、代償として大切な何かを手放してきたのが、あなた方が今まで辿ってきた歴史なのだから。

私たちに課された最大の課題・・とでも言うのでしょうか。

物質的な問題を模索してゆくにあたり、

結局は精神論（霊的な問題）とは切っても切り離せないってことですね。

科学がある程度発達すれば、いつかは

霊的なエネルギーの存在についても言及せざるを得なくなる日が来るだろう。

想像【創造】という名のエネルギーをね。

なぜなら、想像を創造に変換するのが、本当の科学なのだから。

つまり、私たちの想像力（創造力）で、

未来をより明るくすることもできるってことですね。

何だか想像しただけで、もう待ち遠しくなってきましたよ（笑）

じゃあ、なぜそれを今、

実現（創造）させようと選択しないのかな？

え？できるのですか？

そのためにこないだ、未来日記という素晴らしいツールを紹介したはずだが。

こう在りたい自分、理想の生活環境、死後の世界観、

さらにはあなたが思い描くこれからの地球の未来を、嘘（架空）でもいいから、一日に15分ぐらいの時間を割き、未来日記に書き綴ってごらん。何事も訓練なくして、上達はありえない。意識の面に関しても、例外ではないのだよ。

なんてね（笑）実は・・・こないだの対話で、

あなたに勧められた未来日記を書き綴ってみましたよ。

そうしたら、良いことが立て続けに起こるようになりました（嬉×3）

その・・・何といたしますか、自分で自分の人生を再設計し、アレンジしているような、遊び感覚を味わうこともでき、楽しく書き綴ることができましたよ。

これもすべてあなたのおかげです。本当にありがとうございます。

この際だから、いつそのこと、

ここで書いた内容を紹介してみてもどうか？

きっと、後に続く者にとって、非常に良い参考（お手本）になると思うよ。

え・・・ええ？！

い、いいんですか？！

もちろんだとも！

夢はでっかく語らなけりゃ、面白みがないじゃないか！

個人的なものから、今後の地球の未来に関する、

私的な予見ばかりですが、それでもかわまわないというのでしたら・

いいから、紹介してごらん。
きつと、後に続く者の良きインスピレーションの手助けとなるはずだよ。

わかりました・・・では、
まず、私の個人的なこと関することで・・・

【今後の私の予定・および未来図】

- ・ 今、就いてる仕事を辞め、安寧と柔和に満ちた別の人生を歩む。
 - ・ 良き協力者にも恵まれ、幸運にも恵まれるようになる。
 - ・ より多くの人々を援助する職に就き、世界各地に援助の手を差し伸べる。
 - ・ お金にも恵まれ、多彩な能力を發揮しながら、自己を無限に開花させてゆく。
 - ・ 英語を完璧にマスターし、国際的な交流面において様々な人脈に精通するようになる。
 - ・ 自然豊かな、風光明媚な風景に囲まれ、感性を刺激する様々な要素がある
- 街並みを訪れながら、至高の芸術傑作の創作にとりかかり、
より多くの人々の心のインスピレーションの手助けの源泉となる。

・・・ざつとこんなもんですが、如何でしょうか？

ほう、なかなかポジティブな未来図じゃないかね。
それに・・・あなたがその気になりさえすれば、
もっと飛躍させることだってできるよ。

言っちゃ悪いんですが、それこそ恐縮ってやつっすよ（恥）

いや、何も恥じることはない。

夢は壮大であればあるほど、心が広い証なのだから。

はあ・・・まったく、そう言って頂けるのは、あなただけですよ。

それじゃあ、特別に今後の地球の未来に関する予見（予言？）もここにざっと、紹介しておこうかと思えます。

まあ、どれも私自身が「こうあってほしいな」という単なる願望にすぎないかもしれませんが、

少なからず人類が今後、歩んでゆくであろう理想郷の姿を私なりの言葉で、

ありのままに表現したものです。

どれ、見せてもらえないかな？

あなたが描く、理想の世界とやらを。

はい、では・・・

【これからの地球の未来A】

2012年

- ・ガンの治療法が見つかる。
- ・地震対策、津波対策も最先端の技術により施され、

災害による被害をより最小限度にとどめることができる手法が実現する。

- ・世界中から疫病がなくなり、笑顔と優しさ、

温かさと思いやりに満ち溢れた世界へと徐々に移行してゆく。

2013年

- ・紛争地区で道徳教育の大切さが徐々に普及し、それにより子供たちが戦場へ行かずに済むようになる。
- ・また、世界各国で一人ひとりの子供が個性に目覚め出し、より明るい未来を築こうと試みる者がしだいに増えてくる。

2014年

- ・性に対する偏見が徐々に減り始め、教育界でもセックスの大切さが見直されるようになる。
- ・世界情勢全体も、徐々に明るい兆しの方向へと突き進んでゆく。
- ・科学により、霊の存在が証明（立証）され、霊的科学時代が幕を開け始める。

2015年

- ・世界各地で援助の手が差し伸べられ、それにより飢餓で亡くなる人がどんどん減ってゆく。
- ・石油に代わる環境に優しく、なおかつ低コストな新しいエネルギー源が発見（または発明）され、世界中で注目を集めるようになる。
- ・ほんの少量摂取しただけで、約数日間は何も食べず飲まずで暮らしてゆける、非常食が開発され、被災地支援に大きな役割を果たす、今世紀屈指の大発明として、世界中で莫大な注目を集めるようになる。
- ・天変地異を未然に防ぐ科学技術も目まぐるしく進歩し、「災害」という言葉そのものが過去の遺物となる日が日に日に近づいてくる。

2016年

・愛の大切さが世界中で徐々に認識され始めるようになり、それにより希望に満ちた光の環が、全世界へと急速に広がってゆき、

やがて、希望と平和に満ちた千年王国の実現が急速に加速してゆく。

・犯罪の多くは、心の病だという認識も徐々に広まるようになり、極刑ではなく、治療をもって対処しようとする試みがどんどん広まってゆく。

・以降、人類社会そのものが、愛と希望に満ちた未来へと移行してゆく。

・ 駆け足となりましたが、ざっとこんな感じですよ。

地球の未来Aと表現したのは、いろいろなパラレル世界の内のひとつだという意味です。

私が思い描くパラレル世界は、愛と救いの実績、

希望と思いやりに満ちた、限らない向上を描いたものです。

少なからず、私自身はこのような世界（の実現）を選択したい！と常々、心に思い描いております。

ブラボー！なかなか、やるじゃないか！

だんだん想いの力を、自在に操れるようになってきたね。

御褒めにあずかり、誠に光栄です。

本当にこれからの人類社会が、

こうなつて欲しいと、ただただ切願するあまりです。

なるとも！早かれ遅かれ、あなた方が心の奥底で思い描いた構図は、ワイジョンいつかは実現（具現化）するようになっていくのだから。

そのために、私は何世紀にも渡り、あなた方に「知恵」と「勇気／実績」を授けてきた。

すでに気が付いている者も中にはいるが、私は単なる後押し役なのだよ。

あなた方がもじもじしている後ろで、ポンツと後押しするのが私の役目だ。

息子よ、忘れていかもしれないが、あなた方は皆、

本来は一人ひとりが私の現身（分身／分御霊）なのだよ。

あなた方が決断／選択し、その気にさえなれば、明日からでも世界中に

真の千年社会をもたらすことができるということを、ゆめゆめ忘れぬことだ。

繰り返し何度も言うが、あなた方の神性（存在の深い部分）には、無限の領域（可能性）が秘められている。

私が用意した花壇の中で、どんな種を植え、どんな花を咲かせるかは、

すべてあなた方自身（の決断／選択）に委ねられている。

ゆえに、人生とともに戯れなさい。

創造を思いつき楽しみなさい。

それこそが、あなた方が人間／知的生命体の姿として、

この次元に滞在している間の唯一の特権であると同時に、

唯一の選択権でもあるのだから。そう、あなた方には「選ぶ」権利があるのだ。

ゆえに、どの結果／結末を選ぼうが、それはあなた方が事前に選択／決断したことに変わりはないのだよ。

そのことを常に意識し、自覚しておきなさい。

私は私自身の、自らの創造者である・・・という不朽の真理を。

ありがとうございます。

私の心の奥底は、あなたに対する、

計り知れないほどの感謝で一杯です。

遠慮することはない。

その気持ちを、存分に兄弟たちと分かち合いなさい。

はい、心に描く想いが大きければ大きいほど、

それを実現させようと試みる意思もどんどん飛躍してゆくものと信じております。

いつも啓発的な助言、誠にありがとうございます。

また、お会いできる日を切に祈っております。

断言しよう。

あなた方の未来は、希望と愛に満ち溢れている。

あなた方が心に夢と理想を抱き続ける限り、

私はいつでもあなた方と共に歩み続ける。

あなた方は決して、一人ではない。

すべての者が「ひとつとなる意識」に目覚める時、

世界は再び永遠の栄光を取り戻すことだろう。

すべての者に光あれ！

2011年5月吉日

完

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8295j/>

命のささやき

2011年5月9日18時48分発行